ISSN　1883-132X

# 沖縄県立博物館・美術館年報

（令和４年度　実績報告）

No. 16

２０２３

沖縄県立博物館・美術館

ISSN　1883-132X

# 沖縄県立博物館・美術館年報

（令和４年度　実績報告）

No. 16

２０２３

沖縄県立博物館・美術館

# 目　次


概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅰ　沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
Ⅱ　日誌抄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
Ⅲ　施設・設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
Ⅳ　組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
Ⅴ　沖縄県立博物館・美術館協議会・・・・・・・・・・・・ 20
Ⅵ　予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
Ⅶ　収蔵資料現在高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

利用統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

Ⅰ　入館者統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
１．総入館者集計　２．団体別入館者集計　３．展覧会別入館者集計
４．2022年度（令和４）月間別入館者数　５．年間入館者数の年次推移　６．減免申請集計
７．団体入館内訳
Ⅱ　施設利用者統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
１．月別施設利用集計　２．当館主催事業及び施設貸出内訳　３．県民ギャラリー貸出件数

博物館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

Ⅰ　調査研究等の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
１．調査研究の概要　２．博物館総合調査　－宮古諸島総合調査－
３．博物館共同研究事業　４．「一括交付金」活用事業
５．在外琉球王国文化財調査研究事業
６．博物館・美術館費事業（博物館収蔵品WEB図鑑製作発信事業、デジタル発信事業等）
７．調査・研究・講演・著作論文等　８．職員研修
Ⅱ　展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
１．展示活動概要　２．常設展
３．常設展　部門展示替え／ミニ企画　／エントランスホール展示
４．特別展　「復帰50年　沖縄、復帰後。展ーいちまでぃん　かなさ　オキナワー」
５．企画展　「復帰50年展　琉球ー美とその背景ー」
６．企画展　「美ら島沖縄文化祭2022関連特別展　宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」
Ⅲ　教育普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
１．博物館教育普及活動の概要　２．学校連携事業　３．博物館体験学習教室
４．博物館文化講座　５．学芸員講座　６．学芸員による常設展示解説会
７．学芸員によるバックヤードツアー　８．夏休み！こどもフェスタ2022　９．博物館ボランティア活動
10．ふれあい体験室　11．常設展に関する取り組み　12．普及資料の活用
13．ボランティアによる展示ガイド
Ⅳ　資料の収集・保存管理・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
１．収蔵資料現在高　２．2022年度（令和４）新収蔵資料高
３．2022年度（令和４）新収蔵資料目録　４．所蔵指定文化財　５．修理事業
６．資料保存管理事業　レプリカ・剥製製作（生物資料）　７．資料収集事業
８．資料貸出　９．写真貸出

美術館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・107

Ⅰ　調査研究等の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
１．調査研究の概要　２．調査・研究・講演・著作論文等
Ⅱ　展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111
１．展示活動概要　２．コレクション展（常設展）
３．復帰50年コレクション展「FUKKI-QUALIAー『復帰』と沖縄美術　４．企画展　「復帰50年　平良孝七展」
Ⅲ　教育普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
１．美術館教育普及活動の概要　２．鑑賞活動支援　３．ミュージアム・ツアー
４．コレクション・企画展関連催事　５．おきみゅーシネマラボ+復帰コレクション展プレイベント
６．ワークショップ　７．アートコンクール　８．慰霊の日関連催事
９．ボランティア活動　10．移動展in渡嘉敷島　11．教職員講座
12．教職員等、研修受け入れ

Ⅳ　資料収集・保存管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 127
1．収蔵作品現在高　2．2022年度（令和４）新収蔵作品高
3．2022年度（令和４）新収蔵作品目録　4．作品収集事業　5．保存管理事業
6．作品貸出

一般財団法人　沖縄美ら島財団（指定管理者）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・131
Ⅰ　沖縄美ら島財団概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132
Ⅱ　運営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132
1．管理運営の基本方針　2．管理運営方針
Ⅲ　組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 134
1．管理組織図　2．職員構成
Ⅳ　展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135
1．展示活動概要
Ⅴ　教育・イベント活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 138
1．ワークショップ・イベント等
Ⅵ　広報事業に関する業務・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
Ⅶ　調査・研究・講演・著作論文等の活動・・・・・・・・・・ 148
1．調査・研究等　2．職員研修（研修会）

全館共通事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・150
Ⅰ　学芸員実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 151
1．博物館実習　2．美術館実習　3．職場体験
Ⅱ　国際博物館の日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
Ⅲ　移動展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
Ⅳ　燻蒸・消毒処理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 155
Ⅴ　刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156
Ⅵ　展覧会一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157

その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・159
Ⅰ　沖縄県博物館協会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160
Ⅱ　全国の組織との関わり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160
1．日本博物館協会　2．九州博物館協議会　3．全国歴史民俗系博物館協議会
Ⅲ　沖縄県立博物館友の会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161
Ⅳ　特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会happ・・・・・ 162

関係法規抄録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・164
○博物館法
○博物館法施行令
○博物館法施行規則
○博物館の登録等に関する規則
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及び
その管理に属する行政機関の長に委任する規則
○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
○沖縄県立博物館・美術館管理規則
○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領
○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領
○沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱

# 概　要

Ⅰ　沿革
Ⅱ　日誌抄
Ⅲ　施設・設備
Ⅳ　組織
Ⅴ　沖縄県立博物館・美術館協議会
Ⅵ　予算
Ⅶ　収蔵資料現在高

## Ⅰ 沿革

**【前史】**

1936年（昭和11）、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。終戦後、米国海軍軍政府ウィラード・Ａ・ハンナ少佐とＪ・Ｔ・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年（昭和20）８月石川市（現うるま市）東恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年（昭和21）３月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

**【創設】**

1946年（昭和21）４月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年（昭和22）12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

**【発展】**

1953年（昭和28）、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。５月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年（昭和30）９月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年（昭和41）には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年（昭和47）の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年（昭和48）に２階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末（昭和60年代）頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。

2004年（平成16）、那覇新都心（おもろまち）に新館の建設を着工した。首里在の博物館（旧博物館）は新館への移転準備のため、2006年（平成18）３月に閉館した。

2007年（平成19）11月１日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

**【あゆみ】**

| | | |
|---|---|---|
| 1946（昭和21） | ４月 | 沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。（24日） |
| 1947（昭和22） | 12月 | 前年３月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。 |
| 1953（昭和28） | ３月 | 「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。 |
| | ５月 | 「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。<br>米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設して落成、贈呈される。<br>落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が返還された。（26日） |
| 1954（昭和29） | ８月 | ハワイから三線「江戸与那」が返還される。 |
| 1955（昭和30） | ９月 | 「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。 |
| 1963（昭和38） | ４月 | 米国民政府から河島コレクションが贈呈される。 |
| 1965（昭和40） | ９月 | 大中町の旧尚家屋敷跡（中城御殿）を購入する。 |
| 1966（昭和41） | 10月 | 米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。 |
| | 11月 | 新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。（３日） |
| 1968（昭和43） | ９月 | 太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。（30日） |
| 1970（昭和45） | 10月 | 沖縄タイムス社及びG. H. カー博士より前庭に花園を贈呈される。 |
| 1971（昭和46） | ２月 | 八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。 |
| 1972（昭和47） | ２月 | サントリー美術館との共催で、『50年前の沖縄』写真展が開催される。<br>サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。（27日） |
| | ５月 | 琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。（13日）<br>日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。 |
| 1973（昭和48） | ２月 | 国庫補助により２階部を増築し、展示室を３室増設する。 |
| | ５月 | 「田名家文書」の寄託をうける。（９日） |
| | ７月 | 琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。（16日） |
| | 12月 | 琉球新報社から映画フィルム「沖縄」「海の民・沖縄島物語」「南の島・琉球」の３巻を寄贈される。（17日） |

| | | |
|---|---|---|
| 1973（昭和48） | 12月 | 多和田真淳氏考古資料の寄託をうける。（19日） |
| 1974（昭和49） | 11月 | 大阪天満宮から浦添王子朝熹書「徳馨」の寄託をうける。（27日） |
| | | 糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。 |
| 1976（昭和51） | ４月 | 創立30周年記念式典を行う。(24日) |
| | ７月 | 大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。 |
| | 12月 | 『博物館30年の歩み展』開催。 |
| 1977（昭和52） | ９月 | 玉陵石獅子を玉陵へ移管。 |
| | 11月 | 円覚寺の鐘、前庭に展示。 |
| 1978（昭和53） | ３月 | G. H. カー博士より資料寄贈。 |
| | ７月 | 円覚寺の鐘楼が前庭に完成。 |
| 1979（昭和54） | ２月 | 尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ２体が寄贈される。 |
| | ６月 | 特別展『沖縄の洞穴と洞穴生物』開催。 |
| 1980（昭和55） | １月 | 特別展『日本の美－救世熱海美術館名品展－』及び『沖縄県立博物館名品展』開催。 |
| | ２月 | 「移動博物館」を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実施する。（2008年度からは「移動展」に改称） |
| | ８月 | 特別展『琉球のシダ植物』開催。 |
| | 11月 | 特別展『失われた生物たち－大恐竜展』開催 |
| 1981（昭和56） | ３月 | 博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。（３月30日付け） |
| | ５月 | 仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。 |
| | ８月 | G. H. カー博士より図書、写真等が寄贈される。 |
| | 10月 | 特別展『沖縄の美－日本民芸館蔵－』及び『戦前の沖縄写真展』開催。 |
| 1982（昭和57） | ５月 | 新たに常設展として自然部門を設置。 |
| | ７月 | 企画展『沖縄の昆虫』開催。 |
| | 10月 | 特別展『熊本県・沖縄県交流展－熊本の歴史と文化』開催。 |
| 1983（昭和58） | ５月 | 企画展『琉球の漆工芸』開催。 |
| | 11月 | 特別展『沖縄県・熊本県交流展－沖縄の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて開催。 |
| 1984（昭和59） | ６月 | 企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展－琉球芸能の世紀』開催。 |
| | ７月 | 企画展『沖縄のシダ・貝・昆虫標本展』開催。 |
| | 10月 | 企画展『今帰仁グスク展』開催。 |
| 1985（昭和60） | ２月 | 企画展『紅型衣装と型紙展』開催。 |
| | ３月 | 大嶺薫コレクションが贈呈される。 |
| | 11月 | 特別展『グスク－グスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。 |
| 1986（昭和61） | ２月 | 特別展『大嶺薫コレクション－美術工芸の美を求めて』開催。 |
| | 12月 | 天野鉄夫コレクション1,588点の寄贈をうける。 |
| 1987（昭和62） | ７月 | 「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。 |
| | | 天野ハル氏より亡夫鉄夫氏収集コケ類1,562点が寄贈される。 |
| | 10月 | スポーツ芸術・特別展『沖縄の自然・歴史・文化』『沖縄近代の絵画－物故作家』開催。 |
| | | 企画展『田名家収蔵品展－ある首里士族の400年』開催。 |
| | 12月 | 企画展『現代沖縄の陶芸－天野鉄夫コレクション』開催。 |
| 1988（昭和63） | ８月 | 特別展『ヤンバルの自然』開催。 |
| | 11月 | 特別展『三線名器100挺展』開催。 |
| 1989（平成元） | 11月 | 特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。 |
| | 12月 | 企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。 |
| 1990（平成２） | １月 | 特別展『大アンデス文明展』開催。 |
| | ６月 | 湧田窯搬入。 |
| | ８月 | 企画展『沖縄の野鳥』開催。 |
| | 11月 | 企画展『沖縄の祭り』開催。 |
| 1991（平成３） | ２月 | 企画展『技と美－大城志津子の世界－』開催。 |
| | ８月 | 企画展『沖縄のチョウ展』開催。 |
| | ９月 | 企画展『壺屋陶工遺作展』開催。 |
| | 10月 | 特別展『アジアの祭りと芸能』開催。 |
| 1992（平成４） | ２月 | 企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。 |
| | ３月 | 仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。 |
| | ４月 | 旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第１次埋蔵文化財発掘調査開始。（～７月３日） |
| | ６月 | 特別展『古代メキシコ至宝展』開催。 |

| | | |
|---|---|---|
| 1992（平成４） | ８月 | 特別展『沖縄の貝類ー海からの贈りもの』開催。 |
| | 10月 | 復帰20周年記念特別展『琉球王国ー大交易時代とグスク』開催。 |
| 1993（平成５） | １月 | 特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。 |
| | ２月 | 企画展『謝花雲石展』開催。 |
| | ３月 | ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクションが寄贈される。 |
| | ７月 | 旧中城御殿石垣工事にかかる第２次発掘調査開始。（～９月２日） |
| | | 企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。 |
| | ８月 | 特別展『沖縄の川と生きもの』開催。 |
| | 10月 | 企画展『刻まれた歴史ー沖縄の石碑と拓本』開催。 |
| | | 企画展『琉球王朝時代の楽器ー三線と御座楽』開催。 |
| 1994（平成６） | ７月 | 特別展『子どもの世界』開催。 |
| | | 旧中城御殿石垣工事にかかる第３次発掘調査開始。（～８月20日） |
| 1995（平成７） | ３月 | 横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。 |
| | ６月 | 戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。 |
| 1996（平成８） | ３月 | 栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。 |
| | ７月 | 特別展『大久米島展ーしぜん・ひと・もの』開催。 |
| | 10月 | 『新収蔵品展・ワラザン展』開催。 |
| | | 福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈 |
| | 12月 | 企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。 |
| 1997（平成９） | ４月 | 特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。 |
| 1998（平成10） | ７月 | 企画展『琉球王国時代の植物標本ーペリーが持ち帰った植物たち』開催。 |
| | 11月 | 特別展『包むこころ　ふろしき』開催。 |
| 1999（平成11） | ８月 | 特別展『三線のひろがりと可能性』開催。 |
| | 10月 | 企画展『日本の技ー伝統のかたち』開催。 |
| | | （第７回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展） |
| | 11月 | ホノルル美術館からG.H.カー博士コレクション（考古資料6,000点余）寄贈。 |
| 2000（平成12） | ２月 | 企画展『工芸王国ーきらめく手わざの世界を沖縄から』開催。 |
| | ７月 | サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。 |
| | 11月 | ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民１世紀展ーFrom Bento to Mixed Plate』開催。 |
| 2001（平成13） | ２月 | 企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。 |
| | ３月 | 企画展『工芸王国ー人・技・心』開催。 |
| | 11月 | 特別展『かざりとかたち』開催。 |
| 2002（平成14） | ８月 | 特別展『港川人展』開催。 |
| | 10月 | 企画展『沖縄の文化財展』開催。 |
| 2003（平成15） | ２月 | 企画展『おきなわナースものがたり』開催。 |
| | ７月 | 企画展『旅する種子ー運ばれるための巧妙なしかけ』開催。 |
| | 10月 | 企画展『あじまぁ　沖縄の伝統とくらしー沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学博物館で開催。 |
| | | 特別企画展『沖縄織物へのメッセージー田中俊雄の研究』開催。 |
| 2004（平成16） | ２月 | 企画展『戦前・戦後の文化財保護ー仲座久雄の活動をとおして』開催。 |
| | ３月 | 企画展『工芸王国ーてわざの今、そして未来へ』開催。 |
| | ８月 | 企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』(沖縄コレクター友の会主催)開催。 |
| | 11月 | 企画展『自然界のエイリアンー海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。 |
| 2005（平成17） | ２月 | 特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会ー入江正彦　児童文化史コレクション』開催。 |
| 2006（平成18） | ２月 | 閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼ー柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。 |
| | ３月 | 『ありがとう・さよなら』キャンペーン。（22日～31日　無料入館） |
| | | 企画展『わたしの宝もの展』（博物館友の会主催）開催。 |
| | | ４月１日から博物館新館移転準備のため2007年（平成19）10月末まで休館する。 |
| | ７月 | 博物館新館展示工事安全祈願祭。（於：波之上） |
| | ８月 | 宮城宏友氏より鳥籠７点寄贈。（11日） |
| | 10月 | 尚順男爵関係資料寄贈。（19日） |
| | | 謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈。（26日） |
| | 12月 | 稲嶺一郎関係資料寄贈。（26日） |
| 2007（平成19） | ２月 | 坂口總之輔氏カメラ寄贈。（16日） |

2007（平成19）　３月　新館へ事務所移転(29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式(30日)を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ(31日)。
４月　新館での事務を開始する。（１日）
７月　沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
８月　指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめる。
11月　那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。（１日）
同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅－港川人の来た道－』と美術館開館記念展『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。

2008（平成20）　２月　博物館企画展『新収蔵品展－平成17・18年度収蔵資料』開催。
３月　指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。
美術館常設展開会式。(25日)
５月　博物館企画展『新収蔵品展－平成19年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間で－無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。
美術館企画展『新収蔵品展　ポリエドールー沖縄・アジアの多様性』開催。
７月　指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。
指定管理者企画展『しまくとぅば』開催。
９月　博物館企画展『ずしがめの世界』開催。
開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
11月　美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。

2009（平成21）　１月　博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。
博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。
美術館企画展『移動と表現－変容する身体・言語・文化』開催。
４月　指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ　in　沖縄』開催。
５月　博物館企画展『新収蔵品展－平成20年度資料』開催。
指定管理者自主事業『王昭展』開催。
７月　指定管理者企画展『豊潤の美を求めて－金城安太郎と高畠華宵』開催。
指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
９月　指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
10月　博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く！』開催。
美術館企画展『名渡山愛順展－名渡山愛順が愛した沖縄』開催。
12月　博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。

2010（平成22）　１月　美術館企画展『タカエズトシコ展』開催。
２月　博物館企画展『造礁サンゴ展－楽園をつくった偉大な建築家』開催。
博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
４月　総務班が設置され、３班体制となる。
指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。
指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
５月　博物館企画展『新収蔵品展－平成21年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『遠き道－はて無き精進の道程』開催。
７月　指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
９月　指定管理者企画展『風土と建築』開催。
博物館特別展『海のクロスロード　八重山展』開催。
11月　美術館企画展『母たちの神－比嘉康雄』展開催。
12月　博物館・指定管理者企画展『アイヌ－美を求める心』開催。

2011（平成23）　１月　美術館企画展『安谷屋正義』展開催。
博物館企画展『琉球陶器の来た道』開催。
２月　博物館企画展『骨の科学』開催。
３月　博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。
４月　博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。
指定管理者企画展『國吉清尚』開催。
５月　博物館企画展『新収蔵品展－平成22年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『生誕100年記念展　岡本太郎と沖縄－ここが世界の中心だ』開催。
７月　指定管理者企画展『ロボット展』開催。
指定管理者企画展『印象派の誕生展』開催。
９月　美術館企画展『東松照明展＜太陽へのラブレター＞』開催。

| | | |
|---|---|---|
| 2011（平成23） | 10月 | 博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。 |
| | | 博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国ー受けつがれる琉球のわざと美」』開催。 |
| | 11月 | 博物館特別展『宇宙ー遙かなるロマンを求めて』開催。 |
| 2012（平成24） | １月 | 博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人ーエイサーの起源をさぐる」』開催。 |
| | | 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ３　玉那覇正吉』開催。 |
| | ３月 | 指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展ー琉球弧で開花した美の世界」』開催。 |
| | ４月 | 博物館企画展『沖縄復帰40周年記念「紅型BINGATA　琉球王朝のいろとかたち」』開催。 |
| | | 指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。 |
| | ５月 | 博物館企画展『新収蔵品展ー平成23年度収蔵資料』開催。 |
| | ６月 | 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。 |
| | | 指定管理者企画展『旅する仮面』開催。 |
| | ７月 | 指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。（沖縄テレビ共催） |
| | | 美術館企画展『山田實展ー人と時の往来』開催。 |
| | ９月 | 博物館特別展『本土復帰40年記念「OKINAWAから沖縄へ」』開催。 |
| | 11月 | 美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐー境界を生きる女たち1984-2012」』開催。 |
| | 12月 | 博物館企画展『大山盛保生誕100年記念　発見への情熱』開催。 |
| 2013（平成25） | ２月 | 指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。（沖縄タイムス共催） |
| | | 指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。 |
| | ５月 | 博物館企画展『大嶺薫コレクションー探求する心とその世界ー』展開催。 |
| | | 博物館企画展『新収蔵品展ー平成24年度収蔵資料』開催。 |
| | | 指定管理者企画展『佐川美術館蔵　平山郁夫ー大唐西域画への道ー』開催。 |
| | ７月 | 博物館特別展『海山川のおくりもの　目からウロコの大生き物展ー生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。 |
| | | 指定管理者自主事業『ジミー大西作品展ー挑戦と革新ー』開催。 |
| | ９月 | 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ４　安次嶺金正展ー緑の抒情ー』開催。 |
| | 11月 | 指定管理者企画展『京都　清水寺展』開催。 |
| 2014（平成26） | １月 | 美術館企画展『森山大道　終わらない旅　北/南』開催。 |
| | ２月 | 博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。 |
| | | 博物館企画展『三線のチカラー形の美と音の妙ー』開催。 |
| | ４月 | 指定管理者企画展『木下晋展　生命の旅路』開催。 |
| | ５月 | 指定管理者企画展『麗しき琉球の記憶ー鎌倉芳太郎が発見した“美”』開催。 |
| | | 博物館企画展『新収蔵品展ー平成25年度収蔵資料』開催。 |
| | ７月 | 指定管理者企画展『20世紀フランス絵画展ー山形美術館　服部コレクションー』開催。 |
| | ９月 | 博物館企画展　久米崇聖会創立100周年記念『久米村（クニンダ）ー琉球と中国の架け橋ー』開催。 |
| | | 美術館企画展『色彩と風のシンフォニー　内間安瑆の世界』開催。 |
| | 11月 | 博物館企画展『大嶺薫コレクションーアジアへの眼差しー』開催。 |
| | | 博物館特別展『水中文化遺産～海に沈んだ歴史のカケラ～』開催。 |
| 2015（平成27） | １月 | 美術館企画展『ゴー・ビトゥイーンズ展　こどもを通して見る世界』開催。 |
| | ２月 | 博物館企画展『イノシシとブタと私たち』開催。 |
| | ３月 | 指定管理者企画展『報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展ー二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後』開催。 |
| | ４月 | 博物館企画展『うちくいー沖縄のふろしきー』開催。 |
| | | 指定管理者企画展『ディズニー 夢と魔法の90年展ーミッキーマウスからピクサーまで』開催。 |
| | ６月 | 美術館特別企画展『戦後70年 特別企画展　ニシムイ 太陽のキャンバス』開催。 |
| | ７月 | 指定管理者企画展『深海探検　海底二万里の世界』開催。 |
| | | 指定管理者自主事業『大哺乳類展　ぼくらのなかまたち』開催。 |
| | ９月 | 美術館企画展『石田尚志　渦まく光』開催。 |
| | | 博物館特別展『琉球弧の葬墓制ー風とサンゴの弔いー』開催。 |

| | | |
|---|---|---|
| 2015（平成27） | 11月 | 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ５　大嶺政寛展－情熱の赤瓦　沖縄の原風景を求めてー』開催。 |
| | 12月 | 博物館企画展『新収蔵品展－平成26年度収蔵資料－』開催。 |
| | | 博物館企画展『大嶺薫コレクションー探求する心とその世界ー』開催。 |
| 2016（平成28） | １月 | 博物館企画展『大気と気象～見えない空気の“力と技”～』開催。 |
| | | 九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館　企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』を九州歴史資料館にて開催。 |
| | ２月 | 美術館企画展『木梨憲武展×20years』開催。 |
| | | 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展『芸大の御宝展～ものとひとを つくる～』開催。 |
| | ３月 | 美術館企画展『パブロ・ピカソ　ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後70年、今ゲルニカで考えるー』開催。 |
| | ４月 | 当館の指定管理者として一般財団法人沖縄美ら島財団が指定を受ける。 |
| | | 美術館企画展　文化勲章受章記念『志村ふくみー母衣への回帰ー』開催。 |
| | | 博物館企画展『大嶺コレクション展－美をもとめてー』開催。 |
| | ５月 | 博物館企画展『新収蔵品展－平成27年度収蔵資料－』開催。 |
| | | 博物館企画展『目からウロコの生物実験展～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハ |
| | ７月 | ッケン！』開催。 |
| | | 博物館企画展　日本民藝館80周年『沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄』開催。 |
| | ９月 | 博物館特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類の起源と展開－』開催。 |
| | 11月 | 美術館企画展『夢の美術館ーめぐりあう名画たちー　福岡市美術館・北九州市立美術 |
| | 12月 | 館名品コレクション』開催。 |
| 2017（平成29） | １月 | 博物館企画展『琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄がみえる～』開催。 |
| | ２月 | 博物館常設展示の充実強化を図るため、県指定文化財の梵鐘７口を加えて展示をリニューアル。屋外に大聖禅寺鐘（実物）を設置。 |
| | ３月 | 美術館企画展　沖縄の美術シリーズⅥ『山元恵一展－まなざしのシュルレアリスムー』開催。 |
| | ４月 | 美術館特別展『写真家が見つめた沖縄1972～2017』開催。 |
| | | 美術館特別企画展『開館十周年企画　安次富長昭展』開催。 |
| | ５月 | 指定管理者企画展『やんばるの森の美』開催。 |
| | | 博物館企画展『新収蔵品展－平成28年度収蔵資料－』開催。 |
| | | 博物館企画展『博物館70年のあゆみ』開催。 |
| | | 美術館『《今帰仁城盛衰記》－知られざる金城安太郎の仕事』開催。 |
| | | 指定管理者企画展『やんばるの森の美－写真展－』開催。 |
| | ７月 | 美術館『ベトナム絵画展』開催。 |
| | | 指定管理者企画展『水族館でも出会えない、海のビックリ生物展』開催。 |
| | | 大阪府立弥生博物館共催『沖縄の旧石器人と南島文化』（場所：弥生博物館）開催。 |
| | ９月 | 博物館企画展『ウィルソンが見た沖縄』開催。 |
| | 11月 | 博物館特別展『開館10周年特別展　海の沖縄』開催。 |
| | | 美術館企画展『開館10周年特別企画展　彷徨の海－旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』開催。 |
| | 12月 | 美術館企画展『開館10周年特別企画展　邂逅の海－交差するリアリズム』開催。 |
| 2018（平成30） | １月 | 人間国宝島袋正雄氏より県指定有形文化財「三線　与那城型　銘玉城與那」の寄贈を受ける。 |
| | ２月 | 博物館企画展『大嶺コレクション展ーかざるー』開催。 |
| | | 美術館『大和コレクションⅧ』開催。 |
| | ４月 | 美術館企画展『涯テノ詩聲　詩人　吉増剛造展』開催。 |
| | ５月 | 博物館企画展『新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－』開催。 |
| | ７月 | 美術館『儀間比呂志の世界』開催。 |
| | ９月 | 美術館企画展『宮城健盛展』開催。 |
| | 11月 | 博物館特別展『縄文と沖縄－火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道』開催。 |
| | | サキタリ洞遺跡の発掘調査で、県内最古となる5500年前（縄文時代前期）の赤色顔料を確認。 |
| | 12月 | 新島ユキ氏より、亡き夫で植物学者の新島義龍氏の植物関係写真資料9,881点が寄贈される。 |
| 2019（平成31） | １月 | 美術館『伊志嶺隆と平敷兼七』開催。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 博物館企画展『大嶺薫コレクション展－吉祥－』開催。 |
| | ２月 | 博物館企画展『琉球三線楽器保存・育成会創立30周年記念事業　沖縄が誇る家宝の三線展』開催。 |
| | ３月 | 指定管理者企画展『ホキ美術館名品展』開催。 |
| | ４月 | 博物館企画展『新収蔵品展－平成30年度収蔵資料－』開催。 |
| | | 博物館企画展『大嶺薫コレクション展－探求する心とその世界－』開催。 |
| 2019（令和元） | ７月 | 美術館コレクション展『金城安太郎展』、『沖縄を描いた画家　1930 - 1950's』開催。 |
| | | 博物館収蔵資料、琉球国時代石碑22基が国の重要文化財として指定を受ける。（23日） |
| | ９月 | 博物館企画展『台湾－黒潮でつながる隣（とぅない）ジマー』開催。 |
| | | 美術館企画展『上條文穂と波多野泉　現代彫刻展』開催。 |
| | | 美術館コレクション展『真喜志勉　ドローイング展』開催。 |
| | 10月 | 美術館コレクション展『作家の視点、作品の視点』開催。 |
| | 11月 | 博物館特別展『グスク・ぐすく・城－動乱の時代に生み出された遺産－』開催。 |
| | 12月 | 美術館企画展『作家と現在』開催。 |
| 2020（令和２） | ２月 | 博物館特別展『手わざ－琉球王国の輝き－』開催。 |
| | | 美術館コレクション展『石田尚志展』開催。 |
| | | 美術館コレクション展『大城精徳の仕事』開催。 |
| | | 指定管理者企画展『みんなのレオ・レオーニ展』開催。 |
| | ４月 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、４月10日から臨時休館。（～５月20日） |
| | ５月 | 博物館企画展『激動の明治・大正の沖縄　第11代齋藤用之助の足跡から』開催。 |
| | | 博物館企画展『新収蔵品展－令和元年度収蔵資料－』開催。 |
| | ８月 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、８月２日から臨時休館。（～９月５日） |
| | ９月 | 博物館特別展『岩石　THE ROCK　－石ころから見える地球のダイナミズム－』開催。 |
| | | 美術館企画展『稲嶺成祚　The Exhibition of INAMINE Seiso』開催。 |
| | | 博物館所蔵資料「中山世鑑」、「蔡鐸本　中山世譜」、「蔡温本　中山世譜」の３件が国の重要文化財として指定を受ける。（30日） |
| | 12月 | 博物館企画展『沖縄の藍　－自然と人の織りなす製藍の技－』開催。 |
| | | 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。 |
| | | 指定管理者企画展『名画を読み解く－珠玉の東京富士美術館コレクション－』開催。 |
| 2021（令和３） | ２月 | 指定管理者企画展『よみがえる正倉院宝物　－再現模造にみえる天平の技－』開催。 |
| | ３月 | 美術館企画展『石川真生展　醜くも美しい人の一生、私は人間が好きだ。』開催。 |
| | ５月 | 博物館企画展『新収蔵品展－令和２年度収蔵資料－』開催。 |
| | | 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、５月23日から臨時休館。（～７月11日） |
| | ７月 | 博物館特別展『みんなの進化展～命はつながっている～』開催。 |
| | | 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、７月22日から臨時休館。（～９月30日） |
| | ９月 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業、模造復元品「円覚寺仁王像」（初公開）に関する記者発表。（17日） |
| | 10月 | 博物館企画展『海とジュゴンと貝塚人』開催。 |
| | | サキタリ洞遺跡調査成果記者発表「日本最古の着色された装飾品の発見について」。（21日） |
| | 11月 | 釣鐘（米国フロリダ州）の返還式典。（２日） |
| | | 美術館企画展『琉球の横顔－描かれた「私」からの出発』開催。 |
| | | NPO法人琉米歴史研究会寄贈、「米国から返還された大黒様」に関する記者発表。（24日） |
| | 12月 | 博物館企画展『かたつむり展－ラセン館巡回展－』開催。 |
| 2022（令和４） | ３月 | 今良子氏より、今英男資料（平成の首里城復元資料〈木彫〉）が寄贈され、感謝状贈呈式を行う（知事出席）。（６日） |
| | ７月 | 博物館特別展『復帰50年　沖縄、復帰後。展－いちまでぃん　かなさ　オキナワー』開催。 |
| | | 美術館『復帰50年コレクション展　FUKKI QUALIA　「復帰」と沖縄美術』開催。 |
| | ８月 | 「現存最古の附胴三線」の寄贈の記者発表。（24日） |
| | 10月 | 博物館企画展『復帰50年　琉球－美とその背景－』開催。 |
| 2022（令和４） | 11月 | 美術館企画展『復帰50年　平良孝七展』開催。 |
| | | 「沖縄武徳殿開殿式関係資料」寄贈に関する記者発表。（29日） |

2023（令和５）　１月　博物館企画展『宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々』開催。（～２月　日）
博物館企画展『大嶺薫コレクション　琉球歴史探訪』開催。
朝日新聞西部本社より「よみがえる沖縄1935」写真パネル等寄贈に係る記者発表（30日）

**【歴代館長】**

**東恩納博物館**
大嶺　　薫（1946年４月～1953年３月）

**首里博物館**
豊平　良顕（1947年12月～1948年３月）
原田　貞吉（1948年８月～1953年３月）

**沖縄民政府立首里博物館**
原田　貞吉（1953年３月～1955年５月）

**琉球政府立博物館**
山里　永吉（1955年５月～1958年８月）
金城増太郎（1958年９月～1961年12月）
大城　知善（1962年２月～1969年11月）
外間　正幸（1969年12月～1972年４月）

**沖縄県立博物館**
外間　正幸（1972年５月～1981年３月）
大城徳次郎（1981年４月～1983年３月）
大城　立裕（1983年４月～1986年３月）
大城　宗清（1986年４月～1992年３月）
宜保榮治郎（1992年４月～1994年３月）
糸数　兼治（1994年４月～1996年３月）
當間　一郎（1996年４月～1999年３月）
大城　将保（1999年４月～2000年３月）
平田　與進（2000年４月～2002年３月）
當眞　嗣一（2002年４月～2005年３月）
名嘉　政修（2005年４月～2006年３月）
宮城　清志（2006年４月～2007年３月）
新垣　隆雄（2007年４月～2007年10月）

**沖縄県立博物館・美術館**
牧野　浩隆（2007年11月～2011年３月）
白保　台一（2011年４月～2013年２月）
安里　　進（2013年５月～2016年３月）
田名　真之（2016年４月～2023年３月）
里井　洋一（2023年4月～　　　　　）

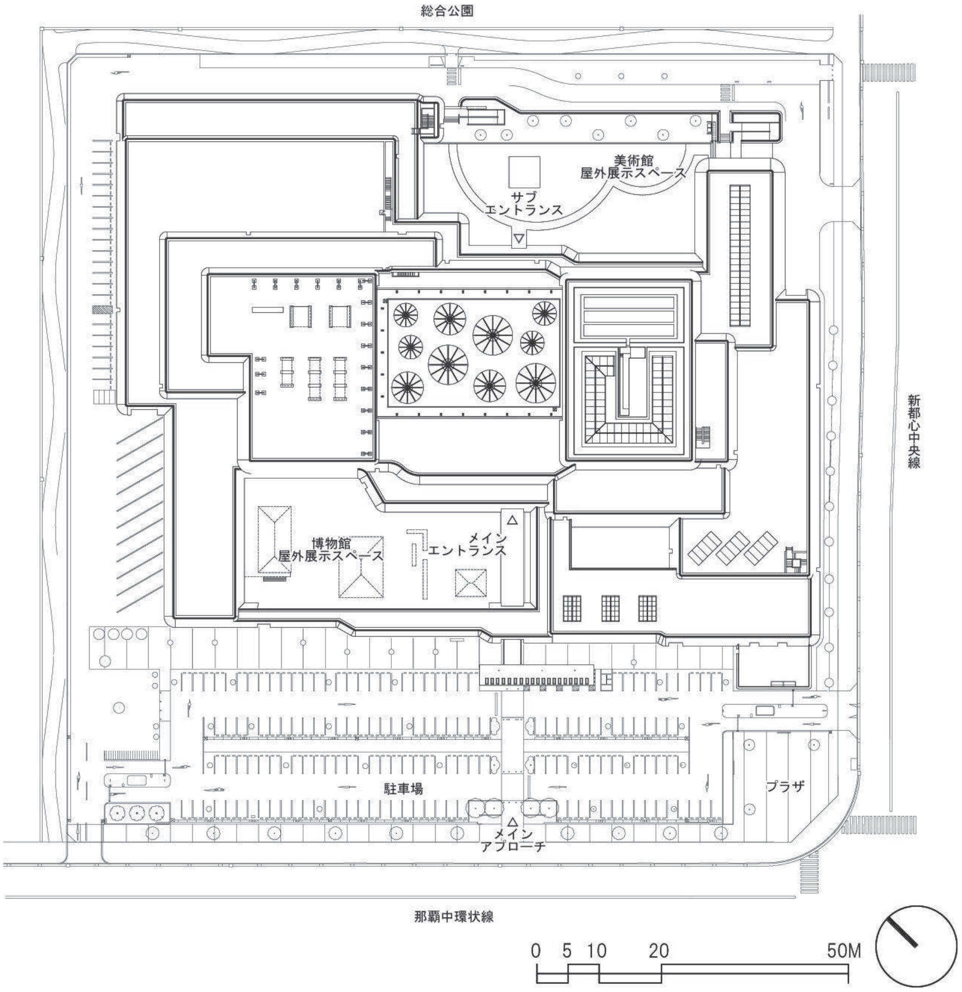
## Ⅱ 日誌抄（2022年４月１日～2023年３月31日）

2022年（令和４）

| | | |
|---|---|---|
| ４月 | １日 | 定期人事異動発令式（博物館講座室） |
| | ４日 | 職員全体顔合わせ、消防設備等の説明会、IPM研修会（講堂） |
| | ５日 | 美術館コレクション展「沖縄美術の流れ」展示作品の破損事故発生。<br>指定管理者企画展「悠久のシルクロード展」開催（博物館エリア/～５月８日） |
| | 20日 | 博物館ボランティア登録証交付式・全体会（講堂） |
| ５月 | ９日 | 国際博物館の日パネル展（エントランスホール）開催 |
| | 18日 | 「国際博物館の日」博物館常設展示・美術館コレクション展無料開放実施 |
| | 24日 | 県（委員監査）受検 |
| | 25日 | 夜間消防訓練（伝達訓練）の実施 |
| | 26日 | 沖縄県博物館協会総会・春の研修会（沖縄空手会館）コロナ禍のため中止で、書面開催。<br>文化庁調査官来館（館長対応） |
| ６月 | ９日 | 日米文化教育交流会議カルコン委員長一行来館（常設展示視察） |
| | 29日 | 全館燻蒸・消毒の実施（～7月7日） |
| ７月 | 12日 | 指定管理者企画展「スケスケ展―スケると見える仕組みの世界―」（美術館エリア/～９月４日） |
| | 20日 | 復帰50年特別展合同開会式（１階エントランスホール）（玉城知事臨席）<br>　博物館「沖縄、復帰後。－いちまでぃん　かなさ　オキナワー」（～９月19日）、美術館企画展 復帰50年コレクション展『FUKKI QUALIA「復帰」と沖縄美術』（～2023年１月15日） |
| | 21日 | 指定管理者制度運用委員会の開催 |
| ８月 | １日 | 博物館学芸員実習（前期）（～５日） |
| | 15日 | 美術館学芸員実習（～26日） |
| | 22日 | 博物館学芸員実習（後期）（～26日） |
| | 24日 | 現存最古の附胴三線の寄贈（記者発表/館長対応） |
| | 30日 | 八戸市市議会行政視察 |

| | | |
|---|---|---|
| ９月 | 26日 | 博物館美術館等収集委員会（美術館作品）の開催 |
| | 30日 | 県管財課物品管理指導の実施 |
| 10月 | 7日 | カンボジア地雷対策センター（CMAC）副長官他4人、JICA本部平和構築室、JICA沖縄所長表敬（館長対応） |
| | 14日 | 博物館企画展「復帰50年展　琉球ー美とその背景ー」（～12月4日） |
| 11月 | １日 | 琉球歴史文化の日　博物館常設展・美術館コレクション展無料開放 |
| | ２日 | 美術館企画展　「復帰50年平良孝七展」開催(～2023年1月15日) |
| | ３日 | 第６回アートコンクール表彰式（美術館副館長対応） |
| | | 屋外鐘楼鐘撞き体験（午前・午後各1回）実施（歴史担当） |
| | 18日 | 重要文化財に新たに当館所蔵資料の指定（王国時代の辞令書（県指定文化財） |
| | 21日 | 消防訓練の実施（全職員対象） |
| | 29日 | 博物館班寄贈資料（沖縄武徳殿開殿式関係資料）の記者発表（担当対応） |
| 12月 | 21日 | 復帰50年平良孝七展について、平良孝七展の修正を求める会から展示に対する抗議・修正要請を受ける |
| | 22日 | 沖縄県博物館協会秋の研修会（久米島）開催（～23日）デジタル配信 |
| | 28日 | 仕事納め |
| 2023年（令和５） | | |
| 1月 | ４日 | 仕事始め |
| | 13日 | 令和４年度「第13回移動展in渡嘉敷島（渡嘉敷村中央公民館/～15日）開催 |
| | 20日 | 美ら島おきなわ文化祭2022関連特別展「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展ー皇室の美と沖縄ゆかりの品々ー」開会式（知事臨席）（～２月19日） |
| | 30日 | 博物館への寄贈資料「よみがえる沖縄1935年写真」（朝日新聞西部本社）記者発表の実施（館長対応） |
| ２月 | ８日 | 第８期沖縄県立博物館・美術館協議会の開催（博物館実習室） |
| | ９日 | 博物館・美術館等収集委員会（博物館資料）の開催。 |
| | 19日 | 電気設備点検実施（全館停電） |
| ３月 | ７日 | 内閣官房審議官来館・視察 |
| | ８日 | 県定期監査受検 |
| | ９日 | 国立アイヌ民族博物館関係者来館（館長対応） |
| | 31日 | 第４代博物館・美術館長田名真之退任 |

## Ⅲ 施設・設備




### 建築概要

| | |
|---|---|
| ●敷地面積……… | 31,287㎡ |
| ●建築面積……… | 13,452㎡ |
| ●延床面積……… | 23,721㎡ |
| 博物館専有面積… | 10,478㎡ |
| 美術館専有面積… | 7,537㎡ |
| 共有面積……… | 5,708㎡ |
| ●高さ‥最高高さ… | GL＋21.8m |
| ●駐車場 | |
| 一般駐車場…… | 158台 |
| （うち身障者用4台） | |
| 大型バス駐車場… | 10台 |
| 駐輪場………… | 25台 |
| 関係者駐車場…… | 22台 |

### 供用施設

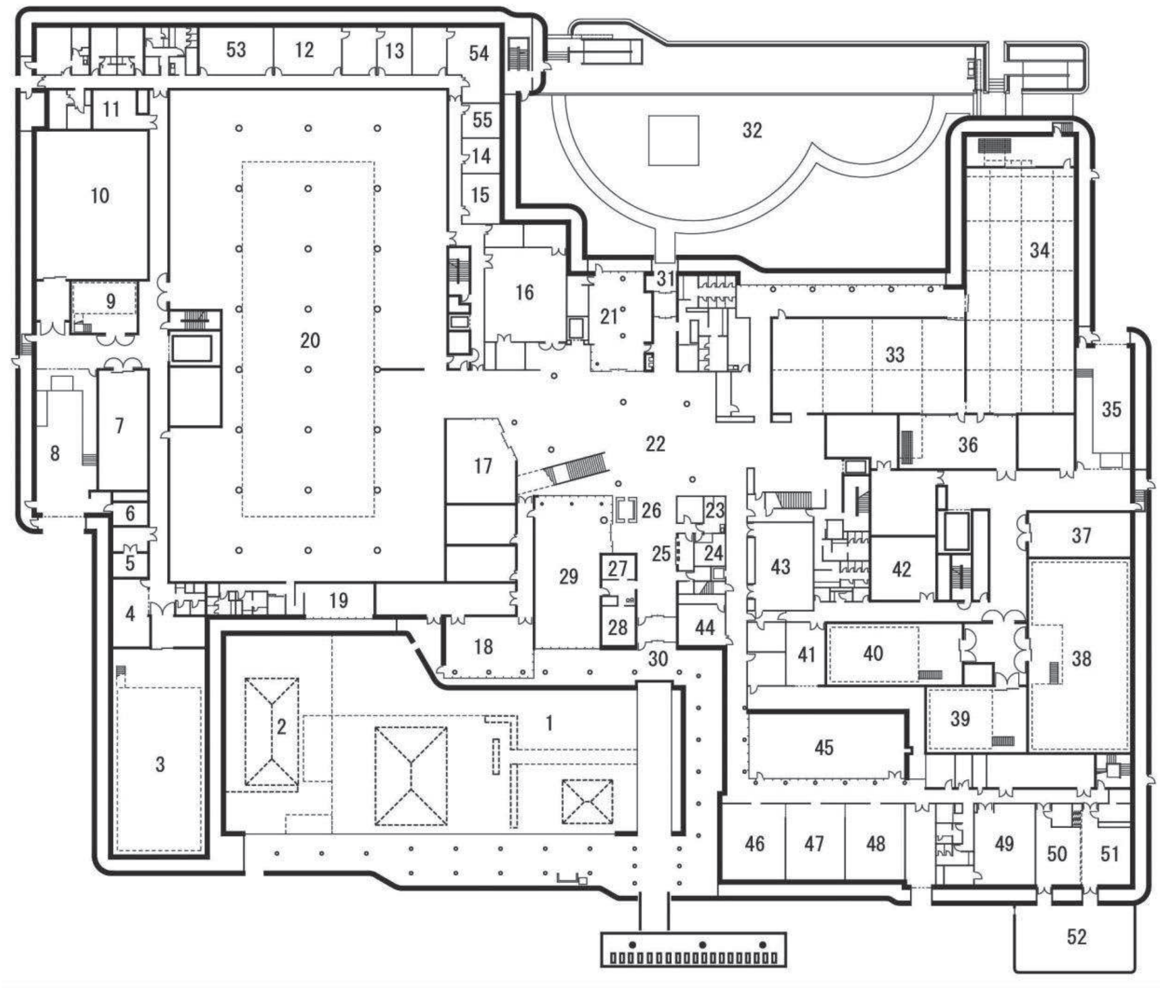
| | |
|---|---|
| ●エントランスホール | 724㎡ |
| ●情報センター…… | 217㎡ |
| ●講堂（212席）…・ | 349㎡ |

### 博物館の主たる施設

| | |
|---|---|
| ●展示施設 | |
| 総合展示室…… | 1,252㎡ |
| 部門展示室…… | 1,344㎡ |
| 自然史部門‥ | 360㎡ |
| 考古部門…… | 262㎡ |
| 美術工芸部門 | 180㎡ |
| 歴史部門…… | 120㎡ |
| 民俗部門…… | 421㎡ |
| 屋外展示場…… | 1,425㎡ |
| 企画展示室…… | 351㎡ |
| 特別展示室…… | 459㎡ |
| ●教育普及施設 | |
| ふれあい体験室 | 110㎡ |
| 博物館講座室‥ | 191㎡ |
| 実習室……… | 108㎡ |
| ●収蔵施設（ダブルデッキ含む） | |
| 自然史収蔵庫………… | 417㎡ |
| 化石収蔵庫…………… | 245㎡ |
| 考古・陶磁器収蔵庫…… | 613㎡ |
| 特別収蔵庫…………… | 439㎡ |
| 民俗収蔵庫…………… | 668㎡ |
| 大型収蔵庫…………… | 358㎡ |
| 液浸標本室…………… | 97㎡ |
| 一時保管庫…………… | 119㎡ |
| ●調査研究施設 | |
| 研究室……………… | 176㎡ |
| 研究資料室………… | 111㎡ |
| 会議室……………… | 72㎡ |

### 美術館の主たる施設

| | |
|---|---|
| ●展示施設 | |
| 企画ギャラリー１……… | 394㎡ |
| 企画ギャラリー２……… | 490㎡ |
| コレクションギャラリー１ | 164㎡ |
| コレクションギャラリー２ | 284㎡ |
| コレクションギャラリー３ | 370㎡ |
| 県民ギャラリー（１～３）‥ | 277㎡ |
| 県民ギャラリー（スタジオ） | 111㎡ |
| 県民アトリエ………… | 65㎡ |
| こどもアトリエ……… | 70㎡ |
| 屋外展示場…………… | 1,368㎡ |
| ●教育普及施設 | |
| 美術館講座室………… | 109㎡ |
| ●収蔵施設（ダブルデッキ含む） | |
| 収蔵庫Ａ……………… | 683㎡ |
| 収蔵庫Ｂ……………… | 248㎡ |
| 収蔵庫Ｃ……………… | 204㎡ |
| ●調査研究施設 | |
| 研究室……………… | 98㎡ |
| 研究資料室………… | 98㎡ |
| 会議室……………… | 58㎡ |




# 1階

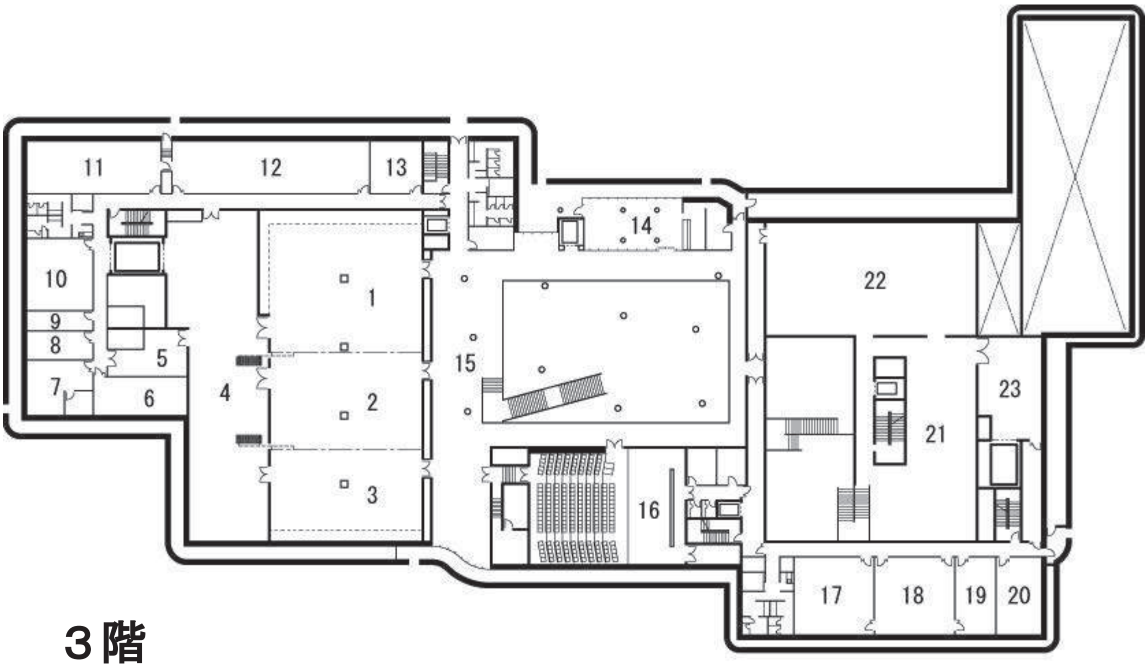
**1階**

**（博物館）**
1　博物館野外展示
2　湧田古窯
3　民俗収蔵庫
4　写真撮影室
5　冷凍庫
6　石工室
7　一時保管庫
8　トラックヤード
9　液浸標本室
10　大型収蔵庫
11　修理修復室
12　博物館・美術館庶務室
13　館長室
14　支援会室
15　博物館ボランティア室
16　博物館講座室
17　博物館ふれあい体験室
18　博物館実習室
19　博物館常設展示休憩室
20　博物館常設展示室

**（共有）**
21　ミュージアムショップ
22　エントランスホール
23　授乳室
24　託児室
25　券売
26　総合案内
27　救護室
28　コインロッカー
29　情報センター
30　メインエントランス
31　サブエントランス

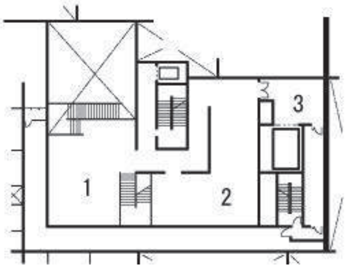
**（美術館）**
32　美術館野外展示
33　美術館企画ギャラリー１
34　美術館企画ギャラリー２
35　トラックヤード
36　展示準備室
37　一時保管庫
38　収蔵庫A
39　収蔵庫B
40　収蔵庫C
41　保存修復室
42　工作室
43　美術館講座室
44　美術館ボランティア室
45　中庭
46　県民ギャラリー１
47　県民ギャラリー２
48　県民ギャラリー３
49　県民ギャラリー（スタジオ）
50　県民アトリエ
51　こどもアトリエ
52　屋外活動スペース

**（指定管理者）**
53　会議室
54　事務室
55　展示交流員控室




**３階**

**地階**




**２階**

### ３階

（博物館）

1　企画展示室
2　特別展示室１
3　特別展示室２
4　展示準備室
5　工作室
6　自然史実験室
7　保存科学室
8　フィルム保管庫
9　映像編集室
10　学芸員会議室
11　研究資料室
12　学芸員研究室
13　研修室

（共有）

14　喫茶室
15　ホワイエ
16　講堂

（美術館）

17　研究資料室
18　学芸員研究室
19　情報処理室
20　学芸員会議室
21　コレクションギャラリー２
22　コレクションギャラリー３
23　展示準備室

### 地階

（博物館）

1　特別収蔵庫
2　考古陶磁器収蔵庫
3　自然史収蔵庫
4　劣化フィルム収蔵庫
5　写真パネル収蔵庫
6　化石収蔵庫

### ２階

（美術館）

1　ホワイエ
2　コレクションギャラリー１
3　展示準備室

# Ⅳ 組　織

【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団の４つにより構成されている。なお、（一財）沖縄美ら島財団に関しては別項にて記述しているので参照頂きたい。

- 博物館・美術館協議会
- 館　長
  - 副館長（博物館）
    - 総務班　（予算・決算・会計事務等）
    - 博物館班　（博物館資料の収集・保管、展示、調査・研究、教育普及等）
  - 副館長（美術館）
    - 美術館班　（美術館資料の収集・保管、展示、調査・研究、教育普及等）
  - （一財）沖縄美ら島財団（施設の管理・運営等）※指定管理者

【職員構成】※◎は主担当業務、○は副担当業務。　　2022年４月1日現在

| 職　名 | 氏　名 | 担　当　業　務 |
|---|---|---|
| 館　長 | 田名　真之 | ◎博物館・美術館の総括に関すること。 |
| 博物館<br>副館長 | 中里　智子 | ◎博物館業務の統括に関すること。<br>◎総務班・博物館班の指揮監督に関すること。 |
| 副館長<br>兼美術館班長 | 大川　剛 | ◎美術館業務の統括に関すること。<br>◎美術館班の総括に関すること。 |

（総務班）

| 職　名 | 氏　名 | 担　当　業　務 |
|---|---|---|
| 総務班長 | 具志　幸昌 | ◎総務班の総括に関すること<br>◎出納員に関すること<br>◎指定管理者との調整に関すること<br>◎組織・定数に関すること<br>◎沖縄振興推進特別交付金の計画・評価の取りまとめ<br>◎21世紀ビジョン、教育基本計画等施策とりまとめに関すること<br>◎博物館・美術館協議会に関すること<br>◎視察対応の総括に関すること<br>◎博物館・美術館広報宣伝に関すること<br>◎防災・危機管理に関すること<br>○その他、特に上司が命ずる事項に関すること |
| 主　査 | 當間　千春 | ◎出納業務に関すること<br>◎職員の給与、福利、服務及び研修業務に関すること<br>◎会計年度任用職員に関すること<br>◎博物館班の会計業務に関すること<br>◎監査に関すること<br>◎文書の管理業務に関すること<br>◎労働安全衛生業務に関すること<br>◎物品に関すること<br>○予算（歳入・歳出）及び決算に関すること（副）<br>○その他、特に上司が命ずる事項に関すること |
| 主　任 | 比嘉　友章 | ◎予算（歳入・歳出）及び決算に関すること（正）<br>◎博物館・美術館保全・修繕事業に関すること<br>◎美術館班の会計業務に関すること<br>◎施設・財産関連業務に関すること（施設利用許可、使用料関係）<br>◎公印の管理に関すること<br>◎公用車の管理業務（支出含む）に関すること<br>○その他、特に上司が命ずる事項に関すること |
| 会計年度職員<br>（事務補助） | 西川　美由紀 | ○文書受付に関すること。<br>○業務補助に関すること。 |

（博物館班）

| 職　　名 | 氏　　名 | 担　　当　　業　　務 |
|---|---|---|
| 班　　長 | 外間　一先 | ◎博物館班の総括に関すること<br>◎令和４年度博物館班予算に関すること<br>◎県議会対応に関すること<br>◎視察対応に関すること<br>◎博物館活動の全体計画に関すること<br>◎学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関すること<br>◎博物館特別展示室・企画展示室の管理・運営に関すること<br>◎指定管理者との調整に関すること<br>◎沖縄県博物館協会に関すること<br>◎博物館協会（日博協・九博協・歴民協等）に関すること<br>◎毒物劇物管理責任者（博物館班）に関すること<br>◎首里城被災資料の管理に関すること<br>◎学芸員ゼミの運営に関すること<br>○令和４年度復帰 50 年特別展「沖縄復帰後」展及び「琉球」展に関すること<br>○一括交付金事業「琉球王国文化遺産集積・再興事業」に関すること<br>○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関すること<br>○東博九博特別展「琉球」に関すること<br>○博物館友の会に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>（人類学） | 山崎　真治 | ◎人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（人類学分野）に関すること<br>◎図書の受入・整理に関すること<br>◎写真資料等の整理に関すること<br>◎博物館ホームページに関すること<br>◎港川人骨の管理に関すること<br>◎科学研究費受託機関の認定に関すること<br>◎「国際博物館の日」関連事業に関すること<br>◎広報連絡会議に関すること<br>○企画展示室・特別展示室可動壁の不具合ヵ所の修繕に関すること<br>○共同研究事業に関すること<br>○令和４年度復帰 50 年特別展「沖縄復帰後」展に関すること<br>○令和５年度特別展に関すること<br>○公開承認施設申請に関すること<br>○ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主　　任<br>（人類学） | 澤浦　亮平 | ◎人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（人類学分野）に関すること<br>◎収蔵品データの総括管理(データベース、収蔵品台帳)に関すること<br>◎博物館紀要の編集・発行に関すること<br>◎令和５年度特別展に関すること<br>◎共同研究事業に関すること<br>◎常設展示室の不具合ヵ所の修繕に関すること<br>○ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○移動展（渡嘉敷村）に関すること<br>○令和４年度復帰 50 年特別展「沖縄復帰後」展に関すること<br>○港川人骨の管理に関すること<br>○博物館ホームページに関すること<br>○新収蔵品展に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>（地　質） | 宇佐美　賢 | ◎自然史（生物・地学・人類）グループの統括に関すること<br>◎地質・化石資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（地質化石等）に関すること<br>◎令和４年度復帰 50 年特別展「沖縄復帰後」展に関すること<br>◎化石資料整理事業に関すること<br>◎博物館情報化推進リーダー（正）に関すること<br>◎ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○博物館ホームページに関すること<br>○広報連絡会議に関すること<br>○毒物劇物管理担当者（博物館班担当）<br>○収蔵品データの総括管理(データベース、収蔵品台帳)に関すること<br>○沖縄県博物館協会に関すること |

| 職　　名 | 氏　　名 | 担　　当　　業　　務 |
|---|---|---|
| | | ○博物館協会に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>（生　物） | 菊川　章 | ◎生物資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（生物分野）に関すること<br>◎屋外展示（植生）に関すること<br>◎令和５年度特別展「進化展」に関すること<br>◎「坂口総一郎等当館植物標本整理・発信事業」に関すること<br>◎博物館総合調査に関すること<br>◎S-NET の登録に関すること<br>◎毒物劇物管理担当者（博物館班担当）<br>◎博物館協会（沖博協・科博協）に関すること<br>◎常設展モニターの修理に関すること<br>○令和４年度復帰 50 年特別展「沖縄復帰後」展に関すること<br>○企画展示室・特別展示室の展示ケース等の不具合ヵ所の修繕に関すること<br>○博物館紀要の編集・発行に関すること<br>○学芸研究資料室の図書に関すること<br>○ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>（歴　史） | 崎原　恭子 | ◎人文系（歴史・美工）グループの統括に関すること<br>◎歴史資料（古琉球・近世）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（歴史分野）に関すること<br>◎常設総合展示室に関すること<br>◎資料収集事業に関すること<br>◎屋外鐘楼に関すること<br>◎「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関すること<br>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること<br>◎重要文化財保存管理（修理修復）事業に関すること<br>○令和４年度復帰 50 年「琉球」展に関すること<br>○東博九博特別展「琉球」に関すること<br>○企画展示室・特別展示室の不具合ヵ所の修繕に関すること<br>○令和４年度復帰 50 年特別展「沖縄復帰後」展に関すること<br>○常設展示室の不具合ヵ所の修繕に関すること<br>○大嶺薫コレクション展に関すること<br>○沖縄県博物館協会に関すること<br>○ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>（歴　史） | 宮城　　修 | ◎歴史資料（近・現代）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（歴史分野）に関すること<br>◎常設総合展示室に関すること<br>◎令和４年度復帰 50 年特別展「沖縄復帰前」展に関すること<br>◎博物館協会（日博協・九博協）に関すること<br>◎劣化フィルム保管庫の空調設備の修理及び映像資料の管理公開に関すること<br>○沖縄県博物館協会の事務に関すること<br>○重要文化財保存管理（修理修復）事業に関すること<br>○写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関すること<br>○常設展示室の不具合ヵ所の修繕に関すること○令和４年度復帰 50 年「琉球」展に関すること<br>○東博九博特別展「琉球」に関すること<br>○「国際博物館の日」関連事業に関すること<br>○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関すること<br>○大嶺薫コレクション展に関すること<br>○ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主　　任<br>（美術工芸） | 篠原　あかね | ◎美術工芸資料（染織・陶芸・三線）の収集・保管・整理・調査研究・展示公開に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）に関すること<br>◎博物館資料収集事業（博物館美術品購入基金）に関すること<br>◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関すること<br>○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること<br>○令和４年度復帰 50 年「琉球」展に関すること |

| 職　　名 | 氏　　名 | 担　　当　　業　　務 |
|---|---|---|
| | | ○東博九博特別展「琉球」に関すること<br>○博物館資料修理事業に関すること<br>○首里城被災資料の管理に関すること<br>○新収蔵品展に関すること<br>○大嶺薫コレクション展に関すること<br>○琉球三線楽器保存・育成会に関すること<br>○ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主　任<br>(美術工芸) | 伊禮　拓郎 | ◎美術工芸資料（絵画・書跡・彫刻・漆芸）の収集・保管・整理・調査研究・展示公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）に関すること<br>◎大嶺薫コレクション展に関すること<br>◎博物館資料修理事業に関すること<br>◎令和４年度復帰 50 年「琉球」展に関すること<br>◎東博九博特別展「琉球」に関すること<br>◎首里城被災資料の管理に関すること<br>◎公開承認施設申請に関すること<br>○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること<br>○情報化推進リーダー（副）に関すること<br>○企画展示室・特別展示室の不具合ヵ所の修繕に関すること<br>○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関すること<br>○ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○博物館資料収集事業(博物館美術品購入基金)に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>(考　古) | 山本　正昭 | ◎民俗・考古・教育普及グループの総括に関すること<br>◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（考古分野）に関すること<br>◎令和４年度復帰 50 年「琉球」展に関すること<br>◎博物館友の会に関すること<br>◎屋外展示（湧田窯）に関すること<br>◎考古資料の複製・修復に関すること<br>◎移動展（渡嘉敷村）に関すること<br>◎博物館『年報』の編集・発行に関すること<br>◎令和５年度企画展に関すること<br>○令和４年度復帰 50 年特別展「沖縄復帰後」展に関すること<br>○東博九博特別展「琉球」に関すること<br>○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること<br>○全国歴史民俗系博物館協議会<br>○全国歴史民俗系博物館協議会に関すること<br>○劣化フィルム保管庫の空調設備の修理及び資料の管理に関すること<br>○大嶺薫コレクション展に関すること<br>○情報センターの図書・データに関すること<br>○IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>(教育普及) | 大城　久表 | ◎教育普及の統括に関すること<br>◎教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理に関すること<br>◎博物館学習等の調査研究に関すること<br>◎常設・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること<br>◎博物館友の会に関すること<br>◎ボランティア活動に関すること<br>◎展示ガイド養成に関すること<br>◎体験学習教室・夏休み子ども教室の企画及び野外展示の活用に関すること<br>◎文化講座の企画等に関すること<br>◎ふれあい体験室の運営に関すること<br>◎学校連携及び博物館教育普及事業に関すること<br>○移動展（渡嘉敷村）に関すること<br>○ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |

| 職　　名 | 氏　　名 | 担　　当　　業　　務 |
|---|---|---|
| 主任学芸員<br>（再任用・<br>民俗） | 大湾　ゆかり | ◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること<br>◎博物館総合・部門展示（民俗資料）に関すること<br>◎屋外展示（民家・高倉）に関すること<br>◎琉球三線楽器保存・育成会に関すること<br>◎三の丸尚蔵館「皇室の美と沖縄ゆかりの品々」展に関すること<br>◎「デジタルミュージアム事業」の管理・運営に関すること<br>◎民俗文化財調査（厨子甕）に関すること<br>◎全国歴史民俗系博物館協議会に関すること<br>◎企画展示室・特別展示室の不具合ヵ所の修繕に関すること<br>◎屋外展示有用植物園の管理に関すること<br>〇ＩＰＭ及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること<br>〇令和4年度復帰50年特別展「沖縄復帰後」展に関すること<br>〇令和4年度復帰50年「琉球」展に関すること<br>〇東博九博特別展「琉球」に関すること<br>〇琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること<br>〇大嶺薫コレクション展に関すること<br>〇「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関すること<br>〇その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>（再任用・<br>学芸業務補佐） | 園原　　謙 | ◎公文書（旧博物館資料）の整理に関すること<br>〇琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること<br>〇令和4年度復帰50年「琉球」展及び「沖縄復帰後」展に関すること<br>〇東博九博特別展「琉球」に関すること<br>〇博物館班業務全般の支援に関すること<br>〇民俗・美工・歴史分野資料の収集・保管・整理・調査研究・展示公開等の支援に関すること<br>〇写真資料等の整理の支援に関すること<br>〇大嶺薫コレクション展の支援に関すること<br>〇企画展示室・特別展示室の不具合ヵ所の修繕等の支援に関すること<br>〇「在外琉球王国文化財調査研究事業」の支援に関すること<br>〇首里城火災資料の管理に関すること<br>〇その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 主任学芸員<br>（再任用・<br>学芸業務補佐） | 與那嶺 一子 | ◎公文書（旧博物館資料）の整理に関すること<br>〇琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること<br>〇三の丸尚蔵館「皇室の美と沖縄ゆかりの品々」展に関すること<br>〇令和4年度復帰50年「沖縄復帰後」及び「琉球」展に関すること<br>〇東博九博特別展「琉球」に関すること<br>〇博物館班業務全般の支援に関すること<br>〇美術工芸資料の収集・保管・整理・調査研究・展示公開等の支援に関すること<br>〇博物館総合・部門展示（美術工芸等）の支援に関すること<br>〇写真資料等の整理の支援に関すること<br>〇大嶺薫コレクション展の支援に関すること<br>〇博物館資料修理事業の支援に関すること<br>〇博物館資料収集事業(博物館美術品購入基金)の支援に関すること<br>〇「在外琉球王国文化財調査研究事業」の支援に関すること<br>〇首里城火災資料の管理に関すること<br>〇学芸員ゼミに関すること<br>〇その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 会計年度職員<br>（学芸業務<br>補助） | 勝連　涼子 | ◎博物館『年報』の編集・発行に関すること<br>◎寄贈図書類の回覧に関すること<br>〇写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関すること<br>〇公文書の整理に関すること<br>〇写真資料等の整理に関すること<br>〇発送業務等の集約に関すること<br>〇展示公開事業の補佐に関すること<br>〇学芸員業務の補佐に関すること<br>〇学芸研究資料室の図書に関すること<br>〇その他、上司が特に命ずる事項に関すること |

| 職　名 | 氏　名 | 担　当　業　務 |
|---|---|---|
| 会計年度職員（教育普及業務補助） | 照屋　杏奈 | ○ボランティア活動の連絡調整に関すること<br>○視聴覚機器の整理・保管に関すること<br>○博物館学習への各種照会事項対応に関すること<br>○教育普及担当学芸員の補佐に関すること<br>○教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関すること<br>○博物館学習等の調査研究に関すること<br>○文化講座の企画等に関すること<br>○ふれあい体験室の運営に関すること<br>○常設・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 会計年度職員（事務補助・一括交付金業務） | 玉城　知子 | ○一括交付金事業「琉球王国文化遺産集積･再興事業」の事務補助（巡回展関連の旅費、需用費の執行補助等）に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |
| 会計年度職員（事務補助） | 松本　芙多葉 | ○「坂口総一郎等当館植物標本整理・発信事業」に関すること<br>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること |

（美術館班）

| 職　　名 | 氏　　名 | 担　　当　　業　　務 |
|---|---|---|
| 副館長<br>兼美術館班長 | 大川　　剛 | ◎美術館業務の総括に関すること<br>◎館長の補佐に関すること。<br>◎外郭団体等への対応に関すること<br>◎指定管理者との連絡調整に関すること<br>○その他、特に上司が命じる事項に関すること |
| 主任学芸員 | 豊見山　愛 | ◎調査研究活動に関すること<br>◎「琉球の横顔展」、「川平惠造展」に関すること<br>◎近現代美術の研究に関すること<br>◎展覧会計画策定に関すること<br>◎調査研究の照会に関すること<br>○その他、特に上司が命じる事項に関すること |
| 主任学芸員 | 玉城　早苗 | ◎教育普及活動に関すること<br>◎教育普及活動の調査・研究に関すること<br>◎移動展、「沖縄美術の流れ展」に関すること<br>◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等に関すること<br>○その他、特に上司の命じる事項に関すること |
| 主　　任 | 梶原　正史 | ◎資料保存管理活動に関すること<br>◎保存修復の研究に関すること<br>◎「沖縄美術の流れ展」、移動展(副)に関すること<br>○その他、特に上司が命じる事項に関すること |
| 主　　任 | 亀海　史明 | ◎資料収集活動に関すること<br>◎写真・映像の研究に関すること<br>◎「石川真生展」、「沖縄美術の流れ展」、「復帰50周年展」に関すること<br>◎美術館資源発信基盤整備事業に関すること<br>○その他、特に上司が命じる事項に関すること |
| 主　　任 | 大城　さゆり | ◎展示公開活動に関すること<br>◎共催、協力、後援事業に関すること<br>◎近現代美術の研究に関すること<br>◎「琉球の横顔展(副)」、「REFLECTIONS展」、「復帰50周年展(副)」に関すること<br>○その他、特に上司が命じる事項に関すること |
| 会計年度職員（美術品調査員） | 喜納　祥子 | ○作品の調査に関すること<br>○収蔵品のデータベース及び画像管理・貸出に関すること |

| | | |
|---|---|---|
| 会計年度職員（学芸業務補助） | 又吉　貴美子 | ◎展示公開事業の補佐に関すること<br>◎教育担当学芸員の補佐に関すること<br>◎保存修復担当学芸員の補佐に関すること<br>○美術館資料調査、収集及び整理に関すること |
| 会計年度職員（事務補助） | 奥平　こずえ | ◎文書の収受、発送に関すること<br>◎図書の受付、整理に関すること<br>○文書等の整理、保管に関すること<br>○業務補助に関すること |
| 会計年度職員（事務補助） | 玉利　　咲 | ○美術館二次資料の整理、データ化に関すること |

【人事異動】　　2022年４月１日　現在

| | 班　名 | 職　名 | 氏　名 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 転出 | | 博物館副館長 | 上原　毅 | 議会事務局（政務調査課） |
| | | 美術館副館長兼班長 | 仲嶺　香代 | 石嶺中学校 |
| | 博物館班 | 学芸員 | 阿利　よし乃 | 退職（＊３月31日） |
| 転入 | | 博物館副館長 | 中里　智子 | 雇用政策課（中小企業支援課兼務） |
| | | 美術館副館長兼班長 | 大川　剛 | 宇栄原小学校 |
| | 博物館班 | 主任学芸員 | 園原　謙 | 空手振興課（再任用） |

## Ⅴ 沖縄県立博物館・美術館協議会

日　時：2023年２月８日（水）14:00～15:30
議　題：第８期委員について（文化財課）
　　　　協議会会長及び副会長の選任
　　　　令和４年度事業報告及び令和５年度事業計画について（指定管理者、県博物館班、県美術館班）

沖縄県立博物館・美術館協議会委員名簿　　（任期：2022年７月10日～2024年７月９日）

| 分　野 | | 氏　名 | 所　属 | 職　名 |
|---|---|---|---|---|
| 学識経験者 | 自然史 | ◎濱口　寿夫 | 中城村護佐丸歴史資料図書館 | 館　長 |
| | 歴　史 | 里井　洋一 | 元琉球大学 | 名誉教授 |
| | 考　古 | 上原　靜 | 元沖縄国際大学 | 名誉教授 |
| | 民　俗 | 稲福みき子 | 元沖縄国際大学 | 名誉教授 |
| | 人　類 | 石田　肇 | 元琉球大学医学部 | 元医学部長 |
| | 工芸技術（漆芸） | 宮里　正子 | 元浦添市美術館 | 元 館 長 |
| | 美術（立体） | 西村　貞雄 | 元琉球大学 | 名誉教授 |
| | 美術（写真） | ○仲本　賢 | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部 | 教　授 |
| | 観光行政学 | 下地　芳郎 | 沖縄観光コンベンションビューロー | 会　長 |
| 学校教育関係者 | 小学校教育 | 川満　恵昌 | 沖縄県小学校長会 | 副 会 長 |
| | 中学校教育 | 與那覇　直樹 | 沖縄県中学校長会 | 副 会 長 |
| | 高校教育 | 上江洲　隆 | 沖縄県高等学校長会 | 副 会 長 |
| 社会教育・家庭教育関係者 | 社会教育 | 田端　一正 | 沖縄県社会教育委員連絡協議会 | 会　長 |
| | 家庭教育 | 下地　イツ子 | 沖縄県高等学校PTA連合会 | 会　長 |

（◎会長、○副会長　2023年３月31日現在）

単位：千円

## Ⅵ 予　算

2022年度　歳出状況（決算）

| | 博物館・美術館指定管理費 | 博物館・美術館費 | 博物館・美術館保全修繕事業 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業 | 美術館資源発信基盤整備事業 | 在外琉球王国文化財調査研究事業 | 復帰50年特別展「沖縄復帰後」展 | 沖縄県立博物館・美術館重要文化財保存管理（修理修復）事業 | 復帰50年展「琉球－美とその背景－」 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 報　酬 | | 12, 347 | | 1, 451 | 1, 728 | | | | 54 | 16, 651 |
| 報償費 | | 266 | | 668 | | | | | | 934 |
| 旅　費 | | 3, 839 | | 2, 288 | 93 | | 777 | 194 | 3, 140 | 9, 360 |
| 需用費 | | 17, 824 | 1, 595 | 132 | 205 | 100 | | 11 | | 19, 767 |
| 役務費 | | 2, 795 | | 4 | | | 0 | | | 2, 799 |
| 委託料 | 336, 440 | 25, 970 | 6, 506 | 10, 000 | | | 5, 982 | 2, 243 | 10, 378 | 397, 519 |
| 使用料及び賃借料 | | 4, 417 | | 27 | | | 33 | | 124 | 4, 601 |
| 備　品購入費 | | 8, 796 | | | | | | | | 8, 796 |
| 負担金、補助及び交付金 | | 95 | | | | | | | | 95 |
| 公課費 | | 57 | | | | | | | | 57 |
| 繰出金 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 合　計 | 336, 440 | 76, 407 | 8, 101 | 14, 570 | 2, 026 | 100 | 6, 791 | 2, 449 | 13, 696 | 460, 580 |

※本庁執行分を含む

2022年度　歳入状況（決算）　　単位：千円

| | 収入金額 | 説　　　明 |
|---|---|---|
| 土 地 使 用 料 | 33 | 自動販売機土地使用料等 |
| 建 物 使 用 料 | 1, 265 | 喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料等 |
| 国 庫 補 助 金 | 13, 800 | 沖縄振興特別推進交付金、文化庁補助金 |
| 雑　　　入 | 2, 121 | 土地使用に係る電気料金、雇用保険料等 |
| 合　　　計 | 17, 219 | ※本庁収納分を除く |

## Ⅶ 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2023年３月31日　現在

| | 分類 | 件数 | 小計 |
|---|---|---|---|
| 博物館 | 自然史 | 57,330 | 100,888 |
| | 人類 | 131 | |
| | 美術工芸 | 11,024 | |
| | 歴史 | 14,681 | |
| | 考古 | 9,771 | |
| | 民俗 | 7,951 | |
| 美術館 | 平面 | 1,920 | 4,830 |
| | 立体 | 283 | |
| | 写真・映像 | 2,598 | |
| | その他 | 29 | |
| 総計 | | | 105,718 |

# 利用統計

Ⅰ　入館者統計
Ⅱ　施設利用者統計

# Ⅰ 入館者統計

## 1 総入館者集計

（単位：人）

| 年 | 月 | 博物館 | | | | | | | | | | | | 美術館 | | | | | | | | | 全体 | | | | 総入館者 | 開館日数 | 一日平均入館者数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 常設展 | | | 企画展 | | | 特別展 | | | 全体 | | | コレクション展 | | | 企画展 | | | 全体 | | | 展示室合計 | | | 展示以外（共有） | | | |
| | | 有料 | 無料 | 小計 | 有料 | 無料 | 小計 | 有料 | 無料 | 小計 | 有料 | 無料 | 合計 | 有料 | 無料 | 小計 | 有料 | 無料 | 小計 | 有料 | 無料 | 合計 | 有料 | 無料 | 合計 | | | | |
| 2022（令和4） | 4 | 3,536 | 1,640 | 5,176 | 6,850 | 158 | 7,008 | | | 0 | 10,386 | 1,798 | 12,184 | 1,602 | 941 | 2,543 | | | 0 | 1,602 | 941 | 2,543 | 11,988 | 2,739 | 14,727 | 4,374 | 19,101 | 26 | 735 |
| | 5 | 5,428 | 2,062 | 7,490 | 5,144 | 218 | 5,362 | | | 0 | 10,572 | 2,280 | 12,852 | 2,596 | 1,053 | 3,649 | | | 0 | 2,596 | 1,053 | 3,649 | 13,168 | 3,333 | 16,501 | 6,550 | 23,051 | 26 | 887 |
| | 6 | 3,784 | 1,490 | 5,274 | | | 0 | | | 0 | 3,784 | 1,490 | 5,274 | 1,775 | 579 | 2,354 | | | 0 | 1,775 | 579 | 2,354 | 5,559 | 2,069 | 7,628 | 7,904 | 15,532 | 24 | 647 |
| | 7 | 4,288 | 2,107 | 6,395 | | | 0 | 1,717 | 164 | 1,881 | 6,005 | 2,271 | 8,276 | 950 | 355 | 1,305 | 12,525 | 2,784 | 15,309 | 13,475 | 3,139 | 16,614 | 19,480 | 5,410 | 24,890 | 9,006 | 33,896 | 21 | 1,614 |
| | 8 | 5,626 | 2,811 | 8,437 | | | 0 | 4,951 | 348 | 5,299 | 10,577 | 3,159 | 13,736 | 2,588 | 958 | 3,546 | 26,356 | 5,407 | 31,763 | 28,944 | 6,365 | 35,309 | 39,521 | 9,524 | 49,045 | 15,896 | 64,941 | 26 | 2,498 |
| | 9 | 3,978 | 2,278 | 6,256 | | | 0 | 3,099 | 372 | 3,471 | 7,077 | 2,650 | 9,727 | 2,493 | 1,072 | 3,565 | 3,161 | 899 | 4,060 | 5,654 | 1,971 | 7,625 | 12,731 | 4,621 | 17,352 | 4,262 | 21,614 | 26 | 831 |
| | 10 | 4,288 | 2,726 | 7,014 | 2,814 | 467 | 3,281 | | | 0 | 7,102 | 3,193 | 10,295 | 2,309 | 1,446 | 3,755 | | | 0 | 2,309 | 1,446 | 3,755 | 9,411 | 4,639 | 14,050 | 6,952 | 21,002 | 26 | 808 |
| | 11 | 5,046 | 6,569 | 11,615 | 5,900 | 1,012 | 6,912 | | | 0 | 10,946 | 7,581 | 18,527 | 2,302 | 3,179 | 5,481 | 2,007 | 186 | 2,193 | 4,309 | 3,365 | 7,674 | 15,255 | 10,946 | 26,201 | 4,349 | 30,550 | 26 | 1,175 |
| | 12 | 7,451 | 3,517 | 10,968 | 1,493 | 367 | 1,860 | | | 0 | 8,944 | 3,884 | 12,828 | 2,970 | 1,591 | 4,561 | 2,549 | 121 | 2,670 | 5,519 | 1,712 | 7,231 | 14,463 | 5,596 | 20,059 | 4,708 | 24,767 | 24 | 1,032 |
| 2023（令和5） | 1 | 4,927 | 2,585 | 7,512 | 1,488 | 335 | 1,823 | | | 0 | 6,415 | 2,920 | 9,335 | 2,186 | 902 | 3,088 | 1,814 | 239 | 2,053 | 4,000 | 1,141 | 5,141 | 10,415 | 4,061 | 14,476 | 7,935 | 22,411 | 24 | 934 |
| | 2 | 5,645 | 2,391 | 8,036 | 3,014 | 751 | 3,765 | | | 0 | 8,659 | 3,142 | 11,801 | 2,696 | 1,161 | 3,857 | | | 0 | 2,696 | 1,161 | 3,857 | 11,355 | 4,303 | 15,658 | 12,976 | 28,634 | 24 | 1,193 |
| | 3 | 7,573 | 2,003 | 9,576 | | | 0 | | | 0 | 7,573 | 2,003 | 9,576 | 3,388 | 1,058 | 4,446 | | | 0 | 3,388 | 1,058 | 4,446 | 10,961 | 3,061 | 14,022 | 7,757 | 21,779 | 27 | 807 |
| 合計 | | 61,570 | 32,179 | 93,749 | 26,703 | 3,308 | 30,011 | 9,767 | 884 | 10,651 | 98,040 | 36,371 | 134,411 | 27,855 | 14,295 | 42,150 | 48,412 | 9,636 | 58,048 | 76,267 | 23,931 | 100,198 | 174,307 | 60,302 | 234,609 | 92,669 | 327,278 | 300 | 1,091 |
| 目標 | | 41,756 | | | 11,705 | | | 8,220 | | | 61,681 | | | 19,652 | | | 57,624 | | | 77,276 | | | 138,957 | | | | | | |
| 達成率 | | 147.45% | | | 228.13% | | | 118.82% | | | 158.95% | | | 141.74% | | | 84.01% | | | 98.69% | | | 125.44% | | | | | | |

## 2 団体別入館者集計

（単位：人）

| 項目 | 県内 | | | | | | | | | | 県外 | | | | | | | | | | 国外 | | | | | | | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小中生 | | 高大生 | | 特別支援 | | その他 | | 小計 | | 小中生 | | 高大生 | | 特別支援 | | その他 | | 小計 | | 小中生 | | 高大生 | | 特別支援 | | 小計 | | | |
| | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 |
| 4月 | 2 | 67 | 1 | 243 | 0 | 0 | 1 | 14 | 4 | 324 | 2 | 35 | 1 | 12 | 0 | 0 | 0 | | 3 | 47 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 371 |
| 5月 | 1 | 14 | 2 | 35 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 49 | 2 | 335 | 1 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 365 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 414 |
| 6月 | 6 | 325 | 2 | 48 | 2 | 59 | 1 | 12 | 11 | 444 | 2 | 144 | 1 | 258 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 402 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 846 |
| 7月 | 2 | 84 | 6 | 201 | 2 | 69 | 15 | 297 | 25 | 651 | 0 | 0 | 1 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 26 | 663 |
| 8月 | 0 | 0 | 1 | 38 | 0 | 0 | 44 | 1,143 | 45 | 1,181 | 0 | 0 | 2 | 64 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 64 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47 | 1,245 |
| 9月 | 17 | 1,242 | 3 | 52 | 1 | 18 | 4 | 95 | 25 | 1,407 | 0 | 0 | 1 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 26 | 1,420 |
| 10月 | 19 | 1,305 | 3 | 151 | 3 | 57 | 0 | 0 | 25 | 1,513 | 1 | 19 | 5 | 89 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 108 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 31 | 1,621 |
| 11月 | 28 | 1,702 | 7 | 591 | 2 | 55 | 1 | 19 | 38 | 2,367 | 2 | 370 | 7 | 499 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 869 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47 | 3,236 |
| 12月 | 24 | 1,650 | 5 | 157 | 6 | 121 | 2 | 33 | 37 | 1,961 | 1 | 226 | 13 | 1,474 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 1,700 | 1 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 28 | 52 | 3,689 |
| 1月 | 14 | 1,189 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 19 | 15 | 1,208 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 1,208 |
| 2月 | 11 | 1,015 | 2 | 100 | 2 | 57 | 1 | 98 | 16 | 1,270 | 0 | 0 | 1 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 15 | 2 | 72 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 72 | 19 | 1,357 |
| 3月 | 4 | 362 | 5 | 158 | 0 | 0 | 3 | 101 | 12 | 621 | 0 | 0 | 2 | 455 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 455 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 1,076 |
| 合計 | 128 | 8,955 | 37 | 1,774 | 18 | 436 | 73 | 1,831 | 256 | 12,996 | 10 | 1,129 | 35 | 2,921 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 | 4,050 | 3 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 100 | 304 | 17,146 |

※「その他」の団体に含まれるのは、保育園、幼稚園、学童クラブなどの教育施設団体

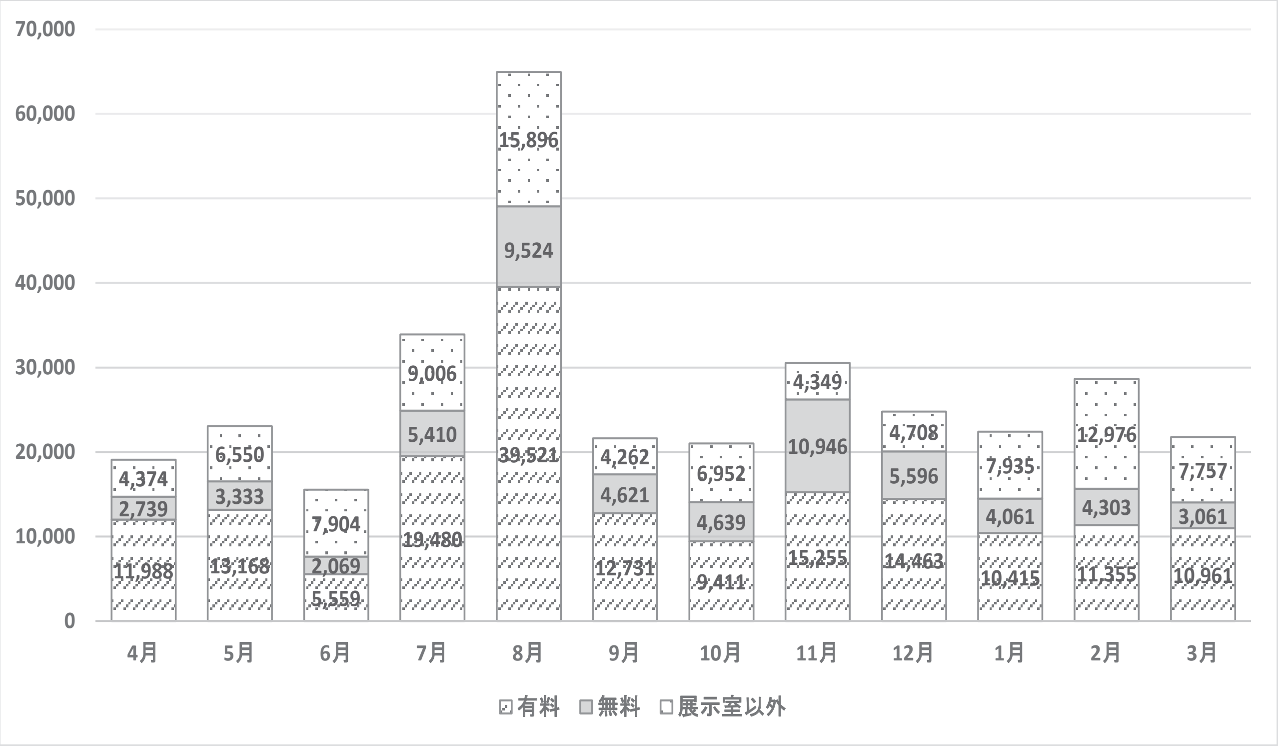
## 3 展覧会別入館者集計

（単位：人）

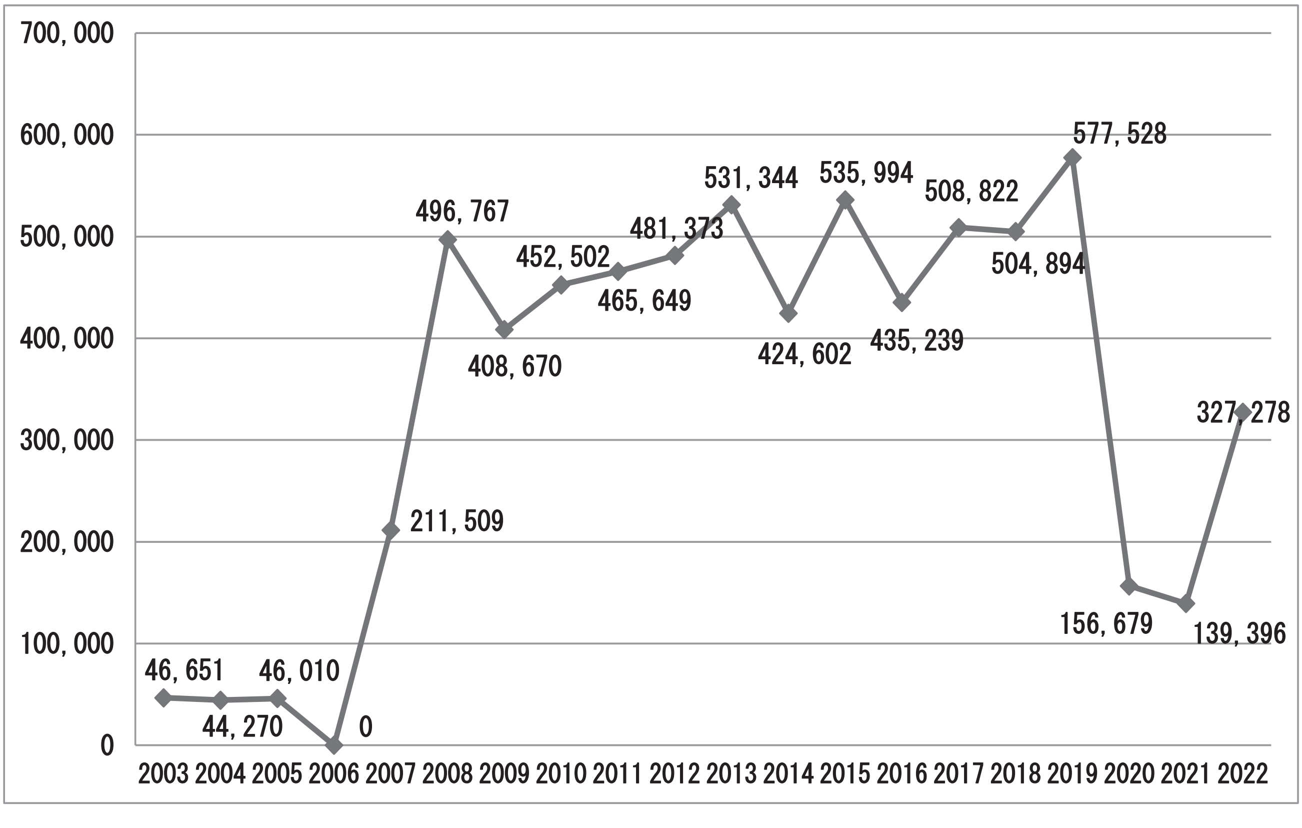
| | 展覧会名 | 観覧者区分 | 当日券 | 団体券 | 前売券 | 1Day Passport | 年間パス | その他割引 | 優待(障がい) | 有料者合計 | 優待(障がい) | 無料者数 | 総合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 博物館 | 企画展「悠久のシルクロード展」 | 一般 | 6,687 | 3 | 721 | 1,274 | 230 | 1,246 | 525 | 10,686 | 0 | 181 | 10,867 |
| | | 高・大学生 | 262 | 0 | 20 | 119 | 0 | 70 | 9 | 480 | 0 | 0 | 480 |
| | | 小・中学生 | 619 | 3 | 44 | 82 | 0 | 68 | 12 | 828 | 0 | 195 | 1,023 |
| | 特別展「沖縄、復帰後。展」 | 一般 | 4,243 | 55 | 37 | 2,058 | 162 | 364 | 323 | 7,242 | 0 | 620 | 7,862 |
| | | 高・大学生 | 541 | 0 | 1 | 621 | 0 | 120 | 15 | 1,298 | 0 | 0 | 1,298 |
| | | 小・中学生 | 638 | 12 | 6 | 517 | 0 | 27 | 27 | 1,227 | 0 | 264 | 1,491 |
| | 企画展「琉球―美とその背景―」 | 一般 | 5,847 | 131 | 211 | 2,361 | 251 | 422 | 0 | 9,223 | 799 | 537 | 10,559 |
| | | 高・大学生 | 266 | 27 | 1 | 305 | 0 | 107 | 0 | 706 | 5 | 143 | 854 |
| | | 小・中学生 | 201 | 19 | 4 | 48 | 0 | 6 | 0 | 278 | 9 | 353 | 640 |
| | 企画展「皇室の美と沖縄ゆかりの品々」 | 一般 | 2,116 | 0 | 63 | 1,487 | 130 | 0 | 149 | 3,945 | 427 | 388 | 4,760 |
| | | 高・大学生 | 145 | 0 | 0 | 275 | 0 | 0 | 35 | 455 | 1 | 51 | 507 |
| | | 小・中学生 | 67 | 0 | 0 | 34 | 0 | 0 | 1 | 102 | 6 | 213 | 321 |
| 美術館 | 企画展「スケスケ展」 | 一般 | 18,257 | 220 | 2,290 | 1,921 | 192 | 630 | 1,017 | 24,527 | 0 | 566 | 25,093 |
| | | 高・大学生 | 934 | 80 | 63 | 401 | 0 | 92 | 65 | 1,635 | 0 | 0 | 1,635 |
| | | 小・中学生 | 12,399 | 666 | 1,551 | 538 | 0 | 336 | 390 | 15,880 | 0 | 8,524 | 24,404 |
| | 企画展「平良孝七展」 | 一般 | 1,777 | 1 | 32 | 3,085 | 161 | 230 | 178 | 5,464 | 0 | 462 | 5,926 |
| | | 高・大学生 | 131 | 54 | 1 | 472 | 0 | 51 | 2 | 711 | 0 | 4 | 715 |
| | | 小・中学生 | 67 | 0 | 1 | 121 | 0 | 0 | 6 | 195 | 0 | 80 | 275 |
| | 合計 | 一般 | 38,927 | 410 | 3,354 | 12,186 | 1,126 | 2,892 | 2,192 | 61,087 | 1,226 | 2,754 | 65,067 |
| | | 高・大学生 | 2,279 | 161 | 86 | 2,193 | 0 | 440 | 126 | 5,285 | 6 | 198 | 5,489 |
| | | 小・中学生 | 13,991 | 700 | 1,606 | 1,340 | 0 | 437 | 436 | 18,510 | 15 | 9,629 | 28,154 |

※博物館企画展に関しては、優待（障がい者）は無料者数へ含む。

４ 2022年度（令和４）月間別入館者数




５ 年間入館者数の年次推移




※2006年は移転新築のため休館、新博物館は2007年度から開館【11月3日～2008年度３月（５カ月）】

## 6 減免申請集計

（単位：人）

| 項　目 | | 学校関係（下見） | | 旅行社関係（視察・引率） | | ﾏｽｺﾐ関係（視察） | | 福祉関係（引率） | | 博物館・美術館関係者（視察） | | その他 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 団体数 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体 | 人数 | 団体 | 人数 | 団体数 | 人数 | 団体 | 人数 | 団体数 | 人数 |
| 2022 | ４月 | 4 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 7 |
| | ５月 | 4 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 11 |
| | ６月 | 3 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 6 |
| | ７月 | 13 | 39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 39 |
| | ８月 | 30 | 103 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 34 | 31 | 137 |
| | ９月 | 6 | 14 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 60 | 8 | 76 |
| | 10月 | 6 | 12 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 15 |
| | 11月 | 8 | 24 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 25 |
| | 12月 | 12 | 44 | 5 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 59 |
| 2023 | １月 | 8 | 43 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 45 |
| | ２月 | 5 | 10 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 11 |
| | ３月 | 2 | 4 | 3 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 12 |
| 合　計 | | 101 | 317 | 15 | 32 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 94 | 118 | 443 |

## 7 団体入館内訳

**県内　小学校**　　延べ113校　7,839名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 26 | ｵｷﾅﾜｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｽｸｰﾙ | 16 |
| 2 | | 28 | 曙小学校 | 51 |
| 3 | 5 | 27 | 西辺小学校 | 14 |
| 4 | 6 | 3 | 真嘉比小学校 | 104 |
| 5 | | 3 | 海星小学校 | 18 |
| 6 | | 14 | ｵｷﾅﾜｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｽｸｰﾙ | 20 |
| 7 | | 17 | 黒島小学校 | 12 |
| 8 | | 26 | 狩俣小学校 | 11 |
| 9 | 7 | 12 | 新城小学校 | 32 |
| 10 | | 15 | Hope international Academy Okinawa | 52 |
| 11 | 8 | 9 | 与那原小学校 | 126 |
| 12 | | 9 | 下地小学校 | 38 |
| 13 | | 15 | ゆたか小学校 | 107 |
| 14 | | 16 | 宮里小学校 | 164 |
| 15 | | 16 | 上野小学校 | 46 |
| 16 | | 19 | 東小学校 | 72 |
| 17 | | 21 | 比屋根小学校 | 131 |
| 18 | | 22 | はごろも小学校 | 146 |
| 19 | | 22 | 久松小学校 | 66 |
| 20 | | 22 | 中城南小学校 | 157 |
| 21 | | 22 | 奥間小学校 | 14 |
| 22 | | 30 | 城辺小学校 | 19 |
| 23 | | 30 | 小浜小学校 | 15 |
| 24 | 10 | 5 | 湘南小学校 | 100 |
| 25 | | 5 | 高嶺小学校 | 46 |
| 26 | | 6 | 佐敷小学校 | 71 |
| 27 | | 6 | 天願小学校 | 116 |
| 28 | | 6 | 古見小学校 | 9 |
| 29 | | 7 | 与那国小学校 | 15 |
| 30 | | 7 | 北大東小学校 | 8 |
| 31 | | 7 | 西城小学校 | 22 |
| 32 | | 12 | 具志川小学校 | 55 |
| 33 | | 21 | 東小学校・高江小学校・有銘小学校 | 17 |
| 34 | | 26 | 古堅南小学校 | 107 |
| 35 | | 27 | 西小学校 | 26 |
| 36 | | 28 | 安富祖小学校 | 17 |
| 37 | | 28 | 古蔵小学校 | 143 |

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|
| 38 | 10 | 28 | 天底小学校 | 31 |
| 39 | | 28 | 北丘小学校 | 163 |
| 40 | 11 | 2 | 長田小学校 | 111 |
| 41 | | 2 | 喜屋武小学校 | 32 |
| 42 | | 2 | 宮良小学校 | 23 |
| 43 | | 4 | 曙小学校 | 46 |
| 44 | | 11 | 本部小学校 | 97 |
| 45 | | 11 | 伊良波小学校 | 97 |
| 46 | | 11 | 大謝名小学校 | 110 |
| 47 | | 16 | 座安小学校 | 84 |
| 48 | | 17 | 米須小学校 | 53 |
| 49 | | 17 | 北美小学校 | 114 |
| 50 | | 17 | 久高小学校 | 6 |
| 51 | | 17 | 白保小学校 | 16 |
| 52 | | 18 | 南大東小学校 | 22 |
| 53 | | 18 | 阿嘉小学校 | 7 |
| 54 | | 22 | 天妃小学校 | 61 |
| 55 | | 22 | 普天間小学校 | 116 |
| 56 | | 24 | 南原小学校 | 48 |
| 57 | | 24 | 恩納小学校 | 36 |
| 58 | | 25 | 中の町小学校 | 59 |
| 59 | | 25 | 羽地小学校 | 61 |
| 60 | | 25 | 真喜屋小学校 | 18 |
| 61 | | 25 | 屋我地ひるぎ学園 屋我地小学校 | 23 |
| 62 | | 29 | とよみ小学校 | 121 |
| 63 | | 29 | 真地小学校 | 81 |
| 64 | | 30 | 金武小学校 | 81 |
| 65 | | 30 | 鏡原小学校 | 47 |
| 66 | 12 | 1 | 新川小学校 | 73 |
| 67 | | 2 | 天久小学校 | 120 |
| 68 | | 2 | 上間小学校３年 | 91 |
| 69 | | 2 | 美崎小学校 | 21 |
| 70 | | 2 | 上間小学校５年 | 86 |
| 71 | | 6 | 南風原小学校 | 175 |
| 72 | | 7 | 百名小学校３年 | 34 |
| 73 | | 7 | 百名小学校５年 | 26 |
| 74 | | 8 | 天久小学校 | 111 |
| 75 | | 8 | 瀬喜田小学校 | 14 |

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|
| 76 | 12 | 9 | 嘉芸小学校 | 34 |
| 77 | | 9 | 阿波連小学校 | 7 |
| 78 | | 13 | 若狭小学校 | 59 |
| 79 | | 14 | 玉城小学校 | 80 |
| 80 | | 15 | 西崎小学校 | 115 |
| 81 | | 16 | 大名小学校 | 36 |
| 82 | | 16 | 伊江小学校 | 17 |
| 83 | | 20 | 小禄小学校 | 60 |
| 84 | | 22 | 上田小学校 | 164 |
| 85 | | 22 | 天久小学校 | 111 |
| 86 | | 23 | 松島小学校 | 106 |
| 87 | 1 | 12 | 真嘉比小学校 | 105 |
| 88 | | 13 | 上田小学校 | 52 |
| 89 | | 17 | 真和志小学校 | 82 |
| 90 | | 18 | 城岳小学校 | 90 |
| 91 | | 19 | 開南小学校 | 70 |
| 92 | | 20 | 松島小学校 | 115 |
| 93 | | 24 | 宇栄原小学校 | 90 |
| 94 | | 25 | 港川小学校 | 152 |
| 95 | | 26 | 仲西小学校 | 109 |
| 96 | | 27 | 松川小学校 | 105 |
| 97 | | 27 | 東江小学校 | 63 |
| 98 | | 27 | 越来小学校 | 56 |
| 99 | | 31 | 那覇小学校 | 84 |
| 100 | 2 | 1 | 小禄南小学校 | 117 |
| 101 | | 2 | 安謝小学校 | 101 |
| 102 | | 3 | 豊見城小学校 | 141 |
| 103 | | 7 | 横浜雙葉小学校 | 86 |
| 104 | | 8 | 城北小学校 | 89 |
| 105 | | 9 | 大道小学校 | 36 |
| 106 | | 9 | 銘苅小学校 | 104 |
| 107 | | 10 | 泊小学校 | 107 |
| 108 | | 10 | 米須小学校大度分校 | 14 |
| 109 | | 22 | さつき小学校 | 110 |
| 110 | | 24 | 沢岻小学校 | 110 |
| 111 | 3 | 2 | 具志頭小学校 | 14 |
| 112 | | 7 | 天久小学校 | 111 |
| 113 | | 7 | 垣花小学校 | 39 |

## 県内　中学校

延べ15校　1,116名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6 | 28 | 中城中学校 | 160 | 6 | 10 | 5 | 三和中学校 | 14 | 11 | 12 | 8 | 安慶田中学校 | 74 |
| 2 | 9 | 11 | 沖縄三育中学校 | 18 | 7 | | 7 | 潮平中学校 | 97 | 12 | | 11 | 興南中学校 | 6 |
| 3 | | 21 | 潮平中学校 | 53 | 8 | | 28 | 東風平中学校 | 248 | 13 | | 17 | 沖縄尚学附属中学校 | 30 |
| 4 | | 28 | 寄宮中学校 | 11 | 9 | 11 | 11 | 宜野湾中学校 | 7 | 14 | 1 | 28 | 座間味中学校 | 16 |
| 5 | | 29 | 沖縄カトリック中学校 | 59 | 10 | | 24 | 長嶺中学校 | 125 | 15 | 3 | 15 | 興南中学校 | 198 |

## 県内　高校

延べ23校　1.307名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 20 | 開邦高校 | 243 | 10 | 10 | 6 | 沖縄水産高等学校 | 43 | 16 | 12 | 11 | 興南高等学校 | 25 |
| 2 | 5 | 6 | 陽明高等学校 | 17 | 11 | | 21 | つくば開成国際高等学校 | 92 | 17 | | 13 | 真和志高等学校 | 9 |
| 3 | | 31 | 沖縄水産高校 | 18 | | | | | | 18 | | 16 | 浦添工業高等学校 | 79 |
| 4 | 7 | 12 | 美来工科高校 | 40 | 12 | 11 | 1 | 真和志高校 | 34 | 19 | 2 | 16 | 浦添工業高校 | 78 |
| 5 | | 15 | 陽明高校 | 23 | 13 | | 4 | 前原高校 | 323 | 20 | 3 | 3 | 首里高校 | 40 |
| 6 | | 15 | つくば開成国際高校 | 66 | 14 | | 18 | 陽明高校 | 20 | 21 | | 15 | 首里高校 | 51 |
| 7 | 9 | 9 | 石川高校 | 7 | 15 | | 30 | 星槎国際高校<br>那覇学習センター | 8 | 22 | | 16 | 首里高校 | 27 |
| 8 | | 27 | 真和志高校 | 13 | | | | | | 23 | | 17 | 首里高校 | 19 |
| 9 | | 27 | 真和志高校 | 32 | | | | | | | | | | |

## 県内　専門学校・大学

延べ14校　467名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6 | 11 | 沖縄国際大学阿利ゼミ | 23 | 7 | 10 | 13 | 沖縄国際大学山川ゼミ | 16 | 12 | 12 | 23 | サイ・テク・カレッジ<br>那覇 | 16 |
| 2 | | 18 | 沖縄国際大学 | 25 | 8 | 11 | 15 | 沖縄県立芸術大学 | 23 | | | | | |
| 3 | 7 | 8 | 沖縄大学 | 33 | 9 | | 16 | 沖縄大学 | 20 | 13 | 2 | 3 | 尚学院国際ビジネス<br>アカデミー | 22 |
| 4 | | 28 | 沖縄国際大学砂川ゼミ | 13 | 10 | | 17 | 尚学院国際ビジネス<br>アカデミー | 163 | | | | | |
| 5 | | 30 | エルケア医療保育専門<br>学校 | 26 | | | | | | 14 | 3 | 12 | 琉球大学 | 21 |
| 6 | 8 | 25 | 沖縄こども専門学校 | 38 | 11 | 12 | 9 | 沖縄国際大学（民俗・<br>人類学ゼミ） | 28 | | | | | |

## 県内　特別支援学校

延べ18校　436名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6 | 10 | 大平特別支援学校 | 29 | 8 | 10 | 26 | 沖縄市立教育研究所<br>適応指導教室すだち | 12 | 13 | 12 | 9 | 名護特別支援学校<br>高等部３年生 | 28 |
| 2 | | 24 | 那覇みらい支援学校 | 30 | | | | | | | | | | |
| 3 | 7 | 13 | はなさき支援学校 | 19 | 9 | 11 | 4 | 島尻特別支援学校<br>中等部 | 30 | 14 | | 9 | 那覇特別支援学校<br>高等部 | 22 |
| 4 | | 14 | 沖縄高等特別支援学校 | 50 | | | | | | | | | | |
| 5 | 9 | 14 | 美里中学校<br>（特別支援学級） | 18 | 10 | | 11 | はなさき支援学校 | 25 | 15 | | 14 | 読谷村青少年センター | 9 |
| | | | | | 11 | 12 | 1 | 美咲特別支援学校<br>教育センター分教室 | 27 | 16 | | 15 | 沖縄ろう学校 | 20 |
| 6 | 10 | 12 | 大平特別支援学校<br>中等部 | 25 | | | | | | 17 | 2 | 8 | 那覇みらい支援学校 | 21 |
| | | | | | 12 | | 7 | 那覇特別支援学校<br>高等部 | 15 | 18 | | 17 | 那覇みらい支援学校 | 36 |
| 7 | | 14 | 那覇みらい支援学校 | 20 | | | | | | | | | | |

## 県内　幼稚園・保育園・その他

延べ73校　1,831名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 29 | 小学生ユイマール塾 | 14 | 18 | 8 | 2 | はぐくみ児童クラブ | 82 | 37 | 8 | 16 | おきなわ edu | 20 |
| 2 | 6 | 15 | 赤道あおぞら保育園 | 12 | 19 | | 2 | よなは学童クラブ | 31 | 38 | | 16 | たくし学童クラブ | 36 |
| 3 | 7 | 9 | エスペラーサ FC　PSP | 20 | 20 | | 2 | しあわせ駅山内放課後<br>デイサービス | 18 | 39 | | 17 | 若竹保育園 | 30 |
| 4 | | 13 | ちゅら夢こども園 | 26 | 21 | | 2 | しあわせ駅松本放課後<br>デイサービス | 8 | 40 | | 17 | あすなろ児童クラブ | 31 |
| 5 | | 15 | ちゃちゃま保育園 | 13 | 22 | | 3 | しゅりの泉児童クラブ | 25 | 41 | | 17 | ライデックりんくる我<br>如古 | 20 |
| 6 | | 16 | フサトコーチング<br>アカデミー | 22 | 23 | | 3 | サニーハート児童クラブ | 15 | 42 | | 17 | 児童デイサービス発達<br>ラボナハ教室 | 14 |
| 7 | | 21 | メルシー保育園 | 18 | 24 | | 4 | 大地学童クラブ | 39 | 43 | | 18 | おもちゃ箱なご | 16 |
| 8 | | 22 | うるまわいどキッズ | 23 | 25 | | 4 | こもれび通所支援事業所 | 18 | 44 | | 19 | 未来キッズ学童クラブ | 51 |
| 9 | | 22 | はなぞの児童クラブ | 36 | 26 | | 5 | はなぞの児童クラブ | 27 | 45 | | 19 | なかやま児童クラブ | 37 |
| 10 | | 22 | 大芽学童クラブ | 40 | 27 | | 5 | ハッピースカイ | 6 | 46 | | 19 | いじゅの木ふるじま | 8 |
| 11 | | 23 | 放課後等デイサービス<br>このひかり赤野校 | 21 | 28 | | 5 | 放課後児童クラブアス<br>リート工房 | 10 | 47 | | 19 | リトルデイジー | 13 |
| 12 | | 26 | 放課後等デイサービス<br>らくしょう | 11 | 29 | | 6 | 放課後等デイサービス<br>果実の木 | 13 | 48 | | 19 | スマイル学童、ふれん<br>ず学童 | 35 |
| 13 | | 27 | 神森こすみれ<br>学童クラブ | 14 | 30 | | 9 | よなは学童クラブ | 21 | 49 | | 23 | よなは保育園 | 15 |
| 14 | | 28 | 放課後等デイサービス<br>未来の宝アダマス | 12 | 31 | | 9 | ドリームシップ大北 | 20 | 50 | | 23 | 児童デイサービス　て<br>ぃんくる | 14 |
| 15 | | 28 | 放課後等デイサービス<br>すてっぷ小禄 | 11 | 32 | | 10 | 児童デイサービス発達<br>ラボ首里教室 | 15 | 51 | | 23 | さくらキッズ２号館・<br>さくら児童クラブ | 31 |
| 16 | | 29 | みらい児童館 | 15 | 33 | | 10 | NPO 法人エンカレッジ | 26 | 52 | | 24 | ゆうわ認定こども園 | 20 |
| 17 | | 29 | 児童放課後等デイサー<br>ビスいじゅの木みはら | 15 | 34 | | 12 | 宮里キッズ学童クラブ | 59 | 53 | | 25 | ゆたか認定こども園 | 56 |
| | | | | | 35 | | 12 | 童夢児童クラブ | 37 | 54 | | 25 | 檜の森あすなろ<br>児童クラブ | 34 |
| | | | | | 36 | | 16 | ゆたか学童クラブ | 36 | | | | | |

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 55 | 8 | 25 | 認定こども園<br>はごろも保育園 | 28 | 61 | 8 | 31 | みずきこども園 | 33 | 67 | 12 | 27 | 琉球大学育成塾<br>「琉大ハカセ塾」 | 10 |
| 56 | | 26 | ゆうわ認定こども園 | 17 | 62 | 9 | 1 | まなぶ保育園 | 26 | 68 | | 27 | じどうクラブ<br>KANASA | 23 |
| 57 | | 27 | TORUS おきなわｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ | 13 | 63 | | 2 | 仲原保育園 | 31 | 69 | 1 | 28 | コーダー道場浦添 | 19 |
| 58 | | 30 | 海星学園 | 19 | 64 | | 3 | 児童デイサービス<br>まほろ高良 | 15 | 70 | 2 | 17 | 真嘉比こども園 | 98 |
| 59 | | 30 | コロニー児童<br>デイサービスにしはら | 9 | 65 | | 3 | 放課後デイサービス<br>DREAMSHIP | 23 | 71 | 3 | 7 | そらいろえん | 20 |
| 60 | | 31 | 森川保育園 | 37 | 66 | 11 | 3 | 児童デイサービスまほろ那覇国場 | 19 | 72 | | 23 | あめく児童クラブ | 36 |
| | | | | | | | | | | 73 | | 30 | みどり学童クラブ | 45 |

## 県外　小学校　　延べ２校　194名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6 | 17 | 目黒星美学園小学校<br>（東京都） | 115 | 2 | 11 | 1 | 和光小学校<br>（東京都） | 79 |

## 県外　中学校　　延べ８校　935名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 14 | 静岡大学教育学部附属島田中学校（静岡県） | 29 | 4 | 5 | 31 | 青山学院中等部<br>（東京都） | 264 | 7 | 11 | 3 | 愛知淑徳中学校<br>(愛知県) | 291 |
| 2 | | 21 | 愛知教育大学附属岡崎中学校（愛知県） | 6 | 5 | 6 | 16 | 宮津中学校<br>（京都府） | 29 | 8 | 12 | 9 | 東京女学館中学校<br>（東京都） | 226 |
| 3 | 5 | 24 | 箕面市立第二中学校<br>(大阪府) | 71 | 6 | 10 | 20 | 南アルプス子どもの村中学校（山梨県） | 19 | | | | | |

## 県外　高校学校　　延べ30校　2,844名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5 | 25 | 豊橋工科高校定時制<br>(愛知県) | 30 | 11 | 11 | 10 | 鎌倉女学院高校<br>（神奈川県） | 161 | 21 | 12 | 9 | 愛知同朋高校１団<br>（愛知県） | 39 |
| 2 | 6 | 15 | 啓明学院高等学校<br>(兵庫県) | 258 | 12 | | 10 | 千里青雲高校(大阪府) | 118 | 22 | | 10 | 愛知同朋高校２団<br>（愛知県） | 25 |
| 3 | 8 | 31 | 立命館宇治高等学校<br>(京都府) | 56 | 13 | | 11 | 浜松西高校（静岡県） | 100 | 23 | | 11 | 愛知同朋高校３団<br>（愛知県） | 21 |
| 4 | 10 | 19 | 日大桜ヶ丘高校<br>（東京都） | 15 | 14 | | 12 | 学校法人コリア国際学園<br>（大阪府） | 13 | 24 | | 11 | 信太高校（大阪府） | 243 |
| 5 | | 26 | 清風高校１班(大阪府) | 21 | 15 | 12 | 2 | 宇都宮短期大学付属高校<br>（栃木県） | 105 | 25 | | 13 | 松商学園高校<br>（長野県） | 28 |
| 6 | | 27 | 清風高校２班(大阪府) | 18 | 16 | | 3 | 宇都宮短期大学付属高校<br>（栃木県） | 274 | 26 | | 13 | 大分上野丘高校<br>（大分県） | 56 |
| 7 | | 28 | 清風高校３班(大阪府) | 3 | 17 | | 4 | 越ケ谷高等学校<br>（埼玉県） | 331 | 27 | | 14 | 神奈川大学附属<br>高校（神奈川県） | 80 |
| 8 | 11 | 3 | 科学技術学園高校<br>（東京都） | 32 | 18 | | 6 | 呉三津田高校<br>（広島県） | 190 | 28 | 2 | 23 | サンデザイン専門学校<br>高等課程（愛知県） | 15 |
| 9 | | 5 | 柏高校（千葉県） | 37 | 19 | | 7 | 足利工業高校<br>（栃木県） | 37 | 29 | 3 | 12 | 同志社女子高校<br>（京都府） | 267 |
| | | 4 | 市川高校（千葉県） | 38 | 20 | | 8 | 早稲田実業学校高等部<br>B組（東京都） | 45 | 30 | | 26 | 広島学院高校<br>（広島県） | 188 |

## 県外　専門学校・大学　　延べ５校　77名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 19 | 東洋きもの専門学校<br>（大阪府） | 12 | 3 | 8 | 30 | 明治学院大学<br>（東京都） | 8 | 5 | 10 | 15 | JAPAN サッカーカレッジ（新潟県） | 32 |
| 2 | 7 | 29 | 一橋大学（東京都） | 12 | 4 | 9 | 9 | 札幌大学(北海道) | 13 | | | | | |

## 国外　その他（沖縄の米軍基地内含む）　　延べ４校　120名

| No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 | No. | 月 | 日 | 学校名 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 12 | 13 | 青い森ヴァルドルフ<br>学校（韓国） | 20 | 2 | 12 | 21 | Kadena Youth Center | 28 | 4 | 2 | 12 | メリーランド大学 | 26 |
| | | | | | 3 | 2 | 4 | カデナハイスクール | 46 | | | | | |

# Ⅱ 施設利用者統計

## 1 月別施設利用集計

（単位：日数）

| 項目 | 博物館 | | | | | 美術館 | | | | | | | | | | | 共有 | | その他 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 企画展示室 | 特別展示室 | 博物館講座室 | 博物館実習室 | 博物館屋外展示場 | 企画ギャラリー1 | 企画ギャラリー2 | 美術館講座室 | 県民アトリエ | こどもアトリエ | スタジオ | 県民ギャラリー1 | 県民ギャラリー2 | 県民ギャラリー3 | 美術館屋外展示場 | 中庭 | 講堂 | エントランス | 3階回廊 | 講堂前ホワイエ | 正面玄関雨端 | 計 | 貸出可能日 |
| 4月 | 26 | 26 | 11 | 13 | 0 | 0 | 0 | 14 | 4 | 2 | 8 | 11 | 9 | 0 | 0 | 0 | 14 | 20 | 0 | 0 | 0 | 158 | 26 |
| 5月 | 9 | 9 | 19 | 11 | 1 | 0 | 0 | 16 | 11 | 5 | 7 | 19 | 19 | 18 | 1 | 0 | 15 | 26 | 0 | 0 | 0 | 186 | 26 |
| 6月 | 0 | 0 | 17 | 11 | 0 | 0 | 0 | 21 | 5 | 4 | 7 | 17 | 11 | 9 | 0 | 0 | 10 | 19 | 0 | 0 | 0 | 131 | 24 |
| 7月 | 21 | 21 | 20 | 13 | 0 | 21 | 21 | 16 | 7 | 6 | 8 | 21 | 21 | 21 | 0 | 1 | 14 | 21 | 0 | 17 | 0 | 270 | 21 |
| 8月 | 26 | 26 | 22 | 20 | 0 | 26 | 26 | 21 | 23 | 23 | 22 | 26 | 24 | 20 | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 324 | 26 |
| 9月 | 26 | 26 | 21 | 9 | 0 | 26 | 26 | 23 | 8 | 6 | 11 | 18 | 15 | 19 | 0 | 0 | 10 | 26 | 0 | 26 | 0 | 296 | 26 |
| 10月 | 26 | 26 | 22 | 13 | 0 | 44 | 2 | 22 | 18 | 17 | 16 | 26 | 26 | 26 | 0 | 0 | 15 | 26 | 0 | 26 | 0 | 351 | 26 |
| 11月 | 26 | 26 | 23 | 20 | 3 | 26 | 26 | 24 | 10 | 7 | 14 | 24 | 22 | 18 | 1 | 0 | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 292 | 26 |
| 12月 | 10 | 10 | 18 | 18 | 1 | 24 | 24 | 20 | 8 | 7 | 14 | 21 | 13 | 16 | 0 | 0 | 22 | 24 | 0 | 0 | 0 | 250 | 24 |
| 1月 | 24 | 24 | 18 | 15 | 1 | 22 | 17 | 19 | 5 | 5 | 10 | 18 | 18 | 18 | 0 | 0 | 17 | 25 | 0 | 0 | 0 | 256 | 24 |
| 2月 | 24 | 24 | 23 | 21 | 0 | 8 | 8 | 24 | 4 | 5 | 17 | 22 | 19 | 21 | 0 | 0 | 21 | 24 | 0 | 0 | 0 | 265 | 24 |
| 3月 | 0 | 27 | 22 | 15 | 0 | 0 | 0 | 22 | 3 | 0 | 7 | 25 | 25 | 23 | 0 | 0 | 19 | 27 | 0 | 0 | 0 | 215 | 27 |
| 貸出件数 | 218 | 245 | 236 | 179 | 6 | 197 | 150 | 242 | 106 | 87 | 141 | 248 | 222 | 209 | 2 | 1 | 198 | 238 | 0 | 69 | 0 | 2,994 | 300 |
| 今年度稼働率 | 72.7% | 81.7% | 78.7% | 59.7% | 2.0% | 65.7% | 50.0% | 80.7% | 35.3% | 29.0% | 47.0% | 82.7% | 74.0% | 69.7% | 0.7% | 0.3% | 66.0% | 79.3% | 0.0% | 23.0% | 0.0% | - | |

※３階回廊、講堂前ホワイエ、正面玄関、博物館屋外展示場、美術館屋外展示場、中庭は県主催、指定管理者主催イベントのみ稼働。

## 2 当館主催事業及び施設貸出内訳

【2022年４月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 金 | 博物館講座室 | 沖縄県立博物館・美術館　人事異動発令式 | 16 | 9 | 土 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　悠久のシルクロード展関連催事　吉村作治講演会 |
| 2 | 1 | 金 | 博物館講座室 | フォーデイズ㈱　核酸栄養セミナー | 17 | 9 | 土 | 共有講堂 | 株式会社海燕社　海燕社の小さな映画会 2022/４月会特集：沖縄伝統工芸の名商「彩なす首里の織物-宮平初子-」 |
| 3 | 1 | 金 | 美術館講座室 | 株式会社ピータイム　入社式 | 18 | 9 | 土 | 県民アトリエ | RHR 平和学習会　学習会 |
| 4 | 2 | 土 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　プロムナードコンサート控室 | 19 | 9 | 土 | 博物館実習室 | 博物館学芸員講座「博物館バックヤードたんけん」 |
| 5 | 2 | 土 | 美術館講座室 | 沖縄自主の会　美ら島講座 | 20 | 9 | 土 | 美術館講座室 | ㈱玄米酵素　食と健康セミナーin 沖縄 |
| 6 | 3 | 日 | 共有講堂 | いしかわピアノ教室/石川文子　ピアノ発表会 | 21 | 10 | 日 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　悠久のシルクロード展関連催事　吉村作治講演会 |
| 7 | 3 | 日 | 博物館講座室 | 一般社団法人表千家同門会沖縄県支部　表千家同門会沖縄県支部　教授者連絡会議 | 22 | 10 | 日 | 博物館講座室 | 一般社団法人倫理研究所　沖縄県広報委員会研修 |
| 8 | 3 | 日 | 美術館講座室 | 沖縄ブルーカーボン研究所　シーサーの日環境スペシャル首里城プロジェクト | 23 | 10 | 日 | 博物館実習室 | 琉球岳風会　指導者研修会及び吟和会 |
| 9 | 5 | 火 | スタジオ | アットモア株式会社　美容ロニック開業のご案内 | 24 | 10 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟　第１回理事会 |
| 10 | 6 | 水 | 共有講堂 | アフラック沖縄県アソシエイツ会　４月度アソシエイツ会議・アフラック沖縄県アソシエイツ会　A&A コミュニケーション活動発表会・定例総会 | 25 | 12 | 火 | 共有講堂 | ㈱ディック学園　令和４年度　マイン高等学院入学式 |
| 11 | 6 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　４月理事会 | 26 | 12 | 火 | 共有講堂 | 一般社団法人台湾留学サポートセンター/株式会社ダッシュ　親子で将来を考えるグローバルセミナー |
| 12 | 6 | 水 | 美術館講座室 | オム・ファム株式会社　第28期経営計画発表会 | 27 | 12 | 火 | 博物館講座室 | 辻・本郷税理士法人　沖縄事務所　相続セミナー |
| 13 | 8 | 金 | 博物館講座室 | 明治安田生命保険（相）　MY 相続研修会 | 28 | 12 | 火 | 美術館講座室 | 寺田良江（サンベール）/㈱SUN　健康セミナー |
| 14 | 8 | 金 | 美術館講座室 | EY 税理士法人/アグレアーブル印象美人株式会社 EY 税理士法人ビジネスマナー研修 | 29 | 13 | 水 | 博物館実習室 | 博物館学芸員による博物館常設展 展示解説会準備 |
| 15 | 9 | 土 | スタジオ | 沖縄県立美術館支援会 happ　会議 | 30 | 13 | 水 | 美術館講座室 | 沖盛塾　勉強会 |

| NO. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 | 14 | 木 | 共有講堂 | 株式会社ウィンメディックス　末期がん患者を救った男 著者 白木茂講演会 | 55 | 24 | 日 | スタジオ | ワールドピースキャンペーン　ヨグマタ瞑想の集い |
| 32 | 14 | 木 | 博物館実習室 | 博物館学芸員による博物館常設展 展示解説会 | 56 | 24 | 日 | 共有講堂 | 琉球弧の無形民俗文化財を考える会/有限会社ギカン文化施設研究所　「第１回シンポジウム沖縄民族文化財の継承を考える」 |
| 33 | 15 | 金 | スタジオ | 沖縄弁護士会　遺言の日記念講演会・無料相談会第三会場 | 57 | 24 | 日 | 県民アトリエ | ワールドピースキャンペーン　ヨグマタ瞑想の集い |
| 34 | 15 | 金 | 共有講堂 | 沖縄弁護士会　遺言の日記念講演会・無料相談会 | 58 | 24 | 日 | 博物館実習室 | 琉球弧の無形民俗文化財を考える会/有限会社ギカン文化施設研究所　「第１回シンポジウム沖縄民族文化財の継承を考える」 |
| 35 | 15 | 金 | 県民アトリエ | 沖縄掃除に学ぶ会　沖縄掃除に学ぶ会世話人講座 | 59 | 24 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人縄県美術家連盟　第２回理事会 |
| 36 | 15 | 金 | 博物館実習室 | 沖縄弁護士会　遺言の日記念講演会・無料相談会第ニ会場 | 60 | 26 | 火 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　オリエンテーション/オキナワインターナショナルスクール |
| 37 | 15 | 金 | 美術館講座室 | 合同会社パワーアンドカンパニー　LVP/ATR２ | 61 | 27 | 水 | 博物館実習室 | 琉球三線楽器保存育成会　三線調査会 |
| 38 | 16 | 土 | こどもアトリエ | OKINAWA アートワークショップ 2021「不思議な金属『錫』で豆皿づくり」 | 62 | 27 | 水 | 美術館講座室 | 県総務班　打合せ |
| 39 | 16 | 土 | スタジオ | 特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 63 | 27 | 水 | 美術館講座室 | 美術館ボランティア学習会 |
| 40 | 16 | 土 | 共有講堂 | 博物館文化講座「復帰 50 年失われた資料発掘のあゆみ」 | 64 | 28 | 木 | スタジオ | 有限会社テレマーケティング沖縄　新人研修 |
| 41 | 16 | 土 | 県民アトリエ | OKINAWA アートワークショップ 2021「不思議な金属『錫』で豆皿づくり」 | 65 | 28 | 木 | 共有講堂 | 情報労連　沖縄県協議会　「４・28 平和の季観」 |
| 42 | 16 | 土 | 美術館講座室 | 合同会社パワーアンドカンパニー　LVP　ART２ | 66 | 28 | 木 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　おきみゅーの GW 2022　“知るを楽しもう”「ペン立てワークショップ」 |
| 43 | 17 | 日 | スタジオ | ㈱E アファン　E アファン非分解プラセンタ勉強会 | 67 | 29 | 金 | スタジオ | 九州医療スポーツ専門学校　出張学校説明会　沖縄現地開催 |
| 44 | 17 | 日 | 共有講堂 | 日本痩身医学協会ハイサイセミナー事務局　日本痩身医学協会ハイサイセミナー | 68 | 29 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　おきみゅーの GW 2022　“知るを楽しもう”「ペン立てワークショップ」 |
| 45 | 17 | 日 | 博物館講座室 | 世日フォーラム沖縄　沖縄と日本の未来を考える講演会 | 69 | 30 | 土 | スタジオ | 沖縄県立美術館支援会 happ　沖縄県立美術館支援会 happ　理事会 |
| 46 | 17 | 日 | 博物館実習室 | 新城 絵利子/木下 三枝子　オトナ開運メイク | 70 | 30 | 土 | 共有講堂 | 龍谷大学経済学部/ニライ・カナイぬ会　「わったー先祖（うやーふぁーふじ）の遺骨は「研究材料」あらん！！ー琉球先住民族と世界の先住民族の遺骨 |
| 47 | 19 | 火 | 博物館講座室 | 琉球ファンド１号投資事業有限責任組合/㈱琉球キャピタル　琉球ファンド１号投資事業有限責任組合員集会 | 71 | 30 | 土 | 博物館講座室 | 久米島研究会　「2022 年度　第２回研究会」 |
| 48 | 20 | 水 | 共有講堂 | 博物館ボランティア全体会 | 72 | 30 | 土 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　おきみゅーの GW 2022 “知るを楽しもう”「ペン立てワークショップ」 |
| 49 | 20 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄展の資料収集のための会議 | 73 | 30 | 土 | 美術館講座室 | NPO 法人沖縄県マンション管理組合連合会　2022 年度 第１回マンション管理組合情報交換会 |
| 50 | 22 | 金 | 博物館講座室 | 沖縄県観光振興課／㈱アール・ピー・アイ　令和４年度沖縄観光コンテンツ開発支援事業　補助事業　公募説明会 | 74 | 1～17 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 一般財団法人沖縄美ら島財団　シーサー展 |
| 51 | 22 | 金 | 博物館講座室 | 那覇市 PTA 連合会　那覇市 PTA 連合会事務研修会 | 75 | 1～30 | | 博物館企画展示室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団/琉球新報社/㈱宣伝悠久のシルクロード展―古代エジプトからアジア、そして日本へと繋がる歴史と文化の道― |
| 52 | 22 | 金 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄オープンラボラトリ　OOL オープンフォーラム | 76 | 1～30 | | 博物館特別展示室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団/琉球新報社/㈱宣伝悠久のシルクロード展―古代エジプトからアジア、そして日本へと繋がる歴史と文化の道― |
| 53 | 23 | 土 | 共有講堂 | 有限会社ギカン文化施設研究所　琉球の祈りの風 | 77 | 26～27 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 愛鳥週間ミニ展示 |
| 54 | 24 | 日 | こどもアトリエ | ワールドピースキャンペーン　ヨグマタ瞑想の集い | 78 | 28～30 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 万国津梁の鐘プロジェクト「みらいにつなぐ万国津梁メッセージ」/愛鳥週間ミニ展示 |

## 【2022年５月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 日 | 共有講堂 | 復帰展イベントリハーサル | 7 | 3 | 火 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅーの GW 2022　“知るを楽しもう”　控室 |
| 2 | 1 | 日 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅーの GW 2022　“知るを楽しもう”「ペン立てワークショップ」 | 8 | 3 | 火 | 美術館屋外展示場 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅーの GW 2022　“知るを楽しもう”「バリガムランとバリダンス ステージ」 |
| 3 | 1 | 日 | 美術館講座室 | とめよう戦争への道！百万人署名運動・沖縄 とめよう戦争への道！百万人署名運動・沖縄　総会及び講演会 | 9 | 3 | 火 | 美術館講座室 | IFA　唐沢祐香 親子で聞いてほしい！始める前び知っておくべき「正しい投資と心得」 |
| 4 | 3 | 火 | 共有講堂 | 自主憲法制定沖縄県民会議 新しい憲法をつくる沖縄県民の集い | 10 | 4 | 水 | 県民アトリエ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 |
| 5 | 3 | 火 | 県民アトリエ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 11 | 4 | 水 | 博物館屋外展示場 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅーの GW 2022　“知るを楽しもう”「葉っぱもようのしおりを作ろう！」 |
| 6 | 3 | 火 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅーの GW 2022　“知るを楽しもう”「バリガムランとバリダンス ステージ」 控室 | 12 | 4 | 水 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　おきみゅーの GW 2022　“知るを楽しもう”　控室 |

| No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 5 | 木 | こども アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅーの GW 2022 “知るを楽しもう”「ダンボールで兜(かぶと)をつくろう」 | 50 | 17 | 火 | 博物館 講座室 | 博物館ボランティア連絡会 |
| 14 | 5 | 木 | スタジオ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 51 | 18 | 水 | 博物館 講座室 | 博物館ボランティア養成講座 |
| 15 | 5 | 木 | 共有 講堂 | 華音音楽教室 宮里郁子門下生発表会 | 52 | 18 | 水 | 博物館 実習室 | 博物館ボランティア養成講座 |
| 16 | 5 | 木 | 県民 アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅーの GW 2022 “知るを楽しもう”「ダンボールで兜(かぶと)をつくろう」 | 53 | 19 | 木 | 博物館 講座室 | 大和ハウス工業株式会社 沖縄支店 社内集合研修（対話プログラム |
| 17 | 5 | 木 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅーの GW 2022 “知るを楽しもう” 控室 | 54 | 19 | 木 | 博物館 講座室 | EY 税理士法人 法人説明会 |
| 18 | 6 | 金 | 県民 アトリエ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 55 | 19 | 木 | 博物館 実習室 | （公社）沖縄県シルバー人材センター連合 シルバー人材センター新任事務局長研修 |
| 19 | 6 | 金 | 博物館 講座室 | 博物館ボランティア養成講座 | 56 | 20 | 金 | 博物館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 WEB 会議 |
| 20 | 7 | 土 | 共有 講堂 | 基地問題を考える県民学習会実行委員会 設計変更不承認を考える学習会 | 57 | 20 | 金 | 美術館 講座室 | 株式会社ピータイム 社内会議 |
| 21 | 7 | 土 | 共有 講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 シルクロード展関連催事「吉村作治 講演会」 | 58 | 21 | 土 | 県民 スタジオ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 |
| 22 | 7 | 土 | 県民 アトリエ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 59 | 21 | 土 | 美術館 講座室 | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会、総会 |
| 23 | 7 | 土 | 美術館 講座室 | 沖縄自主の会 美ら島講座 | 60 | 21 | 土 | 共有 講堂 | 博物館文化講座「北海道有珠モシリ縄文人の生と死」 |
| 24 | 8 | 日 | こども アトリエ | 真栄城介一 数地世界と日本数地式公開 | 61 | 21 | 土 | 博物館 講座室 | 有限会社フロンティアーズ 松尾和也講演会 |
| 25 | 8 | 日 | 共有 講堂 | 博物館歴史部門展示室 特集展関連催事「おきみゅーにオリジンお笑いライブがやってくる‼」 | 62 | 21 | 土 | 博物館 実習室 | ダイキン HVAC ソリューション沖縄㈱ 社内研修プリグラム |
| 26 | 8 | 日 | 県民 アトリエ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 63 | 22 | 日 | スタジオ | NPO 法人沖縄伝承話資料センター 沖縄昔ばなし大学 ZOOM 学習会 |
| 27 | 8 | 日 | 博物館 講座室 | 一般社団法人マンション管理相談センター 知らないと損をする大規模修繕工事の実態と管理改善セミナー | 64 | 22 | 日 | 共有 講堂 | 断食道場 百寿会 健康法講演会 |
| 28 | 8 | 日 | 美術館 講座室 | つくる舎 なはらくご | 65 | 22 | 日 | 博物館 講座室 | 国家公務員労働組合沖縄県協議会 2022 年沖縄平和学習 |
| 29 | 11 | 水 | スタジオ | LVS 株式会社 ラフィーユアカデミー「修了式」 | 66 | 22 | 日 | 美術館 講座室 | ハピネス新都心Ⅱ管理組合 臨時総会 |
| 30 | 11 | 水 | 博物館 講座室 | 辻・本郷税理士法人沖縄事務所 相続ミニセミナー | 67 | 22 | 日 | 美術館 講座室 | 有限会社ユニティヴプラス／伊禮洋子 RIWAY 事業説明会 |
| 31 | 11 | 水 | 博物館 実習室 | 沖縄県立博物館友の会 沖縄県立博物館友の会理事会 | 68 | 24 | 火 | 共有 講堂 | 一般社団法人那覇市倫理法人会 令和４年度 倫理経営講演会 |
| 32 | 11 | 水 | 美術館 講座室 | 沖盛塾 沖盛塾勉強会 | 69 | 24 | 火 | 美術館 講座室 | 県総務班 県監査 |
| 33 | 12 | 木 | 県民 アトリエ | 沖縄県三線製作事業協同組合 有識者会議 | 70 | 24 | 火 | 美術館 講座室 | 株式会社プレナスワールド 医療費削減協議会 健康セミナー |
| 34 | 12 | 木 | 博物館 講座室 | ㈱阪急交通社 沖縄支店 国内旅行説明会 | 71 | 25 | 水 | スタジオ | 一般財団法人’沖縄美ら島財団 WEB 更新ルールレクチャー会／広報連絡会議 |
| 35 | 12 | 木 | 美術館 講座室 | 大光電機㈱ DAIKO ライティングセミナー | 72 | 25 | 水 | 共有 講堂 | 沖縄県農林水産部流通・加工推進課 令和４年度農林水産物条件不利性解消事業説明会 |
| 36 | 12 | 木 | 美術館 講座室 | 寺田良江（サンベール）/㈱SUN 健康セミナー | 73 | 25 | 水 | 博物館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 会議 |
| 37 | 13 | 金 | 県民 アトリエ | 武庫川女子大学 第三回学際シンポジウムの打合せ | 74 | 25 | 水 | 博物館 講座室 | フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー |
| 38 | 13 | 金 | 美術館 講座室 | 株式会社おきでん CplusC「2022 年度みまもりサービス実証モニター募集説明会」 | 75 | 25 | 水 | 博物館 実習室 | 琉球三線楽器保存育成会 三線調査会 |
| 39 | 14 | 土 | スタジオ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 76 | 25 | 水 | 美術館 講座室 | 沖縄県三線製作事業協同組合 沖縄県三線文化振興協議会 設立準備委員会 総会 |
| 40 | 14 | 土 | 共有 講堂 | 株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2022/５月会特集：沖縄本土復帰 50 周年「シバサシ-安里清信の残照-」 | 77 | 25 | 水 | 美術館 講座室 | 内間幸子 SDGS に基ずく健康セミナー |
| 41 | 14 | 土 | 県民 アトリエ | RHR 平和学習会 平和学習会 | 78 | 26 | 木 | 共有 講堂 | 沖縄県人権擁護委員連合会 沖縄県人権擁護委員連合会総会・委員研修 |
| 42 | 14 | 土 | 博物館 講座室 | 博物館学芸員講座「復帰 50 年沖縄の想い」 | 79 | 26 | 木 | 博物館 講座室 | 那覇市新都心通り会 第 20 期定期総会 |
| 43 | 14 | 土 | 博物館 実習室 | 株式会社おきでん CplusC「2022 年度みまもりサービス実証モニター募集説明会」 | 80 | 26 | 木 | 美術館 講座室 | かいぎんビジネス倶楽部/㈱海邦総研 かいぎんビジネスセミナー |
| 44 | 14 | 土 | 美術館 講座室 | 大和ハウス工業株式会社/大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 新 KYT 教育 | 81 | 27 | 金 | こども アトリエ | OKINAWA ワークショップ「手作り雑貨部門」彫金とアートでつくる耳飾り準備 |
| 45 | 15 | 日 | 共有 講堂 | おきみゅーシネマラボ 復帰 50 年コレクション展「FUKKI QUALIA」プレイベント | 82 | 27 | 金 | 共有 講堂 | 国税庁/沖縄国税事務所/㈱パソナ 泡盛及び伝統的酒造りシンポジウム 準備 |
| 46 | 15 | 日 | 博物館 講座室 | 公文教育研究会那覇事務局 公文教育研究会 認定テスト | 83 | 27 | 金 | 県民 アトリエ | OKINAWA ワークショップ「手作り雑貨部門」彫金とアートでつくる耳飾り準備 |
| 47 | 15 | 日 | 博物館 実習室 | 琉球岳風会 指導者研修会及び吟和会 | 84 | 27 | 金 | 博物館 講座室 | 博物館ボランティア養成講座 |
| 48 | 15 | 日 | 博物館 実習室 | 公文教育研究会 那覇事務局 公文式 認定テスト | 85 | 27 | 金 | 美術館 講座室 | ㈱玄米酵素 食と健康セミナーin 那覇 |
| 49 | 15 | 日 | 美術館 講座室 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟 通常総会 | 86 | 28 | 土 | こども アトリエ | OKINAWA ワークショップ「手作り雑貨部門」彫金とアートでつくる耳飾り |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 87 | 28 | 土 | スタジオ | 国税庁/沖縄国税事務所/㈱パソナ 泡盛及び伝統的酒造りシンポジウム 控室 | 97 | 29 | 日 | 博物館講座室 | （同）Tiruru 物産 地球環境再生セミナー |
| 88 | 28 | 土 | 共有講堂 | 国税庁/沖縄国税事務所/㈱パソナ 泡盛及び伝統的酒造りシンポジウム | 98 | 29 | 日 | 美術館講座室 | ちゃれんじ友の会 会員向けセミナー |
| 89 | 28 | 土 | 県民アトリエ | OKINAWA ワークショップ「手作り雑貨部門」彫金とアートでつくる耳飾り | 99 | 31 | 火 | こどもアトリエ | 一般社団法人日本自動車連盟 JAF 沖縄支部指定工場会議 |
| 90 | 28 | 土 | 博物館講座室 | 株式会社シナジープラス 軍用地主・不動産オーナー向け 家族信託セミナー | 100 | 31 | 火 | スタジオ | 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 令和４年度沖縄 MICE ネットワーク 第１回 MICE 商業部会 |
| 91 | 28 | 土 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究セター 海洋文化講座 太平洋と沖縄① 島々の食 食生活の変化 | 101 | 31 | 火 | 博物館講座室 | 一般社団法人 沖縄住宅産業協会 （一社）沖縄住宅産業協会主催 令和４年度第１回 総務委員会セミナー |
| 92 | 28 | 土 | 博物館実習室 | 国税庁/沖縄国税事務所/㈱パソナ 泡盛及び伝統的酒造りシンポジウム 控室 | 102 | 1～8 | | エントランスホール | 愛鳥週間ミニ展示／万国津梁の鐘プロジェクト「みらいにつなぐ万国津梁メッセージ」 |
| 93 | 28 | 土 | 美術館講座室 | 沖縄県手話通訳問題研究会 ピアスーパービジョン学習会 | 103 | 1～11 | | 博物館企画展示室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団/琉球新報社/㈱宣伝 悠久のシルクロード展―古代エジプトからアジア、そして日本へと繋がる歴史と文化の道― |
| 94 | 28 | 土 | 美術館講座室 | 全日本年金者組合県本部 「最低保障年金制度の提言」学習会 | 104 | 1～11 | | 博物館特別展示室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団/琉球新報社/㈱宣伝 悠久のシルクロード展―古代エジプトからアジア、そして日本へと繋がる歴史と文化の道― |
| 95 | 29 | 日 | 共有講堂 | 第 32 軍司令部壕の保存公開を求める会 第 32 軍司令部壕の保存公開を考える | 105 | 10～22 | | エントランスホール | 愛鳥週間ミニ展示／国際博物館の日パネル展 |
| 96 | 29 | 日 | 共有講堂 | 那覇市 PTA 連合会 第 73 回 那覇市 PTA 連合会定期総会 | 106 | 23～31 | | エントランスホール | 国際博物館の日パネル展 |

## 【2022年６月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 水 | 美術館講座室 | エスケー化研株式会社 沖縄営業所 2022 年度上期住宅安全大会及び職長研修会 | 24 | 10 | 金 | 博物館実習室 | 回復堂 Mahanalab 保健医療学博士半田瞳先生沖縄セミナー |
| 2 | 2 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県経営品質研究会 ６月度定例総会 | 25 | 10 | 金 | 美術館講座室 | 株式会社パスコ 沖縄支店 沖縄地区 固定資産セミナー |
| 3 | 3 | 金 | 博物館講座室 | 博物館ガイド基礎 ボランティア養成講座 | 26 | 11 | 土 | 共有講堂 | チナジュン沖縄/DDE フィンテックホールディングス WFC 会社説明会 |
| 4 | 3 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 WEB 会議 | 27 | 11 | 土 | 博物館講座室 | 株式会社シーヴィ・コンベンション 第 28 回 初級ソフトウェア品質技術者資格試験 |
| 5 | 3 | 金 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 小規模事業者等デジタル化支援事業 事業説明会 | 28 | 11 | 土 | 博物館実習室 | 回復堂 Mahanalab 保健医療学博士 半田瞳先生沖縄セミナー |
| 6 | 4 | 土 | スタジオ | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 29 | 11 | 土 | 美術館講座室 | 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 |
| 7 | 4 | 土 | 共有講堂 | 沖縄県平和大使協議会 「人つくり、家庭つくり、国つくり」講演会 | 30 | 11 | 土 | 美術館講座室 | 美術館学芸員講座+キュレータートーク 美術品の保存修復について～保存修復の現場から～ |
| 8 | 4 | 土 | 博物館講座室 | 公益社団法人日本青年会議所沖縄地区協議会 ゆんたく広場（女性も活躍する社会をめざして） | 31 | 12 | 日 | 共有講堂 | The Team LIFE WAVE 新製品×49 発表記念講演 |
| 9 | 4 | 土 | 美術館講座室 | 沖縄の食と農を守る連絡協議会 沖縄の食と農を守る連絡協議会 総会及びシンポジウム | 32 | 12 | 日 | 共有講堂 | ㈱Join アクセルモバイル代理店ビジネスツアー2 日目 レキオスヒストリー |
| 10 | 5 | 日 | 県民アトリエ | Lai lua ke kai hula フラセラピー WORK SHOP | 33 | 12 | 日 | エントランスホール | おきみゅープロムナードコンサート サクソフォンカルテット |
| 11 | 5 | 日 | 博物館講座室 | 公益社団法人青年海外協力協会 JICA 海外協力隊募集説明会 | 34 | 12 | 日 | 博物館講座室 | 寺田良江/サンベール 健康セミナー |
| 12 | 5 | 日 | 博物館実習室 | 沖縄県手話通訳問題研究会 2022 年度総会 | 35 | 12 | 日 | 美術館講座室 | 琉球岳風会 指導者研修及び吟和会 |
| 13 | 5 | 日 | 美術館講座室 | 沖縄女流美術家協会 総会 | 36 | 12 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会 |
| 14 | 7 | 火 | 共有講堂 | 沖縄国税事務所 インボイス制度説明会 | 37 | 14 | 火 | スタジオ | LVS㈱ ラフィーユアカデミー「開講式・オリエンテーション」LVS㈱ |
| 15 | 7 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課/株式会社海邦総研 【スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援補助金】事業説明会 | 38 | 14 | 火 | 博物館講座室 | 株式会社国際ビル産業 「管理職向け講演会」 |
| 16 | 7 | 火 | 博物館講座室 | 辻・本郷税理士法人 沖縄事務所 相続ミニセミナー | 39 | 15 | 水 | こどもアトリエ | 美術館ボランティア研修会 |
| 17 | 7 | 火 | 美術館講座室 | フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー | 40 | 15 | 水 | スタジオ | アットモア株式会社 補助金説明会（無料） |
| 18 | 8 | 水 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア養成講座 | 41 | 15 | 水 | 県民アトリエ | 美術館ボランティア研修会 |
| 19 | 8 | 水 | 美術館講座室 | 沖盛塾 勉強会 | 42 | 15 | 水 | 美術館講座室 | かいぎんビジネス倶楽部/㈱海邦総研 かいぎんビジネスセミナー |
| 20 | 9 | 木 | 美術館講座室 | ALIVEN/宜野座真子 アライヴン健康セミナー | 43 | 16 | 木 | 博物館講座室 | 大和ハウス工業株式会社沖縄支店 社内集合研修（対話プログラム） |
| 21 | 10 | 金 | スタジオ | 沖縄県地域・離島課/一般社団法人プロモーションうるま 令和４年度沖縄県移住定住促進事業「中間支援研修集合型第１回」 | 44 | 16 | 木 | 美術館講座室 | 満喜株式会社 公益・一般法人セミナー「簿記の基礎・簿記初級編」 |
| 22 | 10 | 金 | 共有講堂 | 沖縄国税事務所 インボイス制度説明会 | 45 | 17 | 金 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア養成講座 |
| 23 | 10 | 金 | 博物館講座室 | 株式会社パスコ 沖縄支店 沖縄地区 固定資産セミナー | 46 | 17 | 金 | 博物館実習室 | 博物館ボランティア養成講座 |

| No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 47 | 17 | 金 | 美術館 講座室 | 大鏡建設株式会社 大鏡CRE「企業と不動産」セミナー　Ｖｏｌ13 | 73 | 24 | 金 | 博物館 講座室 | 沖縄県三線文化振興協議会設立準備委員会 第1ワールド三線フェスティバル実行委員会 |
| 48 | 17 | 金 | 美術館 講座室 | 株式会社 EY税理士法人 TOEIC IP Test | 74 | 24 | 金 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーション/那覇みらい支援学校 |
| 49 | 18 | 土 | こども アトリエ | 創元会沖縄支部　実技研修会 | 75 | 24 | 金 | 博物館 実習室 | 沖縄県立博物館友の会主催事業『尚巴志・六男、尚泰久の琉球銭「大世通宝」をつくってみよう』　準備 |
| 50 | 18 | 土 | スタジオ | 特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 76 | 24 | 金 | 美術館 講座室 | 公益財団法人日本国際問題研究所 日本国際問題研修所主催「第1回尖閣資料検討会」 |
| 51 | 18 | 土 | 共有 講堂 | 博物館文化講座「ナイチャーの見た民俗50年」 | 77 | 24 | 金 | 美術館 講座室 | 那覇市社会福祉協議会 令和4年度第1生活支援サポーター養成講座 |
| 52 | 18 | 土 | 県民 アトリエ | 創元会沖縄支部　実技研修会 | 78 | 24 | 金 | 美術館 講座室 | タマホーム沖縄支店安全協力会　安全協力会 |
| 53 | 18 | 土 | 博物館 講座室 | 株式会社NoSleep Fantom概要説明会 | 79 | 25 | 土 | こども アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト　おきみゅーモノづくり部「小さな刺繍のピンクッション（はりやま）をつくろう」 |
| 54 | 18 | 土 | 博物館 実習室 | 沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科 展示見学後のワークショップ | 80 | 25 | 土 | スタジオ | 沖縄県立美術館支援会 happ　　総会及び報告会 |
| 55 | 18 | 土 | 美術館 講座室 | フリーベル天久新都心第2管理組合／(有)松山ハウジング フリーベル天久新都心2管理組合　住民説明会 | 81 | 25 | 土 | 県民 アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団　アートを身近に！プロジェクト　おきみゅーモノづくり部「小さな刺繍のピンクッション（はりやま）をつくろう」 |
| 56 | 18 | 土 | 美術館 講座室 | 沖縄朝鮮友好の会 沖縄朝鮮友好のつどい | 82 | 25 | 土 | 博物館 講座室 | 首里城公園友の会　定期総会及び記念講演会 |
| 57 | 19 | 日 | こども アトリエ | 創元会沖縄支部　実技研修会 | 83 | 25 | 土 | 博物館 講座室 | 琉球大学医学部第二内科同門会 琉球大学医学部第二内科同門会「温故知新会」 |
| 58 | 19 | 日 | ｴﾝﾄﾗﾝｽ ﾎｰﾙ | おきみゅープロムナードコンサート　シターと歌う平和コンサート | 84 | 25 | 土 | 博物館 実習室 | 沖縄県立博物館友の会主催事業『尚巴志・六男、尚泰久の琉球銭「大世通宝」をつくってみよう』 |
| 59 | 19 | 日 | 共有 講堂 | 株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会2022/6会特集：映画監督・野村岳也「糸満の女」「イザイホー」 | 85 | 25 | 土 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 面接 |
| 60 | 19 | 日 | 共有 講堂 | 沖縄県平和大使協議会／APTF 家庭講演会 | 86 | 25 | 土 | 美術館 講座室 | セゾン投信株式会社 あらためまして、セゾン投信です！ |
| 61 | 19 | 日 | 県民 アトリエ | 創元会沖縄支部　実技研修会 | 87 | 25 | 土 | 美術館 講座室 | アルファステイツおもろまち管理組合　第1期通常総会 |
| 62 | 19 | 日 | 博物館 講座室 | 沖縄県眼科医会/興和㈱ 沖縄県眼科集談会 | 88 | 26 | 日 | スタジオ | ㈱Eアファン　Eアファン N/D プラセンタ勉強会 |
| 63 | 19 | 日 | 博物館 講座室 | N27「時の眼－沖縄」批評誌) 編集室/比嘉豊光 沖縄戦の教訓を軍事基地のない社会のために！－島田知事賛美の映画と第32軍司令部壕保存公開活動を問う－ | 89 | 26 | 日 | 共有 講堂 | ㈱海燕社 特別企画　ドキュメンタリー映画「ふじ学徒隊」製作10周年記念上映会 |
| 64 | 19 | 日 | 博物館 実習室 | 沖縄県眼科医会／興和㈱　講師控室 | 90 | 26 | 日 | 共有 講堂 | 参院選ひやみかち・うまんちゅの会 イハ洋一必勝　女性集会 |
| 65 | 19 | 日 | 美術館 講座室 | Dクラディア新都心マークブランカ管理組合第15期通常総会 | 91 | 26 | 日 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 面接 |
| 66 | 19 | 日 | 美術館 講座室 | 有限会社ライブアップ 有限会社ライブアップ | 92 | 26 | 日 | 美術館 講座室 | ㈱人事の味方 コードアドベンチャー那覇古島校無料体験会 |
| 67 | 21 | 火 | 美術館 講座室 | 株式会社JTB沖縄 「サスティナブルな観光コンテンツ強化事業」第1回検討会 | 93 | 28 | 火 | 博物館 講座室 | 沖縄県立博物館友の会理事会 |
| 68 | 22 | 水 | 共有 講堂 | 朝日生命（相）沖縄支社　全職員打合せ | 94 | 28 | 火 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 面接 |
| 69 | 22 | 水 | 博物館 講座室 | 博物館ボランティア養成講座 | 95 | 28 | 火 | 美術館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 WEB会議　準備 |
| 70 | 22 | 水 | 博物館 実習室 | 博物館ボランティア養成講座 | 96 | 7〜19 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽ ﾎｰﾙ | 慰霊の日読み聞かせ上映会 |
| 71 | 24 | 金 | 共有 講堂 | パリテカフェ＠沖縄 上間陽子講演会 | 97 | 21〜28 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽ ﾎｰﾙ | 慰霊の日読み聞かせ上映会／国立自然史博物館パネル展 |
| 72 | 24 | 金 | 共有 講堂 | 組込みシステム産業振興機構/沖縄地域情報システム 第11回全国組み込み産業フォーラムリハーサル | | | | | |

## 【2022年７月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 8 | 金 | こども アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 夏休み自由研究荷物置き場 | 8 | 9 | 土 | 共有 講堂 | ㈱おきなわ edu 第3回おきなわ edu 祭り |
| 2 | 8 | 金 | 博物館 講座室 | 博物館ボランティア養成講座 | 9 | 9 | 土 | 県民 アトリエ | OKINAWAワークショップ　「手作り雑貨部門」マクラメプラントハンガー |
| 3 | 8 | 金 | 博物館 講座室 | 琉球大学病院第一内科肝疾患診療相談室 「NAFLDからMAFLDへの脂肪肝にご用心！アルコールと脂肪肝の深い関係～ | 10 | 9 | 土 | 博物館 講座室 | 博物館学芸員講座「琉球王国の三線－知られざるべっ甲巻き三線について－」 |
| 4 | 8 | 金 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 面接 | 11 | 9 | 土 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 夏休み自由研究荷物置き場 |
| 5 | 8 | 金 | 美術館 講座室 | ALIVEN/宜野座真子 健康講演会 | 12 | 9 | 9 | 美術館 講座室 | ジブラルタ生命労働組合　ジブラルタ生命労働組合　部会大会 |
| 6 | 9 | 土 | こども アトリエ | OKINAWAワークショップ　「手作り雑貨部門」マクラメプラントハンガー | 13 | 9 | 9 | 美術館 講座室 | 沖縄工業高等選民学校　後援会那覇支部 沖縄工業高等選民学校　後援会那覇支部情報交換ユンタク会 |
| 7 | 9 | 土 | スタジオ | フリーベル天久新都心/タマキホーム㈱ フリーベル天久新都心 | 14 | 9 | 9 | 美術館 講座室 | フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 10 | 日 | こどもアトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 夏休み自由研究荷物置き場 | 50 | 17 | 日 | 県民アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 スケスケ展関連イベント「スケスケバッグをつくろう」 |
| 16 | 10 | 日 | 共有講堂 | ミュージックツリー音楽教室 ミュージックツリー音楽教室 ピアノ発表会 | 51 | 17 | 日 | 博物館講座室 | 株式会社ジョイオブクリエーション 沖縄県における産学官連携によるキャリア教育の実践についての懇談会 |
| 17 | 10 | 日 | 県民アトリエ | ABCT 沖縄　資産設計セミナー | 52 | 17 | 日 | 美術館講座室 | ㈱人事の味方 コードアドベンチャー那覇古島校無料体験会 |
| 18 | 10 | 日 | 博物館講座室 | 一般社団法人日本認知症ケア学会 九州・沖縄２地域部会Ⅱ（沖縄） | 53 | 18 | 月 | 共有講堂 | 琉球弧の無形民俗文化財を考える会 琉球弧の無形民俗文化財の危機を考える　第２回シンポジウム |
| 19 | 10 | 日 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 面接 | 54 | 18 | 月 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アート市下見 |
| 20 | 10 | 日 | 博物館実習室 | 藝能学会 藝能学会令和４年度「藝能セミナー」 | 55 | 18 | 月 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　スケスケ展関連催 13 才からのアート |
| 21 | 10 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会 | 56 | 18 | 月 | 博物館実習室 | 琉球弧の無形民俗文化財を考える会 琉球弧の無形民俗文化財を考える会　関係者会議 |
| 22 | 10 | 日 | 美術館講座室 | 琉球岳風会 指導者研修及び吟和会 | 57 | 18 | 月 | 美術館講座室 | ロボロボの会 自律型ロボットプログラミング初心者無料体験教室 in 沖縄 |
| 23 | 12 | 火 | 博物館講座室 | 那覇市社会福祉協議会 令和４年度那覇市生活支援体整備事業「生活支援訪問型サービス従事者養成研修」 | 58 | 20 | 水 | スタジオ | VOICE　OF　STONE　プロジェクト 須田郡司写真展「聖石巡礼～沖縄・東北・世界」 |
| 24 | 12 | 火 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 ワークショップ準備作業 | 59 | 20 | 水 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア連絡会 |
| 25 | 12 | 火 | 美術館講座室 | 株式会社地域科学研究所 MIA 固定資産評価全国実務研修会 | 60 | 20 | 水 | 博物館実習室 | 県総務班 復帰 50 周年展セレモニー控室 |
| 26 | 13 | 水 | 共有講堂 | 是国 PGC／フジフィルムイメージング／沖縄 PGC 九州 PGC・沖縄 PGC 合同式典 | 61 | 20 | 水 | 美術館講座室 | 國吉功/㈱アライヴン 健康セミナー |
| 27 | 13 | 水 | 博物館講座室 | 那覇市社会福祉協議会 令和４年度那覇市生活支援体整備事業「生活支援訪問型サービス従事者養成研修」 | 62 | 21 | 木 | スタジオ | VOICE　OF　STONE　プロジェクト 須田郡司写真展「聖石巡礼～沖縄・東北・世界」 |
| 28 | 13 | 水 | 美術館講座室 | 集積・再興事業工程会議 | 63 | 21 | 木 | 博物館講座室 | 沖縄県文化振興課/一般財団法人沖縄美ら島財団 指定管理者制度運用委員会 |
| 29 | 14 | 木 | 博物館講座室 | サントピアおもろまち第２管理組合／㈱琉信ハウジング　総会 | 64 | 21 | 木 | 博物館講座室 | 一般社団法人琉球フィルハーモニック／一般財団法人沖縄美ら島財団 ビジネスに効くクラシック音楽セミナー＆ミニコンサート |
| 30 | 14 | 木 | 博物館講座室 | 那覇市社会福祉協議会　地域福祉課 令和４年度那覇市生活支援体整備事業「生活支援訪問型サービス従事者養成研修」 | 65 | 21 | 木 | 博物館講座室 | 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 真和志地区地域福祉懇談会 |
| 31 | 14 | 木 | 博物館実習室 | 博物館こどもフェスタボランティア勉強会 | 66 | 21 | 木 | 博物館実習室 | 日新火災海上保険㈱ 日新火災・損害サービス勉強会 |
| 32 | 14 | 木 | 美術館講座室 | （一財）沖縄美ら島財団 オリエンテーション）沖縄高等特別支援学校 | 67 | 21 | 木 | 美術館講座室 | メットライフ生命沖縄支社 メットライフ沖縄代理店会セミナー |
| 33 | 14 | 木 | 美術館講座室 | 株式会社プレナスワールド 医療費削減協議会 健康セミナー | 68 | 22 | 金 | スタジオ | VOICE　OF　STONE　プロジェクト 須田郡司写真展「聖石巡礼～沖縄・東北・世界」 |
| 34 | 14 | 木 | 美術館講座室 | ソニービジネスオペレーションズ株式会社　会社説明会 | 69 | 22 | 金 | 共有講堂 | 株式会社ウィンメディックス 患者会～医療の未来が見える健康セミナー～ |
| 35 | 15 | 金 | 共有講堂 | 沖縄県環境部環境政策課/㈱沖縄環境保全研究所 第３次沖縄県環境基本計画に関するシンポジウム）会場下見 | 70 | 22 | 金 | 博物館講座室 | 内閣府沖縄振興局／三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング㈱ 第６回所有者不明土地問題に関する検討会議 |
| 36 | 15 | 金 | 共有講堂 | 沖縄県文化協会事務局　研修会 | 71 | 22 | 金 | 博物館講座室 | ㈱SUN／寺田良江（サンベール） 勉強会（健康セミナー） |
| 37 | 15 | 金 | 博物館講座室 | 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 本庁地区地域福祉懇談会 | 72 | 22 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 スケスケ展関連イベント「サメの歯化石の封入標本づくり」 |
| 38 | 16 | 土 | こどもアトリエ | 一般社団法人倫理研究所 青年フォーラム 2022in 沖縄　実行委員会 | 73 | 22 | 金 | 美術館講座室 | ㈱リベル　会社説明会・面接 |
| 39 | 16 | 土 | スタジオ | 特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 74 | 22 | 金 | 美術館講座室 | LVS 株式会社 未来を予約し夢を叶える CITTA 主張の秘密講演会 |
| 40 | 16 | 土 | 共有講堂 | 株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2022/７月会特集；不登校「さなぎ-学校に行きたくない-」 | 75 | 23 | 土 | スタジオ | VOICE　OF　STONE　プロジェクト 須田郡司写真展「聖石巡礼～沖縄・東北・世界」 |
| 41 | 16 | 土 | 共有講堂 | ドルチェピアノ西崎教室/音楽教室　スキエット Summer Concent | 76 | 23 | 土 | 共有講堂 | 琉球大学医学部脳神経外科 社団法人日本脳神経外科学会九州支部　市民公開講座 |
| 42 | 16 | 土 | 県民アトリエ | 一般社団法人倫理研究所 青年フォーラム 2022in 沖縄　実行委員会 | 77 | 23 | 土 | 県民アトリエ | 身体元気 CaPO 身体の使い方を練習するワークショップ |
| 43 | 16 | 土 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 太平洋と沖縄②　島の住まい　ムラとくらし | 78 | 23 | 土 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 スケスケ展関連イベント「動物のホネをくらべよう」 |
| 44 | 16 | 土 | 博物館講座室 | 琉球民族独立総合研究学会　報告会 | 79 | 23 | 土 | 美術館講座室 | 弁護士法人那覇綜合 18 歳から成人です。夏休みはここに注意して！ |
| 45 | 16 | 土 | 博物館講座室 | ㈱シナジープラス 相続・軍用地セミナー | 80 | 23 | 土 | 美術館講座室 | ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱/日本旅行東京法人・コンベンション営業 購買室のプロフェッショナリズム in OKINAWA |
| 46 | 17 | 日 | こどもアトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 スケスケ展関連イベント「スケスケバッグをつくろう」 | 81 | 24 | 日 | スタジオ | VOICE　OF　STONE　プロジェクト 須田郡司写真展「聖石巡礼～沖縄・東北・世界」 |
| 47 | 17 | 日 | 共有講堂 | 琉球大学アメリカンフットボール部 OB・OG 会 OB・OG 交流会 | 82 | 24 | 日 | 共有講堂 | 一般社団法人日本肝臓学会 沖縄県支部 市民公開講座「肝臓の病気を正しく理解するために」 |
| 48 | 17 | 日 | 共有講堂 | 一般社団法人すでぃる ぬじゅん 2022「カメラになった男写真家中平卓馬」上映とシンポジウム | 83 | 24 | 日 | 県民アトリエ | 身体元気 CaPO 身体の使い方を練習するワークショップ |
| 49 | 17 | 日 | 共有講堂 | 在日本大韓民国民団沖縄県地方本部 第 16 回韓国語弁論大会 | 84 | 24 | 日 | 中庭 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 スケスケ展関連イベント「窓ガラスにお絵かきしよう」 |

| No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 85 | 24 | 日 | 博物館講座室 | ウチナーの民話上映会　デジタルミュージアム推進事業 令和４年度「ウチナーの民話上映会」 | 104 | 30 | 土 | 共有講堂 | 基地を笑え！！お笑い米軍基地 in おきみゅー（博物館常設展歴史部門展示室特集展関連催事） |
| 86 | 24 | 日 | 美術館講座室 | ㈱玄米酵素 食と健康セミナーin 那覇 | 105 | 30 | 土 | 博物館講座室 | 一般社団法人プロモーションうるま 令和４年度沖縄県移住定着促進事業「ステップ移住相談会」 |
| 87 | 26 | 火 | こどもアトリエ | 合同会社 miimuN みんなでワイワイ RESAS 勉強会！ | 106 | 30 | 土 | 博物館実習室 | asuo 坂下管理組合　第 10 回通常総会 |
| 88 | 26 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　理事会 | 107 | 31 | 日 | 共有講堂 | 博物館文化講座 公開シンポジウム「遺跡から尚巴志の生きた時代を考える」 |
| 89 | 26 | 火 | 美術館講座室 | 集積・再興事業工程会議 | 108 | 31 | 日 | 博物館講座室 | 博物館文化講座 公開シンポジウム「遺跡から尚巴志の生きた時代を考える」　第二会場 |
| 90 | 27 | 水 | スタジオ | 株式会社Ｅアファン　ＥアファンＮ・Ｄプラセンタ勉強会 | 109 | 31 | 日 | 美術館講座室 | 株式会社人事の味方 コードアドベンチャー無料体験会 |
| 91 | 27 | 水 | 共有講堂 | 北海道新聞社 どさんこしまんちゅセミナー | 110 | 8〜12 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 国立自然史博物館パネル展 |
| 92 | 27 | 水 | 県民アトリエ | ABCT 沖縄　資産設計セミナー | 111 | 8〜12 | | 美術館企画ギャラリー１ | 一般財団法人沖縄美ら島財団／琉球新報社 スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー　準備 |
| 93 | 27 | 水 | 博物館講座室 | 松島中職員研修 | 112 | 8〜12 | | 美術館企画ギャラリー２ | 一般財団法人沖縄美ら島財団／琉球新報社 スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー　準備 |
| 94 | 27 | 水 | 博物館講座室 | 那覇市社会福祉協議会 令和４年度　第 17 回　第１層協議体 | 113 | 8〜18 | | 博物館特別展示室 | 復帰 50 年　沖縄復帰後展　準備 |
| 95 | 27 | 水 | 博物館実習室 | 琉球三線楽器保存育成会 三線調査会 | 114 | 8〜18 | | 博物館企画展示室 | 復帰 50 年　沖縄復帰後展　準備 |
| 96 | 27 | 水 | 美術館講座室 | 株式会社琉球新報開発／沖縄県雇用政策課 沖縄県若年者人材確保・定着総合支援事業人事採用セミナー | 115 | 13〜18 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 国立自然史博物館パネル展/復帰 50 年 NHK 展 |
| 97 | 28 | 木 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アート市下見 | 116 | 13〜31 | | 講堂前ホワイエ | 復帰 50 年 NHK 展 |
| 98 | 28 | 木 | 博物館講座室 | 沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター 第 13 回事業引継ぎコーディネイター連絡会議 | 117 | 13〜31 | | 美術館企画ギャラリー１ | スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー |
| 99 | 28 | 木 | 博物館実習室 | 日本コープ共済生活協同組合連合会 コープおきなわ・コープ共済連　定例会議 | 118 | 13〜31 | | 美術館企画ギャラリー２ | スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー |
| 100 | 29 | 金 | 共有講堂 | ㈱沖縄環境保全研究所 沖縄の環境と持続可能な社会を考える～第３次沖縄県環境基本計画の策定に向けて～ | 119 | 20〜31 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 復帰 50 年 NHK 展/沖縄県史パネル展 |
| 101 | 29 | 金 | 博物館講座室 | 辻・本郷税理士法人沖縄事務所 相続ミニセミナー | 120 | 20〜31 | | 博物館企画展示室 | 復帰 50 年　沖縄復帰後展 |
| 102 | 29 | 金 | 博物館実習室 | ㈱リベル　会社説明会・面接 | 121 | 20〜31 | | 博物館特別展示室 | 復帰 50 年　沖縄復帰後展 |
| 103 | 29 | 金 | 美術館講座室 | 沖縄総合事務局農林水産部農政課 みどりの食料システム法に関する説明会 | | | | | |

## 【2022年８月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 火 | 共有講堂 | 沖縄国税事務所 インボイス制度説明会 | 14 | 4 | 木 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 2 | 2 | 火 | 博物館講座室 | 博物館夏休み教員向け講座 | 15 | 4 | 木 | 博物館講座室 | 金城達也税理士事務所 TKC 経営支援セミナー |
| 3 | 2 | 火 | 博物館実習室 | 博物館夏休み教員向け講座 | 16 | 5 | 金 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 4 | 2 | 火 | 美術館講座室 | 株式会社りゅうせきフロントライン 新入社員フォローアップ研修 | 17 | 5 | 金 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 5 | 3 | 水 | こどもアトリエ | 博物館「ウチナーンチ」ジュニアスタディ事業 | 18 | 5 | 金 | 共有講堂 | 博物館学芸員実習の発表会 |
| 6 | 3 | 水 | 共有講堂 | 沖縄国税事務所 インボイス制度説明会 | 19 | 5 | 金 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 7 | 3 | 水 | 県民アトリエ | 博物館「ウチナーンチ」ジュニアスタディ事業 | 20 | 5 | 金 | 博物館講座室 | 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 令和４年度ふれあい・いきいきサロン交流会 |
| 8 | 3 | 水 | 博物館講座室 | 公文教育研究会　那覇事務局 公文認定テスト | 21 | 5 | 金 | 博物館実習室 | 沖縄県造型教育連盟 第 59 回沖縄県造形教育研究大会　中学部研修 |
| 9 | 3 | 水 | 博物館実習室 | 博物館「ウチナーンチ」ジュニアスタディ事業 | 22 | 5 | 金 | 美術館講座室 | 沖縄県造型教育連盟 第 59 回沖縄県造形教育研究大会　小学部研修 |
| 10 | 3 | 水 | 美術館講座室 | 博物館「ウチナーンチ」ジュニアスタディ事業 | 23 | 6 | 土 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 11 | 4 | 木 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 24 | 6 | 土 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 12 | 4 | 木 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 25 | 6 | 土 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 『沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか？』出版記念講演会 |
| 13 | 4 | 木 | 共有講堂 | 沖縄国税事務所 インボイス制度説明会 | 26 | 6 | 土 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 | 6 | 土 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 スケスケ展関連イベント　セイタ先生の「スケスケの謎を知ろう」 | 60 | 13 | 土 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 28 | 6 | 土 | 博物館実習室 | 夏休みはおきみゅーへ GO！　夏休み！こどもフェスタ 2022「琉球絵画にも描かれた生き物を描いてみよ」 | 61 | 13 | 土 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 29 | 6 | 土 | 美術館講座室 | ㈱リベル　会社説明会・面接 | 62 | 13 | 土 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 30 | 6 | 土 | 美術館講座室 | フォーデイズ㈱ 核酸栄養セミナー | 63 | 13 | 土 | 博物館講座室 | 博物館学芸員講座『沖縄、復帰後。展 － いちまでぃん かなさ オキナワ －』見どころ紹介」 |
| 31 | 6 | 土 | 美術館講座室 | 治安維持法国賠同盟県本部 定期総会 | 64 | 13 | 土 | 美術館講座室 | 沖縄自主の会 美ら島講座 |
| 32 | 7 | 日 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 65 | 13 | 土 | 美術館講座室 | ㈱リベル　会社説明会・面接 |
| 33 | 7 | 日 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 66 | 14 | 日 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 34 | 7 | 日 | 共有講堂 | ぴあのれっすん ピアノ発表会 | 67 | 14 | 日 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 35 | 7 | 日 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 68 | 14 | 日 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務事務所 大人のための植物講座①「知ってるつもり！？代表的な島野菜の多様性」 |
| 36 | 7 | 日 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　総合研究センター 海洋文化講座太平洋と沖縄③　島の装い　ハジチとタトゥー | 69 | 14 | 日 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 37 | 7 | 日 | 博物館実習室 | 夏休みはおきみゅーへ GO！ 夏休み！こどもフェスタ 2022「ぬぬ遊び×き～る～染め」 | 70 | 14 | 日 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 13 才からのアート講座 |
| 38 | 7 | 日 | 美術館講座室 | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　審査会 | 71 | 14 | 日 | 博物館講座室 | 学生団体 OPE 進学応援 EXPO2022 |
| 39 | 9 | 火 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 72 | 14 | 日 | 美術館講座室 | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　審査会 |
| 40 | 9 | 火 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 73 | 16 | 火 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 41 | 9 | 火 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 74 | 16 | 火 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 42 | 9 | 火 | 博物館講座室 | 集積再興事業木彫分野監修者会議 | 75 | 16 | 火 | 共有講堂 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展関連催事「トークショー＆講演会」 |
| 43 | 9 | 火 | 博物館講座室 | 辻・本郷税理士法人沖縄事務所 相続セミナー | 76 | 16 | 火 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 44 | 9 | 火 | 博物館実習室 | 県民カレッジ | 77 | 16 | 火 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア連絡会 |
| 45 | 9 | 火 | 美術館講座室 | 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部　沖縄障害者職業センター 令和 4 年度第 1 回養成研修サポート研修・支援スキル向上研修サポート研修 | 78 | 16 | 火 | 博物館実習室 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展「夏休みワクワク教室」①②ダンボールでシーサーを作ろう、③絵手紙を書いてみよう |
| 46 | 10 | 水 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 79 | 16 | 火 | 美術館講座室 | 美術館　学芸員実習 |
| 47 | 10 | 水 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 80 | 17 | 水 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 48 | 10 | 水 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 81 | 17 | 水 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 49 | 10 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　理事会 | 82 | 17 | 水 | 共有講堂 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展関連催事「トークショー」 |
| 50 | 10 | 水 | 美術館講座室 | 沖盛塾 沖盛塾勉強会 | 83 | 17 | 水 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 51 | 11 | 木 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 84 | 17 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄労働局/那覇公共職業安定所ハーロック那覇 ①求職活動マインドセミナー②年金・医療保険セミナー |
| 52 | 11 | 木 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 85 | 17 | 水 | 博物館実習室 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展「夏休みワクワク教室」①②ダンボールでシーサーを作ろう、③絵手紙を書いてみよう |
| 53 | 11 | 木 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 86 | 17 | 水 | 美術館講座室 | 美術館学芸員実習 |
| 54 | 11 | 木 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 スケスケ展関連イベント「動物をつくってみよう！描いてみよう！」 | 87 | 18 | 木 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 55 | 11 | 木 | 博物館実習室 | ㈱リベル　会社説明会・面接 | 88 | 18 | 木 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 56 | 12 | 金 | こどもアトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 89 | 18 | 木 | 共有講堂 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展関連催事「トークショー」 |
| 57 | 12 | 金 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 90 | 18 | 木 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 58 | 12 | 金 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 91 | 18 | 木 | 博物館講座室 | ㈱地域科学研究所 自治体経営セミナー |
| 59 | 12 | 金 | 博物館実習室 | ㈱リベル　会社説明会・面接 | 92 | 18 | 木 | 博物館実習室 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展「夏休みワクワク教室」①②ダンボールでシーサーを作ろう、③絵手紙を書いてみよう |

| No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 93 | 18 | 木 | 美術館 講座室 | 美術館学芸員実習 | 126 | 24 | 水 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 94 | 19 | 金 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 127 | 24 | 水 | 共有 講堂 | 那覇市民生員児童委員連合会 令和４年度　那覇地区合同研修会（那覇市委託事業） |
| 95 | 19 | 金 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 128 | 24 | 水 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 96 | 19 | 金 | 共有 講堂 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展関連催事「トークショー」 | 129 | 24 | 水 | 博物館 講座室 | 三線寄贈受け取り |
| 97 | 19 | 金 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 130 | 24 | 水 | 博物館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アート市下見 |
| 98 | 19 | 金 | 博物館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 スケスケ展関連イベント「オキナワスケスケを詳しく知ろう」 | 131 | 24 | 水 | 博物館 実習室 | 琉球三線楽器保存育成会 三線調査会 |
| 99 | 19 | 金 | 博物館 講座室 | 沖縄県三線文化振興協議会設立準備委員会/沖縄県三線製作事業協同組合 第２回ワールド三線ｆフェスティバル実行委員会 | 132 | 24 | 水 | 博物館 実習室 | 民具体験見学 |
| 100 | 19 | 金 | 博物館 実習室 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展「夏休みワクワク教室」①②ダンボールでシーサーを作ろう、③絵手紙を書いてみよう | 133 | 24 | 水 | 美術館 講座室 | 博物館 漆芸分野監修者会議 |
| 101 | 19 | 金 | 美術館 講座室 | 美術館学芸員実習 | 134 | 25 | 木 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 102 | 19 | 金 | 美術館 講座室 | 沖縄県立美術館支援会 happ　三者会議 | 135 | 25 | 木 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 103 | 20 | 土 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 136 | 25 | 木 | 共有 講堂 | 株式会社ウィンメディックス 患者会～医療の未来が見える健康セミナー |
| 104 | 20 | 土 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 137 | 25 | 木 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 105 | 20 | 土 | 共有 講堂 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展関連催事「トークショー」 | 138 | 25 | 木 | 美術館 講座室 | 一般社団法人しまたて協会 R4 年度景観行政研修会プログラム（基礎編：行政初任者　2 日間） |
| 106 | 20 | 土 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 139 | 25 | 木 | 美術館 講座室 | ライフウェーブ　研修会 |
| 107 | 20 | 土 | 博物館 実習室 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展「夏休みワクワク教室」①②ダンボールでシーサーを作ろう、③絵手紙を書いてみよう | 140 | 26 | 金 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 108 | 20 | 土 | 美術館 講座室 | 那覇市女性の翼の会 8 月学習会「新しい生き方としごとづくり」 | 141 | 26 | 金 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 109 | 21 | 日 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 142 | 26 | 金 | 共有 講堂 | 博物館学芸員実習閉講式 |
| 110 | 21 | 日 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 143 | 26 | 金 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 111 | 21 | 日 | 共有 講堂 | 博物館文化講座「沖縄・ウクライナ・琉球王国─35 年におよぶ沖縄とのふれあいの中で」 | 144 | 26 | 金 | 博物館 講座室 | 沖縄県国民健康保険団体連合会 令和４年度第三者行為求償事務管理者及び担当者研修会 |
| 112 | 21 | 日 | 共有 講堂 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展関連催事「トークショー」 | 145 | 26 | 金 | 博物館 実習室 | 沖縄県都市計画・モノレール課/一般社団法人沖縄しまたて協会 R4 年度景観行政研修会プログラム【基礎編：行政初任者（2 日目） |
| 113 | 21 | 日 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 146 | 26 | 金 | 美術館 講座室 | 美術館学芸員実習 閉校式 |
| 114 | 21 | 日 | 博物館 講座室 | ㈱SUN/サンベール 勉強会健康セミナー | 147 | 26 | 金 | 美術館 講座室 | 沖縄県都市計画・モノレール課/一般社団法人しまたて協会 R4 年度景観行政研修会プログラム【基礎編：行政初任者（２日目） |
| 115 | 21 | 日 | 博物館 講座室 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会 | 148 | 27 | 土 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 116 | 21 | 日 | 博物館 実習室 | 日本郵便株式会社　沖縄支社 沖縄復帰 50 周年記念　琉球切手展「夏休みワクワク教室」①②ダンボールでシーサーを作ろう、③絵手紙を書いてみよう | 149 | 27 | 土 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 117 | 21 | 日 | 美術館 講座室 | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　審査会 | 150 | 27 | 土 | 共有 講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 スケスケ展関連イベント「法医学での骨の視かた─見えるものから、見えないことを考える─」 |
| 118 | 23 | 火 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 151 | 27 | 土 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 |
| 119 | 23 | 火 | スタジオ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 152 | 27 | 土 | 博物館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アート市下見 |
| 120 | 23 | 火 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 153 | 27 | 土 | 博物館 講座室 | ACN 沖縄　研修会 |
| 121 | 23 | 火 | 博物館 講座室 | 沖縄県商工労働部労働製作課／㈱プラスキャリア 非正規労働者処遇改善事業　労働環境課題改善セミナー | 154 | 27 | 土 | 博物館 実習室 | 生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合　定例会議 |
| 122 | 23 | 火 | 博物館 講座室 | 沖縄県公共交通活性化推進協議会（沖縄県企画部交通政策課）　沖縄県公共交通活性化推進協議会第 42 回幹事会 | 155 | 28 | 日 | こども アトリエ | ワールドピースキャンペーン ヨグマタ瞑想の集い |
| 123 | 23 | 火 | 博物館 実習室 | 民具体験見学 | 156 | 28 | 日 | スタジオ | 九州医療スポーツ専門学校 出張学校説明会 |
| 124 | 23 | 火 | 美術館 講座室 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業　工程会議 | 157 | 28 | 日 | 共有 講堂 | アポロぎのわん　特別授業 |
| 125 | 24 | 水 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管 | 158 | 28 | 日 | 県民 アトリエ | ワールドピースキャンペーン ヨグマタ瞑想の集い |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 159 | 28 | 日 | 博物館講座室 | しまくとぅばプロジェクト　しまくとぅば鼎談 | 167 | 31 | 水 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 立命館宇治高等学校オリエンテーション |
| 160 | 28 | 日 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 万国津梁の鐘プロジェクト関連催事　万国津梁の鐘の音に着目し、音を可視化する実験、鐘の音にまつれ | 168 | 2〜31 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 博物館復帰 50 年 NHK 展/沖縄県史パネル展 |
| 161 | 28 | 日 | 博物館実習室 | 合同会社 ADCT 奇跡の起こし方　T 蔵セミナー vol.29 | 169 | 2〜31 | | 共有講堂前ホワイエ | 博物館復帰 50 年 NHK 展 |
| 162 | 28 | 日 | 美術館講座室 | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　審査会 | 170 | 2〜31 | | 博物館企画展示室 | 復帰 50 年　沖縄復帰後展 |
| 163 | 30 | 火 | 博物館実習室 | 自主民具体験　下見 | 171 | 2〜31 | | 博物館特別展示室 | 復帰 50 年　沖縄復帰後展 |
| 164 | 30 | 火 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アート市下見 | 172 | 2〜31 | | 美術館企画ギャラリー１ | スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー |
| 165 | 30 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄県公共交通活性化推進協議会（沖縄県企画部交通政策課）第 37 回　沖縄県公共交通活性化推進協議会／令和４年度 JCOMV 賞の受賞に関する記者発表 | 173 | 2〜31 | | 美術館企画ギャラリー２ | スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー |
| 166 | 30 | 火 | 美術館講座室 | 自由民主・市民クラブ 八戸市議会 沖縄県立博物館・美術館視察 | | | | | |

## 【2022年９月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 木 | 博物館講座室 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業　第１回監修者会議（発信業務） | 25 | 8 | 木 | 博物館講座室 | 沖縄県信用保証協会 令和４年度　構成機関実務担当者向け講習会 |
| 2 | 1 | 木 | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 一般社団法人琉球フィルハーモニック　ビジネスに効くクラシック音楽セミナー&ミニコンサート | 26 | 8 | 木 | 博物館講座室 | 沖縄尚学高等学校・附属中学校　学習塾関係者対象　学校説明会 |
| 3 | 1 | 木 | 博物館講座室 | 一般社団法人琉球フィルハーモニック　ビジネスに効くクラシック音楽セミナー&ミニコンサート | 27 | 8 | 木 | 美術館講座室 | EY 税理士法人　夏季インターンシップ |
| 4 | 2 | 金 | こどもアトリエ | 山口　愛美 採用試験の勉強会 | 28 | 9 | 金 | こどもアトリエ | 創元会沖縄支部　実技研修会 |
| 5 | 2 | 金 | 博物館講座室 | 沖縄県国民健康保険団体連合会 令和４年度国保税（料）徴収・収納対策管理監督者及び実務担当者研修会 | 29 | 9 | 金 | スタジオ | 石川高校オリエンテーション |
| 6 | 2 | 金 | 美術館講座室 | 緑間優税理士事務所 インボイス制度セミナー | 30 | 9 | 金 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーション/与那原小学校 |
| 7 | 3 | 土 | 共有講堂 | 沖縄県地域医療支援センター 琉球大学医学部医学科地域枠制度説明会 | 31 | 9 | 金 | 県民アトリエ | 創元会沖縄支部　実技研修会 |
| 8 | 3 | 土 | 共有講堂 | The Team 沖縄カンパニープレゼンテーション TheTeam×LIFEWAVEJAPAN 高嶋学カントリーマネージャー講演会 | 32 | 9 | 金 | 博物館講座室 | フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー |
| 9 | 3 | 土 | 県民アトリエ | 体軸コンディショニング 体感アナトミー | 33 | 9 | 金 | 博物館講座室 | 札幌大学ウレシパクラブ 札幌大学ウレシパクラブ沖縄研修 |
| 10 | 3 | 土 | 博物館講座室 | 沖縄県空手振興課／株式会社チャイナゲートウェイ 令和４年度　聖地・沖縄空手ガイド養成事業 | 34 | 9 | 金 | 美術館講座室 | EY 税理士法人　夏季インターンシップ |
| 11 | 3 | 土 | 博物館講座室 | ㈱シナジープラス 相続・軍用地セミナー | 35 | 10 | 土 | 共有講堂 | 博物館学芸員講座「遺跡からかいま見る尚巴志の時代 ー尚巴志即位 600 年を記念してー」 |
| 12 | 4 | 日 | 共有講堂 | 沖縄県教育委員会「県史現代」刊行記念シンポジウム」 | 36 | 10 | 土 | 美術館講座室 | 有限会社ライブアップ 有限会社ライブアップ |
| 13 | 4 | 日 | 県民アトリエ | 体軸コンディショニング 体感アナトミー | 37 | 10 | 土 | 美術館講座室 | ㈱リベル　採用説明会 |
| 14 | 6 | 火 | 博物館講座室 | 辻・本郷税理士法人 沖縄事務所 相続ミニセミナー | 38 | 11 | 日 | スタジオ | ㈱Join 代理店リーダー会議 |
| 15 | 6 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄尚学高等学校・附属中学校 沖縄尚学高等学校・附属中学校　学習塾関係者対象　学校説明会 | 39 | 11 | 日 | 共有講堂 | 社団法人訓民正音グローバル協会沖縄支部 沖縄韓国語スピーチ大会 |
| 16 | 6 | 火 | 美術館講座室 | EY 税理士法人　夏季インターンシップ | 40 | 11 | 日 | 共有講堂 | 嘉手納　麻子 第８回ピアノ発表会 |
| 17 | 7 | 水 | スタジオ | アーゲル 西銘生義理念継承 講習会 | 41 | 11 | 日 | 博物館講座室 | 三育中学校　来館学習 |
| 18 | 7 | 水 | 共有講堂 | 情報労連沖縄県協議会 9・7 平和学習会 | 42 | 11 | 日 | 博物館講座室 | ㈱Join 代理店ビジネスツアー　２日目 |
| 19 | 7 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄労働局／ハローワーク那覇 令和４年度　障碍者就職ミニ面接会 | 43 | 11 | 日 | 博物館講座室 | 株式会社カイサロン 青木開第二書籍出版記念講演会 |
| 20 | 7 | 水 | 美術館講座室 | EY 税理士法人　夏季インターンシップ | 44 | 11 | 日 | 美術館講座室 | D'クラディア新都心センタープレイス管理組合第 17 期通常総会 |
| 21 | 8 | 木 | こどもアトリエ | 創元会沖縄支部　実技研修会 | 45 | 11 | 日 | 美術館講座室 | 琉球岳風会 指導者研修及び吟和会 |
| 22 | 8 | 木 | スタジオ | ソニー生命保険 支社研修 | 46 | 13 | 火 | スタジオ | ジブラルタ生命保険株式会社 沖縄支社　所長会議 |
| 23 | 8 | 木 | 共有講堂 | 土木学会西部支部沖縄会 2022 年度土木学会西部支部沖縄会　特別講演会 | 47 | 13 | 火 | 博物館講座室 | 集積再興事業石彫分野監修者会議 |
| 24 | 8 | 木 | 県民アトリエ | 創元会沖縄支部　実技研修会 | 48 | 13 | 火 | 博物館実習室 | 古刺繍ワークショップ　打ち合わせ |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 49 | 13 | 火 | 美術館講座室 | ㈱プレナスワールド 医療費削減協議会　健康セミナー | 84 | 24 | 土 | 県民アトリエ | 体軸コンディショニング 体軸セラピスト　レベル４ |
| 50 | 14 | 水 | 博物館講座室 | 社会福祉法人若竹福祉会/南部地区障がい者就業・生活支援センターかるにあ 障がい者の消費者被害未然防止研修 | 85 | 24 | 土 | 博物館講座室 | しまくとぅばプロジェクト しまくとぅば鼎談 |
| 51 | 14 | 水 | 美術館講座室 | 沖盛塾 勉強会 | 86 | 24 | 土 | 博物館実習室 | 生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 ９月度定例理事会 |
| 52 | 15 | 木 | こどもアトリエ | 株式会社ツクイ　ツクイ沖縄那覇訪問介護会社説明会・面接 | 87 | 24 | 土 | 美術館講座室 | NPO 沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 |
| 53 | 15 | 木 | スタジオ | ソニー生命保険　那覇 LPC 第一支社 支社研修 | 88 | 24 | 土 | 美術館講座室 | フリーベル天久新都心第２管理組合　定期総会 |
| 54 | 15 | 木 | 博物館講座室 | 株式会社 sun/サンベール 健康セミナー | 89 | 25 | 日 | スタジオ | 社会福祉法人雅福祉会 雅福祉会リーダー研修会 |
| 55 | 15 | 木 | 博物館実習室 | ゆたか小学校　民具体験 | 90 | 25 | 日 | 県民アトリエ | 体軸コンディショニング 体軸セラピスト　レベル４ |
| 56 | 15 | 木 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 職場体験　IPM 講義 | 91 | 25 | 日 | 博物館講座室 | 沖縄県眼科医会 第 14 回沖縄眼科集談会 |
| 57 | 15 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　理事会 | 92 | 25 | 日 | 博物館講座室 | 沖縄県産婦人科医会 子宮がんから女性を守る市民公開講座 |
| 58 | 16 | 金 | 博物館講座室 | 沖縄県教職員共済会退職互助部　映像上映 | 93 | 25 | 日 | 美術館講座室 | 復帰 50 年コレクション展　FUKKI QUALIA「復帰」と沖縄美術関連催事　アメリカ世の沖縄美術 |
| 59 | 16 | 金 | 博物館講座室 | 沖縄労働局／那覇公共職業安定所 ①求職活動マインドセミナー　②年金・医療保険セミナー | 94 | 25 | 日 | 美術館講座室 | 玉城晋也／Wa Enterprise Wa Enterprise　事業説明会 |
| 60 | 16 | 金 | 博物館実習室 | 株式会社ツクイ　 ツクイ沖縄那覇訪問介護会社説明会・面接 | 95 | 27 | 火 | 共有講堂 | 全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 管理業務効率化セミナー |
| 61 | 16 | 金 | 美術館講座室 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業　工程会議 | 96 | 27 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄県商工労働部労働政策課／㈱プラスキャリアワーク・ライフ・バランス定着支援事業「ワーク・ライフ・バランス推進リーダー養成講座」 |
| 62 | 17 | 土 | こどもアトリエ | OKINAWA アートワークショップ 2022「手作り雑貨部門」ワイヤーアート | 97 | 27 | 火 | 博物館実習室 | 株式会社リベル　採用説明会 |
| 63 | 17 | 土 | スタジオ | 沖縄朝鮮友好の会 研究会 | 98 | 27 | 火 | 美術館講座室 | 真和志高校オリエンテーション |
| 64 | 17 | 土 | 共有講堂 | 博物館文化講座「ぼくの沖縄〈復帰後〉50 年史」 | 99 | 27 | 火 | 美術館講座室 | エキスティックエピセンター株式会社 小渕沖縄教育プログラム奨学金説明会 |
| 65 | 17 | 土 | 共有講堂 | 株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2022/９月会特集：アイヌの家作り「チセアカラ-われらいえをつくる-」 | 100 | 28 | 水 | 博物館講座室 | ヨギパートナース 沖縄県中小企業経営者様向け給与・賞与の決め方勉強会 |
| 66 | 17 | 土 | 県民アトリエ | OKINAWA アートワークショップ 2022「手作り雑貨部門」ワイヤーアート | 101 | 28 | 水 | 博物館講座室 | サンワコムシスエンジニアリング（株）沖縄支店 2022 年９月度　安全衛生協議会 |
| 67 | 17 | 土 | 博物館実習室 | 株式会社ツクイ ツクイ沖縄那覇訪問介護会社説明会・面接 | 102 | 28 | 水 | 博物館実習室 | 琉球三線楽器保存育成会　三線調査会 |
| 68 | 17 | 土 | 美術館講座室 | NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 | 103 | 28 | 水 | 美術館講座室 | 満喜株式会社 満喜株式会社　会計セミナー |
| 69 | 18 | 日 | こどもアトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 アートを身近に！プロジェクト　おきみゅーモノづくり部 | 104 | 29 | 木 | 共有講堂 | 株式会社ウィンメディックス　株主説明会 |
| 70 | 18 | 日 | スタジオ | 長谷川　嘉哉/奥島　徹也 医師の資産形成セミナー | 105 | 29 | 木 | 博物館講座室 | 一財）沖縄美ら島財団 オリエンテーション　沖縄カトリック中学校 |
| 71 | 18 | 日 | 県民アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 アートを身近に！プロジェクト　おきみゅーモノづくり部 | 106 | 29 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県三線文化振興協議会設立準備委員会/沖縄県三線製作事業協同組合 第３回ワールド三線フェスティバル実行委員会 |
| 72 | 18 | 日 | 美術館講座室 | ㈱ドローン検定協会　無人航空従事者試験 | 107 | 29 | 木 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄しまたて協会 R４年度景観行政研修会プログラム（基礎編） |
| 73 | 19 | 月 | 博物館講座室 | しまくとぅばプロジェクト しまくとぅばプロジェクト「しまくとぅばの日」シンポジウム | 108 | 30 | 金 | 博物館講座室 | 一般社団法人沖縄県バス協会 令和４年度　貸切バス事業者講習会 |
| 74 | 19 | 月 | 美術館講座室 | 公益財団法人日本国際問題研究所主催「第２回尖閣資料検討会」 | 109 | 30 | 金 | 博物館実習室 | 南部広域市町村圏事務組合 令和４年度広域研修事業 |
| 75 | 19 | 月 | 美術館講座室 | 株式会社リベル　採用説明会 | 110 | 30 | 金 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄しまたて協会 R４年度景観行政研修会プログラム（基礎編） |
| 76 | 21 | 水 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア連絡会 | 111 | 2〜19 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 沖縄県史パネル展 |
| 77 | 21 | 水 | 美術館講座室 | 清水唯一郎研究室（慶應 SFC 学会）　日本政治外交（JPD）ゼミ夏合宿 | 112 | 21〜30 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ | 博物館友の会 尚巴志王　即位 600 年記念展示 |
| 78 | 22 | 木 | 博物館実習室 | 公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 シルバー人材センター会計担当者連絡会議 | 113 | 1〜25 | | 講堂前ホワイエ | 復帰 50 年 NHK 展 |
| 79 | 22 | 木 | 美術館講座室 | 大鏡建設株式会社　大鏡 CRE「企業と不動産」セミナーvol.14 | 114 | 27〜30 | | 講堂前ホワイエ | 復帰 50 年展「琉球ー美とその背景ー」準備 |
| 80 | 23 | 金 | スタジオ | 保険マンモス株式会社 お子さまモデルオーディション撮影会＆ライフプラン相談会 | 115 | 1〜30 | | 博物館企画展示室 | 復帰 50 年　沖縄復帰後展 |
| 81 | 23 | 金 | 博物館講座室 | NPO 法人沖縄県マンション管理組合連合会 2022 年度マンション管理セミナー | 116 | 1〜30 | | 博物館特別展示室 | 復帰 50 年　沖縄復帰後展 |
| 82 | 23 | 金 | 美術館講座室 | 清水唯一朗オーラルヒストリー研究会／慶應 SFC 学会 清水唯一朗オーラルヒストリー研究会夏合宿 | 117 | 1〜4 | | 美術館企画ギャラリー１ | スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー |
| 83 | 24 | 土 | スタジオ | D’クラディア新都心ラックスヒルヒルズ管理組合　大規模修繕工事　施工会社ヒアリング会 | 118 | 5〜9 | | 美術館企画ギャラリー１ | スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー　片付け |

| No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 119 | 10〜30 | | 美術館企画ギャラリー１ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト 「日本絵画と西洋絵画、見くらべ展―世界の名画に親しもう vol.2」(広報事業) | 121 | 5〜9 | | 美術館企画ギャラリー２ | スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー片付け |
| 120 | 1〜4 | | 美術館企画ギャラリー２ | スケスケ展ースケると見える仕組みの世界ー | 122 | 10〜30 | | 美術館企画ギャラリー２ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト「日本絵画と西洋絵画、見くらべ展―世界の名画に親しもう vol.2」（広報事業） |

## 【2022年10月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 土 | 共有講堂 | 世界ウチナーンチュ関連　シンポジウム | 31 | 9 | 日 | スタジオ | 九州医療スポーツ専門学校　 沖縄現地入学試験 |
| 2 | 1 | 土 | 博物館講座室 | 戦争の記憶を継承するための沖縄ー長野市民交流<br>戦争の記憶を継承するための沖縄ー長野市民交流 | 32 | 9 | 日 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所<br>大人のための植物講座②「植物の名前はどう決められているのか？」 |
| 3 | 1 | 土 | 博物館講座室 | ㈱玄米酵素　食と健康セミナー | 33 | 9 | 日 | 県民アトリエ | 九州医療スポーツ専門学校　 沖縄現地入学試験 |
| 4 | 1 | 土 | 美術館講座室 | NPO 沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 | 34 | 9 | 日 | 博物館講座室 | 公益社団法人沖縄県理学療法士協会 協会指定管理者研修（職域別） |
| 5 | 2 | 日 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　総合研究センター<br>海洋文化講座　太平洋と沖縄④　島の神々　仮面・仮装の来訪神 | 35 | 9 | 日 | 美術館講座室 | 琉球岳風会 指導者研修及び吟和会 |
| 6 | 2 | 日 | 美術館企画ギャラリー２ | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所<br>アートを身近に！プロジェクト　美術館で yoga<br>頑張っているあなたの心と身体にご褒美を！！ | 36 | 10 | 月 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所<br>解体梵鐘 vol.7 「万国津梁」の時代にアプローチした研究者たち |
| 7 | 2 | 日 | 美術館講座室 | 特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 理事会 | 37 | 12 | 水 | 博物館講座室 | うるま市立具志川小学校オリエンテーション |
| 8 | 4 | 火 | こどもアトリエ | アートコンクール審査 | 38 | 12 | 水 | 博物館講座室 | 辻・本郷税理士法人　沖縄事務所 相続ミニセミナー |
| 9 | 4 | 火 | 県民アトリエ | アートコンクール審査 | 39 | 12 | 水 | 美術館講座室 | うるま市立具志川小学校オリエンテーション |
| 10 | 4 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄県商工労働部雇用政策課／㈱プラスキャリア<br>ワーク・ライフ・バランス定着支援事業「ワーク・ライフ・バランス推進リーダー養成講座」 | 40 | 12 | 水 | 美術館講座室 | 沖盛塾　勉強会 |
| 11 | 4 | 火 | 博物館講座室 | 明治安田生命保険相互会社 がんセミナー | 41 | 13 | 木 | スタジオ | LVS 株式会社　 ラフィーユアカデミー「修了式」 |
| 12 | 5 | 水 | 博物館講座室 | 東京都下水道サービス㈱ 沖縄県下水道排水設備工事責任技術者試験前講習会 | 42 | 13 | 木 | 博物館講座室 | 沖縄労働局 課長・統括級職長研修 |
| 13 | 5 | 水 | 博物館実習室 | 自主民具体験/高嶺小学校 | 43 | 13 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　理事会 |
| 14 | 5 | 水 | 博物館実習室 | ㈱リベル　面接・会社説明 | 44 | 14 | 金 | こどもアトリエ | 株式会社ツクイ ツクイ沖縄那覇　訪問介護　会社説明会・面接会 |
| 15 | 5 | 水 | 美術館講座室 | 沖縄総合事務局総務部総務課広報室 沖縄総合事務局 50 年の歩み映像制作プレゼンテーション | 45 | 14 | 金 | 共有講堂 | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　表彰式準備 |
| 16 | 6 | 木 | スタジオ | 旭化成ファーマ（株）沖縄出張所 第２回慈恵医大北関東同門　Webinar | 46 | 14 | 金 | 共有講堂 | ㈱OTS サービス経営研究所 研修 |
| 17 | 6 | 木 | 博物館講座室 | ㈱琉球新報開発 令和４年度「女性の就職総合支援事業」合同企業説明会 | 47 | 14 | 金 | 博物館実習室 | 那覇みらいオリエンテーション |
| 18 | 6 | 木 | 博物館実習室 | ㈱琉球新報開発 令和４年度「女性の就職総合支援事業」合同企業説明会 | 48 | 14 | 金 | 美術館講座室 | 公益財団法人沖縄県産業振興公社　事業支援課事業推進事業 第３回　後継者育成塾「ビジネスモデル」儲けてきた仕組みを知り、儲けていく仕掛けをつくる |
| 19 | 6 | 木 | 美術館講座室 | 南部地区障がい者就業・生活支援センターかるにあ/社会福祉法人若竹福祉会 令和４年度就労移行等連携等調整事業　就労支援担当者研修 | 49 | 15 | 土 | こどもアトリエ | 株式会社ツクイ　ツクイ沖縄那覇訪問介護会社説明会・面接会 |
| 20 | 7 | 金 | こどもアトリエ | アートコンクール審査 | 50 | 15 | 土 | 共有講堂 | 博物館文化講座「琉球美術史への招待 ―グスクの城壁から工芸品のデザインまで―」 |
| 21 | 7 | 金 | 県民アトリエ | アートコンクール審査 | 51 | 15 | 土 | 共有講堂 | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　表彰式 |
| 22 | 7 | 金 | 博物館講座室 | フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー | 52 | 15 | 土 | 県民アトリエ | 体軸コンディショニング 体感アナトミー |
| 23 | 7 | 金 | 美術館講座室 | エキスティックエピセンター株式会社 小渕沖縄教育プログラム奨学金説明会 | 53 | 15 | 土 | 博物館実習室 | OKINAWA アートワークショップ 2022「漆喰シーサーに挑戦！」 |
| 24 | 8 | 土 | こどもアトリエ | 九州医療スポーツ専門学校　 沖縄現地入学試験事前準備 | 54 | 15 | 土 | 美術館講座室 | NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 |
| 25 | 8 | 土 | スタジオ | 九州医療スポーツ専門学校　 沖縄現地入学試験事前準備 | 55 | 16 | 日 | スタジオ | 長谷川　嘉哉/奥島　徹也 医師の資産形成セミナー |
| 26 | 8 | 土 | 共有講堂 | 赤嶺ゆかり ご先祖様のメッセージに気づけは、生き方が変わる | 56 | 16 | 日 | 共有講堂 | 沖縄県教育委員会 「県史現代」刊行記念シンポジウム |
| 27 | 8 | 土 | 美術館企画ギャラリー２ | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所<br>アートを身近に！プロジェクト　美術館で yoga<br>頑張っているあなたの心と身体にご褒美を！！ | 57 | 16 | 日 | 県民アトリエ | 体軸コンディショニング 体感アナトミー |
| 28 | 8 | 土 | 県民アトリエ | 九州医療スポーツ専門学校　 沖縄現地入学試験事前準備 | 58 | 16 | 日 | 博物館講座室 | 藤原幸治 「2022 年　那覇　相続・マネーセミナー」 |
| 29 | 8 | 土 | 美術館講座室 | NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 | 59 | 16 | 日 | 博物館実習室 | OKINAWA アートワークショップ 2022「漆喰シーサーに挑戦！」 |
| 30 | 9 | 日 | こどもアトリエ | 九州医療スポーツ専門学校　 沖縄現地入学試験 | 60 | 18 | 火 | こどもアトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 産廃　保管場所 |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 61 | 18 | 火 | スタジオ | (公社)沖縄県シルバー人材センター連合 シルバー人材センター連合事業推進検討委員会 | 96 | 23 | 日 | 博物館 講座室 | アシュヴィニ・アーユルヴェーダスクール 「暮らしに生かすアーユルヴェーダ」出版記念講演会 |
| 62 | 18 | 火 | 共有 講堂 | ボランティア全体会議 | 97 | 23 | 日 | 博物館 実習室 | 一般社団法人琉球フィルハーモニック 那覇ジュニアオーケストラ練習会 |
| 63 | 18 | 火 | 県民 アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 産廃 保管場所 | 98 | 23 | 日 | 美術館 講座室 | アイ・サポート 世界経済セミナー |
| 64 | 18 | 火 | 博物館 講座室 | 博物館ボランティア連絡会 | 99 | 25 | 火 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 65 | 18 | 火 | 博物館 講座室 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業 工程会議 | 100 | 25 | 火 | スタジオ | 摂南大学 理工学部 建築学科 温冷感覚の感度の個人差を把握する被験者実験 |
| 66 | 18 | 火 | 美術館 講座室 | 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部 沖縄障害者職業センター 令和４年度第2回養成研修サポート研修・支援スキル向上研修サポート研修 | 101 | 25 | 火 | 共有 講堂 | 沖縄県企画部統計課 令和４年度労働力調査 調査員合同指導会 |
| 67 | 19 | 水 | こども アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 産廃 保管場所 | 102 | 25 | 火 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 68 | 19 | 水 | 県民 アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 産廃 保管場所 | 103 | 25 | 火 | 博物館 講座室 | 近畿日本ツーリスト㈱/琉球ミライ㈱/一般社団法人グローカル教育センター 令和４年度グローバル・リーダー育成短期研修事業【専門高校生国外研修】 |
| 69 | 19 | 水 | 博物館 講座室 | 沖縄労働局/那覇公共職業安定所 職業相談部門 ①年金・医療保険セミナー ②キャリアチェンジセミナー | 104 | 25 | 火 | 美術館 講座室 | 株式会社アイダ設計 建設部沖縄エリア 業者会議 |
| 70 | 19 | 水 | 博物館 実習室 | 國吉 功 健康セミナー | 105 | 26 | 水 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 71 | 19 | 水 | 美術館 講座室 | 藤原幸治 「2022年 那覇 相続・マネーセミナー」 | 106 | 26 | 水 | スタジオ | 摂南大学理工学部建築学科 温冷感覚の感度の個人差を把握する被験者実験 |
| 72 | 20 | 木 | こども アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 産廃 保管場所 | 107 | 26 | 水 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 73 | 20 | 木 | スタジオ | 沖縄県土地改良事業団体連合会 九州・沖縄ブロック水土里情報センター連絡会議 | 108 | 26 | 水 | 博物館 講座室 | 古堅南小学校オリエンテーション |
| 74 | 20 | 木 | 共有 講堂 | 一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会 第18回 環境衛生シンポジウム | 109 | 26 | 水 | 博物館 実習室 | 琉球三線楽器保存育成会 三線調査会 |
| 75 | 20 | 木 | 県民 アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 産廃 保管場所 | 110 | 26 | 水 | 美術館 講座室 | 沖縄県文化振興課 令和４年度 第２回しまくとぅば普及推進専門部会 |
| 76 | 20 | 木 | 博物館 講座室 | 沖縄労働局 課長・統括級職長研修 | 111 | 27 | 木 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 77 | 20 | 木 | 美術館 講座室 | オリエンテーション | 112 | 27 | 木 | スタジオ | 沖縄県高等学校文化連盟美術工芸専門部 第46回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 |
| 78 | 21 | 金 | こども アトリエ | ランドブレイン株式会社 沖縄事務所 令和４年度離島・過疎コミュニティ・ビジネス支援事業「推進会議」 | 113 | 27 | 木 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 79 | 21 | 金 | スタジオ | 沖縄県土地改良事業団体連合会 九州・沖縄ブロック水土里情報センター連絡会議 | 114 | 27 | 木 | 博物館 講座室 | 一般社団法人沖縄オープンラボラトリ OOL活動報告会 2022-2・フォーラム |
| 80 | 21 | 金 | 県民 アトリエ | ランドブレイン株式会社 沖縄事務所 令和４年度離島・過疎コミュニティ・ビジネス支援事業「推進会議」 | 115 | 27 | 木 | 博物館 実習室 | 摂南大学 理工学部 建築学科 温冷感覚の感度の個人差を把握する被験者実験 |
| 81 | 21 | 金 | 博物館 講座室 | ライフバリューパートナーズ/ビーライフ・アシスト合同会社 ATR4期 | 116 | 27 | 木 | 美術館 講座室 | 沖縄県高等学校文化連盟美術工芸専門部 会議 |
| 82 | 22 | 土 | こども アトリエ | アトリエ ウインズ 秋の「Saxophone」展示会 | 117 | 28 | 金 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 83 | 22 | 土 | スタジオ | アトリエ ウインズ 秋の「Saxophone」展示会 | 118 | 28 | 金 | スタジオ | 沖縄県高等学校文化連盟美術工芸専門部 第46回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 |
| 84 | 22 | 土 | 共有 講堂 | シンポジウム 守り継がれてきた琉球の文化～琉球コレクションの成り立ちと意義について～ | 119 | 28 | 金 | 共有 講堂 | 沖縄県文化観光スポーツ部/株式会社ブレーン沖縄 令和４年度「国内富裕層向けプロモーション事業」第３回ネットワーク会議 |
| 85 | 22 | 土 | 共有 講堂 | 仁禮 恵子 映画「森のムラブリ インドシナ最後の狩猟民」上映会 | 120 | 28 | 金 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 86 | 22 | 土 | 県民 アトリエ | アトリエ ウインズ 秋の「Saxophone」展示会 | 121 | 28 | 金 | 博物館 講座室 | 自主民具体験/古蔵小学校 |
| 87 | 22 | 土 | 博物館 講座室 | ライフバリューパートナーズ/ビーライフ・アシスト合同会社 ATR4期 | 122 | 28 | 金 | 博物館 講座室 | ㈱玄米酵素 食と健康セミナーin那覇 |
| 88 | 22 | 土 | 博物館 実習室 | 琉球展関連「勾玉づくり」 | 123 | 28 | 金 | 博物館 実習室 | 北丘小学校 自主民具体験 |
| 89 | 22 | 土 | 博物館 実習室 | フリーベル天久新都心管理組合／タマキホーム株式会社 マンション管理組合 定期総会 | 124 | 28 | 金 | 博物館 実習室 | 古蔵小学校 自主民具体験 |
| 90 | 22 | 土 | 美術館 講座室 | 学校法人KBC学園専修学校インターナショナルデザインアカデミー 内閣府産業中核人材育成事業 沖縄型デザイン+DX人材育成プログラム研修会 | 125 | 28 | 金 | 美術館 講座室 | 全国産業資源循環連合会青年部協議会九州ブロック事務局 第118回役員会・全国大会実行委員会 |
| 91 | 23 | 日 | こども アトリエ | アトリエ ウインズ 秋の「Saxophone」展示会 | 126 | 29 | 土 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |
| 92 | 23 | 日 | スタジオ | アトリエ ウインズ 秋の「Saxophone」展示会 | 127 | 29 | 土 | スタジオ | 沖縄県高等学校文化連盟美術工芸専門部 第46回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 |
| 93 | 23 | 日 | 共有 講堂 | 株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2022/10月会特集：ガンも病気も個性「がんと生きる言葉の処方箋」 | 128 | 29 | 土 | 共有 講堂 | 園ピアノ教室 合同ピアノ発表会 |
| 94 | 23 | 日 | 共有 講堂 | 琉球大学眼科/沖縄眼科臨床懇話会/参天製薬㈱ 第４回 沖縄県眼科臨床懇話会 | 129 | 29 | 土 | 共有 講堂 | RYUX:TOWER管理組合/大和ライフネクスト㈱ 総会 |
| 95 | 23 | 日 | 県民 アトリエ | アトリエ ウインズ 秋の「Saxophone」展示会 | 130 | 29 | 土 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品保管・返却 |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|
| 131 | 29 | 土 | 博物館 講座室 | デジタルミュージアム推進事業 令和４年度　第２回「ウチナーの民話上映会」 |
| 132 | 29 | 土 | 博物館 実習室 | 治安維持法国賠償同盟沖縄県本部 映画「青春つきるとも」上映会実行委員会　打ち合わせ |
| 133 | 29 | 土 | 美術館 講座室 | NPO法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 |
| 134 | 30 | 日 | スタジオ | 沖縄県高等学校文化連盟美術工芸専門部 第46回沖縄県高等学校総合文化祭　美術・工芸部門 |
| 135 | 30 | 日 | 共有 講堂 | 沖縄県高等学校文化連盟美術工芸専門部　表彰式・閉会式 |
| 136 | 30 | 日 | 共有 講堂 | 沖縄尚学高等学校・附属中学校　学校説明会 |
| 137 | 30 | 日 | 県民 アトリエ | 摂南大学　理工学部　建築学科 温冷感覚の感度の個人差を把握する被験者実験 |
| 138 | 30 | 日 | 博物館 講座室 | 京都大学人文科学研究所 ローラ喜納のアートとトーク～ウチナーンチュ・ルーツを辿って |
| 139 | 30 | 日 | 博物館 実習室 | ABCT沖縄セミナー |
| 140 | 30 | 日 | 美術館 講座室 | 高等学校文化連盟美術工芸専門部　理事会・美術部門顧問会 |
| 141 | 1～2 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽ ﾎｰﾙ | 博物館友の会 尚巴志王　即位600年記念展示 |
| 142 | 1～2 | | 博物館 企画 展示室 | 復帰50年　沖縄復帰後展　撤収 |
| 143 | 1～2 | | 博物館 特別 展示室 | 復帰50年　沖縄復帰後展　撤収 |
| 144 | 1～10 | | 美術館 企画ギャラリー1 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト　「日本絵画と西洋絵画、見くらべ展―世界の名画に親しもう vol.2」 |
| 145 | 1～13 | | 講堂前 ホワイエ | 復帰50年展「琉球ー美とその背景ー」　準備 |
| 146 | 4～13 | | 博物館 企画 展示室 | 復帰50年展「琉球ー美とその背景ー」　準備 |
| 147 | 4～13 | | 博物館 特別 展示室 | 復帰50年展「琉球ー美とその背景ー」　準備 |
| 148 | 4～30 | | ｴﾝﾄﾗﾝｽ ﾎｰﾙ | 在外琉球王国文化財関連パネル展／首里城の屋根展 |
| 149 | 10～26 | | 美術館 企画ギャラリー1 | 第48回 沖縄県芸術文化祭 |
| 150 | 12～26 | | 美術館 企画ギャラリー1 | 第48回 沖縄県芸術文化祭 |
| 151 | 14～30 | | 講堂前 ホワイエ | 復帰50年展「琉球ー美とその背景ー」 |
| 152 | 14～30 | | 博物館 企画 展示室 | 復帰50年展「琉球ー美とその背景ー」 |
| 153 | 14～30 | | 博物館 特別 展示室 | 復帰50年展「琉球ー美とその背景ー」 |
| 154 | 27～30 | | 美術館 企画ギャラリー1 | 平良孝七展　準備 |
| 155 | 27～30 | | 美術館 企画ギャラリー1 | 平良孝七展　準備 |

## 【2022年11月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 火 | 共有 講堂前 ホワイエ | 琉球歴史文化の日関連展示 |
| 2 | 1 | 火 | こども アトリエ | 沖縄県文化振興課 琉球歴史文化の日イベント控室 |
| 3 | 1 | 火 | 共有 講堂 | 沖縄県文化振興課/有限会社ジョイント企画 琉球歴史文化の日記念イベント |
| 4 | 1 | 火 | 県民 アトリエ | 沖縄県文化振興課 琉球歴史文化の日イベント控室 |
| 5 | 1 | 火 | 博物館 屋外展示場 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 誕生祭プレイベント「おきげい琉球古典音楽演奏会」　※雨天時はショップ前スペース |
| 6 | 1 | 火 | 博物館 講座室 | 沖縄県文化振興課 琉球歴史文化の日イベント控室 |
| 7 | 1 | 火 | 博物館 実習室 | 真和志高校　オリエンテーション |
| 8 | 1 | 火 | 美術館 講座室 | 沖縄県文化振興課 琉球歴史文化の日イベント控室 |
| 9 | 2 | 水 | 共有 講堂 | 沖縄地域PPP/PFIプラットフォームセミナー　第11回セミナー |
| 10 | 2 | 水 | 博物館 屋外展示場 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 誕生祭プレイベント「おきげい琉球古典音楽演奏会」　※雨天時はショップ前スペース |
| 11 | 2 | 水 | 博物館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 おきみゅー誕生祭　アーティストとふれあう「アート市」 |
| 12 | 2 | 水 | 博物館 実習室 | 喜屋武小学校　自主民具体験 |
| 13 | 3 | 木 | 共有 講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 おきみゅー誕生祭　おきみゅーシネマラボ「吉屋チルー物語」 |
| 14 | 3 | 木 | 博物館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 おきみゅー誕生祭　アーティストとふれあう「アート市」 |
| 15 | 3 | 木 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 おきみゅー誕生祭「おきみゅーのオリジナルぬり絵ではがきをデザインしよう」 |
| 16 | 3 | 木 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 「琉球の美ー首里城を感じるホンモノのモノー」準備 |
| 17 | 3 | 木 | 美術館 屋外 展示場 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 おきみゅー誕生祭「音楽と音でお祝いしよう！ちむどんどん♪音楽ライブ」 |
| 18 | 3 | 木 | 美術館 講座室 | ㈱リベル　社内会議 |
| 19 | 4 | 金 | スタジオ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 「琉球の美ー首里城を感じるホンモノのモノー」 控室 |
| 20 | 4 | 金 | 共有 講堂 | 沖縄生物教育研究会 第69回高校生による生物科学展 |
| 21 | 4 | 金 | 博物館 講座室 | 沖縄生物教育研究会 第69回高校生による生物科学展 |
| 22 | 4 | 金 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所「琉球の美」ー首里城を感じるホンモノのモノー |
| 23 | 4 | 金 | 美術館 講座室 | 沖縄県自治研修所 令和４年度歴史・文化講座 |
| 24 | 5 | 土 | スタジオ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 「琉球の美ー首里城を感じるホンモノのモノー」 控室 |
| 25 | 5 | 土 | 共有 講堂 | 沖縄県企画部地域・離島課／有限会社アイディー・ブランド うちな～地域づくりフェスタ　準備 |
| 26 | 5 | 土 | 博物館 講座室 | 沖縄県土地家屋調査士会/沖縄士業ネットワーク協議会 合同よろず相談会 |
| 27 | 5 | 土 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所「琉球の美」ー首里城を感じるホンモノのモノー |
| 28 | 5 | 土 | 美術館 講座室 | 学校法人嘉数女子学園　沖縄女子短期大学 沖縄女子短期大学・岐阜女子大学　姉妹校提携記念事業　準備 |
| 29 | 5 | 土 | 共有 3階回廊 | 沖縄県地域・離島課 うちなー地域づくりフェスタ　パネル展 |
| 30 | 6 | 日 | 共有 3階回廊 | 沖縄県地域・離島課 うちなー地域づくりフェスタ　パネル展 |
| 31 | 6 | 日 | 共有 講堂前 ホワイエ | うちな～地域づくりフェスタ（復帰50周年記念事業） |
| 32 | 6 | 日 | スタジオ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 「琉球の美ー首里城を感じるホンモノのモノー」 控室 |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | 6 | 日 | 共有講堂 | 沖縄県企画部地域・離島課／有限会社アイディー・ブランド うちなー地域づくりフェスタ | 67 | 13 | 日 | こどもアトリエ | アオイリラクッション/請盛亜季 ボディートークセミナー 「意識の原理」 |
| 34 | 6 | 日 | 県民アトリエ | 沖縄県企画部地域・離島課／有限会社アイディー・ブランド うちなー地域づくりフェスタ 控室 | 68 | 13 | 日 | スタジオ | 国際交流NGOピースボート ピースボート地球一周の船旅説明会 |
| 35 | 6 | 日 | 博物館講座室 | 北星学園余市高等学校 北星学園余市高等学校教育相談会 | 69 | 13 | 日 | 共有講堂 | 武庫川女子大学　鎌田　誠史/ 第３回学際シンポジウム　近世琉球における格子状集落の成立をめぐって |
| 36 | 6 | 日 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所「琉球の美」ー首里城を感じるホンモノのモノー | 70 | 13 | 日 | 県民アトリエ | 体軸コンディショニング/新垣元気 体軸セラピスト |
| 37 | 6 | 日 | 美術館講座室 | 学校法人嘉数女子学園　沖縄女子短期大学 沖縄女子短期大学・岐阜女子大学　姉妹校提携記念事業 | 71 | 13 | 日 | 博物館講座室 | 沖縄県環境部自然保護課／一般財団法人沖縄県環境科学センター 外来種対策シンポジウム |
| 38 | 8 | 火 | スタジオ | LVS株式会社 沖縄女性経営者から学ぶ　“ゼロ知識”からの起業スキル | 72 | 13 | 日 | 博物館実習室 | 沖縄慶友会 定期会議 |
| 39 | 8 | 火 | 共有講堂 | 沖縄県環境部環境保全課 令和４年度赤土等流失防止交流集会 | 73 | 13 | 日 | 美術館講座室 | 琉球岳風会 指導者研修及び吟和会 |
| 40 | 8 | 火 | 博物館講座室 | 石嶺公民館展示解説 | 74 | 13 | 日 | 美術館講座室 | 株式会社タイムスアドネクスト/オリックス生命保険株式会社 子育て世代の為のマネーセミナー |
| 41 | 8 | 火 | 博物館講座室 | トーマス アンド チカライシ株式会社 T&C50周年記念ホスピタリティセミナー | 75 | 15 | 火 | 共有講堂 | ㈱サン・エージェンシー 沖縄県地産地消シンポジウム |
| 42 | 8 | 火 | 博物館実習室 | ㈱ダイナミックプランニング オリジンコーポレーション研修会 | 76 | 15 | 火 | 県民アトリエ | 沖縄県空手振興課／㈱JTB沖縄 沖縄空手会館ミュージアム事業　監修委員会 |
| 43 | 8 | 火 | 美術館講座室 | 辻・本郷税理士法人　沖縄事務所 相続ミニセミナー | 77 | 15 | 火 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア連絡会 |
| 44 | 9 | 水 | スタジオ | 沖縄県海岸防災課 令和４年度　第51回全国地すべり現地討論会　準備 | 78 | 15 | 火 | 博物館実習室 | 株式会社ダイナミックマイクプランニング オリジンコーポレーション研修会 |
| 45 | 9 | 水 | 共有講堂 | 沖縄県こども生活福祉部高齢者福祉介護課 令和４年度沖縄県高齢者権利擁護研修会 | 79 | 15 | 火 | 美術館講座室 | ㈱プレナスワールド 医療費削減協議会　健康セミナー |
| 46 | 9 | 水 | 美術館講座室 | 沖縄県海岸防災課 令和４年度　第51回全国地すべり現地討論会　準備 | 80 | 16 | 水 | スタジオ | なりたい私研究所 お金と両想いセミナー」～お金の事を学ぶ事は大切な人の未来をつくる事～ |
| 47 | 9 | 水 | 美術館講座室 | 明治安田生命保険（相）　人生100年時代セミナー MYADチャレンジ研修会 | 81 | 16 | 水 | 共有講堂 | 沖縄県文化振興課 令和４年度　沖縄県文化功労者表彰式典 |
| 48 | 10 | 木 | スタジオ | 沖縄県海岸防災課 令和４年度　第51回全国地すべり現地討論会 | 82 | 16 | 水 | 共有講堂 | 西日本高速道路㈱九州支社　沖縄高速道路事務所 沖縄県復帰50周年記念講演 |
| 49 | 10 | 木 | 共有講堂 | 沖縄県村づくり計画課／有限会社アイディー・ブランド 沖縄県農福連携推進シンポジウム | 83 | 16 | 水 | 博物館講座室 | 株式会社沖縄環境保全研究所 第８回　第３次沖縄県環境基本計画検討委員会 |
| 50 | 10 | 木 | 博物館講座室 | 株式会社アール・ピー・アイ 沖縄県地域農林水産物活用支援事業　第一回集合研修 | 84 | 16 | 水 | 博物館実習室 | 博物館　民具体験 |
| 51 | 10 | 木 | 博物館実習室 | 開南小学校自主民具体験 | 85 | 16 | 水 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄県労働基準協会 コミュニケーション研修（向上コース） |
| 52 | 10 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県海岸防災課 令和４年度　第 51 回全国地すべり現地討論会 | 86 | 17 | 木 | 共有講堂 | 沖縄県／一般社団法人沖縄県歯科医師会／有限会社　ステージングオキナワ 歯がんじゅう月間 県民公開講座 |
| 53 | 11 | 金 | スタジオ | 沖縄県海岸防災課 令和４年度　第 51 回全国地すべり現地討論会 | 87 | 17 | 木 | 博物館講座室 | 沖縄県商工労働部雇用政策課／㈱プラスキャリア 非正規労働者処遇改善事業　労働環境課題改善セミナー |
| 54 | 11 | 金 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーション/豊見城市立　伊良波小学校 | 88 | 17 | 木 | 博物館講座室 | 那覇市ちゃーがんじゅう課 介護予防ミニ講演会 |
| 55 | 11 | 金 | 博物館講座室 | 沖盛塾 勉強会 | 89 | 17 | 木 | 博物館実習室 | （一財）沖縄美ら島財団 久高小学校　オリエンテーション |
| 56 | 11 | 金 | 博物館講座室 | 沖縄県雇用政策課／㈱琉球新報開発 令和４年度「女性の就職総合支援事業」合同企業説明会 | 90 | 17 | 木 | 博物館実習室 | 米須小学校　自主民具体験 |
| 57 | 11 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーション/宜野湾中学校 | 91 | 17 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　理事会 |
| 58 | 11 | 金 | 博物館実習室 | 沖縄県雇用政策課／㈱琉球新報開発 令和４年度「女性の就職総合支援事業」合同企業説明会　託児室 | 92 | 17 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県農林水産部農政経済課 おきなわ農業経営講座第４回 |
| 59 | 11 | 金 | 美術館講座室 | 沖縄県海岸防災課 令和４年度　第 51 回全国地すべり現地討論会 | 93 | 18 | 金 | 共有講堂 | 一般社団法人沖縄オペラアカデミー 沖縄ジャンジャンの歴史からひもとく粟國安彦のオペラ演出 |
| 60 | 12 | 土 | こどもアトリエ | アオイリラクシ/ョン請盛亜季 ボディートークセミナー　「意識の原理」 | 94 | 18 | 金 | 博物館講座室 | 沖縄県サッシ商工組合／（一社）日本サッシ協会／（一社）建築開口部協会 2022 年度　積算資格認定試験 |
| 61 | 12 | 土 | スタジオ | 保険マンモス株式会社 お子様モデルオーディション撮影会＆ライフプランニング相談会 | 95 | 18 | 金 | 美術館講座室 | 公益社団法人建設荷役車両安全技術協会沖縄県支部 特定自主検査　検査員□取得研修（学科）：建荷協 |
| 62 | 12 | 土 | 共有講堂 | 博物館学芸員講座「琉球-美とその背景-」展　よもやま話 | 96 | 18 | 金 | 美術館講座室 | タマホーム㈱沖縄支店　業者会・工程会議 |
| 63 | 12 | 土 | 県民アトリエ | 体軸コンディショニング/新垣元気 体軸セラピスト | 97 | 19 | 土 | こどもアトリエ | 沖縄国税労働組合 第２回常任委員会 |
| 64 | 12 | 土 | 博物館講座室 | 沖縄県環境部自然保護課/一般財団法人沖縄県環境科学センター 外来種対策シンポジウム　事前準備 | 98 | 19 | 土 | スタジオ | NPO 法人沖縄県マンション管理組合組合連合会 沖官連第 17 期　通常総会 |
| 65 | 12 | 土 | 美術館講座室 | 復帰 50 年コレクション展　FUKKI QUALIA「復帰」と沖縄美術関連催事　熱気の後で ―「復帰」後に描かれた沖縄の情景 「FUKKI QUALIA」後期展示解説 | 99 | 19 | 土 | 共有講堂 | 博物館文化講座「『おもろさうし』の世界」 |
| 66 | 12 | 土 | 美術館講座室 | 株式会社タイムスアドネクスト/オリックス生命保険株式会社 子育て世代の為のマネーセミナー | 100 | 19 | 土 | 共有講堂 | IEEE Japan Council IEEE Student Branch Leaders Training Workshop |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 101 | 19 | 土 | 共有講堂 | 株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2022/11 月会特集：人は糸を編み糸は人をつなぐ「YARN 人生を彩る糸」 | 132 | 26 | 土 | こどもアトリエ | 沖縄県手話通訳問題研究会 おしどり学校 |
| 102 | 19 | 土 | 博物館講座室 | 博物館文化講座　第二会場 | 133 | 26 | 土 | スタジオ | 沖縄朝鮮友好の会　研究会 |
| 103 | 19 | 土 | 博物館講座室 | 税理士法人グローアップサポート 相続遺言セミナー | 134 | 26 | 土 | 共有講堂 | 東京工業大学生命理工学院動分子科学発動分子学科学　第十一回領域会議 |
| 104 | 19 | 土 | 美術館講座室 | フリーベル天久新都心第２管理組合/松山ハウジング フリーベル天久新都心第２管理組合　臨時総会 | 135 | 26 | 土 | 共有講堂 | 株式会社海燕社 映画「うむい獅子－仲宗根正廣の獅子づくりー」受賞記念特別上映会 |
| 105 | 19 | 土 | 美術館講座室 | NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 | 136 | 26 | 土 | 県民アトリエ | 沖縄県手話通訳問題研究会 おしどり学校 |
| 106 | 20 | 日 | こどもアトリエ | 一般社団法人倫理研究所 青年フォーラム実行委員会　説明会 | 137 | 26 | 土 | 博物館講座室 | 日本デジタルアーカイブ学会 |
| 107 | 20 | 日 | スタジオ | NPO 法人沖縄伝承話資料センター 沖縄昔ばなし大学 ZOOM 学習会 | 138 | 26 | 土 | 博物館実習室 | 琉球展関連催事「琉球古刺繍ワークショップ」 |
| 108 | 20 | 日 | 共有講堂 | （公財）沖縄県保健医療福祉事業団/エマエンタープライズ 令和４年度健康づくり講演会＆体験イベント　カラダ整う「腸活」ライフ～知ってトクする腸のヒミツ教えます！ | 139 | 27 | 日 | 博物館講座室 | 公益社団法人 日本リウマチ友の会 沖縄県支部 医療講演会・相談会 |
| 109 | 20 | 日 | 県民アトリエ | 一般社団法人倫理研究所 青年フォーラム実行委員会　説明会 | 140 | 27 | 日 | 博物館実習室 | 合同会社 ADCT 奇跡の起こし方　T 蔵セミナー vol.32 |
| 110 | 20 | 日 | 博物館屋外展示場 | 一般財団法人沖縄美ら島財団県博管理事務所 琉球菓子と琉球古典音楽を楽しむ | 141 | 27 | 日 | 美術館講座室 | ライオンズマンション新都心管理組合 ライオンズマンション新都心管理組合　通常総会 |
| 111 | 20 | 日 | 博物館講座室 | （公財）沖縄県保健医療福祉事業団/エマエンタープライズ 令和４年度健康づくり講演会＆体験イベント　カラダ整う「腸活」ライフ～知ってトクする腸のヒミツ教えます！ | 142 | 29 | 火 | こどもアトリエ | 社会福祉法人若竹福祉会 就労支援事業所の作業開拓とその工夫 |
| 112 | 20 | 日 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団県博管理事務所 琉球菓子と琉球古典音楽を楽しむ | 143 | 29 | 火 | 共有講堂 | 那覇市社会福祉協議会 なはみまもりフォーラム |
| 113 | 20 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟　第７回理事会 | 144 | 29 | 火 | 共有講堂 | 沖縄防衛局 第 28 回沖縄防衛局防衛セミナー |
| 114 | 22 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄研修　九州通訳ガイド協会 | 145 | 29 | 火 | 県民アトリエ | 沖縄県文化協会 しまくとぅば検定　音声収録 |
| 115 | 22 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄労働局 ハロワ De カチトリ企業説明会 | 146 | 29 | 火 | 博物館講座室 | 寄贈資料の記者発表 |
| 116 | 22 | 火 | 博物館実習室 | オリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社 新任リーダー研修 | 147 | 29 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄県中小企業団体中央会 令和４年度第５回理事会 |
| 117 | 22 | 火 | 美術館講座室 | 沖縄労働局 ハロワ De カチトリ企業説明会 | 148 | 29 | 火 | 博物館実習室 | とよみ小学校　自主民具体験 |
| 118 | 23 | 水 | 博物館講座室 | 公益財団法人沖縄県文化振興会 アーツカウンシルってなんだろう？～沖縄アーツカウンシルの取り組み～ | 149 | 29 | 火 | 博物館実習室 | 公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 安全・適正就業推進委員会 |
| 119 | 23 | 水 | 博物館実習室 | 三線製作協同組合/ 三線調査会 | 150 | 29 | 火 | 美術館講座室 | 株式会社オンデーズ 会社の研修 |
| 120 | 23 | 水 | 美術館講座室 | アイライフ／IFA 唐沢祐香 本当に正しい株式投資を学ぶ | 151 | 30 | 水 | 博物館講座室 | （一財）沖縄美ら島財団 オリエンテーション）金武小学校 |
| 121 | 24 | 木 | 共有講堂 | 東京工業大学生生命理工学院発動分子学科学 発動分子学科学　第十一回領域会議 | 152 | 30 | 水 | 美術館講座室 | 美術館ボランティア学習会 |
| 122 | 24 | 木 | 県民アトリエ | 東京工業大学生命理工学院　発動分子科学 発動分子学科学　第十一回領域会議　託児所 | 153 | 1～2 | | 美術館企画ギャラリー１ | 復帰 50 年　平良孝七展　準備 |
| 123 | 24 | 木 | 美術館講座室 | うるま市立南原小学校５年生　オリエンテーション/恩納小学校オリエンテーション | 154 | 1～2 | | 美術館企画ギャラリー２ | 復帰 50 年　平良孝七展　準備 |
| 124 | 24 | 木 | 美術館講座室 | フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー | 155 | 1～5 | | 共有エントランスホール | アートコンクール作品展示/おきみゅー誕生祭 2022「世界につなぐ万国津梁メッセージ」 |
| 125 | 24 | 木 | 美術館講座室 | サンワコムシスエンジニアリング㈱ 安全衛生協議会 | 156 | 1～27 | | 共有エントランスホール | 首里城の屋根展 |
| 126 | 25 | 金 | スタジオ | （一社）沖縄県産業資源循環協会 （一社）沖縄県産業資源循環協会　令和４年度第４回　通常理事会 | 157 | 1～30 | | 共有講堂前ホワイエ | 復帰 50 年展「琉球－美とその背景ー」　パネル展 |
| 127 | 25 | 金 | 共有講堂 | 東京工業大学生命理工学院動分子科学発動分子学科学　第十一回領域会議 | 158 | 1～30 | | 博物館企画展示室 | 復帰 50 年展「琉球－美とその背景ー」 |
| 128 | 25 | 金 | 県民アトリエ | 東京工業大学生命理工学院動分子科学発動分子学科学　第十一回領域会議　託児所 | 159 | 1～30 | | 博物館特別展示室 | 復帰 50 年展「琉球－美とその背景ー」 |
| 129 | 25 | 金 | 博物館講座室 | 東京工業大学生命理工学院動分子科学発動分子学科学　第十一回領域会議 | 160 | 3～30 | | 美術館企画ギャラリー１ | 復帰 50 年　平良孝七展 |
| 130 | 25 | 金 | 博物館実習室 | 株式会社東横イン 九州南部・沖縄エリア会議 | 161 | 3～30 | | 美術館企画ギャラリー２ | 復帰 50 年　平良孝七展 |
| 131 | 25 | 金 | 美術館講座室 | 十文字学園女子大学/渡辺章夫 第１回沖縄食薬研究会 | 162 | 6～20 | | 共有エントランスホール | アートコンクール作品展示 |

| No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 163 | 22～30 | | 共有エントランスホール | 一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城に関する写真展 | 164 | 29～30 | | 共有エントランスホール | 歴代法案パネル展 |

## 【2022年12月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 木 | 共有講堂 | 一般社団法人日本能率協会 第26期 夢工房　第8回会合 | 33 | 6 | 火 | 美術館講座室 | 株式会社SUN/ 新川道代 ムコ多糖の必要性 |
| 2 | 1 | 木 | 共有講堂 | シーエー・アドバンス　広告カンパニー2022年度表彰式 | 34 | 7 | 水 | スタジオ | 沖縄県立真和志高等学校 第17回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展 |
| 3 | 1 | 木 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　総合研究センター動物研究室 沖縄ザトウクジラ会議　2022 | 35 | 7 | 水 | 共有講堂 | ㈱シーエー・アドバンス CA　Advance Tech Award 2022 |
| 4 | 1 | 木 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 美咲特別支援学校オリエンテーション | 36 | 7 | 水 | 博物館講座室 | 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 沖縄ロジスティクス・物流基礎研修 |
| 5 | 1 | 木 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 日本テクノ（10分ガイド） | 37 | 7 | 水 | 博物館実習室 | 百名小学校3年生　オリエンテーション |
| 6 | 1 | 木 | 美術館講座室 | 大坂中小企業投資育成株式会社　九州支社 役員退職金と退職金規定 | 38 | 7 | 水 | 美術館講座室 | 辻・本郷税理士法人沖縄事務所 相続ミニセミナー |
| 7 | 2 | 金 | こどもアトリエ | 公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合シルバー人材センター会計担当者個別相談会 | 39 | 7 | 水 | 美術館講座室 | EY　Japan株式会社 EY税理士法人　TOEC IP Test |
| 8 | 2 | 金 | スタジオ | 沖縄県生活協同組合連合会／福岡県生活協同組合連合会 協同組合連携学習会 | 40 | 8 | 木 | スタジオ | 沖縄県立真和志高等学校 第17回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展 |
| 9 | 2 | 金 | 共有講堂 | ㈱シーエー・アドバンス　広告カンパニー2022年度表彰式 | 41 | 8 | 木 | 共有講堂 | 組込みシステム産業振興機構 第11回全国組込み産業フォーラム　事前確認 |
| 10 | 2 | 金 | 博物館実習室 | 博物館　民具体験 | 42 | 8 | 木 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管・返却 |
| 11 | 2 | 金 | 博物館実習室 | 有限会社ギカン文化施設研究所 バッハゾリステンオキナワ　リハーサル | 43 | 8 | 木 | 博物館講座室 | 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 沖縄ロジスティクス・物流基礎研修 |
| 12 | 2 | 金 | 美術館講座室 | 公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合シルバー人材センター会計担当者研修会 | 44 | 8 | 木 | 博物館実習室 | 博物館ボランティア勉強会 |
| 13 | 2 | 金 | 美術館講座室 | 一般社団法人日本能率協会 第26期 夢工房　第8回会合 | 45 | 8 | 木 | 美術館講座室 | 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部　沖縄障害者職業センター 令和4年度第3回養成研修サポート研修・支援スキル向上研修サポート研修 |
| 14 | 3 | 土 | こどもアトリエ | イングリッシュフェスティバル実行委員会/尚学院国際ビジネスアカデミー 第19回イングリッシュフェスティバル　控室 | 46 | 9 | 金 | スタジオ | 沖縄県立真和志高等学校 第17回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展 |
| 15 | 3 | 土 | スタジオ | 株式会社Leo Size Pesign　会社説明会 | 47 | 9 | 金 | 共有講堂 | 組込みシステム産業振興機構/NPO法人沖縄地理情報システム協議会 第11回全国組込み産業フォーラム　第一会場 |
| 16 | 3 | 土 | 共有講堂 | 『歴代宝案』訳注本刊行記念シンポジウム | 48 | 9 | 金 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管・返却 |
| 17 | 3 | 土 | 博物館講座室 | イングリッシュフェスティバル実行委員会/尚学院国際ビジネスアカデミー 第19回イングリッシュフェスティバル | 49 | 9 | 金 | 博物館講座室 | 令和4年度ミュージアムワーク |
| 18 | 3 | 土 | 美術館講座室 | Soul artist shoko 開運ハウス出版記念講演会 in沖縄 | 50 | 9 | 金 | 博物館講座室 | 第一三共株式会社 リウマチ診療における痛み対策Webセミナー |
| 19 | 3 | 土 | 美術館講座室 | NPO法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 | 51 | 9 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 那覇特別支援学校控室 |
| 20 | 3 | 土 | 美術館講座室 | 全日本年金者組合　那覇市支部　第21回大会 | 52 | 9 | 金 | 博物館実習室 | 有限会社ギカン文化施設研究所 バッハゾリステンオキナワ　リハーサル |
| 21 | 4 | 日 | こどもアトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 越ケ谷高校　オリエンテーション | 53 | 9 | 金 | 美術館講座室 | 組込みシステム産業振興機構/NPO法人沖縄地理情報システム協議会 第11回全国組込み産業フォーラム　第二会場 |
| 22 | 4 | 日 | スタジオ | D´クラディア新都心ラックスヒルズ管理組合 第18期臨時総会 | 54 | 9 | 金 | 美術館講座室 | 第一三共株式会社 リウマチ診療における痛み対策Webセミナー |
| 23 | 4 | 日 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 越ケ谷高校　オリエンテーション | 55 | 10 | 土 | スタジオ | 沖縄県立真和志高等学校 第17回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展 |
| 24 | 4 | 日 | 県民アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 越ケ谷高校　オリエンテーション | 56 | 10 | 土 | 共有講堂 | 一般社団法人沖縄県発明協会 第39回未来の科学の夢絵画展（県内）表彰式 |
| 25 | 4 | 日 | 博物館講座室 | 独立行政法人日本国際協力機構／公益社団法人青年海外協力協会 JICA海外ボランティア説明会 | 57 | 10 | 土 | 県民アトリエ | 沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭　作品保管・返却 |
| 26 | 4 | 日 | 博物館講座室 | 一般社団法人表千家同門会沖縄支部　教授者連絡会議 | 58 | 10 | 土 | 博物館講座室 | 博物館学芸員講座「新収蔵の『向姓家譜』～和宇慶家と内間家～」 |
| 27 | 4 | 日 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 越ケ谷高校オリエンテーション | 59 | 10 | 土 | 博物館講座室 | 全日本年金者組合県本部　第34回　全日本年金者組合沖縄県本部定期大会 |
| 28 | 4 | 日 | 美術館講座室 | 沖縄県中小企業団体中央会 令和4年度　中小企業組合検定試験 | 60 | 10 | 土 | 博物館実習室 | 沖縄慶友会（慶応義塾大学通信教育部）　慶応義塾大学通信教育部　講師派遣　齋藤慶典教授「力と他者」 |
| 29 | 6 | 火 | スタジオ | 沖縄県立真和志高等学校 第17回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展 | 61 | 10 | 土 | 美術館講座室 | NPO法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 |
| 30 | 6 | 火 | 共有講堂 | 株式会社まるとまるっと/大久保謙 広島県立呉三津田高校修学旅行プログラム（平和学習） | 62 | 11 | 日 | こどもアトリエ | ワールドピースキャンペーン ヨグマタ瞑想の集い |
| 31 | 6 | 火 | 博物館講座室 | フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー | 63 | 11 | 日 | スタジオ | 沖縄県立真和志高等学校 第17回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展 |
| 32 | 6 | 火 | 博物館実習室 | 美術館 会議 | 64 | 11 | 日 | 共有講堂 | ㈱Join レキオス×Join ORIGINセミナー |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65 | 11 | 日 | 県民アトリエ | ワールドピースキャンペーン ヨグマタ瞑想の集い | 98 | 17 | 土 | 美術館講座室 | NPO 法人沖縄沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座 |
| 66 | 11 | 日 | 県民アトリエ | 慶應義塾大学通信教育部／沖縄慶友会 斎藤慶典教授の「力と他者」 | 99 | 18 | 日 | こどもアトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 県博管理事務所 アートを身近に！プロジェクト　おきみゅーモノづくり部 |
| 67 | 11 | 日 | 博物館屋外展示場 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 おきげい出前コンサート　琉球古典音楽演奏会 | 100 | 18 | 日 | スタジオ | 保険マンモス㈱ お子さまモデルオーディション撮影会＆ライフプラン相談会 |
| 68 | 11 | 日 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 博物館常設展示室 10 分間ガイド | 101 | 18 | 日 | 共有講堂 | 合同会社ｉサポグループ 箕輪厚介講演会 in 沖縄 |
| 69 | 11 | 日 | 博物館実習室 | ㈱Join 代理店リーダー会議 | 102 | 18 | 日 | 県民アトリエ | 一般財団法人沖縄美ら島財団 県博管理事務所 アートを身近に！プロジェクト　おきみゅーモノづくり部 |
| 70 | 11 | 日 | 博物館実習室 | まぶいぐみ実行委員会 「沖縄写真と復帰 50 年」についての会議 | 103 | 18 | 日 | 県民アトリエ | 名桜大学附属図書館 第３回（令和４年度）名桜文学賞部門選考審査会 |
| 71 | 11 | 日 | 美術館講座室 | 琉球岳風会 指導者研修及び吟和会 | 104 | 18 | 日 | 美術館講座室 | 全厚済 全厚済　会員向けセミナー |
| 72 | 11 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟　第８回理事会 | 105 | 20 | 火 | 共有講堂 | 沖縄タイムス社／琉球新報社 DX 推進セミナー |
| 73 | 13 | 火 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 大分県立大分上野丘高等学校　10 分ガイド | 106 | 20 | 火 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーション）小禄小学校 |
| 74 | 13 | 火 | 博物館実習室 | 民具体験 | 107 | 20 | 火 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア連絡会 |
| 75 | 13 | 火 | 美術館講座室 | 大分県立大分上野丘高等学校　修学旅行における探究学習 | 108 | 20 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄平和市民連絡会／岡本由希子 学習会「国民保護法」と「防衛三文書改定」の沖縄への影響を読み解く |
| 76 | 14 | 水 | スタジオ | アーゲル/山里篤司 西銘主義　理念継承講習会 | 109 | 20 | 火 | 美術館講座室 | 沖縄 PGC　 全国 PGC 正副会議 |
| 77 | 14 | 水 | 共有講堂 | ㈱ウィンメディックス 「末期がん患者を救った男」著者　白木　茂　講演会 | 110 | 21 | 水 | 共有講堂 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 沖縄シンポジウム |
| 78 | 14 | 水 | 博物館講座室 | 南城市立玉城小学校　オリエンテーション | 111 | 21 | 水 | 博物館実習室 | 株式会社リベル 会社説明会・面接 |
| 79 | 14 | 水 | 博物館講座室 | 琉球ファンド１号投資事業有限責任組合／㈱琉球キャピタル 「琉球ファンド１号投資事業有限責任組合」様への説明会 | 112 | 21 | 水 | 共有講堂前ホワイエ | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 沖縄シンポジウム関連「海洋地質図展示」 |
| 80 | 14 | 水 | 博物館実習室 | 南城市立玉城小学校　民具体験 | 113 | 21 | 水 | 美術館講座室 | 國吉功 健康セミナー |
| 81 | 15 | 木 | 博物館講座室 | 株式会社大鏡建設 大鏡 CRE「企業と不動産」セミナーVol.15 | 114 | 22 | 木 | 共有講堂 | リゾートクラブ NX 観光ホテル業の代理店の為の研修会 |
| 82 | 15 | 木 | 博物館実習室 | 沖縄ろう学校 自主民具体験 | 115 | 22 | 木 | 博物館実習室 | 幼保連携認定こども園　美ら夢 幼保連携認定こども園　美ら夢　生活発表会　荷物置場 |
| 83 | 15 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　理事会 | 116 | 23 | 金 | 共有講堂 | 幼保連携認定こども園　美ら夢 幼保連携認定こども園　美ら夢　生活発表会リハーサル |
| 84 | 16 | 金 | こどもアトリエ | 株式会社フォーデジット　ワークショップ | 117 | 23 | 金 | 博物館講座室 | 那覇市社会福祉協議会 令和４年度　第 18 回　第一層協議体 |
| 85 | 16 | 金 | スタジオ | 一般社団法人プロモーションうるま/沖縄県地域・離島課 令和４年度沖縄県移住定住促進事業中間支援集合研修第３回 | 118 | 23 | 金 | 博物館講座室 | プロ野球沖縄キャンプ 2022 事務局／株式会社 JTB 沖縄 令和４年度　第２回プロ野球キャンプ受入市町村意見交換会 |
| 86 | 16 | 金 | 共有講堂 | 特定非営利活動法人おきなわ障がい者相談支援ネットワーク 令和４年度　九州地区障がい者相談支援事業合同研修会沖縄大会 | 119 | 23 | 金 | 博物館実習室 | 沖縄国際大学学芸員実習Ⅰ　令和４年度博物館実習Ⅰ「民俗学調査実習」 |
| 87 | 16 | 金 | 県民アトリエ | 株式会社フォーデジット 株式会社フォーデジット　ワークショップ | 120 | 23 | 金 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 サイ・テクカレッジ那覇　10 分ガイド |
| 88 | 16 | 金 | 博物館講座室 | エムスリーデジタルコミュニケーションズ㈱／サノフィ㈱ e-DM channel Tyoe1 Diabetes Seminar | 121 | 23 | 金 | 美術館講座室 | 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 令和４年度第３回生活支援サポーター養成講座 |
| 89 | 16 | 金 | 博物館実習室 | 大名小学校 自主民具体験 | 122 | 24 | 土 | 共有講堂 | 幼保連携型認定こども園　美ら夢 幼保連携型認定こども園　美ら夢　生活発表会 |
| 90 | 16 | 金 | 博物館実習室 | 有限会社ギカン文化施設研究所 バッハゾリステンオキナワ　リハーサル | 123 | 24 | 土 | 博物館講座室 | 琉球大学 戦略的プロジェクトセンター 言語系統樹研究班 戦略的プロジェクトセンター　ワークショップ「琉球諸語の区分と分岐を学学術的に考える」 |
| 91 | 16 | 金 | 美術館講座室 | 浦添工業高校　オリエンテーション | 124 | 24 | 土 | 博物館講座室 | NPO 法人ワーカーズコープ沖縄／一般社団法人日本社会連帯機構沖縄県本部 映画「医師、中村哲の仕事・働くということ」上映会＆「協働労働」シンポジウム |
| 92 | 17 | 土 | こどもアトリエ | OKINAWA アートワークショップ 2022「工芸部門」干支紅型でお正月支度 | 125 | 25 | 日 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団県博管理事務所／「琉球舞踊公演　古典舞踊女七踊」実行委員会「琉球舞踊公演　古典舞踊女七踊」 |
| 93 | 17 | 土 | スタジオ | 生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 12 月度定例理事会 | 126 | 25 | 日 | エントランスホール | プロムナードコンサート |
| 94 | 17 | 土 | 共有講堂 | 博物館文化講座「沖縄の人と自然～やんばる50年を中心に～」 | 127 | 25 | 日 | 博物館講座室 | 琉球大学 戦略的プロジェクトセンター 言語系統樹研究班 戦略的プロジェクトセンター　ワークショップ「琉球諸語の区分と分岐を学学術的に考える」 |
| 95 | 17 | 土 | 共有講堂 | ㈱おきなわ edu 第 16 回テアトル edu 発表会 | 128 | 25 | 日 | 博物館実習室 | 一般社団法人琉球フィルハーモニック 那覇ジュニアオーケストラ練習会 |
| 96 | 17 | 土 | 県民アトリエ | OKINAWA アートワークショップ 2022「工芸部門」干支紅型でお正月支度 | 129 | 25 | 日 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート |
| 97 | 17 | 土 | 博物館実習室 | 株式会社フォーデジット　ワークショップ | 130 | 27 | 火 | 共有講堂 | 一般社団法人ウチナーグチスクール 「組踊鑑賞プログラム「シンデレラ」+組踊「執心鐘入」の仕込み・リハーサル |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 131 | 28 | 水 | スタジオ | 一般社団法人ウチナーグチスクール 「組踊鑑賞プログラム「シンデレラ」+組踊「執心鐘入」 控室 | 138 | 1〜28 | | 美術館企画ギャラリー1 | 復帰 50 年 平良孝七展 |
| 132 | 28 | 水 | 共有講堂 | 一般社団法人ウチナーグチスクール 「組踊鑑賞プログラム「シンデレラ」+組踊「執心鐘入」 | 139 | 1〜28 | | 美術館企画ギャラリー2 | 復帰 50 年 平良孝七展 |
| 133 | 28 | 水 | 美術館講座室 | 株式会社リベル 会社説明会・面接 | 140 | 5〜11 | | 博物館企画展示室 | 復帰 50 年展「琉球ー美とその背景ー」 撤収 |
| 134 | 1〜4 | | 博物館企画展示室 | 復帰 50 年展「琉球ー美とその背景ー」 | 141 | 5〜11 | | 博物館特別展示室 | 復帰 50 年展「琉球ー美とその背景ー」 撤収 |
| 135 | 1〜4 | | 博物館特別展示室 | 復帰 50 年展「琉球ー美とその背景ー」 | 142 | 13〜18 | | エントランスホール | 首里城に関する写真展／ザトウクジラ展 |
| 136 | 1〜11 | | エントランスホール | 首里城に関する写真展／歴代法案パネル展 | 143 | 20〜28 | | エントランスホール | 一般財団法人沖縄美ら島財団 ザトウクジラ展 |
| 137 | 1〜11 | | 共有講堂前ホワイエ | 復帰 50 年展「琉球ー美とその背景ー」 パネル展 | | | | | |

## 【2023年１月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5 | 木 | 共有講堂 | 凛花の燦き実行委員会 琉球芸能公演「凛花の燦き」 準備 | 26 | 12 | 木 | 共有講堂 | 朝日生命 沖縄支社 全職員打ち合わせ |
| 2 | 6 | 金 | スタジオ | 全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和４年度 JA 共済全国小中学生書道・交通安全ポスターコンクール展示会 | 27 | 12 | 木 | 博物館実習室 | 美術館 会議 |
| 3 | 6 | 金 | 共有講堂 | 凛花の燦き実行委員会 琉球芸能公演「凛花の燦き」 | 28 | 12 | 木 | 博物館実習室 | 朝日生命沖縄支社 ミーティング |
| 4 | 6 | 金 | 共有講堂 | 全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和４年度 JA 共済全国小中学生書道・交通安全ポスターコンクール表彰式準備 | 29 | 12 | 木 | 美術館講座室 | 株式会社リベル 会社説明会・面接 |
| 5 | 6 | 金 | 博物館講座室 | フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー | 30 | 13 | 金 | 共有講堂 | 株式会社ウィンメディックス 「末期がん患者を救った男」著者 白木 茂 講演会 |
| 6 | 6 | 金 | 博物館実習室 | ㈱リベル 会社説明会 | 31 | 13 | 金 | 博物館講座室 | 株式会社りゅうせきフロントライン ２年目研修 |
| 7 | 6 | 金 | 美術館講座室 | 凛花の燦き実行委員会 琉球芸能公演「凛花の燦き」 控室 | 32 | 13 | 金 | 博物館講座室 | 住民の抗告訴訟学習会実行委員会 住民の抗告訴訟学習会 |
| 8 | 7 | 土 | スタジオ | 全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和４年度 JA 共済全国小中学生書道・交通安全ポスターコンクール展示会 | 33 | 13 | 金 | 美術館講座室 | 学校法人尚学院 尚学院国際ビジネスアカデミー小学校教員養成コース卒業研究発表会のリハーサル |
| 9 | 7 | 土 | 共有講堂 | 全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和４年度 JA 共済全国小中学生書道・交通安全ポスターコンクール表彰式 | 34 | 14 | 土 | 博物館講座室 | 株式会社サン・エージェンシー 日本地域広告会社協会理事会 |
| 10 | 8 | 日 | こどもアトリエ | 沖縄自主の会／朝鮮友好の会 美ら島講座 | 35 | 14 | 土 | 美術館講座室 | 沖縄県手話通訳問題研究会 全体学習会 |
| 11 | 8 | 日 | スタジオ | 全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和４年度 JA 共済全国小中学生書道・交通安全ポスターコンクール展示会 | 36 | 15 | 日 | 共有講堂 | 沖縄県保険医協会 沖縄復帰 50 年 戦争体験を紡ぐ |
| 12 | 8 | 日 | 共有講堂 | 沖縄自主の会／沖縄朝鮮友好の会 芸術公演 | 37 | 15 | 日 | 美術館講座室 | 株式会社エヴァコミュニケーションズ アダム徳永講演会 |
| 13 | 8 | 日 | 県民アトリエ | 沖縄自主の会／沖縄朝鮮友好の会 美ら島講座 | 38 | 17 | 火 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 県博管理事務所オリエンテーション/真和志小学校 |
| 14 | 8 | 日 | 博物館講座室 | 沖縄自主の会／沖縄朝鮮友好の会チュチェ思想新春セミナー | 39 | 17 | 火 | 博物館講座室 | 連合沖縄 第３回執行委員会 |
| 15 | 8 | 日 | 博物館実習室 | 沖縄自主の会／沖縄朝鮮友好の会 美ら島講座 | 40 | 17 | 火 | 美術館講座室 | サンワコムシスエンジニアリング㈱ サンコム MR インストラクター講習会 |
| 16 | 8 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人縄県美術家連盟 理事会 | 41 | 18 | 水 | 共有講堂 | 沖縄県立博物館友の会 新春講演会 尚巴志とその父思紹 |
| 17 | 8 | 日 | 美術館講座室 | 琉球岳風会 指導者研修及び吟和会 | 42 | 18 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄県エステティック・スパ協同組合 勉強会 |
| 18 | 9 | 月 | 共有講堂 | 一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター 美ら島再発見〜動物、植物、琉球文化から迫る〜令和４年度総合研究センター定期講演会 | 43 | 18 | 水 | 博物館実習室 | 城岳小学校 自主民具体験 |
| 19 | 9 | 月 | 県民アトリエ | 石こう版画の会 石こう版画制作 | 44 | 18 | 水 | 博物館実習室 | 沖縄県立博物館友の会 新春講演会 尚巴志とその父思紹 第二会場 |
| 20 | 9 | 月 | エントランスホール | 一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナード･コンサート | 45 | 18 | 水 | 美術館講座室 | 学校法人尚学院尚学院国際ビジネスアカデミー小学校教員養成コース 卒業研修発表会 |
| 21 | 9 | 月 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 解体梵鐘 vol. 8 万國津梁の鐘、名工に倣う | 46 | 19 | 木 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄県環境科学センター 産総研シンポジウム前の無線WiFi環境の確認 |
| 22 | 11 | 水 | 共有講堂 | 朝日生命保険（相）沖縄支社 全職員打ち合わせ事前準備 | 47 | 19 | 木 | 博物館講座室 | 一般社団法人琉球フィルハーモニック ビジネスに効くクラシック音楽セミナー＆ミニコンサート |
| 23 | 11 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄県立博物館友の会 理事会 | 48 | 19 | 木 | 博物館講座室 | ㈱SUN／サンベール 健康セミナー |
| 24 | 11 | 水 | 美術館講座室 | メットライフ生命保険株式会社 2023年1月度プロデューサーミーティング | 49 | 19 | 木 | 博物館実習室 | 自主民具体験/開南小学校 |
| 25 | 11 | 水 | 美術館講座室 | 沖盛塾 勉強会 | 50 | 19 | 木 | 美術館講座室 | 学校法人尚学院尚学院国際ビジネスアカデミー小学校教員養成コース 卒業研修発表会 |

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 51 | 20 | 金 | 共有 講堂 | 講演会「三の丸尚蔵館の収蔵品と開館 30 年のあゆみ」 | 85 | 25 | 水 | 美術館 講座室 | 合同会社パワーアンドカンパニー LVP ATR５ |
| 52 | 20 | 金 | 博物館 講座室 | 宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　オープニングセレモニー控室 | 86 | 26 | 木 | スタジオ | 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会　展示会 |
| 53 | 20 | 金 | 博物館 講座室 | サノフィ株式会社／エムスリーデジタルコミュニケーションズ㈱ WEB 講演会 | 87 | 26 | 木 | 共有 講堂 | 沖縄県産業教育振興会／教育庁県立学校教育課 令和４年度　産業教育講演会 |
| 54 | 20 | 金 | 博物館 実習室 | 博物館　民具体験 | 88 | 26 | 木 | 博物館 講座室 | 株式会社エスエフシー／株式会社アドバンシッテシリスクマネジメント 採用にミスマッチ・離職防止セミナー |
| 55 | 20 | 金 | 博物館 実習室 | 健康保険組合連合会沖縄連合会 健康保険組合連合会沖縄連合会　1 月運営会議 | 89 | 26 | 木 | 博物館 講座室 | 沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター 第 14 回事業承継コーディネーター連絡会議 |
| 56 | 20 | 金 | 美術館 講座室 | ビーライフ・アシスト合同会社 ATR13 | 90 | 26 | 木 | 博物館 実習室 | 仲西小学校民具体験 |
| 57 | 21 | 土 | 共有 講堂 | 博物館文化講座「さわれる博物館はもっと面白い～3D プリントを活用した未来の博物館の姿～」 | 91 | 26 | 木 | 美術館 講座室 | 労働保険事務組合　福働会 労務管理セミナー |
| 58 | 21 | 土 | 共有 講堂 | NPO 法人沖縄欧州文化交流協会 文化講演会 | 92 | 27 | 金 | スタジオ | 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会　展示会 |
| 59 | 21 | 土 | 博物館 講座室 | ビーライフ・アシスト合同会社 社内会議 | 93 | 27 | 金 | 博物館 講座室 | 全国校長会 |
| 60 | 21 | 土 | 博物館 実習室 | 沖縄慶友会 慶応義塾大学通信教育部　講師派遣 杉本憲彦教授「地球温暖化と持続可能性について」 | 94 | 27 | 金 | 博物館 講座室 | サンワコムシスエンジニアリング株式会社 2023 年１月度　安全衛生協議会 |
| 61 | 21 | 土 | 美術館 講座室 | ビーライフ・アシスト合同会社 ATR13 | 95 | 27 | 金 | 博物館 講座室 | 大坂中小企業投資育成㈱ 国税 OB から見た電子帳簿法とインボイス |
| 62 | 22 | 日 | 県民 アトリエ | 保険マンモス株式会社 お子さまモデルオーディション撮影会＆ライフプラン相談会 | 96 | 27 | 金 | 美術館 講座室 | MKA 目標達成のための 10 のマインド |
| 63 | 22 | 日 | こども アトリエ | 保険マンモス株式会社 お子さまモデルオーディション撮影会＆ライフプラン相談会 | 97 | 27 | 金 | 美術館 講座室 | 那覇市民生委員児童委員連合会 講演会「監査について」 |
| 64 | 22 | 日 | スタジオ | ㈱Leo Size Design　説明会 | 98 | 28 | 土 | スタジオ | 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会　展示会 |
| 65 | 22 | 日 | 共有 講堂 | 沖縄県立小禄高等学校 芸術教養コース 沖縄県立小禄高等学校芸術教養コース第 22 回音楽専攻コース発表会 | 99 | 28 | 土 | 共有 講堂 | 専門学校沖縄ビジネス外語学院 Global Studies プレゼンテーション発表会 |
| 66 | 22 | 日 | 博物館 屋外 展示場 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゅーに行こう！2023 「沖縄の伝統菓子ナントゥを味わおう♪」「琉球古典音楽演奏会」 | 100 | 28 | 土 | 博物館 講座室 | 沖縄県高等学校副校長会・教頭会 |
| 67 | 22 | 日 | 博物館 講座室 | 一般社団法人沖縄新華僑華人総会／株式会社チャイナゲートウェイ 第１回　沖縄青少年中国語スピーチコンテスト | 101 | 28 | 土 | 博物館 講座室 | 九州縄文研究会沖縄大会事務局 第 31 回九州縄文研究会　沖縄大会 |
| 68 | 22 | 日 | 博物館 実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 旧正月はおきみゅーに行こう！2023「すすきのほうき作り」（雨天時） | 102 | 28 | 土 | 博物館 実習室 | 九州縄文研究会沖縄大会事務局 第 31 回九州縄文研究会　沖縄大会 |
| 69 | 22 | 日 | 美術館 講座室 | 株式会社人事の味方 プログラミング体験会 | 103 | 28 | 土 | 美術館 講座室 | 具志堅聖児 日本画展　キュレータートーク |
| 70 | 24 | 火 | こども アトリエ | 奥島　哲也 MS 勉強会 | 104 | 28 | 土 | 美術館 講座室 | 沖縄県高等学校副校長会・教頭会 |
| 71 | 24 | 火 | スタジオ | 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会　展示会 | 105 | 29 | 日 | 県民 アトリエ | 株式会社かなえ NFT 勉強会 |
| 72 | 24 | 火 | 博物館 講座室 | 博物館ボランティア連絡会 | 106 | 29 | 日 | こども アトリエ | 株式会社かなえ NFT 勉強会 |
| 73 | 24 | 火 | 博物館 講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 宇栄原小学校　民具体験・オリエンテーション | 107 | 29 | 日 | スタジオ | 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会　展示会 |
| 74 | 24 | 火 | 博物館 実習室 | 宇栄原小学校　自主民具体験 | 108 | 29 | 日 | 博物館 講座室 | オリックス生命保険㈱／㈱タイムスアドネクスト オリックス生命保険株式会社主催　女性にオススメ　マネーセミナー |
| 75 | 24 | 火 | 博物館 実習室 | 株式会社リベル 会社説明会・面接 | 109 | 29 | 日 | 博物館 講座室 | 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会 第 21 回那覇市障がい者美術展　表彰式 |
| 76 | 24 | 火 | 美術館 講座室 | 合同会社パワーアンドカンパニー LVP ATR５ | 110 | 29 | 日 | 博物館 実習室 | 旧美栄橋町一丁目近隣会 |
| 77 | 25 | 水 | 県民 アトリエ | ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社 沖縄支社　BTP 研修 | 111 | 29 | 日 | 美術館 講座室 | 株式会社人事の味方 プログラミン体験会 |
| 78 | 25 | 水 | こども アトリエ | ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社 沖縄支社　BTP 研修 | 112 | 31 | 火 | 共有 講堂 | 沖縄県工業教育研究会/沖縄県高等学校文化連盟 第 28 回生徒意見・体験発表大会並びに第 33 回生徒研究成果作品発表大会 |
| 79 | 25 | 水 | スタジオ | 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会　展示会 | 113 | 31 | 火 | 博物館 講座室 | 沖縄タイムス社 SDGs 企画「Step with You」勉強会 |
| 80 | 25 | 水 | 博物館 講座室 | 日本労働組合総連合会沖縄県連合会（連合沖縄） 2023 連合沖縄「最低賃金　学習会」 | 114 | 31 | 火 | 博物館 講座室 | テルモ株式会社 心臓リハビリの最前線　IN OKINAWA |
| 81 | 25 | 水 | 博物館 講座室 | ㈱大京アステージ沖縄支店 交通安全講習会 | 115 | 31 | 火 | 博物館 実習室 | 那覇小学校民具体験 |
| 82 | 25 | 水 | 博物館 講座室 | 辻・本郷税理士法人　沖縄事務所 相続ミニセミナー | 116 | 4～13 | | 博物館 企画 展示室 | 美ら島おきなわ文化祭 2022 関連特別展「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」準備 |
| 83 | 25 | 水 | 博物館 実習室 | 博物館　民具体験 | 117 | 4～13 | | 博物館 特別 展示室 | 美ら島おきなわ文化祭 2022 関連特別展「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」準備 |
| 84 | 25 | 水 | 博物館 実習室 | 一般社団法人士業コンサルタンツ協会　沖縄例会 | 118 | 4～15 | | 美術館 企画ギャラリー１ | 復帰 50 年　平良孝七展 |

| No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施 設 名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 119 | 4～15 | | 美術館 企画ギャラリー２ | 復帰 50 年　平良孝七展 | 124 | 16～20 | | 美術館 企画ギャラリー１ | 復帰 50 年　平良孝七展　片付け |
| 120 | 4～9 | | エントランスホール | ザトウクジラ展 | 125 | 16～20 | | 美術館 企画ギャラリー２ | 復帰 50 年　平良孝七展　片付け |
| 121 | 11～31 | | エントランスホール | 旧正月はおきみゅーに行こう！2023／ザトウクジラ展 | 126 | 24～31 | | 美術館 企画ギャラリー１ | 第 13 回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展 |
| 122 | 14～31 | | 博物館 企画展示室 | 美ら島おきなわ文化祭 2022 関連特別展「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」 | 127 | 24～31 | | 美術館 企画ギャラリー２ | 第 13 回沖縄ねんりんピックかりゆし美術展 |
| 123 | 14～31 | | 博物館 特別展示室 | 美ら島おきなわ文化祭 2022 関連特別展「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」 | | | | | |

## 【2023年２月】

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 水 | 共有講堂 | 一般社団法人　ある／沖縄県子ども未来政策課　令和４年度若年妊産婦支援促進事業　③居場所設置促進関係業務シンポジウム | 26 | 5 | 日 | 共有講堂 | 株式会社 RTH／一般社団法人リターントゥヒューマン ひさまつそうたトークライブ in 沖縄 |
| 2 | 1 | 水 | 博物館講座室 | 博物館　民具体験 | 27 | 5 | 日 | 博物館講座室 | 公文教育研究会 那覇事務局 公文認定テスト |
| 3 | 1 | 水 | 博物館講座室 | The Team（岩下祐慈）LIFEWAVE　ブランドパートナー説明会 | 28 | 5 | 日 | 美術館講座室 | オリックス生命保険株式会社主催　女性にオススメ　マネーセミナー |
| 4 | 1 | 水 | 博物館実習室 | 博物館　民具体験 | 29 | 5 | 日 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所　13 才からのアート講座「戦後沖縄美術の出発点」 |
| 5 | 1 | 水 | 美術館講座室 | 琉球大学医学部附属病院第一内科 琉球大学医学部附属病院第一内科同門会　消化器内科部門 | 30 | 7 | 火 | 博物館実習室 | 株式会社アイティオージャパン 社内研修(植物の歴史と女性のアロマ) |
| 6 | 1 | 水 | 美術館講座室 | NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄　食品ロスをつなぐ・学ぶ「～地域に根差した取組とは～」 | 31 | 7 | 火 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所　タイ研修生 10 分ガイド |
| 7 | 2 | 木 | スタジオ | LVS 株式会社 ラフィーユアカデミー「面接」 | 32 | 8 | 水 | 共有講堂 | 学校法人尚学院尚学院国際ビジネスアカデミー　こども未来本科　卒業制作発表会発表会 |
| 8 | 2 | 木 | 博物館講座室 | 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会　アグリ技術シーズセミナーin 沖縄 | 33 | 8 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　理事会 |
| 9 | 2 | 木 | 博物館実習室 | 普及 自主民具体験安謝小学校 | 34 | 8 | 水 | 博物館講座室 | 株式会社 SRJ／株式会社エデュケーショナルネットワーク SRJ・エデュケーショナルネットワーク共催　教育セミナー通年教材展示会 |
| 10 | 2 | 木 | 博物館実習室 | 沖縄県保健医療部衛生薬務課 九州各県薬務主管課長会議 | 35 | 8 | 水 | 博物館実習室 | 沖縄県立博物館・美術館協議会 |
| 11 | 2 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄県/株式会社エマエンタープライズ 令和４年度国際物流拠点集積事業「第２回連絡会議」 | 36 | 8 | 水 | 美術館講座室 | エスケー化研株式会社　沖縄営業所 2022 年度下期期住宅安全大会及び職長研修会 |
| 12 | 3 | 金 | 共有講堂 | 株式会社 OTS サービス経営研究所 沖縄 EV 導入シンポジウム | 37 | 9 | 木 | スタジオ | 沖縄県文化協会／しまくとぅば普及センター しまくとぅば講座開催に向けての会議 |
| 13 | 3 | 金 | 博物館講座室 | TKC 九州会 事業再構築支援実務セミナー | 38 | 9 | 木 | 共有講堂 | 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社／沖縄県保険医療部薬務衛生課　令和４年度　県内国公立大学　薬務部設置シンポジウム |
| 14 | 3 | 金 | 博物館講座室 | 沖縄心血管インターベンション研究会/テルモ株式会社／社団法人おきなわ長寿復興・医療イノベーション研究所 第 125 回心血管インターベンション研究会 | 39 | 9 | 木 | 博物館講座室 | 株式会社うむさんラボ 大学発 SDGs 事業啓発のための成果発表及び研究者向け事業開発セミナー |
| 15 | 3 | 金 | 博物館実習室 | BNI 沖縄リージョン　DNA ミーティング | 40 | 9 | 木 | 博物館実習室 | 銘苅小学校　自主民具体験 |
| 16 | 3 | 金 | 美術館講座室 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業　文化財活用センター事業概要レクチャー及び意見交換会 | 41 | 9 | 木 | 博物館実習室 | 株式会社　九州経済研究所／沖縄県営農支援課「農産物活用支援強化事業」第6回事業推進検討会 |
| 17 | 3 | 金 | 美術館講座室 | 沖縄県電気工事業工業組合 全九電協青年部　特別講演会兼沖電工組女性部　意見交換会 | 42 | 9 | 木 | 美術館講座室 | ホームネットカーズ株式会社 スーパーオークション経営者セミナー　沖縄開催 |
| 18 | 4 | 土 | 県民アトリエ | NPO 法人日本ホスピタル・クラウン協会 日本ホスピタル・クラウン協会　賛助会員イベント in 沖縄 | 43 | 10 | 金 | スタジオ | 国際交流 NGO ピースボート ピースボート地球一周の船旅説明会① |
| 19 | 4 | 土 | こどもアトリエ | 体軸コンディショニング協会／身体元気 CaPO 体軸セラピスト | 44 | 10 | 金 | スタジオ | 国際交流 NGO ピースボート ピースボート地球一周の船旅説明会② |
| 20 | 4 | 土 | 共有講堂 | 星槎国際高等学校　那覇学習センター 令和４年度　星槎国際高校プロジェクト学習発表会 | 45 | 10 | 金 | スタジオ | 沖縄県企画部地域・離島課 第２回離島 ICT 事業検証委員会 |
| 21 | 4 | 土 | 博物館講座室 | 九州 Ai 研究会 九州 Ai (Autopcy imaging) 研究会 | 46 | 10 | 金 | 共有講堂 | 沖縄県商工労働部マーケティング部戦略推進課　沖縄県所得向上応援企業　認定式　シンポジウム「企業の成長に必須のリスキリングとは」 |
| 22 | 4 | 土 | 博物館実習室 | 久米島研究会 2022 年度　第３回研究発表会 | 47 | 10 | 金 | 博物館講座室 | 日本労働組合総連合会沖縄県連合会（連合沖縄）2023 連合沖縄「連合白書学習会」 |
| 23 | 4 | 土 | 美術館講座室 | 株式会社人事の味方 プログラミング体験会 | 48 | 10 | 金 | 博物館講座室 | 首里城劇場調査団 首里劇場シンポジウム |
| 24 | 5 | 日 | こどもアトリエ | 体軸コンディショニング協会／身体元気 CaPO 体軸セラピスト | 49 | 10 | 金 | 博物館実習室 | 博物館民具体験 |
| 25 | 5 | 日 | スタジオ | GrowBleseed 水素ガス吸引による Dr.水素ボトル勉強会 | 50 | 10 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 米須小学校大度分校　オリエンテーション |

| No | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 51 | 10 | 金 | 美術館講座室 | 公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合シルバー人材センター職員研修会 | 85 | 17 | 金 | 共有講堂 | 内閣府総合事務局エネルギー・燃料課／株式会社ブレーン沖縄 第４回省エネチャレンジカップ表彰式／令和４年度　エネルギー使用合理化シンポジウム |
| 52 | 10 | 金 | 美術館講座室 | 沖縄電波協力会 令和５年度　定期総会 | 86 | 17 | 金 | 博物館講座室 | 一般社団法人沖縄オープンラボラトリ OOL 活動報告会 2022－３・フォーラム |
| 53 | 10 | 金 | 美術館講座室 | 公益財団法人沖縄県産業振興公社 第 10 回後継者育成塾「自社分析発表」会社の今を発表する | 87 | 17 | 金 | 博物館講座室 | ㈱シーエー・アドバンス 社内マーケティング研修 |
| 54 | 11 | 土 | 県民アトリエ | 有限会社アイディー・ブランド 親子参加型の手話講座 | 88 | 17 | 金 | 博物館実習室 | 沖縄県立芸術大学　卒業・修了作品展　表彰式 |
| 55 | 11 | 土 | 共有講堂 | 株式会社 おきなわ edu 第４回おきなわ edu 祭り | 89 | 17 | 金 | 美術館講座室 | WWC セミナー |
| 56 | 11 | 土 | 博物館講座室 | 博物館学芸員講座「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と沖縄」 | 90 | 18 | 土 | スタジオ | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展 |
| 57 | 11 | 土 | 博物館講座室 | 公益財団法人沖縄県文化振興会 文化資源活用とその持続的な取り組み　地域に向き合い地域と育む | 91 | 18 | 土 | 共有講堂 | 博物館文化講座「サンゴ礁とハブ　意外な歴史関係」 |
| 58 | 11 | 土 | 博物館実習室 | 下地聖子 金融教育セミナー | 92 | 18 | 土 | 共有講堂 | 地方独立行政法人 那覇市立病院 令和４年度　がんフォーラム「治療と仕事の両立支援」 |
| 59 | 11 | 土 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 13 才からのアート講座「西洋絵画入門」 | 93 | 18 | 土 | 博物館講座室 | アルファスマート国立劇場前管理組合設立総会 |
| 60 | 11 | 土 | 美術館講座室 | 沖縄県前茶道協会 沖縄県煎茶道協会　総会 | 94 | 18 | 土 | 博物館講座室 | 北海道公立大学法人札幌医科大学／那覇西クリニック 患者・市民向けセミナー「いま、伝えたいこと、考えたいこと」in 沖縄 ～遺伝性がんについて正しく知って、考えよう～ |
| 61 | 12 | 日 | スタジオ | 九州医療スポーツ専門学校 学校説明会 | 95 | 18 | 土 | 博物館実習室 | 沖縄県文化協会／しまくとぅば普及センター しまくとぅば講座 |
| 62 | 12 | 日 | 共有講堂 | 世界平和統一家庭連合 家庭講演会 | 96 | 18 | 土 | 美術館講座室 | 沖縄県手話通訳問題研究会 第５回おしどり学校 |
| 63 | 12 | 日 | 共有講堂 | 一般社団法人沖縄県歯科医師会 歯周病と全身疾患に関する県民公開講座 | 97 | 19 | 日 | スタジオ | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展 |
| 64 | 12 | 日 | 共有講堂 | ZENZA CAPITAL HOLDINGS㈱　会社説明会 | 98 | 19 | 日 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄県環境科学センター 産総研シンポジウム　事前確認 |
| 65 | 12 | 日 | 博物館講座室 | 国際交流 NGO ピースボート ピースボート地球一周の船旅説明会 | 99 | 19 | 日 | 博物館講座室 | 首里城公園友の会　文化講演会 |
| 66 | 12 | 日 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート控室 | 100 | 19 | 日 | 博物館実習室 | 全厚済　セミナー |
| 67 | 12 | 日 | 美術館講座室 | 具志堅聖児ギャラリートーク荒井 経 特別講義「具志堅聖児と沖縄の日本画」 | 101 | 19 | 日 | 美術館講座室 | 株式会社人事の味方 プログラミング体験会 |
| 68 | 12 | 日 | 美術館講座室 | 琉球岳風会 指導者研修会及び吟和会 | 102 | 21 | 火 | こどもアトリエ | JAL スカイエアポート沖縄株式会社 採用選考（面接控室） |
| 69 | 14 | 火 | スタジオ | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展　準備 | 103 | 21 | 火 | スタジオ | JAL スカイエアポート沖縄株式会社 採用選考（面接会場） |
| 70 | 14 | 火 | 共有講堂 | 学校法人尚学院尚学院国際ビジネスアカデミーこども未来本科　卒業制作発表会 | 104 | 21 | 火 | 博物館実習室 | 株式会社電通オペレーション・パートナーズ DOP 外部研修 |
| 71 | 14 | 火 | 博物館講座室 | 第一三共株式会社 沖縄県がんの痛み連携講演会 | 105 | 21 | 火 | 共有講堂 | 株式会社 JTB 沖縄／令和４年度琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業局 令和４年度琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業第３回有識者委員会兼事業者報告会 |
| 72 | 14 | 火 | 博物館実習室 | 公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 令和４年度高齢者活躍人材確保育成事業 連絡会議 | 106 | 21 | 火 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 長田なかよし会 10 分ガイド |
| 73 | 14 | 火 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄しまたて協会 第４回地域景観リーダー研修会 | 107 | 21 | 火 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア連絡会 |
| 74 | 15 | 水 | スタジオ | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展 | 108 | 21 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄県マスコミ労働組合協議会 伝える現場からの提言～ヘイトティーチイン |
| 75 | 15 | 水 | 共有講堂 | 学校法人尚学院尚学院国際ビジネスアカデミーこども未来本科　卒業制作発表会 | 109 | 21 | 火 | 美術館講座室 | JAL スカイエアポート沖縄株式会社 採用選考（筆記試験） |
| 76 | 15 | 水 | 博物館講座室 | 沖盛塾　勉強会 | 110 | 21 | 火 | 美術館講座室 | 辻・本郷税理士法人　沖縄事務所 相続ミニセミナー |
| 77 | 15 | 水 | 美術館講座室 | 沖縄県立芸術大学　「第 34 回　卒業・修了作品展」四賞選考会 | 111 | 22 | 水 | スタジオ | ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社 沖縄支社　BTP 研修 |
| 78 | 16 | 木 | こどもアトリエ | テンプスタッフフォーラム株式会社 お仕事相談会 | 112 | 22 | 水 | 博物館実習室 | 琉球三線楽器保存育成会/ 三線調査会 |
| 79 | 16 | 木 | スタジオ | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展 | 113 | 22 | 水 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 さつき小学校　オリエンテーション |
| 80 | 16 | 木 | 博物館講座室 | 建設技能人材機構/㈱建通新聞社　東京支社 特定技能外国人制度の説明会 | 114 | 22 | 水 | 共有講堂 | 沖縄地域 PPP/PFI プラットフォーム　第 12 回セミナー |
| 81 | 16 | 木 | 博物館講座室 | 公益財団法人日本国際問題研究所「第４回尖閣資料検討委員会」 | 115 | 22 | 水 | 博物館講座室 | 公益社団法人北那覇法人会 インボイス制度・電子帳簿保存法及び独占禁止法・下請法に関する対策セミナー |
| 82 | 16 | 木 | 博物館実習室 | ㈱Ｅアファンミーティング | 116 | 22 | 水 | 美術館講座室 | アーゲル 西銘主義　理念継承講習会 |
| 83 | 16 | 木 | 美術館講座室 | WWC セミナー | 117 | 22 | 水 | 美術館講座室 | 株式会社　中央建設コンサルタント 令和４年度沖縄本島中南部都市圏交通まちづくり　学識経験者意見交換 |
| 84 | 17 | 金 | スタジオ | 沖縄県立芸術大学 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展 | 118 | 23 | 木 | スタジオ | 有限会社アイディー・ブランド 第１回沖縄県手で話そう運動フェスタ 控室 |

| No | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 119 | 23 | 木 | 博物館実習室 | 沖縄県文化協会 座談会（シマでシンポジウム） | 141 | 25 | 土 | 博物館講座室 | 公益社団法人沖縄県理学療法士協会 令和４年度協会指定管理者研修会（全体） |
| 120 | 23 | 木 | 共有講堂 | 有限会社アイディー・ブランド 第１回沖縄県手で話そう運動フェスタ | 142 | 25 | 土 | 美術館講座室 | NPO 法人まる／九州障害者アートサポートセンター アートサポーター養成講座「表現活動の可能性を考える２日間」 |
| 121 | 23 | 木 | 博物館講座室 | 株式会社フォーデイズ 核酸栄養セミナー | 143 | 26 | 日 | 県民アトリエ | NPO 法人まる／九州障害者アートサポートセンター アートサポーター養成講座「表現活動の可能性を考える２日間」 |
| 122 | 23 | 木 | 美術館講座室 | 一般社団法人茶道裏千家淡交会沖縄青年部　総会 | 144 | 26 | 日 | こどもアトリエ | NPO 法人まる／九州障害者アートサポートセンター アートサポーター養成講座「表現活動の可能性を考える２日間」 |
| 123 | 23 | 木 | 美術館講座室 | 沖縄映画研究会　第 12 回研究発表会 | 145 | 26 | 日 | スタジオ | ㈱Leo Size Design　説明会 |
| 124 | 24 | 金 | 県民アトリエ | 独立行政法人中小企業基盤整備機構沖縄事務所取材室 | 146 | 26 | 日 | 博物館実習室 | 内間　幸子 健康セミナー |
| 125 | 24 | 金 | スタジオ | 沖縄県さくら普及促進協議会　総会 | 147 | 26 | 日 | 共有講堂 | 学校法人アミークス国際学園 YEAH！　AMICUS CULB　～4th Ammual Joint Exhbition～ |
| 126 | 24 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄芸術文化財団 合唱練習 | 148 | 26 | 日 | 博物館講座室 | RYU:X TOWER 管理組合　第９期通常総会 |
| 127 | 24 | 金 | 共有講堂 | 愛知大学経営総合科学研究所／那覇商工会議所 2022 年度経営者講演会「M&A はじめの一歩（仮称）」 | 149 | 26 | 日 | 博物館講座室 | 玉城晋也 VEIN-X・WA COMMUNITY 事業説明会 |
| 128 | 24 | 金 | 共有講堂 | 内閣府沖縄総合事務局／中小企業基盤整備機構沖縄事務所 お笑い事業承継小劇場 | 150 | 26 | 日 | 美術館講座室 | 美術館学芸員講座「美術館とデータベース」 |
| 129 | 24 | 金 | 共有講堂 | 内閣府沖縄総合事務局／中小企業基盤整備機構沖縄事務所 お笑い事業承継小劇場 | 151 | 26 | 日 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 13 才からのアート講座「戦後沖縄美術の出発点」 |
| 130 | 24 | 金 | 共有講堂 | 那覇市 PTA 連合会　第２回常置委員会 | 152 | 28 | 火 | 共有講堂 | 電子情報通信学会 電子情報通信学会（EA、SIP、SP）研究会 |
| 131 | 24 | 金 | 博物館講座室 | サンワコムシスエンジニアリング㈱沖縄支店 安全衛生協議会 | 153 | 28 | 火 | 博物館講座室 | 電子情報通信学会 電子情報通信学会（EA、SIP、SP）研究会 |
| 132 | 24 | 金 | 美術館講座室 | 新川道代/株式会社 SUN 健康セミナー | 154 | 28 | 火 | 美術館講座室 | フリーベル大道セルカセントロセグンダ/（有）松山ハウジング フリーベル大道セルカセントロセグンダ設立総会 |
| 133 | 24 | 金 | 美術館講座室 | 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 令和４年度第４回生活支援サポーター養成講座 | 155 | 28 | 火 | 美術館講座室 | 有限会社フロンティアーズ 松尾和也沖縄講演会 |
| 134 | 25 | 土 | スタジオ | アスオ坂下管理組合／琉信ハウジング アスオ坂下管理組合　臨時総会 | 156 | 28 | 火 | エントランスホール | サンゴウィークパネル展 |
| 135 | 25 | 土 | 博物館実習室 | 沖縄県立美術館視線会 happ　happ イベント「ペチャクチャナイト」控室 | 157 | 1～26 | | エントランスホール | ザトウクジラ展 |
| 136 | 25 | 土 | 博物館実習室 | 沖縄県文化協会／しまくとぅば普及センター しまくとぅば講座 | 158 | 1～28 | | 博物館企画展示室 | 美ら島おきなわ文化祭 2022 関連特別展　「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」 |
| 137 | 25 | 土 | 共有講堂 | おきなわ未来ビジョンシンクタンク会議／医療法人那覇西会　那覇西クリニック おきなわ今昔物語ー世代を超えて夢と希望に満ち溢れた沖縄県の未来を創ろうー | 159 | 1～28 | | 博物館特別展示室 | 美ら島おきなわ文化祭 2022 関連特別展　「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」/大嶺薫コレクション展 |
| 138 | 25 | 土 | 共有講堂 | 沖縄いのちの電話 自殺予防　公開講演会 | 160 | 11～19 | | エントランスホール | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展 |
| 139 | 25 | 土 | 博物館講座室 | ジブラルタ生命保険㈱　沖縄支社 ランドセル贈呈式 | 161 | 12～21 | | 美術館企画ギャラリー１ | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展 |
| 140 | 25 | 土 | 博物館講座室 | リゾートクラブ NX 沖縄県観光業研修セミナー | 162 | 12～21 | | 美術館企画ギャラリー２ | 沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第 34 回卒業・修了作品展 |

**【2023年３月】**

| No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施設名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 水 | 共有講堂 | 電子情報通信学会　電子情報通信学会（EA、SIP、SP）研究会 | 8 | 2 | 木 | 博物館講座室 | 電子情報通信学会　フォトニックネットワーク研究会　電子情報通信学会　フォトニックネットワーク研究会 |
| 2 | 1 | 水 | 博物館講座室 | 電子情報通信学会　フォトニックネットワーク研究会　電子情報通信学会　フォトニックネットワーク研究会 | 9 | 2 | 木 | 美術館講座室 | 大光電機㈱　DAIKO ライティングセミナー |
| 3 | 1 | 水 | 博物館実習室 | 広島大学大学院先進理工系科学研究科　コンパクト星研究会 | 10 | 2 | 木 | 美術館講座室 | 広島大学大学院先進理工系科学研究科　コンパクト星研究会 |
| 4 | 1 | 水 | 美術館講座室 | 電子情報通信学会　電子情報通信学会（EA、SIP,SP）研究会 | 11 | 3 | 金 | 共有講堂 | 産業技術総合研究所地質調査総合センター　第 39 回地質調査総合センターシンポジウム「美ら島の産業と環境の調和を科学の力で～陸-沿岸-海洋研究の最前線～」 |
| 5 | 2 | 木 | 共有講堂 | 産業技術総合研究所地質調査総合センター　第 39 回地質調査総合センターシンポジウム「美ら島の産業と環境の調和を科学の力で～陸-沿岸-海洋研究の最前線～」準備 | 12 | 3 | 金 | 博物館講座室 | 産業技術総合研究所地質調査総合センター　第 39 回地質調査総合センターシンポジウム「美ら島の産業と環境の調和を科学の力で～陸-沿岸-海洋研究の最前線～」 |
| 6 | 2 | 木 | 共有講堂 | 一般社団法人沖縄県食品衛生協会　食品衛生研修会並びに食品衛生指導員体験発表会 | 13 | 3 | 金 | 美術館講座室 | 広島大学大学院先進理工系科学研究科　コンパクト星研究会 |
| 7 | 2 | 木 | 博物館講座室 | 産業技術総合研究所地質調査総合センター　第 39 回地質調査総合センターシンポジウム「美ら島の産業と環境の調和を科学の力で～陸-沿岸-海洋研究の最前線～」準備 | 14 | 3 | 金 | 美術館講座室 | 第一三共株式会社　消化器癌と痛みについて考える |

| No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 4 | 土 | 博物館実習室 | 沖縄県交易促進事業協同組合　沖縄県交易促進事業協同組合　理事会 | 48 | 12 | 日 | 博物館講座室 | BSC 沖縄県本部 講習会 |
| 16 | 4 | 土 | スタジオ | 沖縄県文化協会／しまくとぅば普及センター　しまくとぅば講座 | 49 | 12 | 日 | 博物館実習室 | 琉球岳風会　指導者研修及び吟和会 |
| 17 | 4 | 土 | スタジオ | 沖縄自主の会　美ら島講座 | 50 | 12 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟　第 10 回理事会 |
| 18 | 5 | 日 | スタジオ | Grows Blesed　水素ガス吸引による健康維持勉強会 | 51 | 12 | 日 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 県博管理事務所　13 才からのアート講座「画題で愉しむ日本の絵画～花鳥画のススメ～」 |
| 19 | 5 | 日 | 共有講堂 | TV 沖縄／㈱シュザ　TV 沖縄勉強会 | 52 | 14 | 火 | 共有講堂 | リゾートクラブ NX　沖縄県観光業研修セミナー |
| 20 | 5 | 日 | 博物館講座室 | 一般社団法人日本認知症ケア学会　九州・沖縄２地域部会Ⅴ（沖縄） | 53 | 14 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄労働局　県内のユースエール企業の事業概要及び、求人内容等についての説明会 |
| 21 | 5 | 日 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所　13 才からのアート講座「画題で愉しむ日本の絵画～花鳥画のススメ～」 | 54 | 15 | 水 | 博物館講座室 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業　特別講座（染織分野） |
| 22 | 5 | 日 | 美術館講座室 | D'クラディア新都心ラックスヒルズ　大規模修繕工事説明会 | 55 | 15 | 水 | 博物館講座室 | 電子情報通信学会情報通信マネジメント研究会　ICM 研究会　ワークショップ　事前準備 |
| 23 | 7 | 火 | 共有講堂 | ピアノ保守点検 | 56 | 15 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄県公共交通活性化推進協議会　第 43 回幹事会 |
| 24 | 7 | 火 | 博物館実習室 | 垣花小　自主民具体験 | 57 | 16 | 木 | 博物館講座室 | 電子情報通信学会情報通信マネジメント研究会　ICM 研究会ワークショップ |
| 25 | 7 | 火 | 美術館講座室 | 株式会社エマエンタープライズ／沖縄県交通政策課　令和４年度公共交通の利用環境改善に係る広報活動業務　わった～バス党法人党員交流セミナー | 58 | 16 | 木 | 美術館講座室 | ㈱SUN／サンベール　健康セミナー |
| 26 | 8 | 水 | スタジオ | ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社　沖縄支社　BTP 研修 | 59 | 17 | 金 | 博物館講座室 | 電子情報通信学会情報通信マネジメント研究会　ICM 研究会　ワークショップ |
| 27 | 8 | 水 | 共有講堂 | 学校法人南星学園　サイテクカレッジ那覇　学習発表会 | 60 | 17 | 金 | 博物館実習室 | 博物館ボランティアガイドミーティング |
| 28 | 8 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄県立博物館友の会　理事会 | 61 | 17 | 金 | 美術館講座室 | LIFEWAVE B.P.中江園子　LIFEWAVE ブランドパートナー説明会 |
| 29 | 8 | 水 | 博物館講座室 | 株式会社 公文教育研究会　ビジョン講座 | 62 | 17 | 金 | 美術館講座室 | 社会福祉法人若竹福祉会　南部地区障がい者就業・生活支援センターかるにあ　だまされない！契約・SNS 対策講座 |
| 30 | 8 | 水 | 博物館講座室 | 沖縄国家公務員労働組合　国公連合沖縄ブロック集会 | 63 | 17 | 金 | 美術館講座室 | タマホーム㈱沖縄支店業者会・工程会議 |
| 31 | 8 | 水 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　展示企画運営調整会議／財団　総務班打ち合わせ/財団　班長主任会議 | 64 | 18 | 土 | 共有講堂 | 公益社団法人日本建築家協会沖縄支部　令和４年度建築文化講演会 |
| 32 | 8 | 水 | 美術館講座室 | 美術館ボランティア学習会 | 65 | 18 | 土 | 共有講堂 | 名桜大学／一般社団法人久米崇聖会　閩人（久米）三十六姓渡来 630 年記念シンポジウム「琉球王府と久米村-歴史を耕し、未来を拓く |
| 33 | 8 | 水 | 美術館講座室 | 沖盛塾　　経営者勉強会 | 66 | 18 | 土 | 博物館講座室 | 琉球王国文化遺産集積・再興事業Ⅱ 報告会 |
| 34 | 9 | 木 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター　令和４年度　小規模事業者等デジタル化支援事業　デジタル化促進セミナー～小規模事業者等デジタル化はじめ | 67 | 18 | 土 | 博物館講座室 | 博物館学芸員講座「狩猟採集から農耕へ-古人骨から人類史の画期を探る-」 |
| 35 | 9 | 木 | 博物館実習室 | 垣花小学校　自主民具体験 | 68 | 18 | 土 | 博物館講座室 | 東アジア共同体研究所 琉球・沖縄センター「東アジアの緊張緩和を求めて　守りたい島の声―与那国島から―」上映会 |
| 36 | 9 | 木 | 美術館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　日本テクノ㈱10 分ガイド | 69 | 18 | 土 | 博物館実習室 | 保険マンモス株式会社　お子さまモデルオーディション撮影会＆ライフプラン相談会 |
| 37 | 9 | 木 | 美術館講座室 | 大鏡建設株式会社　大鏡 CRE「企業と不動産」セミナー | 70 | 18 | 土 | 美術館講座室 | 公益社団法人日本建築家協会沖縄支部　第 26 回卒業設計選奨 |
| 38 | 10 | 金 | 博物館講座室 | 博物館ボランティアガイドミーティング | 71 | 19 | 日 | スタジオ | D クラディア新都心ラックスヒルズ　マンション総会 |
| 39 | 10 | 金 | 博物館講座室 | まぶいぐみ実行委員会　復帰 50 年沖縄写真展シンポジウム | 72 | 19 | 日 | 共有講堂 | ピティナ那覇ミュージアムステーション　ピティナ・ピアノステップ那覇春季地区 |
| 40 | 10 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄芸術文化財団　合唱練習 | 73 | 19 | 日 | 博物館講座室 | 沖縄県眼科医会　第 148 回　沖縄眼科集談会 |
| 41 | 10 | 金 | 美術館講座室 | フォーディズ株式会社　核酸栄養セミナー | 74 | 19 | 日 | 博物館講座室 | 一般社団法人日本耳鼻科咽喉科頭頸部外科学会沖縄県地方部会　市民公開講座「耳鼻咽喉科月間」講演会　第１会場 |
| 42 | 11 | 土 | スタジオ | 沖縄慶友会　安藤寿康教授講師派遣「なぜヒトは学ぶのか～才能の発現を考える」 | 75 | 19 | 日 | 博物館実習室 | 一般社団法人日本耳鼻科咽喉科頭頸部外科学会沖縄県地方部会　市民公開講座「耳鼻咽喉科月間」講演会　第３会場 |
| 43 | 11 | 土 | 共有講堂 | 博物館文化講座「琉球の仏教彫刻」　木彫刻を中心に | 76 | 19 | 日 | 美術館講座室 | 一般社団法人日本耳鼻科咽喉科頭頸部外科学会沖縄県地方部会　市民公開講座「耳鼻咽喉科月間」講演会　第２会場 |
| 44 | 11 | 土 | 博物館講座室 | 沖縄県介護支援専門員連盟　令和６年度気顎保険制度改正の動向について～地位の向上を勝ち取るために出来ることとは～ | 77 | 21 | 火 | 県民アトリエ | 女子美術大学同窓会沖縄支部　理事会 |
| 45 | 11 | 土 | 博物館実習室 | 琉球沖縄歴史学会　2023 年３月例会「学生報告会」 | 78 | 21 | 火 | 共有講堂 | 上原明美　第 17 回ピアノ発表会 |
| 46 | 11 | 土 | 美術館講座室 | 日本オーラル・ヒストリー学会（JOHA）研究活動委員会　JOHA 研究交流集会「沖縄戦をいかに書くか」 | 79 | 21 | 火 | 博物館実習室 | BNI 沖縄リージョン 研修会 |
| 47 | 12 | 日 | 共有講堂 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　総合研究センター　自然遺産展関連催事「講演会」 | 80 | 21 | 火 | 美術館講座室 | ショウゴベビーシッター　法人プレゼンお披露目会 |

| No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） | No. | 日 | 曜日 | 施　設　名 | イベント情報または施設貸出情報（申込者） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 81 | 22 | 水 | 共有講堂 | 内閣府沖縄総合事務局／一般社団法人日本公園緑地協会　首里城復元に向けた技術検討委員会第２回報告会 | 98 | 25 | 土 | 美術館講座室 | 唐沢　祐香　メディポリス国際陽子線治療センターより講師を招いてのガン治療セミナー |
| 82 | 22 | 水 | 博物館講座室 | 博物館ボランティア連絡会 | 99 | 25 | 土 | 美術館講座室 | 一般社団法人ガールスカウト沖縄県連盟　裏千家「鵬雲斎千玄室大宗匠」講演会 |
| 83 | 22 | 水 | 博物館実習室 | 琉球三線楽器保存育成会　三線調査会 | 100 | 26 | 日 | スタジオ | アトリエ　ウインズ　春のトランペット試奏展示会 |
| 84 | 22 | 水 | 美術館講座室 | 辻・本郷税理士法人沖縄事務所　相続ミニセミナー | 101 | 26 | 日 | 博物館講座室 | 琉球文化日本遺産推進協議会　琉球文化日本遺産ガイドフォローアップ講座 |
| 85 | 23 | 木 | 県民アトリエ | ランドブレイン株式会社沖縄事務所　令和４年度離島・過疎コミュニティビジネス支援事業「推進会議」 | 102 | 26 | 日 | 美術館講座室 | ABCT（IVA）沖縄　資産運用勉強会 |
| 86 | 23 | 木 | 共有講堂 | 一般社団法人日本公園緑地協会　首里城復元に向けた技術検討委員会　第２報告会 | 103 | 26 | 日 | 美術館講座室 | 教師の知恵.net　桂聖先生に学ぶ 国語授業のつくり方講座 |
| 87 | 23 | 木 | 博物館講座室 | サンワコムシスエンジニアリング㈱沖縄支店 2023年３月サンワコムシス沖縄支店　安全衛生協議会 | 104 | 28 | 火 | 共有講堂 | おきみゅー送別会 |
| 88 | 23 | 木 | 美術館講座室 | 一般社団法人日本公園緑地協会　首里城復元に向けた技術検討委員会　第２報告会 | 105 | 28 | 火 | 博物館講座室 | 沖縄県公共交通活性化推進協議会　第38回沖縄県公共交通活性化推進協議会 |
| 89 | 24 | 金 | 共有講堂 | 学校法人三幸学園沖縄校　キックオフミーティング2023 | 106 | 28 | 火 | 美術館講座室 | 教育普及　報告書作業 |
| 90 | 24 | 金 | 博物館講座室 | 一般社団法人沖縄県産業資源循環協会　沖縄県産業資源循環協会　講習会（インボイス制度について） | 107 | 29 | 水 | 共有講堂 | 特定非営利活動法人沖縄県建築設計サポートセンター　沖縄における塩分を受けた建築物の修復保存に向けた取り組みシンポジウム |
| 91 | 24 | 金 | 博物館実習室 | 一般財団法人沖縄芸術文化財団　合唱練習 | 108 | 29 | 水 | 美術館講座室 | 川前　和香子　健康セミナー |
| 92 | 24 | 金 | 美術館講座室 | 株式会社OZALLY　ベルズシステムズ勉強会 | 109 | 31 | 金 | 共有講堂 | おきみゅーシネマラボ「吉屋チルー物語」うちなーぐち字幕上映+トークセッション |
| 93 | 25 | 土 | 県民アトリエ | 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センタ令和４年度 ICTビジネス高度化支援事業　令和４年度 ICTビジネス高度化支援事業ICTイノベーションセミナー | 110 | 31 | 金 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　県博管理事務所 10分ガイド__非日常南国ミステリツアー |
| 94 | 25 | 土 | スタジオ | アトリエ　ウインズ　春のトランペット試奏展示会 | 111 | 1〜12 | | エントランスホール | サンゴウィークパネル展 |
| 95 | 25 | 土 | 共有講堂 | 鈴木ピアノ教室　鈴木ピアノ発表会 | 112 | 1〜31 | | 博物館特別展示室 | 大嶺薫コレクション展 |
| 96 | 25 | 土 | 博物館講座室 | 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター　令和４年度 ICTビジネス高度化支援事業 ICTイノベーションセミナー | 113 | 7〜19 | | エントランスホール | 世界児童画展 |
| 97 | 25 | 土 | 博物館実習室 | NPO法人沖縄県マンション管理組合連合会　マンション管理組合情報交換会 | 114 | 21〜31 | | エントランスホール | シーサー展（宮城光男） |

## ３ 県民ギャラリー貸出件数

| No. | 使用ギャラリー | 貸出期間 | イベント名 | 主催者 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 県民ギャラリー1.2 | ４月５日（火）～４月10日（日） | MugentHiroTanaka　展 | Nugen絵画研究時/田中博生 |
| 2 | 県民ギャラリー1 | ４月26日（火）～５月１日（日） | 佐久川航　個展<br>～OKINAWAの大切な仲間たち～ | 佐久川薫 |
| 3 | 県民ギャラリー2 | ４月26日（火）～５月１日（日） | 2022年公文大里仲間・那覇真嘉比書写教室成果発表会 | 公文大里仲間書写教室 |
| 4 | 県民ギャラリー1.2.3 | ５月10日（火）～５月15日（日） | 勇崎哲史追悼写真展「光の記憶」 | 勇崎哲史追悼写真展実行委員会 |
| 5 | 県民ギャラリー1.2.3 | ５月17日（火）～５月22日（日） | 第17回龍賓・曹源書道会 | 龍賓・曹源書道会 |
| 6 | 県民ギャラリー1.2.3 | ５月24日（火）～５月29日（日） | 勇崎哲史追悼門下生合同展 | 写真の歓び研究会有志の会 |
| 7 | 県民ギャラリー1 | ６月７日（火）～６月12日（日） | 第37回日本現代美術協会 沖縄県支部展 | 日現会沖縄県支部 |
| 8 | 県民ギャラリー1.2 | ６月14日（火）～６月19日（日） | サークル櫂　絵画展 | アトリエ櫂　絵画教室 |
| 9 | 県民ギャラリー3 | ６月16日（木）～６月19日（日） | ウェルカルチャスクール＆木彫教室ゆん<br>木彫作品展 | ウェルカルチャスクール<br>＆木彫教室ゆん |
| 10 | 県民ギャラリー1.2.3 | ６月22日（水）～６月26日（日） | 沖縄本土復帰50周年　美ら島芸術祈願祭 | 株式会社　青藍社 |
| 11 | 県民ギャラリー1.2.3 | ７月８日（金）～７月10日（日） | 国際バカロレアディプロマプログラム<br>Visual arts 展覧会 | 沖縄尚学高等学校<br>国際文化科学コース |
| 12 | 県民ギャラリー1.2.3 | ７月12日（火）～７月18日（月） | ぬじゅん2022 | 一般財団法人<br>すでぃる |

| No. | 使用ギャラリー | 貸出期間 | イベント名 | 主催者 |
|---|---|---|---|---|
| 13 | 県民ギャラリー1.2.3 | ７月20日（水）～７月24日（日） | 夏休み特別展示「さがそう！自由研究のタネ～あなたの好奇心の花を咲かせます～ | 一般財団法人沖縄美ら島財団　総合研究センター |
| 14 | 県民ギャラリー1.2.3 | ７月26日（火）～７月31日（日） | 第28回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭 | 沖縄県特別支援学校中学部文化連盟 |
| 15 | 県民ギャラリー1.2.3 | ８月２日（火）～８月７日（日） | 第31回りゅうぎん紅型デザイン展 | 株式会社琉球銀行 |
| 16 | 県民ギャラリー1.2.3 | ８月９日（火））～8月14日（日） | 美術の先生がつくった作品展vol.９ | 美術の先生がつくった作品展実行委員会 |
| 17 | 県民ギャラリー1 | ８月16日（火）～８月21日（日） | ASUKA ART Exhibition | ASUKA ISHIDA |
| 18 | 県民ギャラリー2.3 | ８月16日（火）～８月21日（日） | 沖縄復帰50周年記念琉球切手展 | 日本郵便株式会社沖縄支社 |
| 19 | 県民ギャラリー1.2 | ８月23日（火）～８月24日（水） | カズコ展 | ちゅらハピ |
| 20 | 県民ギャラリー1.2 | ８月25日（木）～８月28日（日） | 第53回　龍樋書道展 | 龍樋硯心会 |
| 21 | 県民ギャラリー1 | ８月30日（火）～８月31日（水） | 琉大アートクラブ展示会2022 | 琉大アートサークル |
| 22 | 県民ギャラリー3 | ８月30日（火）～８月31日（水） | DEE EXPO 22 | DEE okinawa LLP |
| 23 | 県民ギャラリー3 | ９月８日（木）～９月11日（日） | ゆかいな仲間たち | 友利敏幸 |
| 24 | 県民ギャラリー1 | ９月９日（金）～９月11日（日） | 夏の終わり―何気ない日常― | 沖縄国際大学写真部・現代アート部 |
| 25 | 県民ギャラリー1.2.3 | ９月13日（火）～９月18日（日） | 第32回沖美連展 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟 |
| 26 | 県民ギャラリー1 | ９月21日（水）～９月25日（日） | 第５回太陽展[光群の詩」 | （特非）地域福祉保健推進協会 |
| 27 | 県民ギャラリー2.3 | ９月21日（水）～９月25日（日） | 公文識名松川・城北書写教室　成果発表会 | 公文識名松川書写教室・公文城北書写教室 |
| 28 | 県民ギャラリー1.2 | ９月27日（火）～９月30日（金） | 鎮西公子　絵画展　「記憶のパズル」 | 鎮西公子 |
| 29 | 県民ギャラリー3 | ９月27日（火）～９月30日（金） | 城明　美ら島の音「沖縄の城を描く」 | 城明アートギャラリー |
| 30 | 県民ギャラリー1.2 | 10月１日（土）～10月２日（日） | 鎮西公子　絵画展　「記憶のパズル」 | 鎮西公子 |
| 31 | 県民ギャラリー3 | 10月１日（土）～10月２日（日） | 城明　美ら島の音「沖縄の城を描く」 | 城明アートギャラリー |
| 32 | 県民ギャラリー1.2 | 10月４日（火）～10月９日（日） | 第29回肢体不自由児・者の作品展 | 社会福祉法人沖縄肢体不自由児協会 |
| 33 | 県民ギャラリー3 | 10月４日（火）～10月９日（日） | 四人展　2022 | ART　GROUP　MAX |
| 34 | 県民ギャラリー2.3 | 10月11日（水）～10月23日（日） | 第51回沖縄県芸術文化祭 | 公益財団法人沖縄県文化振興会 |
| 35 | 県民ギャラリー1.2.3 | 10月27日（木）～10月30日（日） | 第46回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 | 沖縄県高等学校文化連盟 |
| 36 | 県民ギャラリー1.2.3 | 11月１日（火）～11月６日（日） | 沖縄県立開邦高等学校　芸術科 第13回美術コース作品展 | 沖縄県立開邦高等学校 美術科・美術コース |
| 37 | 県民ギャラリー1.2 | 11月８日（火）～11月13日（日） | 大坪葉子　絵画展「宇宙」 | 大坪葉子 |
| 38 | 県民ギャラリー3 | 11月８日（火）～11月13日（日） | Sawako.T.Okinawa exhibition | 奥原佐和子 |
| 39 | 県民ギャラリー1 | 11月15日（水）～11月20日（日） | 点染無限 | YAO　QIWEI |
| 40 | 県民ギャラリー2 | 11月15日（火）～11月18日（金） | 巡回展「プカラの牛と沖縄のシーサー：友情の守護者たち」 | 在日ペルー大使館 |
| 41 | 県民ギャラリー1.2.3 | 11月24日（木）～11月27日（日） | 「小さな絵本展　vol.13+アートブックカバー展vol.6 | My Piece Art project |
| 42 | 県民ギャラリー1.2.3 | 11月29日（火）～12月4日（日） | アートキャンプ2022「素朴の大砲」展 | アートキャンプ2001実行委員会/社会福祉法人若竹福祉会 |
| 43 | 県民ギャラリー1 | 12月６日（火）～12月10日（土） | 第12回沖縄ふるさとづくりコンクール～中学・高校生写真コンクール2021～ | （一社）沖縄しまたて協会 |
| 44 | 県民ギャラリー3 | 12月６日（火）～12月11日（日） | 第17回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展 | 沖縄県立真和志高等学校 |
| 45 | 県民ギャラリー2 | 12月９日（金）～12月11日（日） | 第39回未来の科学の夢絵画展 | 沖縄県発明協会 |
| 46 | 県民ギャラリー1.2.3 | 12月13日（火）～12月18日（日） | 沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科 第38回卒業作品展 | 沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科 |

| No. | 使用ギャラリー | 貸出期間 | イベント名 | 主催者 |
|---|---|---|---|---|
| 47 | 県民ギャラリー1 | 12月20日（火）～12月25日（日） | 写真企画展「カラテとカラダ-空手のパワーを写真で読み解く」 | チカ・コーポレーション |
| 48 | 県民ギャラリー1.2 | １月６日（金）～１月８日（日） | 「沖縄こども美術教室」生徒作品展　2023 | 沖縄こども美術教室（ARCADE） |
| 49 | 県民ギャラリー3 | １月６日（金）～１月８日（日） | 令和４年度JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会 | 全国共済農業協同組合連合会 |
| 50 | 県民ギャラリー1.2.3 | １月12日（水）～１月15日（日） | 第２回合同春秋会 | 沖縄県高等学校退職校長春秋会 |
| 51 | 県民ギャラリー1.2.3 | １月19日（木）～１月22日（日） | 第22回沖縄県立小禄高等学校<br>芸術教養コース発表会 | 沖縄県立小禄高等学校<br>芸術教養コース |
| 52 | 県民ギャラリー1.2.3 | １月24日（火）～１月29日（日） | 第21回那覇市障がい者美術展 | 那覇市身体障害者福祉協会 |
| 53 | 県民ギャラリー1.2 | ２月３日（金）～２月５日（日） | 第54回沖縄県高美研<br>美術・工芸教育生徒作品展 | 沖縄県高等学校文化連盟<br>美術・工芸専門部 |
| 54 | 県民ギャラリー3 | ２月１日（水）～２月５日（日） | 東邦定・Riki yamano写真展 | 東邦定 |
| 55 | 県民ギャラリー1 | ２月７日（火）～２月12日（日） | 2022年沖美連　新春展 | 一般社団法人沖縄県美術家連盟 |
| 56 | 県民ギャラリー2 | ２月７日（火）～２月12日（日） | JAGDA　OKIBAWA　グラフィックデザイン展 | 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会沖縄地区 |
| 57 | 県民ギャラリー3 | ２月９日（木）～２月12日（日） | 美ら海の今と未来 | Oki Coast Ocean Art |
| 58 | 県民ギャラリー1.2.3 | ２月14日（火）～２月19日（日） | 第31回卒業・修了作品展 | 公立学校法人沖縄県立芸術大学 |
| 59 | 県民ギャラリー1 | ２月21日（火）～２月24日（金） | 沖縄広告賞展 | 沖縄広告協会 |
| 60 | 県民ギャラリー2 | ２月23日（木） | ”I Am What Iam”by Isabella Summwrs | MA　Yee |
| 61 | 県民ギャラリー3 | ２月21日（火）～２月26日（日） | 那覇造形美術学院　社会人対象美術教室作品展2023 | 那覇造形美術学院 |
| 62 | 県民ギャラリー1.2 | ２月25日（土）～２月26日（日） | YEAH！AMICUS CULB<br>～4th Ammual Joint Exhbition～ | 学校法人アミークス国際学園 |
| 63 | 県民ギャラリー1.2.3 | ３月１日（水）～３月19日（日） | 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島<br>世界自然遺産展 | 一般財団法人沖縄美ら島財団　世界自然遺産推進共同事業体 |
| 64 | 県民ギャラリー3 | ３月21日（火）～３月25日（土） | Re:Triumph | 森美琴・桑江真希 |
| 65 | 県民ギャラリー1.2 | ３月22日（水）～３月26日（日） | 押し花＆グラスアート作品展 | 沖縄ガイア押花会 |
| 66 | 県民ギャラリー3 | ３月26日（日） | 第11回沖縄マシーネンクリーガー作品展示会 | 第11回沖縄マシーネンクリーガー作品展示会実行委員会 |
| 67 | 県民ギャラリー1.2 | ３月29日（水）～３月31日（金） | すみかじゃー | 四国大学　書道文化学科 |

# 博 物 館

Ⅰ　調査研究等の活動
Ⅱ　展示活動
Ⅲ　教育普及活動
Ⅳ　資料の収集・保存管理

# Ⅰ 調査研究等の活動

## １ 調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という４つの大きな柱によって構成されている。これらは相互に関連しあっているが、その中でも調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。当館（博物館班）における調査研究活動は大きく３つに分けられる。全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、他機関との共同研究、学芸員自身がテーマを設けて行う個別の調査研究である。

まず、「博物館総合調査」は、1980年から博物館の学芸員が県内離島各地の自然・歴史・文化について調査・研究し、その成果を記録・報告することを目的に実施しているものである。本調査が、他の学術調査と異なるのは、総合博物館の特性を活かし、自然史から人文まで各分野の学芸員を中心に調査員を構成することで、分野を越えた総合的な調査ができることにある。また、その成果は、報告書や展覧会という形で県民へ還元され、島々の自然・歴史・文化について学習する機会を提供するとともに、自然環境の保全や文化的資料の保存に対する理解を深めていただくことに役立てられている。

これまでの「博物館総合調査」は、粟国島を皮切りに2018年度までに20の島々で実施し、各々調査報告書を刊行してきた。主な調査地は、粟国島（1980年）、渡名喜島（1981年）、座間味島（1983年）、伊計島（1987年）、瀬底島（1988年）、与那国島（1989年）、浜比嘉島（1990年）、古宇利島（1991年）、久米島（1992年）、波照間島（1995年）、西表島（1997年）、小浜島（2002年）、与那国島（2005年）、竹富島（2012年）、鳩間島・新城（上地・下地）島・黒島（2016年）、伊是名島・伊平屋島（2018年）である。

そして、2019年度から2023年度までは、宮古諸島（宮古島市および多良間村）を対象地とし、５か年計画で調査を実施する計画を立て、2019年度には、自然史分野（生物・地学・人類）と歴史、民俗分野が多良間島で、考古と民俗分野が宮古島での調査を行った。しかし、２年目にあたる2020年度は、新型コロナウイルス感染防止のため離島への渡航を自粛することになり、総合調査は１年延期することになった。2021年度以降、感染症対策を十分に講じた上で、まだ実現していない水納島での調査を含め、宮古諸島を広範囲かつあらゆる分野の視点で調査し、また、これまでに踏査されていない自然や歴史上の遺跡等を記録していく計画である。

つぎに、共同研究事業として、国立科学博物館及び東京大学と共同で、南城市玉城のハナンダガマ遺跡（2006・2007年度）、南城市玉城おきなわワールド内の武芸洞（2007～2010年度）、2011年度は武芸洞に加えて同敷地内のサキタリ洞を対象とした調査を行った。さらに、2012年度からは、沖縄振興特別推進交付金対象事業（一括交付金）の「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」を立ち上げ、サキタリ洞遺跡の本格的な調査を実施した。これまでに９千年前よりさらに前のものと考えられる人骨や、世界最古級（2.3万年前）の釣針、先史時代の貝器などが出土し、全国的にも世界的にも注目される貴重な成果をあげている。一括交付金による事業の終了後も、国立科学博物館等と連携して調査を継続し、2022年度はサキタリ洞遺跡と下地原洞穴遺跡（久米島町）の発掘調査を実施した。

一括交付金を活用した事業は他にも２件ある。このうち「琉球王国文化遺産集積・再興事業」では、琉球王国時代の文化遺産を科学的根拠に基づいて現代の人々の手で模造復元するもので、そのための調査研究が８分野65件の資料を対象に実施している。2020年度は、木彫、漆芸、三線分野の５件の模造復元品完成によって製作事業は完了し、さらに「手わざ―琉球王国の文化」の巡回展として宮古島市、石垣市、那覇市の３か所で展覧会を開催した。また、当館ホームページから模造復元における調査分析の結果や製作工程等を閲覧できるページを作成し、県内外への発信に努めた。2021年度は、本事業第１期の最終年度として、九州国立博物館及び東京国立博物館、久米島博物館で展覧会や関連催事を開催した。また第１期の事業総括として、『琉球王国文化遺産集積・再興事業報告書』（全6巻）を刊行した。2022年度は、2029年度に至る第２期の初年度として、模造復元製作と発信業務に係わる基本設計業務を実施した。

もう一つの事業は、2016年度から５か年計画で実施している「デジタルミュージアム推進事業」で、2020年度を最終年度とし、当初の計画通り80話の動画コンテンツを制作し公開した。本事業は、1973年から沖縄各地で収集された伝承話の音声資料を音源としたもので、無形文化財の活用を図る試みとして実施した。古老が語るオリジナル音源をもとに、制作した80話の動画コンテンツと約3.3万話の伝承話音声資料のデータベースを検索できるウェブサイト「ウチナー民話のへや」を開設した。これにより、沖縄の多様な言語文化や伝承話の世界を広く紹介することができた。今後も継続して同事業で製作したコンテンツを活用した上映会の開催や学校教育への普及啓発に努めることとする。

2020年度に立ち上げた「在外琉球王国文化財調査研究事業」は、沖縄県が進めている「首里城復興基本方針」の関連として、アメリカに所在する琉球ゆかりの資料を当館の学芸員が調査研究し、琉球文化の価値を体系的に高めるとともに、将来的には展覧会等の開催に結び付けることを目的としている。しかし、コロナ禍で海外に渡航できず、2020年度～2022年度の現地調査は断念せざるをえなかった。そのため令和４年度は、本事業のパネル展を開催し、国外に所在する琉球王国時代とその流れを汲む文化財の周知と琉球文化の研究等に資する目的を持つ本事業の広報発信等を図った。

2021年度から2022年度にかけては、全分野の学芸員が復帰50年の節目として、沖縄の復帰関係資料や復帰後の沖縄県の50年の歩みについての調査を県内外で行った。その成果は2022年度の展覧会にて紹介した。

学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形でも生かされている。本年度における学芸員個々の調査研究等の活動状況は、本章第７節を参照いただきたい。

（外間）

## ２ 博物館総合調査　－宮古諸島総合調査－

博物館総合調査事業は、県内離島の自然・歴史・文化について博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島、鳩間島、新城島、黒島、伊是名島、伊平屋島について現地調査をおこない、それらの成果をもとに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2019年度からは５年計画で宮古諸島の調査を実施することとしている。

【組織】

本調査の組織は、博物館班の学芸員（自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗）によって構成することとしている。また、調査の精度を高めるため、予算の範囲内で館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各調査員でテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマに沿ったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集（借用の可能性）や撮影にも努めている。

【宮古諸島調査の実施状況】

2019年度は多良間島を中心に調査を実施した。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う措置として、予算を本庁に返納したため、現地調査は実施できなかった。2021-22年度は、最小限度の予算は確保していたものの、感染状況に改善が見られず、離島への渡航が困難な状況にあったため、ほとんど現地調査ができなかった。

【2022年度調査実績】

宇佐美　賢（博物館班　主任学芸員）　2022年９月９日（宮古島・多良間島）

（菊川）

## ３ 博物館共同研究事業

【趣旨】

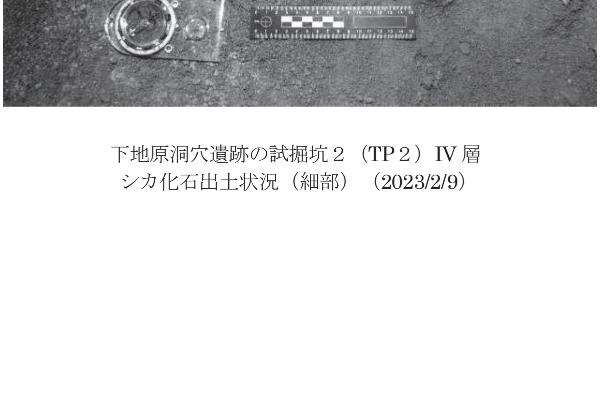
更新世の隆起サンゴ礁を起源とする石灰岩に広く覆われた沖縄では、約３万６０００年前の日本最古の人骨である山下町第一洞穴人（那覇市）や、約２万２０００年前の港川人（八重瀬町）など、旧石器時代の人類化石が数多く発見されている。旧石器時代の人類化石の発見例は、日本本土では１ヶ所（浜北人：静岡県浜松市）のみのところ、本県からは１０カ所ほどが知られており、近年では白保竿根田原洞穴遺跡（石垣市）やサキタリ洞遺跡（南城市）において新たな発見が相次いでいる。

沖縄の旧石器時代人骨は、日本列島における人類のルーツを解明する重要な鍵となる資料であり、本県は旧石器時代人骨の調査場所として圧倒的に有利な立場にあることは明らかである。そこで、本事業では沖縄県立博物館・美術館による継続的な調査によって、多くの成果があげられてきたサキタリ洞遺跡の発掘と調査研究をいっそう推進し、沖縄の旧石器時代人とその文化に関する新たな知見を得るとともに、県立博物館の価値増大を図ることを目的とする。

【事業概要】

今年度のサキタリ洞の発掘調査は、２０２２年１１月１５日~１２月９日の日程で実施した。西側洞口部の洞内（調査区Ⅰ）（約６㎡）および洞外南側（調査区Ⅳ）（約６㎡）の発掘調査を行った。調査区Ⅰでは２３，０００年前をさかのぼるⅢ層の掘削を進め、炭化物の集中箇所と小礫が孤状に並ぶ状況を確認した。さらにそれらと同一レベルから顔料塊とみられる小片および二枚貝製利器が出土した。調査区Ⅳでは、昨年検出したフローストーン

サキタリ洞遺跡の調査区Ⅳの調査終了時の状況



下地原洞穴遺跡の試掘坑２（TP２）Ⅳ層
シカ化石出土状況（細部）（2023/2/9）

および崩落礫を削岩機を用いながら地表下約１．５ｍまで掘り下げたところ、崩落礫中にシルト質の黄色の堆積物を確認した。火山灰の可能性もあるが今後の検討を要する。

このほか、下地原洞穴遺跡（久米島町）の発掘調査を 2023 年１月 30 日~２月 12 日の日程で行った。試掘坑２（TP２）ではⅣ層から保存の極めて良好な複数個体分のシカ類がまとまって出土した。シカ類化石の産状については不明な点が多くのこされてきただけに今後の調査研究によってその理解が大きく前進する見込みがある。

共同研究事業の成果公開として 2022 年６月 25 日に日本動物考古学会第９回大会において「沖縄県久米島町下地原洞穴遺跡の再調査」と題する口頭発表を行った。

（澤浦）

## ４ 沖縄振興特別推進交付金（「一括交付金」）活用事業

### 琉球王国文化遺産集積・再興事業（第２期）

一括交付金とは、国から地方への交付金のことで沖縄振興に資する沖縄の特殊性に基因する事業等を沖縄県が自主的に実施できる制度として創設された沖縄振興特別推進交付金のことである。本事業は、一括交付金を活用し、戦後70年余を経て、戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産を模造復元し、沖縄の手わざの力を琉球王国文化のブランドとし、モノ（模造復元品）を通して発信することで、沖縄をアピールする事業である。本事業には模造復元製作業務と発信業務があり、2015年度（平成27）から2021年度（令和３）までの７か年計画で、初年度の実施計画に沿って、模造復元製作（2016～2020年度：製作／2020年～2021年：報告書作成）を実施した。発信業務では、2019～2021年度に模造復元品を活用した展示会や報告会などを開催し、2021年度には、事業総括として総計1,560冊の『琉球王国文化遺産集積・再興事業報告書』（令和４年３月25日付）を刊行してきた。

2022年度からは、その第２期を８年計画で実施するにあたり、第１期同様に、８分野（絵画、木彫、石彫、漆芸、陶芸、染織、金工、楽器））に加え、新たに発信業務を設けた。模造復元品の製作に係わる８分野各３名（合計24名）、発信業務に５名で合計29名の監修者を委嘱し、模造復元候補179件を選定し、発信業務の考え方をまとめた基本設計書を製作した。

事業費：１６，１４４千円
受託者：一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体

（崎原、園原）

## ５　在外琉球王国文化財調査研究事業

本事業は2020年度にアメリカに所在する琉球王国関連の文化財を調査研究するために「在外琉球王国文化財里帰り事業」として立ち上がった。将来的に海外での資料の所在確認をもとに、展覧会等で資料の利活用をめざすための「里帰り」と銘打ったが、資料の返還を目的とするかのように誤解される恐れがあったため、2022年度から「在外琉球王国文化遺産調査研究事業」と事業名を変更した。

本事業では沖縄県が進めている「首里城復興基本方針」の関連として、アメリカ等に所在する琉球ゆかりの資料を当館の学芸員が調査研究し、琉球文化の価値を体系的に高めるとともに、将来的に展覧会等の開催に結び付けることを目的としている。本来、アメリカで現地調査を行う必要があるが、コロナ禍の影響で、2020・2021年度の海外渡航ができず現地調査は断念せざるをえなかった。そのため２０２２年度は、次のとおり本事業の趣旨等やこれまでの県教育委員会の調査や当館の展示等の実績を紹介するパネル展を開催し、琉球王国時代とその流れを汲む文化財の周知と琉球文化の研究等に資する本事業の発信等を図った。

名　称：令和４年度在外琉球王国文化財調査研究事業パネル展
会　期：2022年10月４日（火）～30日（日）24日間（※休館日除く）
会　場：１階エントランス・ホール
展示内容：
○パネル展の構成
在外琉球王国文化財調査研究事業概要、在外琉球王国文化財の調査・研究意義、沖縄戦と米国からの返還文化財、流出文化財の証言と未発見の文化財の捜索、沖縄県教育庁文化課（当時）が実施した海外所在沖縄関連文化財の調査概要、関連資料を所蔵する主だった欧米の博物館・美術館とコレクションの特徴、主だった収蔵品（米国・ヨーロッパ）、海外所在の琉球王国文化財の調査研究及び活用状況
○展示資料：キビ文角瓶（酒器）、渡名喜瓶（酒器）、カラカラ（酒器）、マカイ（碗）（与那嶺・福田コレクションより）

パネル展の展示風景

（崎原、園原）

## ６.博物館・美術館費事業

### （１） デジタルミュージアム推進事業

本事業は、2015年度に当館に寄贈された沖縄の伝承話音声資料の保存と活用を目的としている。

題材とした伝承話音声資料は、1973年から故遠藤庄治とその協力者たちが沖縄各地で収集した76,000話余の音声記録のうち、デジタル化済みの33,000話分の記録（カセットテープとデジタルデータ）である。沖縄では、戦争や標準語励行運動、生活の画一化等で口承伝承されてきた民話や伝説等が急速に失われつつある。また、方言の話し手が減少し、地域性が薄くなった現代では、口承だけで民話を残すことが難しくなった。　そのため、40年余をかけて収集された伝承話資料は沖縄県民にとって貴重な財産であり、その保存と活用は博物館の重要な使命である。当館では伝承話音声資料を無形文化遺産の一つとして捉え、適切な保管とデジタルデータを活用した展示コンテンツの開発を進め、2017年度から2020年度にかけて80話の民話の動画コンテンツを制作して博物館ホームページ内の「ウチナー民話のへや」で公開している。

一括交付金による制作事業は2020年度で終了したが、本年度は当館にて上映会を２回開催。両日とも上映会は二部構成。第一部では沖縄県立南部農林高等学校の生徒達による民話紙芝居の上演と研究発表を行った。同校の生徒達は「名嘉地とキジムナー」を題材に標準語としまくとぅばの両方を練習して披露してくれた。第二部では第１回、第２回ともに動画コンテンツを４話ずつ上映した。

| 内容 | 日付 | 参加人数 |
|---|---|---|
| 第１回ウチナーの民話上映会 | 7月24日 | 27名 |
| 第２回ウチナーの民話上映会 | 10月29日 | 35名 |

高校生による民話紙芝居披露

デジタルミュージアム動画コンテンツ上映

（大湾）

### （２）博物館収蔵品WEB図鑑製作発信事業

**植物標本**

当館には、1920～1924年の５年間、県立第一中学校（現首里高等学校）に在任していた和歌山県出身の生物学者、坂口總一郎が、沖縄県を含む日本各地で採集した植物標本群が収蔵されている。これらの植物標本資料は当時の自然をうかがい知ることのできる、大変貴重な資料であり、その損失を防ぎ、広く一般に活用できる形にするためには、適格に整理・保存するとともに、効果的に発信する必要がある。この事業は、植物標本資料を整理し、WEB図鑑として一般に公開することで、広く教育や研究に資することを目的とする。

作業は、まず未整理の植物標本を整理し、台紙に貼り付け、保存・閲覧が可能な状態（さく葉標本）にする。その後、当該標本を写真に収め、科名、種名、学名、採集地などの情報を付加し、公開可能な状態にする。最後に、WEB図鑑として公開するためのシステムを構築し、当館ホームページ上で公開する計画である。

2020～2022年度は、坂口資料のうち沖縄県産の植物標本を抽出整理し、台紙に張り付ける作業を進めた。その成果は、博物館紀要第１６号に報告した。今後は、WEB図鑑の製作・発信に向け作業を進める。

（菊川）

## ７ 調査・研究・講演・著作論文等

**外間　一先（博物館班長）**

〇調査・研究等

- 沖縄アーカイブス研究所首里劇場調査（那覇市首里）（2022年4月13日～12月15日）
- 沖縄ガラス乾板共同研究（東京都：東京文化財研究所）（2022年5月1～2日、7月28～29日）
- 復帰展関連調査（大阪府・京都府・福岡県・県内各地）（2022年5月10日～12日、6月1日～2023年2月26日）
- 日本デジタルアーカイブ学会（県内各地）（2022年7月28日～11月26日、2023年1月23日）
- 首里城扁額製作検討委員会に関する調査（県内各地）（2022年7月7日、9月14日、21日、10月3日）
- 首里城復興基金事業に関する調査（県内各地）（2022年8月10日、9月11日、11月6日、11月25日、12月6日、12月15日、19日～2023年2月17日、3月1日）

・中城御殿跡地整備検討委員会に関する調査（県内各地）（2022年7月14日、2023年3月1日～3月17日）
・西原町内間御殿整備検討委員会に関する調査（西原町）（2023年2月1日、3月29日）
・文化観光拠点施設計画に関する調査（東京都・高知県・栃木県）（2022年7月5日～2023年3月31日）

○講演等

・名　　称：博物館学芸員講座「復帰50年沖縄の想い」
　期　　日：2022年5月14日（土）
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：建造物琉球漆塗琉球赤瓦製作施工伝承者養成事業「琉球王国文化遺産集積・再興事業」
　期　　日：2022年9月15日（木）
　場　　所：一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室
　依頼機関：一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化財研究室
・名　　称：ふくらしゃ大学「沖縄の歴史」
　期　　日：2022年11月8日（火）
　場　　所：博物館講座室及び復帰50年展「琉球-美とその背景-」展示会場
　依頼機関：那覇市石嶺公民館
・名　　称：日本デジタルアーカイブ学会第7回研究大会
　　　　　　現地企画セッション「沖縄県立博物館・美術館とデジタルアーカイブ」
　場　　所：博物館講座室
　期　　日：2022年11月26日（土）
　依頼機関：日本デジタルアーカイブ学会
・名　　称：出前授業
　場　　所：宜野湾市立真志喜中学校「職業講演会　博物館の働く　学芸員について」
　期　　日：2022年11月29日（火）
　依頼機関：宜野湾市立真志喜中学校

○著作論文等

・「沖縄、復帰後。展ーいちまでぃん かなさ オキナワー」沖縄県立博物館・美術館 博物館特別展図録 2022年7月
・「1954年開館　子供博物館」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第16号沖縄県立博物館・美術館 2023年3月
・「沖縄からのメッセージ：沖縄県立博物館・美術館とデジタルアーカイブ」『デジタルアーカイブ学会誌 2023,Vol.7,No2』日本デジタルアーカイブ学会2023年4月
・「県立博物館・美術館（一）県立博物館及び博物館施設」『教育行政のあゆみ（復帰後五十年）』沖縄県教育委員会 2023年3月
・「復帰50年　沖縄の想い」『博友35号』沖縄県立博物館・美術館友の会　2022年6月
・「第六部　沖縄現代史の諸相　コラム甲子園」『沖縄県史　各論編　第七巻　現代』沖縄県教育委員会 2022年7月15日

**崎原　恭子（主任学芸員／歴史：古琉球・近世）**

○調査・研究等

・名　　称：令和４年度博物館常設展示室展示替え「歴代宝案展」に係る事前調査・調整（県文化財課史料編集班）
　期　　日：2022年４月19日（火）
・名　　称：令和４年度琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調整・調査（那覇市、沖縄市、南城市）
　期　　日：2022年４月28日（木）、５月24日（火）、５月27日（金）、６月17日（金）、７月８日（金）、７月13日（水）、10月27日（木）、10月28日（金）、11月17日（木）、11月29日（火）、11月30日（水）、12月９日（金）、12月20日（火）、2023年３月17日（金）
・名　　称：毛姓家譜（譜久村家）に係る館内勉強会・調整
　期　　日：2022年５月10日（火）、６月14日（火）、７月12日（火）、８月23日（火）、10月18日（火）、12月27日（火）、令和５年１月17日（火）、１月26日（木）、３月14日（火）
・名　　称：令和４年度博物館文化講座（11月実施）事前調整（那覇市）
　期　　日：2022年６月14日（火）、10月４日（火）
・名　　称：令和４年度沖縄県立博物館・美術館重要文化財保存管理（修理修復）事業に係る調整等（うるま市）
　期　　間：2022年５月25日（水）、６月15日（水）、10月28日（金）、11月１日（火）、11月17日（木）、2023年３月７日（火）、３月９日（木）
・名　　称：令和４年度博物館企画展「琉球」に係る資料借用立ち会い及び寄託調整、東京国立博物館「琉球」視察（静岡県、東京都）

期　　間：2022年６月20日（月）～21日（火）
・名　　称：令和４年度博物館企画展「琉球」に係る資料調査（沖縄県立図書館、那覇市歴史博物館）
期　　間：2022年８月２日（火）、８月４日（木）
・名　　称：令和４年度博物館企画展「琉球」に係る資料借用調査・調整、九州国立博物館「琉球」視察、『中山世鑑』等の科学分析立ち会い（福岡県）
期　　間：2022年８月16日（火）～17日（水）
・名　　称：資料収集事業に係る調査（宜野湾市）
期　　間：2022年８月31日（水）
・名　　称：令和４年度博物館企画展「琉球」に係る資料借用点検等立ち会い等（福岡県）
期　　間：2022年９月５日（月）～６日（火）、９月28日（水）～30日（金）
・名　　称：令和４年度琉球王国文化遺産集積・再興事業発信等調整・調査（北海道）
期　　間：2022年11月23日（水・祝）～25日（金）
・名　　称：令和４年度博物館常設展示室展示替え「歴代宝案展」に係る資料借用及び返却作業（沖縄県立図書館、那覇市歴史博物館、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館）
期　　間：2022年10月28日（金）、11月14日（月）、令和５年２月17日（金）、２月20日（月）
・名　　称：令和４年度博物館企画展「琉球」に係る返却資料点検等作業（福岡県）
期　　間：2022年12月12日（月）～14日（水）
・名　　称：歴史資料寄託調整、文化庁主催「新指定展」視察、令和４年度琉球王国文化遺産集積・再興事業発信業務調査（静岡県、東京都）
期　　間：2023年１月30日（月）～31日（火）

○講演等
・名　　称：来館学習プログラム「学校団体見学」に係る「見学サポート」
期　　日：2022年４月26日（火）
場　　所：沖縄県立博物館・美術館　博物館常設展示室
依頼機関：オキナワインターナショナルスクール
・名　　称：夏休み！こどもフェスタ2022　親子バスツアー　※多分野合同実施
期　　日：2022年４月30日（土）
場　　所：那覇市小禄周辺コース
・名　　称：出前授業「琉球王国の歴史・文化」
期　　日：2022年７月13日（水）
場　　所：リモート開催
依頼機関：沖縄アミークスインターナショナル中学校
・名　　称：出前授業「勝連城跡・中城城跡・座喜味城跡・屋良城跡と関連資料」
期　　日：2022年７月21日（木）
場　　所：嘉手納町立嘉手納外語塾
依頼機関：嘉手納町立嘉手納外語塾
・名　　称：令和４年度沖縄空手会館資料室展示監修委員会委員
期　　日：2022年７月29日（金）～令和５年３月31日（金）
依頼機関：沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課
・名　　称：博物館学芸員講座「新収蔵の『向姓家譜』～和宇慶家と内間家～」
期　　日：2022年12月10日（土）
場　　所：沖縄県立博物館・美術館　博物館講座室

○著作論文等
・特別展示「よみがえる王国の記録『歴代宝案』－ゆきかうヒト・モノ－」『那覇市商工会議所会報誌　NAHA CCI NEWS』№835、2022年12月15日発行
・美術工芸・歴史部門展示室　特別展示「よみがえる王国の記録『歴代宝案』－ゆきかうヒト・モノ－」『博物館ボランティア通信』第181号、2022年12月１日発行
・博物館コラム　美術工芸・歴史部門展示室　特別展示「よみがえる王国の記録『歴代宝案』－ゆきかうヒト・モノ－」　沖縄県立博物館・美術館ホームページ、2022年12月21日掲載
・「沖縄の藍染料に関する史料紹介（２）」（共著）『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』№16、2023年３月15日発行
・「［資料紹介］『毛姓家譜』（譜久村家）について（一）」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』№16、2023年３月15日発行

**宮城　修（主任学芸員／歴史：近・現代）**

○調査・研究等

・特別展『沖縄復帰後展』資料借用調整（石垣市図書館、具志堅用高記念館）（2022年４月22日）
・国頭村祖国復帰50周年記念事業（記念行進、記念式典、かがり火）調査（2022年４月28日）
・特別展『沖縄復帰後展』資料借用（諸見民芸館、沖縄国際大学）（2022年６月１日）
・特別展『沖縄復帰後展』資料借用（東京都）（2022年６月７日～８日）
・特別展『沖縄復帰後展』資料借用（沖縄県議会事務局）（2022年６月16日）
・特別展『沖縄復帰後展』資料借用（沖縄海洋博公園、万国津梁館）（2022年６月17日）
・特別展『沖縄復帰後展』資料借用（石垣市図書館、具志堅用高記念館、大濱信泉記念館）（2022年６月24日）
・特別展『沖縄復帰後展』資料借用（東京都）（2022年７月５日）
・第７回世界のウチナーンチュ大会調査（2022年10月30日～11月３日）
・移民資料調査（海外移住資料館企画展「雄飛ふたたびー沖縄移民の歴史とウチナーンチュの絆」）2023年２月１日～２日）

○講演・学会等
・名　　称：博物館学芸員講座「沖縄、復帰後。展ーいちまでぃん かなさ オキナワーの見どころ」
　期　　日：2022年８月13日（日）
・名　　称：琉球沖縄歴史学会２月例会「復帰50年における沖縄関係企画展ー何を見せ／何を見ようとしたのかー」報告
　期　　日：2023年２月23日（木）

○著作論文等
・「山中貞則と沖縄ーただ一人の沖縄県名誉県民ー」『NAHA CCI NEWS』６月号　№829　那覇市商工会議所　2022年６月
・「沖縄県復帰記念三大事業」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第16号　沖縄県立博物館・美術館　2023年３月

**篠原　あかね（主任／美術工芸）**

○調査・研究等
・名　　称：芭蕉の調査
　期　　日：2022年４月16日
　場　　所：宜野座村（鈴木芭蕉布工房）
・名　　称：三の丸尚蔵館展に係る調査
　期　　日：2022年５月25～28日
　場　　所：三の丸尚蔵館
・名　　称：芭蕉着物の調査
　期　　日：2022年５月26日
　場　　所：浦添市（個人宅）
・名　　称：染織、漆器、陶器の調査
　期　　日：2022年７月27日
　場　　所：那覇市（古美術観宝堂）
・名　　称：陶器の調査
　期　　日：2022年８月９日
　場　　所：北谷町（個人宅）
・名　　称：紅型及び伊平屋の染織についてのヒヤリング調査
　期　　日：2022年10月20日
　場　　所：城間びんがた工房（城間勝美氏）
・名　　称：紅型の調査
　期　　日：2023年１月５日
　場　　所：東京国立博物館
・名　　称：陶器の調査
　期　　日：2023年３月23日
　場　　所：那覇市（個人宅）
・琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調査
　染織ワーキング：J フロントリテイリング史料館所蔵品（10月31日）、染織ワーキング（11月22日）、陶芸ワーキング：埋蔵文化財センター、那覇市立壺屋焼物博物館所蔵品（11月23～24日）、染織ワーキング：那覇市歴史博物館所蔵品（11月30日）、刺繍資料調査（2023年１月24～25日）、絵画ワーキング（１月21～22日）、楽器ワーキング（１月25～26日）、絵画ワーキング：大倉集古館（２月２日）、楽器ワーキング：那覇市歴史博物館（２月28日）、日本民藝館調査（３月６～８日）
・琉球展に係る調査

東京国立博物館（５月９～11日）、多良間村教育委員会（5月21～22日）、九州国立博物館（８月16～17日）、東京国立博物館（９月22～29日）、多良間村教育委員会（10月３日）、東京国立博物館（12月13～15日）、Ｊフロントリテイリング史料館（12月16～17日）、多良間村教育委員会（2023年１月11日）

○講演・学会など

・名　　称：ボランティア養成講座「美術工芸」
　日　　時：2022年６月17日（金）
　場　　所：当館１階講座室

・名　　称：学芸員講座「琉球王国の三線－知られざるべっ甲巻き三線についてー」
　日　　時：2022年７月９日（土）
　場　　所：当館１階講座室

○著作論文等

・『復帰50年記念特別展　琉球』コラムおよび作品解説（編集：東京国立博物館他　発行：ＮＨＫ他、2022年5月2日）
・『令和４年度博物館企画展　復帰50年展　琉球―美とその背景―』展示図録解説（編集発行：沖縄県立博物館・美術館　2022年10月14日）
・共著「紅型における「同一模様」の比較と考察－「松皮菱繋ぎに檜扇団扇椿菊模様」を例としてー」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第16号　沖縄県立博物館・美術館　2023年３月

**伊禮　拓郎（主任／美術工芸）**

○調査・研究等

・琉球展に係る調査（2022年）
　東京国立博物館（5月23～25日）/東京国立博物館（8月31日）/東京都古美術商（9月1日）
・琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調査（2022年）
　愛知県個人工房（2022年7月3日）/京都個人工房（2022年7月4日）/北海道個人宅（2022年11月23日）/国立アイヌ民族博物館（2022年11月24日）/秋田県立博物館（2022年11月25日）/玉陵・円覚寺跡・崇元寺跡（2022年12月26日）
・書跡調査（個人宅/那覇市）（2022年5月8日）
・漆器調査　神奈川県個人宅（2022年6月11日）/漆器製作者聞き取り（2022年7月22日）/県内古美術商（2022年7月27日）
・三の丸尚蔵館展に係る調査（2022年6月27日）
・大嶺薫史料調査（2023年1月9日）

○講演・学会など

・名　　称:NHK公開セミナーin鶴見大学「鶴見と琉球にちむどんどん！鶴見と琉球をつなぐもう一つの物語」
　日　　時：2022年6月12日（日）
　場　　所：鶴見大学会館講堂

・名　　称：令和４年度博物館企画展　復帰50年展「琉球―美とその背景―」展示解説会
　日　　時：2022年10月15日（土）、11月13日（日）
　場　　所：当館３階企画展示室、特別展示室１、２

・名　　称：「琉球歴史文化の日」関連イベント　琉球の文化を学芸員と学ぶ展覧会ツアー
　日　　時：2022年10月16日（日）
　場　　所：当館３階企画展示室、特別展示室１、２

・名　　称：学芸員講座「「琉球―美とその背景―」よもやま話」
　日　　時：2022年11月12日（土）
　場　　所：当館３階講堂

○著作論文等

・『復帰50年記念特別展　琉球』作品解説（編集：東京国立博物館他　発行：ＮＨＫ他、2022年5月2日）
・『令和４年度博物館企画展　復帰50年展　琉球―美とその背景―』展示図録解説（編集発行：沖縄県立博物館・美術館　2022年10月14日）
・「18～19世紀貝摺奉行所製直方形東道盆と方形中央卓の器形・技法・文様の編年研究」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第16号　沖縄県立博物館・美術館　2023年3月15日
・「復帰50年展「琉球―美とその背景―」見どころ紹介」(『NAHA CCI NEWS』10月号　No.833那覇市商工会議所　2022年10月15日）

**園原　謙（主任学芸員（再任用）/美術工芸）**

○調査・研究等

・カンボジア国「地雷対策除去センター研修所及びアウトリーチ施設整備計画」協力準備調査
期　間：2022 年 8 月 15 日～20 日
場　所：カンボジア国プノンペン、シェムリアップ
依頼者：独立行政法人国際協力機構平和構築室長
・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査
期　間：①2022 年 11 月 23 日～25 日、②2023 年 1 月 25 日～26 日、③2023 年 3 月 1 日～3 日
場　所：①国立アイヌ民族博物館、札幌大学アイヌ教育文化センター、②石垣市、③香川県高松市法然寺
目　的：①発信業務の方策の調査、②石垣市所在の古楽器の調査、 ③木彫の候補作の参考資料調査（法然寺の三尊）

○講演等
・当館学校連携事業出前授業
期　日：2022 年 6 月 22 日
場　所：国頭村
依頼者：国頭村立国頭中学校（77 年前の沖縄戦を学ぼう－「カンポーヌクゥエヌクサー」からの命のリレー）
期　日：2022 年 9 月 27 日
場　所：沖縄市
依頼者：沖縄市立美里小学校５年（世界遺産を学んでみよう）
期　日：2022 年 10 月 24 日、25 日
場　所：宜野湾市
依頼者：宜野湾市立宜野湾小学校４年（伝統工芸を考える）
期　日：2023 年 2 月 17 日
場　所：久米島町
依頼者：久米島町立久米島小学校４年（伝統工芸を考える）、久米島町立球美中学校１年（伝統工芸を考える）
期　日：2022 年 10 月 22 日
場　所：沖縄県立博物館・美術館　講堂
演　題：博物館企画展/復帰 50 年展「琉球展」関連シンポジウム「沖縄県立博物館・美術館（博物館）－発展プロセスと収蔵資料の特徴―」
期　日：2022 年 11 月 22 日
場　所：当館博物館講座室
依頼者：九州通訳・ガイド協会（沖縄研修）
演　題：沖縄県立博物館・美術館の歴史、業務概要と常設展示のみどころ
期　日：2022 年 12 月 22 日
場　所：沖縄空手会館　武道棟研修室
依頼者：沖縄県空手振興課（第３回沖縄空手アカデミー）
演　題：博物館が収蔵する空手関係資料について

○著作論文等
・「復帰前後の琉球・沖縄の工芸・芸能文化の隆盛－二つの政府の文化財指定による評価史－」『令和４年度 沖縄県立博物館・美術館 博物館復帰 50 年特別展』2022 年 7 月
・「資料紹介 沖縄武徳殿開殿式関係資料について―戦前の沖縄空手家の記念碑的演武と戦時下の沖縄県の県外 VIP の接遇方を中心に―」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第 16 号　沖縄県立博物館・美術館 2023 年３月

**輿那嶺一子（主任学芸員（再任用）/美術工芸）**

○調査・研究等
・名称：生引き芭蕉の調査
期日：2022 年７月３日（日）
場所：大宜味村（大城工房）
・名称：芭蕉布（黒朝衣・白朝衣）調査
期日：2022 年８月８日（月）
場所：沖縄県立博物館・美術館
・名称：紅型及び伊平屋島の染織についてのヒヤリング調査
期日：2022 年 10 月 20 日（木）
場所：城間びんがた工房（城間勝美氏）
・名称：松坂屋コレクション（黒地桐鳳凰文様描絵芭蕉衣裳・黄緑地芭蕉衣裳）の調査
期日：2022 年 10 月 31 日（月）
場所：沖縄県立博物館・美術館

・名称：那覇市歴史博物館所蔵染織品調査
期日：2022 年 11 月 30 日（水）
場所：那覇市歴史博物館
・名称：九州国立博物館所蔵紅型資料（黄色地松皮菱繋ぎ檜扇団扇菊椿文様紅型木綿胴衣）調査
期日：2023 年 1 月 11 日（水）
場所：九州国立博物館
・名称：久米島博物館所蔵宇江城ノロ繍衣裳調査
期日：2023 年 1 月 24 日（火）
場所：久米島博物館
・名称：日本民藝館所蔵染織品（紺地絣衣裳）調査
期日：2023 年 3 月 7 日（火）
場所：日本民藝館

〇講演・学会発表等
・名　称：令和 4 年度連続講座「未来へつなぐ琉球・沖縄文化」第 3 講 沖縄県立博物館・美術館のコレクションと復元事業
期　日：2022 年 6 月 10 日（金）・6 月 11 日（土）
依頼者：東京国立博物館
場　所：東京国立博物館 平成館 大講堂
・名　称：第 119 回沖縄染織研究会「沖縄県立博物館・美術館における模造復元のあゆみ」
期　日：2022 年 11 月 18 日（金）
依頼者：沖縄染織研究会
場　所：オンライン講座

〇著作論文等
・「沖縄県立博物館・美術館における模造復元のあゆみ」『沖縄染織研究会通信 Vol.113』沖縄染織研究会 2023 年 1 月
・共著「紅型における「同一模様」の比較と考察ー「松皮菱繋ぎに檜扇団扇椿菊模様」を例としてー」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第 16 号　沖縄県立博物館・美術館　2023 年 3 月

**山本正昭（主任学芸員／考古）**

〇調査・研究等
・令和 5 年度博物館企画展資料調査（具志頭歴史民俗博物館：2022 年 4 月 26 日、東京大学史料編纂所、国立歴史民俗博物館：2022 年 7 月 26 日～29 日、沖縄県平和祈念資料館、那覇市立壺屋焼物博物館：202 2 年 10 月 26 日、）
・沖縄復帰 50 年記念企画展『琉球―その美と背景―』資料調査（今帰仁村文化センター：2022 年 5 月 9～11 日、伊江村教育委員会：2022 年 7 月 4 日）
・沖縄復帰 50 年記念企画展『琉球―その美と背景―』資料借用（石垣市立八重山博物館：2022 年 9 月 16 日、伊江村教育委員会：2022 年 9 月 27 日、喜界町教育委員会：2022 年 9 月 28～29 日、沖縄市教育委員会：2022 年 10 月 3 日、沖縄県立埋蔵文化財センター：2022 年 10 月 11 日）
・沖縄復帰 50 年記念企画展『琉球―その美と背景―』資料返却（伊江村教育委員会：2022 年 12 月 8 日、宮内庁書陵部：2022 年 12 月 9 日、喜界町教育委員会：2022 年 12 月 13～15 日、今帰仁村文化センター：2022 年 12 月 20 日、宜野湾市教育委員会：2022 年 12 月 21 日、沖縄県立埋蔵文化財センター：2022 年 12 月 22 日、宮古島市教育委員会：2022 年 12 月 23 日、浦添市教育委員会、本部町教育委員会：2023 年 1 月 25 日）
・移動展 in 渡嘉敷島事前調整（渡嘉敷村教育委員会、国立渡嘉敷青少年の家）（2022 年 5 月 19 日、12 月 28 日）
・令和 4 年度博物館特別展『沖縄、復帰後。展』資料調査（沖縄国際大学総合文化学部：2022 年 5 月 17 日、琉球大学考古学研究室 2021 年 10 月 14 日、恩納村博物館：10 月 21 日、11 月 10 日、沖縄県立埋蔵文化財センター：11 月 10 日、糸満市教育委員会資料室 11 月 15 日、12 月 1 日）
・特別展『沖縄、復帰後。展』資料借用（青山学院大学考古学研究室 2022 年 5 月 26 日～28 日、宮古島市教育委員会 2022 年 5 月 31 日～6 月 1 日、糸満市教育委員会 2022 年 6 月 10 日、沖縄国際大学総合文化学部：2022 年 6 月 13 日、うるま市教育委員会：2022 年 6 月 28 日）
・特別展『沖縄、復帰後。展』資料返却（沖縄国際大学総合文化学部：2022 年 10 月 3 日、宮古島市教育委員会：2022 年 10 月 4 日、沖縄県立埋蔵文化財センター：2022 年 10 月 5 日、琉球大学考古学研究室：2022 年 10 月 18 日、糸満市教育委員会：2022 年 11 月 1 日）
・特別展『沖縄、復帰後。展』親子バスツアー「米軍基地と復帰に伴う開発と沖縄の自然・歴史・文化」下見（仲泊遺跡）（2022 年 7 月 1 日）

・尚巴志王即位 600 年記念展示『英雄　尚巴志展-はじまりの統一王-』資料借用（南城市教育委員会　2022 年 9 月 13 日、11 月 7 日）
・令和 4 年度県立玉城青少年の家主催事業『歴史散歩ー尚巴志王即位 600 年記念ゆかりの地を巡る―』下見調査（2022 年 12 月 2 日）
・宮古島市教育委員会発掘調査現地指導（2023 年 2 月 3 日）
・令和 5 年度　移動展 in 国頭村事前調整（国頭村教育委員会）（2023 年 2 月 24 日）
・琉球王国文化遺産集積・再興事業 陶芸部会資料調査（宮古島市教育委員会、石垣市立八重山博物館）（2023 年 3 月 6～7 日）
・琉球王国文化遺産集積・再興事業金工部会資料調査（南城市冨里、奥武島）（2023 年 3 月 17 日）
・令和 4 年度　宮古島市文化財保存活用地域計画作成協議会（2023 年 3 月 21 日）

〇講演・学会発表等
・名　　称：沖縄考古学会 5 月研究定例会「グスクにみる石積み技法の変遷」
　期　　日：2022 年５月２０日
　場　　所：沖縄県立埋蔵文化財センター研修室
・名　　称：日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会九州沖縄連絡会　令和 4 年度情報交換会「沖縄県内における基地内埋蔵文化財について―これまでに発掘調査された主な遺跡―」
　期　　日：2022 年５月２２日
　場　　所：リモート開催
・名　　称：令和 4 年度沖縄文化協会公開研究発表「第一尚氏によるグスクの改変について」
　期　　日：2022 年６月２６日
　場　　所：リモート開催
・名　　称：沖縄県立博物館・美術館　7 月文化講座『遺跡から尚巴志の生きた時代を考える』「察度王統と第一尚氏王統の首里城礎石基壇建物について」
　期　　日：2022 年７月３１日
　場　　所：当館講堂
・名　　称：沖縄県立博物館・美術館　9 月学芸員講座「遺跡からかいま見る尚巴志の時代」
　期　　日：2022 年９月１０日
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：中城村生涯学習講座「文化講座」「琉球のグスク―いわゆるグスクとは―」
　期　　日：2023 年２月２０日
　場　　所：吉の浦会館　中会議室

〇ワークショップ等
・名　　称：令和４年度沖縄県立博物館・美術館　博物館ボランティア勉強会「博物館で学ぶ考古学のイロハ」
　期　　日：2022 年６月８日
　場　　所：当館博物館常設展示室・考古部門展示室
・名　　称：沖縄県立博物館友の会主催　尚巴志王即位 600 年記念事業
　「尚巴志・六男、尚泰久の琉球銭『大世通宝』をつくってみよう」
　期　　日：2022 年６月２５日
　場　　所：当館博物館実習室
・名　　称：親子バスツアー「米軍基地と復帰に伴う開発と沖縄の自然・歴史・文化」
　期　　日：2022 年７月２７日
　場　　所：恩納村　仲泊遺跡・嘉手納町
・名　　称：令和４年度博物館企画展関連催事　勾玉づくりワークショップ「勾玉の謎を知る」
　期　　日：2022 年１０月２２日
　場　　所：当館博物館実習室
・名　　称：令和４年度県立玉城青少年の家主催事業『歴史散歩ー尚巴志王即位 600 年記念ゆかりの地を巡る』
　期　　日：2022 年１２月１１日
　場　　所：南城市内各所
・名　　称：令和４年度　移動展 in 渡嘉敷島フィールドツアー
　「石ころと地形、遺跡から紐解く島の成り立ちと人間生活」
　期　　日：2023 年１月１５日
　場　　所：渡嘉敷村内各所
・名　　称：令和４年度県立玉城青少年の家、南城市中央公民館共催事業『歴史散歩―糸数区　グスクの麓のたたずむ歴史ある集落―』

期　　日：2023 年２月５日、１２日
場　　所：南城市糸数集落
・名　　称：沖縄県立博物館友の会主催事業　尚巴志王即位 600 年記念事業
「尚巴志の孫、尚徳王の琉球銭　『世高通宝』をつくってみよう」
期　　日：2023 年２月１９日
場　　所：鹿児島県喜界町中央公民館新館

○著作論文等
・「令和元年度博物館特別展『グスク・ぐすく・城』の実施経緯と新たな課題」『博友』第 33 号　沖縄県立博物館友の会　2022 年５月
・「復帰前と復帰後に見る遺跡の発掘調査」『令和４年度沖縄県立博物館・美術館　博物館復帰５０年特別展　沖縄、復帰後。展』沖縄県立博物館・美術館　2022 年７月
・「コラム　沖縄県立博物館・美術館バックヤードツアーと学芸員の意識」『博物館と管理コレクション管理』雄山閣　2022 年６月
・「グスク時代における石積み技術と高層化の相関性について―グスクに見られる段築状の石積みを中心に―」『南島考古』第 41 号　沖縄考古学会　2022 年７月
・「コラム１　琉球列島社会の一大画期　グスク時代」『琉球』東京国立博物館　2022 年８月
・「英雄としての尚巴志　その姿とは―王即位６００年を経て―」『NAHACCI　NEWS』８月号　№826　那覇市商工会議所　2022 年８月
・「グスクをめぐる解釈と到達点についての提要―グスク論の現在地―」『古代文化』第 74 巻第２号　古代學協會　2022 年９月
・「グスク時代」『別冊太陽　琉球・沖縄を知る図鑑』平凡社　2022 年 11 月
・「三山時代」『別冊太陽　琉球・沖縄を知る図鑑』平凡社　２０２２年１１月
・「博物館非公開エリアの公開について―沖縄県立博物館・美術館のバックヤードツアーの現状と課題―」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第 16　号　沖縄県立博物館・美術館　2023 年３月

○兼任
令和４年度宮古島市文化財保存活用地域計画作成協議会委員

○研究的競争資金の獲得状況
・「琉球列島の築城技術にみる土木史的研究」『日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究（C）（一般）令和３年度～令和６年度』（研究代表者）

**大湾　ゆかり（主任学芸員（再任用）／民俗）**

○調査・研究等
・復帰50年特別展関連調査（南風原町・与那原町・沖縄市）（2022年5月10日、5月16日、5月25日、6月1日、6月20日他）
・三の丸尚蔵館・東京国立博物館の資料調査（東京都）（2022年6月26日～28日）
・サーター車跡地の調査（豊見城市）（2022年8月8日）
・「琉球展」関係の東京国立博物館の資料調査（東京都）（2022年8月30日～9月1日、12月21日～23日）
・「琉球展」関係の九州国立博物館の資料調査（福岡県）（2022年9月4日～9月6日、10月29日～30日、12月13日～14日）
・登野城の結願祭の調査（石垣市）（2022年10月14日～16日）
・徳島藍の展覧会展示協力（豊見城市）（2022年10月27日～28日）
・国立歴史民俗博物館の研究会・巡見（那覇市）（2022年11月26日～27日）
・諸見民芸館の資料調査（沖縄市）（2022年11月29日）
・「三の丸尚蔵館収蔵品展」の資料調査（東京都、南風原町、与那原町）（2023年1月3日～6日、2月1日、2月26日～3月1日）
・国立歴史民俗博物館の研究会（千葉県）（2023年3月18日～19日）

○講演等
・名　　称：学芸員講座「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展にみる皇室と沖縄」
期　　日：2023年2月11日（土）

○著作論文等
・「沖縄の藍染料に関する史料紹介（2）－山藍新書－」（共著）『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第16号　沖縄県立博物館・美術館　2023年3月

**宇佐美　賢（主任学芸員／地学）**

○調査･研究等
・小禄金城地区調査・特別展関連バスツアー下見（2022年4月8日）

・復帰50年特別展資料調査（県議会事務局）（2022年4月18日）、（しまたて協会）（2022年5月10日）（京都）（2022年5月11日～12日）、（糸満市役所・沖縄観光コンベンションビューロー）（2022年5月13日）（東京都：日本航空・株式会社情報建築・NHK放送博物館）（2022年5月19日）、（沖縄都市モノレール）（2022年6月2日）
・金属質落下岩石調査（糸満市）（2022年5月17日）
・恩納村仲泊・特別展関連バスツアー下見（2022年7月1日）
・沖縄島中北部貫入岩調査（2022年7月21日）
・サーターヤー石材調査（豊見城市翁長）（2022年8月8日）
・多良間島　地質・石材調査（2022年9月9日）
・本部半島砕石場調査（2022年10月7日）
・読谷村座喜味地区地質調査（2022年10月15日）
・地質調査・岩石採取（渡名喜島）（2022年10月27日～28日）
・国立科学博物館学芸員専門研修アドバンスト・コース（2022年11月7日～9日）
・国立科学博物館　渡名喜島岩石試料分析（2022年11月10日）
・石材調査（浦添グスク）（2022年11月22日）
・学芸員教室・移動展フィールドツアー下見（渡嘉敷島）（2022年12月28日）
・沖縄島南部石材業者調査（2023年1月27日）
・浦添市湧水（沢岻イリヌカー）調査　第２回浦添市文化財調査審議会（2023年2月22日）
・栃木県立博物館　文化観光拠点施設視察　（2023年3月2日～3日）
・浦添市教育委員会所蔵　石棺残欠調査　（2023年3月16日）
・宮古島　総合調査（地質・石材調査）　（2023年3月17日）
・博物館デジタルコンテンツ先進館視察　横浜みなと博物館・日本新聞博物館（2023年3月22日）

○講演等

・名　　称：復帰50年特別展「復帰後展」展示解説
　期　　日：2022年9月16日（金）20名
　場　　所：特別展示室・企画展示室
　依頼機関：沖縄県教職員退職互助会
・名　　称：アミークスインターナショナルスクール出前授業「沖縄の地質と地形について」
　期　　日：2022年9月2日（金）20名
　場　　所：アミークスインターナショナルスクール
・名　　称：こどものためのジオ・カーニバル（漂着軽石のヒミツを探そう！）
　期　　日：2022年11月4日（土）～5日（日）
　場　　所：大阪市立自然史博物館
・名　　称：宜野湾市立博物館わらばー体験じゅく（沖縄の石と化石の不思議に迫ろう）
　期　　日：2022年11月19日（土）30名
　場　　所：宜野湾市立博物館、森川公園
　依頼機関：宜野湾市立博物館
・名　　称：沖縄県立中部農林高等学校定時制出前授業「沖縄の地質と地形について」
　期　　日：2022年11月25日（月）15名
　場　　所：沖縄県立中部農林高等学校
・名　　称：おきみゅーで考える自然と民俗（博物館常設展展示解説）
　期　　日：2022年12月9日（金）
　場　　所：博物館常設展・講座室
　依頼機関：沖縄国際大学
・名　　称：サイエンステックフェス
　期　　日：2022年12月11日（日）
　場　　所：サンエーメインプレイス
　依頼機関：沖縄県（企画部科学技術振興課）
・名　　称：ふれあい体験室ワークショップ星空観察会
　期　　日：2022年12月16日（金）
　場　　所：博物館屋上
　依頼機関：沖縄美ら島財団
・名　　称：博物館学芸員講座・移動展　フィールドツアー in 渡嘉敷島
　　　　　　「石ころと地形、遺跡から紐解く島の生い立ちと人間生活」
　期　　日：2023年１月14日（土）15名
　場　　所：渡嘉敷島

・名　　称：沖縄県立首里高等学校職業人講話
期　　日：2023年2月17日（金）30名
場　　所：沖縄県立首里高等学校

○著作論文等

・「慶良間諸島に分布する四万十帯の砂岩の産状および砕屑性ジルコンの年代測定の試み」
『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第 16 号　沖縄県立博物館・美術館　2023 年３月　（共著）

**菊川　章（主任学芸員／生物）**

○調査･研究等

・ウジルカンダの花標本採集および写真撮影（宜野湾市）（2022年４月６日）
・陸貝分布調査（恩納村仲泊）（2022年７月８日、８月１日、10月21日、11月９日）
・植物分布調査（恩納村）（2022年７月26日）
・植物分布調査（沖縄島南部）（2022年８月30日）
・陸貝分布調査（南城市大里城址）（2022年９月20日、９月28日）
・学芸員講座（フィールドツアー）及び体験教室の下見（南城市大里城址）（2022年10月６日）
・陸貝分布調査（名護市）（2022年10月14日）
・常設展示リニューアルに係る先進館調査（横浜）３月22日

○講演等

・名　　称：復帰50年特別展関連催事　親子バスツアー①
「親子で知ろう！むかしのおきなわとこれからのおきなわバスツアー」
期　　日：2022年４月30日（土）　参加者17名
場　　所：那覇市小禄周辺
・名　　称：沖縄県立沖縄高等特別支援学校「学校団体見学」に係る「見学サポート」
期　　日：2022年７月14日（木）　３年生38名
場　　所：当館常設展示室
・名　　称：復帰50年特別展関連催事　親子バスツアー②
「親子で知ろう！むかしのおきなわとこれからのおきなわバスツアー」
期　　日：2022年7月23日（土）　参加者18名
場　　所：恩納村博物館周辺
・名　　称：中城村護佐丸歴史資料図書館企画展「みんなの進化展in中城」関連講演会
期　　日：2022年７月31日（日）　28名
場　　所：当館常設展示室
・名　　称：沖縄三育中学校「総合的な学習の時間」に係る「博物館展示解説」
期　　日：2022年９月11日（日）　１～３年生17人
場　　所：当館常設展示室
・名　　称：学芸員講座「フィールドツアー　身近なカタツムリをさがしに行こう！」
期　　日：2022年10月８日　17名
場　　所：南城市大里城址
・名　　称：バックヤードツアー
期　　日：2022年10月22日（土）　10名
場　　所：当館常設展示室
・名　　称：令和４年度国立沖縄自然史博物館誘致　ワークショップ
期　　日：2022年10月29日（土）　７名
場　　所：沖縄美ら島水族館イベントホール
依頼機関：沖縄県環境部自然保護課
・名　　称：「歴史・文化講座（県立博物館見学）」に係る「見学サポート」（自治研修所）
期　　日：2022年11月４日（金）　県職員30名
場　　所：当館常設展示室
・名　　称：陽明高等学校　授業「郷土の自然」に係る「見学サポート」
期　　日：2022年11月11日（金）　３年生24名
場　　所：当館常設展示室
・名　　称：復帰50周年記念事業　令和４年度国立沖縄自然史博物館誘致シンポジウム
期　　日：2022年11月12日（土）　パネリストとして登壇
場　　所：沖縄こどもの国チルドレンズセンター２Fホール
依頼機関：沖縄県環境部自然保護課

・名　　称：沖縄県立中部農林高等学校「出前授業」
期　　日：2022年11月29日（火）　定時制課程２年生20名
場　　所：沖縄県立中部農林高等学校
・名　　称：沖縄国際大学「ミュージアムワーク」に係る「見学サポート」
期　　日：2022年12月９日（金）　２～３年次29名
場　　所：当館常設展示室
・名　　称：琉大ジュニアドクター育成塾　特別授業「バックヤード見学」
期　　日：2022年12月27日（火）　小中学生10名
場　　所：当館常設展示室およびバックヤード
依頼機関：琉球大学
・名　　称：常設展示解説会
期　　日：2023年３月９日（木）　12名
場　　所：当館常設展示室

○著作論文等

・「最近カタツムリにハマっています。」那覇商工会議所会報誌（NAHA CCI NEWS）　２月号（通巻837号）p23
・「坂口總一郎が収集した沖縄の植物標本」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第 16 号　沖縄県立博物館・美術館　2023 年３月 p13-35

**山崎　真治（主任学芸員／人類）**

○調査・研究等

・八重瀬町具志頭グスク崖下地点（須武座原遺跡）　資料調査　（2022年4月14日）
・沖縄市越来グスクほか遺跡出土貝類調査　沖縄市立郷土博物館（2022年4月19日）
・沖縄国際大学所蔵遺跡出土貝類調査（2022年4月21日）
・沖縄県公文書館所蔵G.H.カー関係資料調査（2022年4月26日）
・うるま市遺跡出土貝類調査　うるま市与那城資料館（2022年4月27日）
・日本旧石器学会役員会　オンライン　（2022年5月15日）
・6月学芸員講座フィールドツアー下見　八重瀬町港川遺跡　（2022年5月27日）
・日本旧石器学会 総会・研究発表会　名古屋大学　（2022年6月４・5日）
・夏休みこどもフェスタ　親子バスツアー「米軍基地と復帰に伴う開発と沖縄の自然・歴史・文化」バスツアー下見（2022年7月1日）
・沖縄国際大学考古学研究室所蔵写真資料調査（2022年7月4日）
・本部町石川テラアブ人骨現地調査（2022年7月6日・2023年1月27日）
・うるま市平敷屋トウバル遺跡出土線刻画石柱写真撮影（2022年7月12日）
・夏休みこどもフェスタ　親子バスツアー「米軍基地と復帰に伴う開発と沖縄の自然・歴史・文化」バスツアー下見（2022年7月23日）
・沖縄県コロナ対策本部動員　県庁　（2022年7月24日～8月6日）
・県民カレッジ館内見学対応（2022年8月9日）
・福岡大学 石原与四郎氏 サキタリ洞現地調査・出土品調査対応（2022年8月24日・27日）
・八重瀬町具志頭グスク崖下地点（須武座原遺跡）　現地・資料調査（2022年8月30日・9月16日・12月16日）
・沖縄国際大学所蔵山下町第一洞穴遺跡出土資料調査（2022年8月31日）
・科研費「ホモ・サピエンスのアジア定着期における行動様式の解明」に係る研究会　国立民族学博物館（2022年10月10日）
・共同研究事業に係る調整　福岡大学　（2022年10月14日）
・共同研究事業に係る資料調査　福岡市埋蔵文化財センター（2022年10月13日）
・名護市嘉陽上グスク現地調査（2022年10月20日）
・琉球大学考古学研究室所蔵 稲福遺跡出土品調査（2022年10月21日・11月4日）
・図書資料調査　中城村護佐丸図書館（2022年10月26日・12月14日）
・奄美諸島の洞穴遺跡および遺跡出土資料の調査　喜界島・奄美大島・徳之島・沖永良部島・与論島（2022年11月8日～20日）
・共同研究事業に係るサキタリ洞遺跡発掘調査（2022年11月22日～12月9日）
・八重山関係資料調査　早稲田大学会津八一記念博物館　（2022年12月6～7日・2023年3月17日～18日）
・渡嘉敷村立阿波連小学校出前授業（2023年1月13日）
・八重瀬町具志頭グスク崖下地点（須武座原遺跡）　現地・資料調査　（2023年1月20日・1月30日・2月9日）
・竹富町立古見小学校出前授業（2023年2月7日）
・奄美諸島の火山灰層調査等　徳之島・沖永良部島・与論島（2023年3月9日～13日）

・共同研究事業に係るオセアニア関係資料調査　慶応義塾大学（2022年3月20日）
○講演・学会など
・名　　称：「貝塚の貝は何を語るか？―沖縄からの展望―」
日　　時：2022年5月29日
場　　所：日本考古学協会第88回総会（オンライン・ポスター発表）
・名　　称：6月学芸員講座「フィールドツアー 港川人をたずねて」
日　　時：2022年6月11日
場　　所：八重瀬町港川遺跡ほか
・名　　称：「戦前・戦後の沖縄をめぐる人類学・考古学研究者群像」
日　　時：2023年10月10日
場　　所：国立民族学博物館
依頼機関：国立民族学博物館（科研費「ホモ・サピエンスのアジア定着期における行動様式の解明」に係る研究会）
・名　　称：「雄樋川流域の洞穴・岩陰遺跡」
日　　時：2023年1月28日・29日
場　　所：第31回九州縄文研究会沖縄大会（沖縄県立博物館・美術館／うるま市あまわりパーク）
○著作論文等
・「新刊紹介　ルイス・R・ビンフォード『過去を探求する－考古資料解読の方法と実践－』植木　武・小杉康・鶴田典昭・内山敏行・高倉　純・小杉生奈子（訳）雄山閣　2021年6月刊」『日本旧石器学会ニュー　スレター』第50号　2022年4月
・書評「琉球の考古学」宮城弘樹著　沖縄タイムス　2022年5月28日
・「南の海－琉球列島」『季刊考古学　161 特集海洋進出の初源史』　2022年10月（藤田祐樹と共著）
・「縄文時代の琉球列島における海洋進出と遠洋航海」『季刊考古学　161 特集海洋進出の初源史』　2022年10月
・「人骨化石と遺跡調査、研究から探る古代の沖縄」『別冊太陽303　琉球・沖縄を知る図鑑』平凡社　2022年12月
・「沖縄県における近世・近代文化遺産の三次元測量の試み－八重瀬町慶座井および宜次の製糖工場跡煙突・うるま市平敷屋製糖工場跡煙突－」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第16号 2023年3月（石原与四郎・金城達・横尾昌樹と共著）
・「雄樋川流域の洞穴・岩陰遺跡」『第31回九州縄文研究会沖縄大会 洞窟・岩陰遺跡を考える 発表要旨・資料集』2023年1月
○兼任
・国立民族学博物館文化資源共同研究員
・琉球大学医学部等客員研究員

**澤浦　亮平（主任／人類）**
○調査・研究等
・【発掘調査】
ツヅピスキアブ遺跡（沖縄県宮古島市）（5月31日～6月3日）
尻労安部洞窟（青森県東通村）（8月6日～8月11日）
サキタリ洞遺跡（沖縄県南城市）（11月15日～12月9日）
下地原洞穴遺跡（沖縄県久米島町）（1月30日～２月12日）
コウモリイョー遺跡（鹿児島県天城町）（3月2日～4日）
Phung Quyen洞窟（ベトナム・ホアビン州 マイチャウ県）（3月5日～13日）
・【共同研究事業】
サキタリ洞遺跡共同研究事業WEB会議（6月28日）
科学研究費補助金関係WEB会議（7月21日）
科学研究費補助金関係会議（慶應義塾大学：3月30日）
・【資料調査】
令和５年度特別展「旧石器時代の人類」に係る資料調査
（沖縄こどもの国：4月18日）（日本モンキーセンター：5月9日）、（野外博物館リトルワールド：5月10日）（志摩スペイン村：5月25日）、（東京都埋蔵文化財センター：11月7日）（東京都立大学・麻布大学：11月8日）、（宮古島市教育委員会：12月22日）（国立科学博物館：3月29日）、（東京大学総合研究博物館：3月30日）
県内遺跡出土の哺乳類硬組織資料のX線CT撮影（東北大学大学院歯学研究科）（5月13日、12月6日）

○講演・学会発表等

・名　　称：「沖縄の人類の起源を学ぼう―先史人類学入門―」
　期　　日：2022年5月27日（土）
　場　　所：アミークスインターナショナル中学校

・名　　称：日本動物考古学会第9回大会「沖縄県久米島町下地原洞穴遺跡の再調査」（藤田祐樹・山崎真治・砂川暁洸との共著による発表）
　期　　日：2022年6月25日（土）
　場　　所：豊橋市自然史博物館

・名　　称：日本文化財科学会第39回大会「埋葬人骨周辺土壌からのヒトDNA解析」（澤藤りかい・横尾昌樹との共著による発表）
　期　　日：2022年9月10日（土）
　場　　所：千葉大学

・名　　称：第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会「埋葬人骨周辺土壌からのヒトDNA解析」（澤藤りかい・横尾昌樹との共著による発表）
　期　　日：2022年9月18日（日）
　場　　所：京都産業会館ホール

・名　　称：第1回洞窟研究会「沖縄県久米島町下地原洞穴遺跡の再調査」（藤田祐樹・山崎真治・砂川暁洸との共著による発表）
　期　　日：2022年10月10日（月）
　場　　所：国立民族学博物館

・名　　称：東北大生のためのハローワーク「人類学分野の学芸員の仕事―発掘から展示まで―」
　期　　日：2022年10月18日（火）
　場　　所：Zoomによるオンライン講義

・名　　称：The 22nd CONGRESS OF THE INDO-PACIFIC PREHISTORY ASSOCIATION 「Ancient Human DNA Analysis From Sediment Surrounding Human Bones」(Rikai Sawafuji, Masaki Yokooとの共著による発表)
　期　　日：2022年11月9日（水）
　場　　所：Le Méridien Marriott, Chiang Mai, Thailand

・名　　称：令和4年度　青森県埋蔵文化財発掘調査報告会「安部遺跡（尻労安部洞窟）」（中村謙伸他との共著による発表）
　期　　日：2022年12月11日（日）
　場　　所：青森県総合社会教育センター

・名　　称：宮古島に最初に海を越えてきた人々―ピンザアブ洞人―
　期　　日：2022年12月21日（水）
　場　　所：宮古島市立上野中学校

・名　　称：学芸員講座「狩猟採集から農耕へ-古人骨から人類史の画期を探る-」
　期　　日：2023年3月18日（土）
　場　　所：博物館講座室

○著作論文等

・「Accuracy of dental microwear impressions by physical properties of silicone materials」『Frontiers in Ecology and Evolution』10: 975283. doi: 10.3389/fevo.2022.975283　2022年10月 (Yuri Kimura, Mugino O. Kuboとの共著)
・「資料報告：石垣市野底崎遺跡から出土した埋葬人骨の頭蓋形態」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第16号　沖縄県立博物館・美術館　2023年3月

○競争的研究資金の獲得状況

・「後期更新世大型シカ類の動物考古学的研究」『日本学術振興会　科学研究費助成事業　若手研究　平成30年度～令和3年度』（研究代表者）（令和4年度まで延長）
・「東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明」『日本学術振興会　科学研究費助成事業　国際共同研究加速基金　令和2年度～令和6年度』（研究分担者）
・「日本列島に棲息したオオヤマネコに関する学際的調査・研究」『日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(B)　令和3年度～令和6年度』（研究分担者）
・「島嶼域における食文化の変容を歯の咬耗、歯石、骨コラーゲンで探る」『公益財団法人味の素食の文化センター 2021年度 食の文化研究助成（令和4年度～令和5年度）』（研究代表者）
・「学際的研究による沖縄諸島の後期旧石器ホモ・サピエンス拡散・適応史の解明」『日本学術振興会　科学研究費助成事業　基盤研究(A)　令和4年度～令和8年度』（研究分担者）

○兼任

・国立科学博物館　人類研究部　協力研究員
・東北大学大学院歯学研究科　口腔器官解剖学分野　大学院非常勤講師

## ８ 職員研修

博物館法第４条第４項には学芸員の業務について次のように定義される。すなわち「学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。」とされており、学芸員に学問的専門性を要求している。また、博物館が独自の展示会や教育普及活動を行うためには、学芸員自身が調査研究を行い幅広く新たな知見を得ていく必要がある。

沖縄県内（奄美地方を含む）の市町村立博物館等博物館施設の職員の意見や情報の交流を通して沖縄の博物館文化の向上を図る目的で1977年に沖縄県博物館協会（当館館長が会長を務める）を設立し、本年度で45年を迎え、コロナ禍による博物館活動の停滞の回復に努める必要がある。学芸員は県内外の博物館協会主催の研修を適宜受講し専門性の向上に努めている。また、博物館では平成23年度から班会議終了後に「学芸員ゼミ」（1時間程度）を実施し、お互いの研究について情報共有や意見交換を行っている。

### （1） 沖縄県博物館協会

総会及び春の研修会は、５月26日（会場：沖縄空手会館）に予定されていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、総会は書面決議を行い、研修会は中止した。

また、秋の研修会は行動制限が次第に緩和されてきたことを受け、次のとおり久米島で開催するとともに、研修状況を同時にオンラインでの配信を行った。

○秋の研修会・現地研修
　日　　時：2022年12月22日（木）・23日（金）
　場　　所：久米島町複合型防災・地域交流センター（ほんのもり）
　参 加 者：田名真之（館長）、外間一先、宮城 修、宇佐美 賢

### （2）国立科学博物館・全国科学博物館協議会

○学芸員専門研修アドバンスト・コース
　日　　時：2022年11月7日（月）～11月9日（水）
　場　　所：茨城県つくば市「国立科学博物館つくば研究施設」
　参 加 者：宇佐美　賢

### （3）日本博物館協会

○第７０回全国博物館大会「地域から発信する博物館の未来」
　日　　時：2022年11月16日(水)～11月18日（金）
　場　　所：高知県高知市(高知県立県民文化ホール)
　参 加 者：外間一先、宮城 修

### （4） 博物館班学芸員ゼミ

以下「回、月日、担当者、内容」の順に記す（原則毎週月曜日に実施）

| 回 | 月 日 | 担 当 者 | 内　　容 | 回 | 月 日 | 担 当 者 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 350 | 04/11 | 大湾ゆかり | IPMのアドバンス学習<br>博物館のIPM管理と課題 | 356 | 08/08 | 輿那嶺 一子 | 琉球古刺繍についてⅠ |
| 351 | 04/18 | 大城 久表 | 教育普及業務に関する現状と課題 | 357 | 08/15 | 澤浦 亮平 | 沖縄県久米島町下地原洞穴遺跡の再調査 |
| 352 | 04/25 | 山崎 真治 | 人口問題を考える | 358 | 08/29 | 伊禮 拓郎 | 貝摺奉行所製直方形東道盆の様式的研究 |
| 353 | 05/09 | 外間 一先 | 復帰50年沖縄の想い | 359 | 09/05 | 篠原 あかね | 美術工芸部門展示室解説「世界に広がる三線の魅力」 |
| | 05/16 | | 映像鑑賞「沖縄復帰記念式典」 | 360 | 09/12 | 宮城　 修 | 沖縄名誉県民　-初代沖縄開発庁長官　山中貞則- |
| 354 | 05/23 | 菊川　章 | カタツムリはすごい　～陸貝の教育普及における活用の可能性 | 361 | 09/26 | 園原　　謙 | 沖縄県のカンボジア博物館支援プログラムの足跡と新たな支援 |
| 355 | 06/06 | 宇佐美 賢 | 復帰50年と私 ～復帰前展・復帰後展の準備を通して振り返る～ | 362 | 10/03 | 田名 真之 | 田名真之～半生を語る～ |

| 回 | 月 日 | 担 当 者 | 内　　容 | 回 | 月 日 | 担 当 者 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 363 | 10/24 | 崎原 恭子 | 新収蔵の毛姓家譜について～譜久村家～ | 370 | 01/30 | 菊川　　章 | 坂口總一郎が収集した沖縄の植物標本 |
| 364 | 10/31 | 山本 正昭 | 令和５年度博物館企画展「海を越える人々、琉球と倭寇のもの語り」 | 371 | 02/06 | ゲスト<br>木川りか | 博物館における空気汚染物質の影響<br>（九州国立博物館） |
| 365 | 11/14 | 大城 久表 | 共同制作の魅力 | 372 | 02/13 | 澤浦 亮平 | 令和５年度特別展「旧石器時代の人類ー海を越えた最初の人々ー」について |
| 366 | 11/28 | 大湾 ゆかり | 宮内庁三の丸尚蔵収蔵品展のあらまし | 373 | 02/20 | 伊禮 拓郎 | 文化復興の礎　大嶺薫 ～完結編　東恩納博物館旧蔵資料・大嶺薫コレクション再考～ |
| 367 | 12/12 | 山崎 真治 | ネアンデルタール人をたずねて | | | | |
| 368 | 12/19 | 外間 一先 | 観光と博物館-文化芸術基本法・文化観光推進法そして改正博物館法・開館20周年にむけて- | 374 | 02/27 | 篠原 あかね | 模様について考えてみる －松竹梅を例に－ |
| | | | | 375 | 03/06 | 照屋　杏奈 | 学校連携 出前授業の利用傾向について　～出前授業の12年間を振り返る |
| 369 | 01/23 | 宇佐美 賢 | 慶良間諸島の四万十帯（名護層）中の砂岩の産状と年代-あの白い脈のような石は何？　いつごろできた？- | 376 | 03/27 | 勝連涼子 | 沖縄県立博物館での資料整理作業について～ |

## Ⅱ 展示活動

### １ 展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展１本、企画展数本、大嶺薫コレクション展及び、新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」と改称して2008年度（平成20）からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では「海と島に生きるー豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的かつ体系的な展示を行っている。

本年度は特別展２本と企画展を２本、ロビー展、部門展示の展示替えを行った。それらの多くは、沖縄県の復帰50年に関連したものである。夏には、復帰50年特別展「沖縄、復帰後。展　～いちまでぃん かなさ オキナワ～」、続いて秋には、復帰50年企画展「琉球―美とその背景―」を開催した。二つの展示会は沖縄県の復帰50周年事業として開催した。さらに冬には、美ら島おきなわ文化祭2022関連特別展「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」を開催した。企画展「大嶺薫コレクション展」は年度をまたぐ形で３月から2023年度の５月にかけて開催した。

### ２ 常設展

【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つ一つが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー（唐：中国）とヤマト（日本）との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と島に生きるー豊かさ、美しさ、平和を求めてー」とした。

常設展のうち、総合展示は、開館以来展示替えを実施してこなかったが、開館10周年を節目に、2017年（平成29）２月に展示の魅力アップを図るため、旧首里城正殿鐘を単品で紹介する展示をはじめ、当館が所蔵する県指定文化財等の梵鐘７口を新たに加え、展示の充実強化を図る初めての展示リニューアルを行った。また、屋外

（駐車場側）に鐘楼を設けて、現存する最古の鐘のひとつである大聖禅寺鐘（実物）を吊り、対外的に博物館の魅力発信につなげた。

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然とくらし」のコーナーには、鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化について情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

○海で結ばれた人々～サークルホールの展示～

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海に暮らした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる２万２千年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

○貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが築かれるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の３つに収斂（しゅうれん）し、激しい抗争を繰り広げた。しかし、15世紀はじめ頃に、これらの３つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

○王国の繁栄（古琉球）

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳（うた）った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制をつくりあげていった。平成28年度の展示一部リニューアルでは、常設展示に、旧首里城正殿鐘の単体の紹介を中心に、仏教文化と梵鐘や碑文に刻まれた王都の整備、円覚寺の創建、屋外には旧大聖禅寺鐘の展示を行った。

○薩摩の琉球支配と王国（近世琉球）

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球期は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀、蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響をうけ、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』『球陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

○王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国をせまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていった。

○沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年（明治12）に明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した（琉球処分）。琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果、沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年（昭和20）、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

○戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年（昭和47）に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

○沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年（平

成12）には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピローグの「沖縄の現代生活」は、開館時に募集した写真作品で構成され、まさに「現代生活」のドキュメント資料である。2022年度には新たに募集した写真を展示する予定である。

【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の５つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

◯自然史部門展示　「生物が語る沖縄２億年」

琉球列島の成り立ちや、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル（沖縄島北部）、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

◯考古部門展示　「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

◯美術工芸部門展示　「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、１年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

◯歴史部門展示　「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々なモノから歴史をひもとき、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

◯民俗部門展示　「沖縄の伝統とくらし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

## ３ 常設展　部門展示替え／ミニ企画／エントランスホール展示

**【美術工芸部門】**

沖縄は、湿潤亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮、日本、東南アジアの中継地点に位置している。かつては琉球王国として独自の文化を育んでいた。美術工芸部門展示室では、展示資料を通して琉球の美を紹介している。当館が収蔵する美術工芸品を中心にテーマに合わせて選定し、下記のテーマで展示替えを行った。

**（１）第１期展示「継承される美 ー琉球から沖縄へ受け継がれる思いー」**

展示期間：2022年5月23日（火）～8月20日（日）

趣　　旨：琉球王国時代に培った文化は、時代の変化や戦争を経てその多くが形を変え、あるいは姿を失ったが、多くの人の思いにより今も確かに受け継がれているものもある。第１期では、琉球王国時代から継承される美に焦点を当て展示を行った。

展示資料：

山田真山「竹林七賢人図屏風」/尚順「瞻雲就日」/山城正忠「出師之表」/謝花雲石「蘭亭」/鄭元偉「徳高」/嘉手納憑勇「朱漆鳳凰牡丹唐草箔絵大平椀」 /金城唯紀「朱漆浜千鳥沈金六角食籠 附足付盆」/前田孝允「朱漆山水楼閣堆錦食籠」/与那嶺貞「読谷山花織着物」/平良敏子「芭蕉総絣着物」/宮平初子「絹黄茶地絣着物」/宮平初子「首里花倉織煮綛単帯」/城間栄喜「黄色地桃牡丹模様紅型着物」/知念績弘「白地団扇檜扇葉文紗綾紅型踊衣裳」/玉那覇有公「芭蕉蔓草文様両面紅型衣裳」/金城次郎「線彫魚文大皿」/小橋川源慶「三彩大丁子風炉」/新垣栄三郎「赤絵草花文面取壺」/三線　与那城型銘 玉城與那　（県指定有形文化財）

**（２）第２期展示「世界に広がる三線の魅力」**

展示期間：2022年8月30日（火）～11月7日（日）

展示協力：沖縄県三線製作事業協同組合
趣　　旨：三線は、沖縄の文化を育んできた楽器である。音色を楽しむことはもちろん、その三線の逸話や辿った歴史、また棹の曲線美など、三線の魅力は単なる楽器の域を越えて広がっている。第２期では、名器として名高い三線を一同に展示し、三線を描いた絵画、踊衣裳、工工四などから琉球・沖縄から世界に広がる三線文化を紹介した。
展示資料：
「楽童子白馬騎乗図」/「婚礼酒宴之図」/兼城昌興「三線を弾く琉球美人」/「三味線の説（三線の図）」/湛水親方の書/知念積高工工四/野村工工四/木綿白地流水蛇籠に桜葵菖蒲小鳥模様衣裳/絹染分地松梅桜鶴雁模様踊衣裳/三線　直富主の真壁型　附胴　胴銘「道乙酉 渡慶次作」/三線　真壁型　銘　西平（沖縄県指定文化財）/三線　拝領南風原型（個人蔵、沖縄県立博物館・美術館寄託、沖縄県指定文化財）/三線　南風原型　（個人蔵、沖縄県立博物館・美術館寄託、沖縄県指定文化財）/三線　久葉の骨型（個人蔵、沖縄県立博物館・美術館寄託、沖縄県指定文化財）/三線　真壁型　銘　安室（個人蔵、沖縄県立博物館・美術館寄託、沖縄県指定文化財）/三線　屋良部崎開鐘/三線　健堅与那/新里勝美愛用三線　知念大工型と三線箱/仲宗根盛松愛用三線　与那城型/蛇皮線（模造復元品）/三線　富盛開鐘（模造復元品）/三線　富盛開鐘の製作工程見本/三線の胴と製作道具一式（沖縄県三線製作事業協同組合所蔵）/三線模造復元製作の様子

【美術工芸部門・歴史部門合同】

**（３）特別展示「よみがえる王国の記録『歴代宝案』ーゆきかうヒト・モノー」**

展示期間：2022 年 11 月 15 日（火）～2023 年２月 12 日（日）
主　　催：沖縄県教育委員会（担当：文化財課史料編集班）
共　　催：沖縄県立博物館・美術館
展示協力：沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館、沖縄県立図書館、那覇市歴史博物館
主　　旨：1989 年に沖縄県の事業として始まった歴代宝案編集事業では、かつて失われた琉球国の外交文書集『歴代宝案』の復元が進められた。2022 年３月、事業開始から 33 年の歳月をへて、写本・影印本を校合させ内容を復元した校訂本とそれを読み下した訳注本の合計 30 冊の刊行が完結するという、大きな節目を迎えた。本展では、琉球王国が行った豊かな外交・交易・交流の歴史を伝える『歴代宝案』の記事とそれに関連する文物を展示した。また、失われた『歴代宝案』がどのような活動を通じて復元されたのかも示し、33 年の歳月をかけてよみがえった『歴代宝案』の世界を紹介した。
展示資料：硫黄、御物グスク表採遺物、胡椒、蘇木、旧波上宮朝鮮鐘龍頭残欠、龍瑞雲青海立波模様唐織衣裳、ナマコ（模型）、桂皮、大黄、木香、黒漆雲龍螺鈿椀・盆、琉客談記、程順則肖像画、呈稾文集、『歴代宝案』鎌倉芳太郎影印本（複製）・旧沖縄県立図書館写本・東恩納寛惇写本・鎌倉芳太郎筆写本・台湾大学蔵写本、『歴代宝案』復元工程資料（活字化・諸本照合・校閲・初校・完成）等
関連催事：
①『歴代宝案』のパネルミニ展示
展示期間：2022 年 11 月 22 日（火）～12 月 11 日（日）
展示場所：１階エントランスホール
展示内容：特別展示の導入として、歴代宝案の概要をパネルや冊子で紹介した。また、琉球すごろく（聖人上）を体験してもらうとともに、すごろくに記された交易を担う役職も解説した。
②『歴代宝案』訳注本全 15 冊刊行記念シンポジウム
開催日時：2022 年 12 月３日（土）14:00～17:00
開催場所：３階講堂
開催内容：沖縄戦で焼失した琉球王国外交文書集『歴代宝案』の復元事業の一つである校訂本・訳注本が出そろったことを記念し、同事業の内容、成果を広く県民に普及し、琉球王国交流史への関心を高める機会とした。
③展示解説会
開催日時：①2022 年 12 月 25 日（日）、②2023 年１月 22 日（日）
講　　師：山田浩世（文化財課史料編集班主任）、外間みどり（同主任専門員）
参 加 者：①18 名、②15 名
開催内容：『歴代宝案』の世界をヒトやモノの移動の歴史とともに紹介し、参加者の理解を深める催事となった。

展示風景（第１会場、美術工芸部門展示室）

展示風景（第２会場、歴史部門展示室）

（４）第４期展示「松竹梅（歳寒三友）」

展示期間：2022年2月21日（火）～5月14日（日）

趣　　旨：松・竹・梅はおめでたい文様として親しまれているが、その起源は中国・宋時代にまで遡るとされ「歳寒三友」とも呼ばれる。厳しい冬の寒さにも負けず青々とした姿を保つ松・竹、可憐な花を咲かせる梅は、逆境でも力強くある人の理想の姿を表しているとされる。第４期では、新たな始まりのめでたさと理想の姿をもとめ、「松竹梅」を中心とした吉祥文様をテーマに展示を行った。

展示資料：

孫億筆「絹本着色　松鶴図」/殷元良筆「紙本墨色　竹の図」（県指定有形文化財）/佐渡山安健筆「紙本着色花鳥図」/義村朝義筆「紙本着色　松竹梅図」/梁文弼筆　行草書軸「梅帯雪柳含煙」/玉川朝達筆　行草書送孔徴士軸/浦添朝憙筆　和歌「山家松」/宜湾朝保筆　和歌「梅告春迎」/朱漆松竹梅鶴亀文湯庫/朱漆松鶴長春図沈金盆/黒漆松竹梅堆錦椀/白地雲霞に鶴松竹梅模様衣裳/染分地遠山に松竹梅模様衣裳/浅地霞に松竹梅東屋模様子ども着/絹木綿紺地手縞袷衣裳/木綿浅地松竹梅模様ティサジ/朱地絞り染ティサジ/下地恵康作　苧麻紺地宮古上布着物陶器/赤絵枝梅竹文碗（県指定有形文化財）/線彫梅文からから/線彫松竹梅文筒形花生/線彫二彩松竹梅文瓶/紫泥梅文花瓶

（５）特別展示「人間国宝」3人を偲ぶ

展示期間：2023年2月21日（火）～5月14日（日）

趣　　旨：特別展示として『「人間国宝」3人を偲ぶ』と題し、2000年に国指定重要無形文化財「琉球古典音楽」（芸能）と「芭蕉布」（工芸技術）に指定、保持者に認定された3人の「人間国宝」の関連資料を紹介した。

展示資料：

平良敏子作　芭蕉白地総絣着物/三線 盛嶋開鐘　附胴（県指定有形文化財）/三線 与那城型　銘玉城輿那（県指定有形文化財）/三線 盛嶋開鐘　附胴（模造復元品）/映像（６分間）「三線 人間国宝照喜名朝一氏による盛嶋開鐘附胴（模造復元品）の演奏（2019年10月30日収録、当館屋外展示場の民家にて）」

（伊禮）

【歴史部門展示室】

歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひも解いていく展示をめざし「モノから読む歴史」という大テーマを設定している。また、様々なテーマに沿って年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うことを努めた。

常設的に「那覇港～往来する人とモノ～」というテーマの展示を通年で展示しつつ、本年度は沖縄県の復帰50年という節目に合わせた「復帰50年 沖縄復帰前展」と、第７回世界のウチナーンチュ大会開催を記念した関連展示で「海を越えるウチナーの絆」を展示した。

また、沖縄県教育委員会（文化財課史料編集班）と連携し、歴史部門展示室と美術工芸部門展示室の二室を使用して「よみがえる王国の記録『歴代宝案』ーゆきかうヒト・モノー」を開催した。

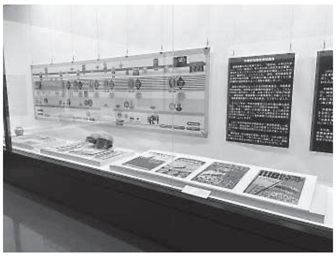
以下に、それぞれの概要を紹介する。

（１）特集展「復帰50年 沖縄復帰前展」

展示期間：2022年３月18日（金）～８月21日（日）

主　　旨：戦後27年にわたり米国の施政権下にあった沖縄。米国の軍事優先政策や米軍に関連した事件事故により県民の自治・財産・権利などが軽視される中で、県民は平和を希求し復帰・反基地運動を展開した。県民の復帰に対する思いは強く、ついに1972年（昭和47）５月15日復帰が実現することになった。本展では米国統治の沖縄や復帰運動の様子を様々な資料を通して紹介した。また、令和４年度博物館特別展「復帰50年 沖縄復帰後展」と一体化させ、復帰について考える機会とした。

展示資料：サンフランシスコ平和条約、米国統治資料４点、琉球政府資料４点、陳情書、祖国復帰協議会資料25点、海上集会資料８点、主席公選資料４点、沖縄返還交渉資料36点、嬉野京子写真32点、映像２点　等



関連催事：
・学芸員教室親子バスツアー
日　　時：2022年４月30日（土）
場　　所：那覇市小禄・金城・奥武山、浦添市牧港　等
・復帰50年オリジンお笑いライブ in おきみゅー
日　　時：2022年５月８日（日）
場　　所：県立博物館・美術館３階講堂

## （２）特集展「海を越えるウチナーの絆」

展示期間：2022年９月２日（金）～11月６日（日）

主　　旨：令和４年10月31日より開かれた第７回世界のウチナーンチュ大会の関連イベントとしての位置付けで開催した。世界のウチナーンチュ大会は1990年に始まり、前回の第６回大会では毎年10月30日を「世界のウチナーンチュの日」とすることが宣言され、沖縄県と世界各地の県系人や沖縄を愛する人々を結ぶ取り組みが行われてきた。

特集展は４部構成とし、第１部では移民の歴史をJICAが制作したパネルに沿って当館所蔵の資料とともに展示した。第２部は、これまで開催されてきた世界のウチナーンチュ大会の資料を、第３部は、ペルー沖縄人協会等の支援を受けて建設された子供博物館に関する資料と、1997年と2016年に当館に寄贈された与那嶺・福田コレクションの中から美術工芸品を中心に展示した。第４部は、東京沖縄県人会の協力を得て、当該県人会の機関誌である「おきなわの声」の一部をパネル展示した。「おきなわの声」の中からは、東京沖縄県人会の元会長である川平朝清氏と外間守善氏の対談や県人会による海外移住地訪問等の記事を紹介した。

多くの移民や出稼ぎ等が送り出された背景に、当時の沖縄の社会背景が関連している。移民を通して沖縄の近現代史を学び、かつ、これからの国際交流等について考える機会とした。

展示資料：移民事業関連資料、新聞資料（うるま新報、沖縄週報、ハワイ報知等）、世界のウチナーンチュ大会関連資料、ペルー記念館資料、与那嶺・福田コレクション、東京沖縄県人会機関紙等

## （３）特別展示「よみがえる王国の記録『歴代宝案』ーゆきかうヒト・モノー」

展示期間：2022年11月15日（火）～2023年2月12日（日）
※展示の概要は美術工芸部門展示の項目を参照

## （４）「那覇港～往来する人とモノ～」

展示期間：2023 年２月17日（金）～５月24日（水）

主　　旨：琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17～19世紀を中心に取り上げ、３つのテーマに分けて紹介する。「１　王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と、海上交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを示し、「２　往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介する。「３　那覇のマチ」では、歴史読史地図を手がかりとして、「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島という遊郭地区、女性によるマチ（市場）のようすなど、港をとりまく人々の姿を示す。

展示資料：首里那覇港図屏風、間切図(町方の島尻西)（複製）、「琉球国全図」（琉球列島并三十六島之図）他

（崎原・宮城・外間）

**【民俗部門展示室】**

民俗分野の「沖縄のすまい」コーナーでは、毎年季節の行事にあわせて仏壇前にお供え物等を展示している。令和４年度は旧正月とムーチーの展示を行った。

主　　旨：沖縄では旧暦の１日・15日をはじめとして、季節の行事ごとに仏壇などに様々な供え物を飾って祖先を祀り、家族の健康などを願う習わしがある。民俗常設展示室の民家模型にある仏壇にも行事にあわせてお供え物や説明パネルを展示した。

展示期間：旧正月、ムーチー

旧正月の仏壇前展示
（正月の膳にはクーブイリチーや豚肉、赤飯などが並ぶ）

ムーチーの展示

（大湾）

**【常設展示室入口ミニ企画／ロビー（エントランスホール）展】**

**（1）愛鳥週間ミニ展示『鳥たちの歌声を聴いてみよう！**
**～鳥の美声コンテスト～』**

展示期間：2022年４月２６日（火）～５月２２（日）
展示場所：１階エントランスホール
展示内容：愛鳥週間の関連催事として、当館収蔵の鳥類の剥製を２０体展示した。各剥製の前にはボイスプレーヤーを設置し、観覧者がボタンを押して鳴き声を聴けるようにするとともに、気に入った鳥に投票できるようにした。

（菊川）

**（2）ミニ企画展示「国立沖縄自然史博物館誘致企画展 in おきみゅー」**

展示期間：2022年６月21日(火)～７月18日(月)
展示場所：１階エントランスホール
展示協力：沖縄県環境部自然保護課、国立沖縄自然史博物館設立準備委員会
展示内容：県で取り組んでいる、国立自然史博物館の誘致事業をミニ展示をとおして紹介した。また、当館の展示資料も活用して、常設展示室へ誘客や自然史分野への理解を深めることもねらいとした。

（菊川）

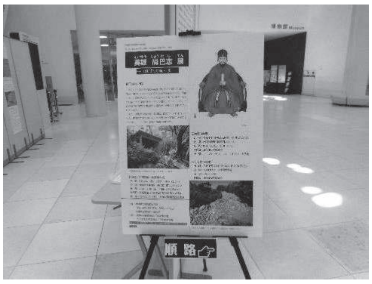
**（3）尚巴志王即位 600 年記念展示『英雄　尚巴志展－はじまりの統一王―』**

展示期間：2022 年９月 21 日（火）～10 月 10 日（日）
会　　場：パネル展／エントランスホールおよびパネル掲載情報を当館HP上での公開
開催趣旨：今年度は尚巴志が王に即位してちょうど６００年という記念すべき年である。尚巴志は琉球史において初めて沖縄本島を統一した王であり、琉球王国黎明期においてその礎を築いた人物であると言える。また、琉球史における数多の人物の中でも英雄譚が数多く残されていることから沖縄県内において未だに根強い人を誇る人物でもある。今回の展示では尚巴志王即位 600 年を記念して、尚巴志の事蹟と関連した史跡を紹介するミニ展示を沖縄県立博物館・美術館のエントランスにて実施する。本展示を通して琉球の歴史に理解を促すと共に沖縄の礎を築いた人物を顕彰することで郷土に対する愛着を育むことを目的とする。
実施内容：沖縄県立博物館友の会との共催で展示並びに関連催事を実施し、当館の７月文化講座、９月学芸員講座も関連催事として位置付けて展開した。展示では尚巴志王に係る来歴、周辺の人物紹介、関連遺跡について展示パネルで紹介すると共に、苗代大親屋敷跡、佐敷グスク、島添大里グスクといった尚巴志王と所縁の深い遺跡から出土した遺物約 70 点の展示を行った。また、展示が終了したに後は 10 月 26 日～11 月 27 日に南城市役所 2 階共用スペース、12 月 1 日～12 月 26 日にうるま市の阿麻和利パーク企画展示室にて巡回展示を行った。
共催機関：沖縄県立博物館友の会　後援：南城市教育委員会、うるま市教育委員会
関連催事：①展示解説会　2022 年 10 月９日　講師：山本正昭（当館主任学芸員）
②尚巴志ゆかりの地をめぐるフィールドツアー　2022 年 11 月 12 日　講師：横山幸平（南城市教育委員会）

③尚巴志王即位 600 年記念事業

「尚巴志の孫、尚徳王の琉球銭　『世高通宝』をつくってみよう」2023 年２月１８日

講師：山本正昭（当館主任学芸員）



パネル展展示風景

（山本）

### （4）天ころりん

共　　催：沖縄石の文化博物館（株式会社南都）

展示期間：2022 年 11 月 29 日（火）～2023 年５月７日（日）

展示場所：当館エントランスホール講座室前　大行灯ケース

展示内容：2021 年６月、大石林山沖縄石の文化博物館名誉館長（おきなわ石の会 会長）の大城逸朗氏のもとへ石の鑑定依頼がありました。依頼したのは、読谷村に住む日谷真歌君（小学６年生）です。日谷君は、読谷村で採取したマンガンノジュールの中に、黒光りする謎の化石を見つけ、頭足類かな？と一人で楽しんでいたそうです。アンモナイト専門家による鑑定の結果、その化石はモロッコからよく産出する古生代デボン紀（約４億年前）のアンモノイド化石であることがわかりました。彼の推測は正解だったのです。しかし、沖縄にはこの時代の地層はありません。それではなぜこの化石が産出したのでしょうか。本ミニ展示では、少年が発見した化石にスポットを当てつつ、それを発見した少年の知識の深さと観察眼の素晴らしさを紹介し、予想もしない場所で天から転がり落ちたように少年に発見された化石の謎に迫ります。

主な展示品：⑴はじめに　実施要項・展示概要

⑵パネル展示：「イーグルアイの少年」（謎の化石を発見）「沖縄に出るはずのない化石だった」「アンモナイトはどのような化石か」

⑶標本展示：少年の発見した古生代のアンモナイト、化石（２点）、沖縄のアンモナイト化石（中生代三畳紀）（常設展にも展示中と表示し常設へ誘導）、北海道のアンモナイト化石

（宇佐美）

### （5）サンゴ礁ウィーク関連ミニ展示「北谷の海」

展示期間：2023年２月28日（火）～３月12日(月）

展示場所：１階エントランスホール

展示協力：北谷町教育委員会

展示内容：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会は、毎年３月５日（サンゴの日）の前後約２週間を「サンゴ礁ウィーク」と位置づけ、関係各団体へ呼びかけ様々なイベントを実施しており、当館も同会の会員として毎年展示やワークショップなどを実施している。今回は、北谷町教育委員会の協力のもと北谷町の環境調査で得られた成果を採取した生物の標本とともに展示した。

（菊川）

## 4 特別展

### （1）復帰50年特別展「沖縄、復帰後。展 ―いちまでぃん かなさ オキナワ―」

会　　期：2022年（令和４） 7月20日（水）～９月19日（月）

会　　場：特別展示室１・２、企画展示室

観 覧 料：一般：1,000円（800円）高大生：500円（400円）小中学生：200円（160円）

※（　）内は前売料金ならびに20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方１名は当日料金の半額

観覧者数：10,620人（54日間）

【開催形式】

主　催：沖縄県立博物館・美術館、共　催：ＮＨＫ沖縄放送局、後　援：沖縄タイムス社、琉球新報社、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、FMレキオ、那覇新都心通り会、沖縄県教育委員会

【開催趣旨】

沖縄の本土復帰から2022年で50年を迎える。復帰当時のエネルギーを肌で感じた世代は、復帰について様々な思いを持っている。一方で、現在の若い世代は当然のことながら復帰前後のことを知らない。戦後27年の米国統治を経て成った沖縄の日本復帰は「世替わり」といわれるほど大きな転換点であり、復帰後50年は復興、成長、変化、継承、存続など沖縄は様々な経験をしてきた。復帰50年という節目に、これまでの半世紀を振り返る展覧会を開催し、次の時代に向けて自然・歴史・文化・産業・美術等の多様な面から沖縄について考える機会の提供を目的とした。

【展示内容】

**第１章　復帰の日－葛藤をかかえて－**

復帰の日、沖縄では何が起きていただろうか。５月15日は沖縄にとって悲願達成の日となったが、一方では現在まで続く基地問題等の様々な苦難の新たな始まりともなった。第１章は、様々な葛藤を抱えながら復帰を実現した50年前の沖縄の姿をふり返る内容とした。

〔主な展示物〕沖縄返還協定文書、沖縄県庁表札、沖縄県章関係資料、沖縄復帰対策要綱、復帰措置に関する建議書、『復帰対策の裏街道』、大濱信泉資料、南方同胞援護会資料、他

**第２章　新生沖縄県の誕生**

施政権が日本へ返還されたことにより、日本国憲法をはじめとする本土の諸法令や制度が沖縄県にも適用されるようになる。通貨交換や７３０等は人々の生活に大きな影響を及ぼした。第２章は、新たな沖縄県のスタートとして、諸制度の変更や復帰記念植樹祭、若夏国体、沖縄海洋博の復帰三大事業について紹介した。

〔主な展示物〕通貨交換関係資料、復帰記念植樹祭資料、若夏国体資料、海洋博関係資料、アクアポリス模型、エキスポランド模型、海洋博衣装、７３０資料、インフラ整備映像、他

**第３章　沖縄ブーム、到来。**

繰り返されてきた沖縄ブーム。その度に、県内外における沖縄の認知度は向上し、沖縄ブランドが確立されてきた。第３章は、沖縄の芸能やスポーツの活躍、平和の礎・ウチナーンチュ大会・九州沖縄サミット等の県が推進してきた事業等を紹介すると共に、沖縄観光の歩みを振り返り、沖縄の魅力を再認識する内容とした。

〔主な展示物〕スポーツ関係資料、喜友名諒金メダル、芸能関係資料、安室奈美恵県民栄誉賞、サミット関係資料、沖縄観光関係資料、平和推進関係資料、米軍基地跡地利用関係資料、他

**第４章　変化・変容と沖縄－各分野から迫る、沖縄像－**

復帰して50年が経過し、現在の沖縄の社会も少しずつ変わってきた。第４章は、復帰前後の変化・変容をベースとして、自然史・人類・考古・民俗・歴史の各分野から沖縄の姿に迫る展示を構成した。

〔主な展示物〕自然史－ヤンバルクイナやノグチゲラ標本、岩石資料、他人類－港川人胸像模型、武芸洞人胸像模型、他、考古－砂川元島遺跡資料、首里城正殿地区発掘調査模型、他、民俗－イッセンマチヤー再現、コザのディスコ再現、他歴史－『中山世鑑』、間切図、文化財の指定書、県史、他

**第５章　不変・継承・課題。**

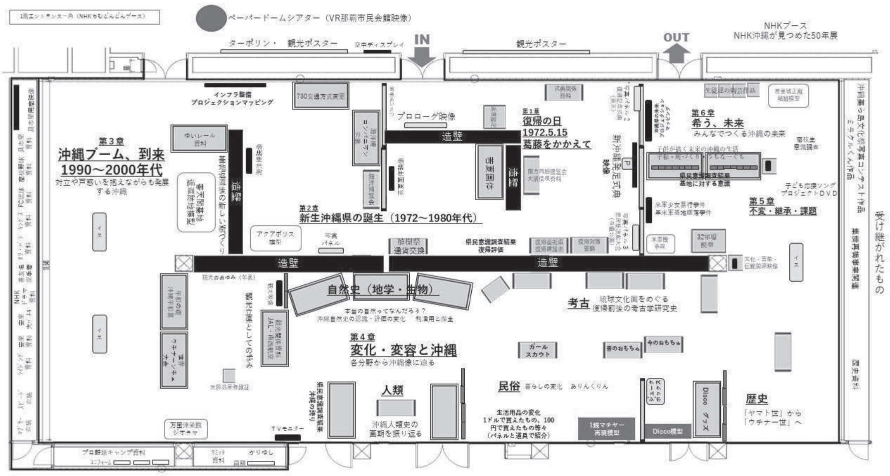
沖縄の自然や風土、歴史の中で育まれてきた伝統文化は、先人や私たちの生活を豊かにし、復帰前後を問わず大切に受け継がれてきた。不変的に継承されてきたものがある一方で、基地問題や子どもの貧困問題等、変えていかなければいけない課題も残された。第５章は、復帰後の沖縄が抱える課題について考える内容とした。

〔主な展示物〕琉球王国文化遺産集積・再興事業の模造復元品、第32軍司令部壕跡模型、米軍機関連事故のオブジェ、県民大会関連映像、復帰50年式典オープニング映像、他

**第６章　希う、未来。**

復帰後生まれの人口が約６割を占める状況において、米国統治下時代、祖国復帰運動、あるいは1972年の復帰そのものが風化されていくのではないかと危惧されてる。第６章は、沖縄の復帰をあらためて振り返り、平和で明るい豊かな未来の沖縄県の実現を目指して、児童生徒や一般の方が制作した展示品を中心に構成した。

〔主な展示物〕美ら島おきなわ文化祭インスタキャンペーン入賞作品、首里城正殿軸組模型、児童生徒の陶芸作品、うちなーぐち作品、児童生徒の平和のメッセージ、未来へのメッセージ、他




【展示平面図】

（宮城）

**（２）美ら島おきなわ文化祭2022関連特別展「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展　皇室の美と沖縄ゆかりの品々」**

会　　期：2023年１月20日（金）～２月19日（日）
開館時間：9:00～18:00（金・土は20:00まで開館）
会　　場：博物館企画展示室・特別展示室１
観 覧 料：一般800円（前売及び団体640円）、高校・大学生500円（400円）、小・中学生200円（160円）
観覧者数：5,616人

【開催形式】

主　催：沖縄県立博物館・美術館、（一財）沖縄美ら島財団、宮内庁、文化庁
特別協力：紡ぐプロジェクト読売新聞社

【開催趣旨】

沖縄県立博物館・美術館では、復帰50年の節目の年に「美ら島おきなわ文化祭2022（第37回国民文化祭、第22回全国障害者芸術・文化祭）」の関連事業として、宮内庁三の丸尚蔵館の収蔵作品を紹介する特別展を開催した。宮内庁三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた絵画などの美術品が国に寄贈されたのを機に、平成５（1993）年に皇居東御苑に開館した施設である。同館は収蔵品の増加や活動の幅が広がるのに従い、建物が手狭になったため、現在休館して新施設を建設中であるが、休館の間もより多くの方々に皇室と日本文化に親しんでいただくことを目的として、同館の収蔵品を紹介する展覧会を全国各地で実施している。令和４年度は、沖縄県が開催の機会を得て、当館と宮内庁、文化庁及び一般財団法人沖縄美ら島財団が主催して開催した。

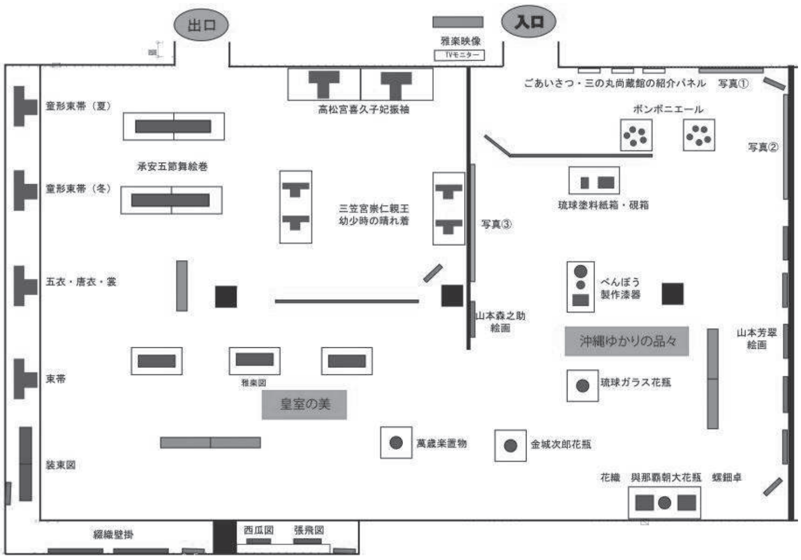
【展示構成】

≪沖縄ゆかりの品々≫

明治時代の沖縄を写生した山本芳翠の連作画５点と山本森之助の絵画１点をはじめ、旧桂宮家に伝えられた「琉球塗料紙箱・硯箱」や、昭和天皇や秩父宮家に献上された工芸品、及び宮内庁が所蔵する明治時代の古写真から、沖縄ゆかりの人物や明治 20 年代の風景写真、「沖縄県内各学校写真帖」をパネルで紹介した。

≪皇室の美≫

三の丸尚蔵館が所蔵する名品から、江戸時代に活躍した円山応挙の「張飛図」と葛飾北斎の「西瓜図」を展示した。また、皇室がその伝承に深い関わりをもつ雅楽を主題とした作品として「雅楽図」や高村光雲・山崎朝雲「萬歳楽置物」、綴織の大型壁掛けなどを展示した。さらに、大正天皇の皇后、貞明皇后より三笠宮百合子妃殿下に引き継がれた「十二単」をはじめとする儀式で用いられた伝統的な装束、及び皇室の御慶事の折に記念品として作られたボンボニエールなどを紹介した。




展示平面図

【関連催事】

(1) 講演会

演題：「三の丸尚蔵館の収蔵品と開館30年のあゆみ」
日時：2023年１月20日（金）14:00～16:00
講師：五味 聖 氏　（宮内庁三の丸尚蔵館 主任研究官）
場所：沖縄県立博物館・美術館　３階　講堂

(2) 学芸員講座

演題：「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と沖縄」
日時：2023年２月11日（土）14:00～16:00
講師：大湾ゆかり（沖縄県立博物館・美術館　主任学芸員）
場所：沖縄県立博物館・美術館　１階　博物館講座室

(3) 展示解説会

日時：2023年１月27日（金）/２月３日（金）いずれも18:00～19:00
　　　２月19日（日）14:00～15:00
講師：大湾ゆかり、與那嶺一子

（大湾）

## 5 企画展

**新収蔵品展－令和３年度収蔵資料**

※新収蔵品展は、復帰50年関連催事関連事業のため、令和５年度に令和３年度と令和４年度を合体した形で開催することとなり、令和４年度は開催しなかった。

（澤浦）

### （1）復帰50年展　琉球―美とその背景―

趣　旨：

沖縄県は令和４(2022)年に本土復帰50年の節目を迎える。復帰してから50年の間、様々な施策や多くの県民の努力により大きく成長を遂げ、今まさに新たな歴史を歩んでいる。しかし、私たちの心の中には、今も「琉球」という時代の情景が生き続けている。小さな島々の集まりであるこの国は、古くから海を通じて様々な国と交流し、独自の文化を発展させた。その息吹は、現代に生きる私たちの生活をはじめ、伝統的産業や観光業にも溶け込み、様々な場面で目にすることができる。今の沖縄は、こうした長い歴史の上に築き上げられているのである。

本展では、県内初公開となる資料を多数借用し、栄華の象徴ともいうべき美の世界から私たちのアイデンティティたる「琉球」を再考していき、復帰50年を迎えるこの年に「琉球」を振り返ることで、今とこれから先の沖縄を考える。

主　催：沖縄県立博物館・美術館、共　催：東京国立博物館、九州国立博物館・福岡県、NHK沖縄放送局
特別協力：国立文化財機構文化財活用センター
後　援：沖縄県教育委員会、沖縄タイムス社、琉球新報社、沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、琉球放送、ラジオ沖縄、ＦＭレキオ（ＦＭ琉球）、エフエム沖縄、エフエム那覇、沖縄ケーブルネットワーク
会　期：2022年10月14日(金)～12月4日(日)　月曜休館

会　場：沖縄県立博物館・美術館　博物館３Ｆ　企画展示室、特別展示室１、２
入場料：一般：1,400円（1,200円）、高大生：700円(560円)、小中生：500円(400円)
※(　　)内は、前売料金・20名以上の団体料金、※障がい者手帳か療育手帳をお持ちの方と介助者1名は無料。
入場者数：12,053名（44日間）
展示構成：

**第１章　万国津梁ーアジアの架け橋ー**

琉球列島の人々は、古くから日本や大陸側の人々と緩やかなつながりを持ち、交易をはじめとした往来が日常的に行われていた。13世紀頃になると琉球各地に有力者が台頭し、大型の建物やグスクと呼ばれる拠点を整備するようになった。14〜15世紀には進貢貿易を軸に東アジアとその周辺をつなぐ要衝となり、各地の架け橋として繁栄した。その一方、琉球は外来文化を積極的に導入して磨き上げ、特産品を生み出した。第１章では、琉球の美が育まれた歴史的背景を紹介した。

(1)海外との出会い
琉球が交易等によって連綿と周辺地域とのつながりを持ちながら、国際情勢も相まって次第にアジアの要衝となった様子を紹介した。
(2)海外文化の積極的な導入
琉球が各地の産物や技術、文化を吸収し、自国のものとして発展させた様子を紹介した。
(3)交易路と港
円滑に各地と交易するため不可欠だった、交通手段としての船や交易路、港、港町の整備を紹介した。

**第2章　琉球の美**

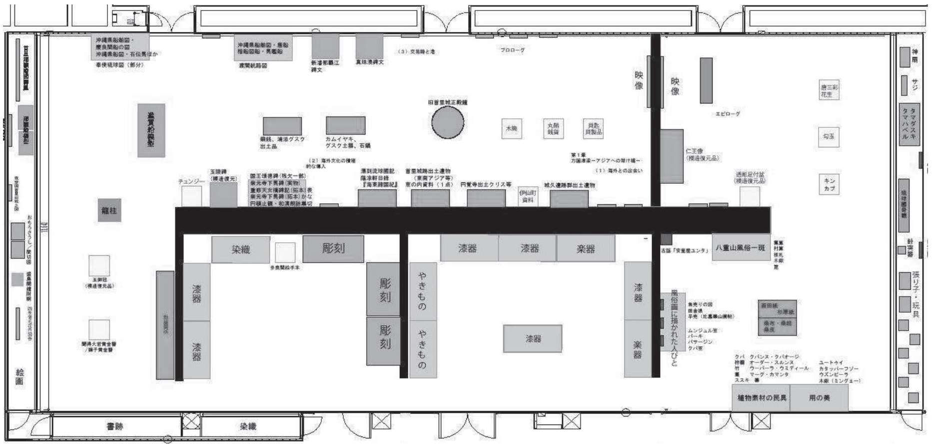
豊かな自然と交易をもとに多くの美術工芸品を生み出した琉球。美術工芸品が持つ輝きは、王家の威光を世に示し、国内外に琉球の存在を知らしめた。王府は貝摺奉行所などモノづくり専門の部署を設け、国主導で美術工芸品の製作に力を入れていった。一方で、書や演奏などを士族の教養として奨励する動きも見られ、多くの人の間で育まれた。第２章では、琉球で育まれた作品の数々を紹介した。

(1)王権の象徴
首里城には様々な文物が集められ、王の権力を際立たせた。また、聞得大君を中心としたノロたちは祭祀を通して国王を寿ぎ、そして守護した。ここでは、王権を象徴する様々な文物を紹介した。
(2)幽玄の美、書画の世界
洗練された技術で表現される書画の世界。琉球の人々は、時に最新の知識を求め中国（明・清）に渡り、多くの技を持ち帰って琉球の美へと昇華させていった。今も残る作品の数々には、中国とも日本とも異なる豊かな表情が見られる。ここでは、海外との交流を通して培われた奥深き琉球書画の世界を、その時代を彩った作者たちとともに紹介した。
(3)　工芸の美、職人の技【漆芸、染織、陶磁器、楽器】
熟練した手わざによって作られる工芸品たち。長い年月をかけて培われた技術は王宮や人々の暮らしを彩る一方、国の威信をかけた献上品として大和(日本)や唐(中国)に渡った。これら工芸品は、貝摺奉行所などの行政組織主導で作られたものや、各島々で貢納布として織られた豊かな織物などがあった。ここでは、職人たちの技と粋を集めた琉球の工芸品の数々を、その背景とともに紹介した。

**第3章　しまの暮らしと祈り**

琉球の栄華は先人たちが歩んできた歴史によって培われてきた。その歴史の中には、書物に名前が登場するわけではない、いわゆる「ふつうの人々」、庶民がいた。琉球の美の背景には、そのような名もなき多くの人々の技術の積み重ねがあるのである。琉球の庶民の生活とは、どのようなものだったのでだろう。第３章では琉球の人々の日常に焦点を絞り、庶民の暮らしと祈りの中の美について紹介した。
(1)百姓の暮らし
琉球で暮らしていた人々は田畑や海の恵みを糧に生活していた。農具や漁具、職人用具などの民具は、人びとの暮らしに必要不可欠なものだった。生活から生み出された民具のひとつひとつは、仕事の効率性や使いやすさを目的に作られたものである。人々の暮らしを支えてきた民具の形や文様に注目してみると、それぞれに機能美を見出すことができるのである。ここでは庶民の暮らしに関わるテーマを設け、生活の中の美を探ぐった。
(2)　神と人をつなぐ祈りの世界
現在を生きる人と同じように、琉球の人々も日々の健康と幸せを願いながら暮らしていた。村落には御嶽

などとよばれる聖なる場所があり、人々と神をつなぐ存在として女性神役がいた。聞得大君を頂点とした宗教組織の末端にはシマの女性神役たちがいた。女性が宗教的な役割の中心を担うという点は、琉球の民俗の特徴である。ここでは祈りの場面で用いられた祭具や祈りの様子が残された図像から、琉球の精神世界の美を紹介した。




展示平面図】

〔関連イベント〕

1．シンポジウム　「守り継がれてきた琉球の文化～琉球コレクションの成り立ちと意義について～」

日　時：10/22（土）14：00～17：00　当館３階　講堂

パネリスト：田名真之（当館館長）/品川欣也（東京国立博物館研究員）/原田あゆみ（東京国立博物館研究員）/園原謙（当館学芸員）

参加者：89名

2．文化講座（ともに３階講堂　14：00～16：00）

①博物館文化講座「琉球美術史への招待 ―グスクの城壁から工芸品のデザインまで―」

日　時：2022年10月15日（土）

講演者：上江洲安亨（一般財団法人沖縄美ら島財団　副参事）

参加者：98名

②博物館文化講座「『おもろさうし』の世界」

日　時：2022年11月19日（土）

講演者：波照間永吉（名桜大学大学院博士課程特任教授）

参加者：121名

3．学芸員講座「琉球―美とその背景―」

日　時：2022年11月12日（土）　14：00～16：00

場　所：当館３階講堂

発　表：伊禮拓郎（展覧会担当学芸員）

参加者：86名

4．「琉球歴史文化の日」関連イベント　琉球の文化を学芸員と学ぶ展覧会ツアー

日　時：2022年10月16日（日）

参加者：35名

5．展示解説会

①2022年10月15日（土）　担当：伊禮拓郎　参加者：16名

②2022年10月29日（土）　担当：崎原恭子　参加者：18名

③2022年11月13日（日）　担当：伊禮拓郎　参加者：16名

④2022年11月27日（日）　担当：大湾ゆかり　参加者：38名　※参加者多数につき２回実施

（伊禮）

**（2）令和４・５年大嶺薫コレクション展「琉球歴史探訪～コレクションに秘められた想い～」**

会　　期　2023（令和5）年1月31日（火）～2023（令和5）年5月7日（日）

会　　場　博物館３階　特別展示室２

観 覧 料　博物館常設展覧会料金と同じ

観覧者数　8,111人

概　　要

大嶺薫（1905-1970）は、沖縄における戦後最初の博物館の館長を務めた人物である。戦前から蒐集家として知られ、特に美術工芸に対する造詣が深かったといわれている。1953（昭和28）年に館長を退任したのち

も精力的に資料収集に努め、戦前・戦後を通して多くの文化財収集を行った。その意志は大嶺の没後遺族にひきつがれ、1971（昭和46）年、大嶺薫美術館が設立され、沖縄の美術工芸や文化の振興に貢献した。1984（昭和59）年、同美術館の閉館にともない収蔵資料3,000点余のコレクションが当時の沖縄県立博物館へ寄贈された。令和４年度・５年度合同展示では、大嶺のコレクション収集の思想に迫る展示として「琉球歴史探訪～コレクションに秘められた想い～」をテーマに、新発見の「大嶺薫美術館業務日誌」など大嶺の足跡と集められたコレクションについて紹介した。

①戦前期の大嶺薫

尚順男爵との交流など大嶺の戦前期の動向について紹介した。

【展示資料】大嶺薫について（パネル）/尚順男爵肖像画

②東恩納博物館館長時代

戦後、米海軍将校・ハンナ少佐らを中心に設立された沖縄陳列館はのちに東恩納博物館となり、その初代館長を大嶺が務めた。大嶺はハンナと出会い古美術の見識を見出され約７年間館長職につき、文化財収集・保護に尽力し戦後の文化復興に尽力した。1946年に石川朝子氏から薫宛に出された手紙には、東恩納博物館や大嶺の果たした役割について、沖縄の人々がどのように思っていたかがつづられている。本章では、大嶺が東恩納博物館館長を務めていた時代の動向を紹介した。

【展示資料】沖縄陳列館と東恩納博物館（パネル）/「労務カード資料報告の件」/東恩納博物館収蔵品台帳/石川市婦人部長石川朝子氏からの手紙/東恩納博物館長時代の大嶺薫（写真）

③文化財保護の動き

東恩納博物館は1953年に首里市博物館と合併し琉球政府立博物館となった。これにより大嶺は館長職を退いたが、同時期に制定された琉球政府の文化財保護法制定やその後に発足する文化財保護審議会の委員として活躍した。本章では、文化財保護審議会に関する手紙から、大嶺の文化財保護の動向を紹介した。

【展示資料】文化財保護の動き（パネル）/「史跡名勝地指定の件」/「文化財調査及び合同委員会開催について」/「専門審議会開催について」/「上里墓調査報告」

④大嶺薫美術館設立

1970年に大嶺が没したのち、大嶺の夫人・米氏の手により「大嶺薫美術館」が設立された。大嶺のコレクションを一堂に展示する美術館として設立され、県内初の私立美術館として活動した。これらの膨大なコレクションは、閉館後の1984年に当館に寄贈された。本章では、新発見の「大嶺薫美術館業務日誌」などから、大嶺薫美術館について紹介した。

【展示資料】大嶺薫美術館の設立（パネル）/大嶺薫美術館看板/大嶺薫美術館開館記念案内/『大嶺薫美術館業務日誌』/『大嶺薫美術館展示替記録』/「エキスポランド「大沖縄展」出品目録」

⑤大嶺薫コレクション

近年の研究により、大嶺の経歴やコレクションの詳細が少しずつ分かるようになってきました。本章では、各資料からコレクションに秘められた想いに迫っていきます。

【展示資料】渡名喜瓶/黒漆山水楼閣人物螺鈿机/黄漆孔雀牡丹存清硯箱/黒漆家紋散蒔絵筆箱/御書院御物帳/太公望図/山水図/吉祥三幅対/山水図/鄭嘉訓筆　行書七言絶句軸「秋江待渡」/和歌色紙・短冊（宜湾朝保、八田知紀、高崎正風筆）/全魁書　臨蔡襄海隅帖/行書陳観酉書軸/勾玉/勾玉調査研究報告書/勾玉について講演する大嶺薫（写真）/台湾原住民資料

（伊禮）

## ６出張展示

### （１）ミニ企画展示「国立沖縄自然史博物館誘致企画展in美ら海水族館」

展示期間：2022年７月９日（土）～１月９日（月）

展示場所：沖縄美ら海水族館出口ホール

主　　催：沖縄県環境部、沖縄美ら島財団

展示内容：県で取り組んでいる、国立自然史博物館の誘致事業をミニ展示をとおして紹介するもので、自然史博物館のイメージを膨らませるために、当館の「みんなの進化展～命はつながっている～」の内容を一部抜粋して、沖縄美ら海水族館出口ホールにて出張展示した。

（菊川）

（２）中城村護佐丸歴史資料図書館企画展「みんなの進化展in中城」

展示期間：2022年７月22日（金）～８月28日（日）
展示場所：中城村護佐丸歴史資料図書館　３階企画展示室
主　　催：中城村教育委員会
展示内容：2021年７月に開催した「みんなの進化展～命はつながっている～」で用いた解説パネルや標本などを貸し出し、主に中城村民向けに展示公開した。

（菊川）

（３）「第18回琉球競馬ンマハラシー」ブース出展

展示期間：2023年１月22日（日）
展示場所：沖縄こどもの国　水とみどりの広場
主　　催：（公財）沖縄こどもの国
展示内容：琉球競馬にちなみ、ウマの進化説明模型や、ウマの骨パズルなどをメインに展示するとともに、当館のふれあい体験キットの他、生物標本やレプリカなどを展示し、沖縄の自然を学べるハンズオンコーナーを提供した。

（菊川）

## Ⅲ 教育普及活動

### 1　博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業、博物館が企画運営する文化講座、学芸員講座、体験学習教室、ボランティア養成等、大きく２つの事業に分け推進してきた。

運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が立案し事業の実施を指定管理者が行うことになっている。博物館が行う各種事業の中でも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた。

また昨年度に引き続き、すべての教育普及活動において「博物館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を踏まえて取り組んだ。

○県内学校団体の博物館来館目的（教科内容・自由学習など　※重複あり

| | 項　　目 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援 | 大学 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 下見（学習プログラム作成打合せ） | 24 | 0 | 0 | 1 | 0 | 25 |
| 2 | 民具体験（小学校３年社会科） | 25 | 0 | 0 | 1 | 0 | 26 |
| 3 | 教科（社会科、理科など） | 60 | 2 | 14 | 8 | 1 | 85 |
| 4 | 領域（道徳、特活、総学の時間） | 13 | 5 | 1 | 2 | 0 | 21 |
| 5 | 民俗ガイド（小規模校対応） | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 6 | 総合展示部門解説ガイド | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 7 | 修学旅行など | 35 | 4 | 0 | 2 | 0 | 41 |
| 8 | 博物館活用学習（自由見学） | 0 | 4 | 2 | 1 | 10 | 17 |
| 9 | その他 | 12 | 1 | 2 | 6 | 0 | 21 |
| | 合　　計 | 178 | 16 | 19 | 22 | 12 | 247 |

## ２　学校連携事業

学校連携事業は、各学校の計画による団体観覧の支援で、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援をおこなっている。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮して、学校と博物館が連携して博物館を利用する際の、学習プログラムを作成した。

また今年度の学校連携事業は、民具体験、出前授業、来館学習などの学習プログラムの充実を図るほか、離島地域における出前授業を推進した。

### （1）学校団体受入れ

９月頃から３月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために小学３年生が数多く来館する。この民具体験学習（民具体験学習プログラム・１、ボランティアサポートあり）では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることが出来る。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が続く現状において、民具体験学習等で不特定多数の児童が民具に触れることができなくなったため、学習活動の一部変更を行い、通常は博物館ボランティアサポートの下行う民具体験学習を、博物館の職員及び指定管理者で民具解説・実演を実施した。

また、教師主導による授業活用（民具体験学習プログラム・２）では、展示解説マニュアルを活用して、博物館常設展示室における展示資料、民具体験学習における授業の指導作成・進行についての指導等を事前に各学校個別行い、教職員の授業における博物館活用を支援する取り組みを推進した。

今年度、7校が職員による民具実演・解説を活用した民具体験学習プログラム・１を行った。また、教師主導による授業活用（民具体験学習プログラム・２）は17校が実施することができた。

### （2）出前授業等

博物館のもつ資源（もの情報、人）を出前授業等を通じて学校教育の場で有効に活用することを目標として、各種学校・施設・関係機関を対象に学芸員による出前授業プログラムを実施している。離島地域の出前

授業において、博物館の活動を知らなければ、有効に利用することができないと考え、今年度は、離島地域における出前授業の周知強化に取り組んだ。年度初めに「出前授業等」実施要項を各種学校・施設・関係機関へ配布、周知を強化する他、離島地域においては個別に広報をおこなった結果、小学校７校、中学校11校、高等学校４校、特別支援学校１校、その他団体２、合計25校で出前授業等を実施することができた。

### （3）来館学習プログラム

本取組については教育課程の一環として、博物館を学校側が利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設、職員、博物館学芸員の支援体制を考慮し館内で行う来館学習プログラム等を実施した。今年度は多様な来館学習の要望があったため、その他団体等についても考慮し、今年度の来館学習プログラムは、15団体、330人受け入れすることができた。　　　　　　　　　　　＊来館学習プログラム（令和４年度学校連携事業）

## ３　博物館体験学習教室

体験学習教室は沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野（自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗）の展示と関連する体験を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。

**体験学習教室実施一覧**

| 日時 | 内容 | 講師名 | 備　考 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 第１回講座<br>10月16日（日） | 「勾玉づくりにチャレンジ！」 | 山本　正昭 | 復帰50年展「琉球－美とその背景－」関連催事 | 10名 |
| 第２回講座<br>11月26日（土） | 「琉球古刺繍をやってみよう」 | 琉球古刺繍保存会 | 復帰50年展「琉球－美とその背景－」関連催事 | 15名 |

※(募集人数を少なく設定し実施)

## ４　博物館文化講座

文化講座では、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野について分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年から始まった事業である。講演、展示解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。

文化講座開催一覧

| 回　数<br>（延べ） | 期　日 | 演　題 | 講師名 | 定　員 | 参加<br>（視聴回数） |
|---|---|---|---|---|---|
| 537 | 4月26日（土） | 「復帰50年　失われた資料発掘のあゆみ」 | 納富　香織 | 140 | ﾘﾓｰﾄ講演<br>60 |
| 538 | 5月21日（土） | 「北海道有珠モシリ縄文人の生と死」 | 青野 友哉 | 140 | 84 |
| 539 | 6月18日（土） | 「ナイチャーの見た民俗50年」 | 古家　信平 | 140 | 88 |
| 540 | 7月31日（日） | 公開シンポジウム「遺跡から尚巴志の生きた時代を考える」 | 山里　昌次 、山本　正昭 、宮城　弘樹 | 140 | 126 |
| 541 | 8月21日（日） | 「沖縄・ウクライナ・琉球王国—35年におよぶ沖縄とのふれあいの中で」 | 金平　茂紀 | 140 | 106 |
| 542 | 9月18日（土） | 「ぼくの沖縄〈復帰後〉50年史」 | 新城　和博 | 140 | 75 |
| 543 | 10月15日（土） | 「琉球美術史への招待 —グスクの城壁から工芸品のデザインまで—」 | 上江洲　安亨 | 140 | 98 |
| 544 | 11月19日（土） | 「『おもろさうし』の世界」 | 波照間　永吉 | 140 | 121 |
| 545 | 12月17日（土） | 「沖縄の人と自然～50年の歩み～」 | 当山　昌直 | 140 | 84 |
| 546 | 1月21日（土） | 「博物館はもっと面白い」 | 森　　健人 | 140 | 23 |
| 547 | 2月18日（土） | 「サンゴ礁とハブ　意外な歴史関係」 | 井龍　康文 | 140 | 83 |
| 548 | 3月11日（土） | 「琉球の仏教彫刻－木彫刻を中心に」 | 長谷　洋一 | 140 | 70 |

※一部の文化講座においてはWEB配信やリモート配信で開催した

## 5　学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。

学芸員講座開催一覧

| 回 | 期日 | 演題 | 講師名 | 定員 | 参加 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4月9日（土） | 博物館バックヤードたんけん | 大城　久表 | 10 | 10 |
| 2 | 5月 14日（土） | 「国際博物館の日2022」記念事業<br>「復帰50年沖縄の想い」 | 外間　一先 | 60 | 56 |
| 3 | 6月11日（土） | フィールドツアー 港川人をたずねて | 山崎　真治 | 20 | 20 |
| 4 | 7月9日（土） | 琉球王国の三線<br>—知られざるべっ甲巻三線について— | 篠原 あかね | 60 | 37 |
| 5 | 8月 13日（土） | 「復帰50年特別展」の見どころ紹介 | 宮城　修 | 60 | 48 |
| 6 | 9月10日（土） | 遺跡からかいま見る　尚巴志の時代<br>ー尚巴志即位400年を記念してー | 山本　正昭 | 講堂140 | 109 |
| 7 | 10月8日（土） | フィールドツアー　身近なカタツムリたちをさがしに行こう！ | 菊川　章 | 20 | 17 |
| 8 | 11月12日（土） | 「琉球ー美とその背景ー」よもやま話 | 伊禮　拓郎 | 講堂140 | 86 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 12 月 10 日（土） | 「新収蔵の『向姓家譜』～和宇慶家と内間家～」 | 崎原　恭子 | 60 | 60 |
| 10 | 1 月 14 日（土） | フィールドツアー 石ころと地形、遺跡から紐解く 島の成り立ちと人間生活 | 宇佐美　賢<br>山本　正昭 | 15 | 14 |
| 11 | 2 月 11 日（土） | 「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展」にみる皇室と沖縄 | 大湾 ゆかり | 60 | 48 |
| 12 | 3 月 18 日（土） | 狩猟採集から農耕へ<br>ー古人骨から人類史の画期を探るー | 澤浦　亮平 | 60 | 69 |

※一部の学芸員講座においてはWEB配信やリモート配信、人数制限を行い実施した

（大城）

## 6　学芸員による常設展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介。参加者の内訳は、初めて参加するお客様のみならず年間パスポートや友の会会員、個人のリピーターの参加が定着している。各学芸員が１回ずつ担当した。

**学芸員による展示解説会開催一覧**　　（※人数制限を行い実施した）

| | 日　時 | 分　野 | 講　師　名 | 定　員 | 参　加 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ４月14日（木） | 教育普及 | 大城　久表 | 15 | 16 |
| 2 | ５月12日（木） | 人　　類 | 山崎　真治 | 15 | 13 |
| 3 | ６月９日（木） | 民　　俗 | 大湾　ゆかり | 15 | 15 |
| 4 | ７月14日（木） | 歴　　史 | 宮城　　修 | 15 | 15 |
| 5 | ８月10日（水） | 美術工芸 | 伊禮　拓郎 | 15 | 14 |
| 6 | ９月8日（木） | 地　　学 | 宇佐美　賢 | 15 | 15 |
| 7 | 10月13日（木） | 歴　　史 | 外間　一先 | 15 | 15 |
| 8 | 11月10日（木） | 美術工芸 | 篠原　あかね | 15 | 12 |
| 9 | 12月８日（木） | 歴　　史 | 崎原　恭子 | 15 | 12 |
| 10 | １月19日（木） | 人　　類 | 澤浦　亮平 | 15 | 13 |
| 11 | ２月９日（木） | 考　　古 | 山本　正昭 | 15 | 15 |
| 12 | ３月９日（木） | 生　　物 | 菊川　　章 | 15 | 12 |

## 7　学芸員によるバックヤードツアー

バックヤードツアーは、より専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務め、建物の構造やＩＰＭ（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）の取り組み、資料の修復について解説するなど、普段は入ることができない博物館の裏舞台を案内して、来館者に博物館の役割や使命を理解し、博物館についてより知ってもらう機会とした。

**学芸員によるバックヤードツアー開催一覧**

| | 日　時 | 分　野 | 講　師　名 | 定　員 | 参　加 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4月23日（土） | 美術工芸 | 伊禮　拓郎 | 10 | 8 |
| 2 | 5月28日（土） | 人類 | 山崎　真治 | | 10 |
| 3 | 6月25日（土） | 民俗 | 大湾　ゆかり | | 10 |
| 4 | 7月16日（土） | 歴史 | 崎原　恭子 | | 13 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 8月27日（土） | 地学 | 宇佐美　賢 | | 11 |
| 6 | 9月24日（土） | 考古 | 山本　正昭 | | 10 |
| 7 | 10月22日（土） | 生物 | 菊川　　章 | | 10 |
| 8 | 11月26日（土） | 歴史 | 外間　一先 | | 10 |
| 9 | 12月24日（土） | 歴史 | 宮城　修 | | 10 |
| 10 | 1月28日（土） | 人類 | 澤浦　亮平 | | 10 |
| 11 | 2月25日（土） | 美術工芸 | 篠原　あかね | | 8 |
| 12 | 3月25日（土） | 教育普及 | 大城　久表 | | 9 |
| | | | | | 122 |

（大濱）

## ８　夏休み！こどもフェスタ 2022　親子バスツアー（博物館学芸員教室）

通常、毎年行っている「夏休み！こどもフェスタ」を、復帰 50 年特別展関連催事の一環として、親子バスツアーを実施した。夏休み！博物館学芸員教室は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。復帰後 50 年を迎えた今、沖縄県の近現代史や自然、生活に関わる各所をめぐり、学芸員が親子を対象に沖縄の自然・歴史・文化と復帰について考え、郷土への興味・関心を高める場を提供するため「親子で知ろう！むかしのおきなわとこれからのおきなわバスツアー」を実施した。

『博物館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン』に沿って募集者人数の制限を行うなど、検温、消毒等対策を徹底し実施した。

**夏休み！博物館学芸員教室開催一覧**

| | |
|---|---|
| 【4 月 30 日（土）】<br>復帰 50 年特別展関連催事　　親子バスツアー①(博物館学芸員教室)<br>「親子で知ろう！むかしのおきなわとこれからのおきなわバスツアー」<br>場所：那覇市小禄周辺コース<br>①　がじゃんびら公園、 ②山下第一洞穴遺跡、③島田叡顕彰碑、④落平、⑤ 野球資料館、<br>⑥ 奥武山の地形、⑦世持神社、⑧奈良原繁銅像跡、⑨国場川、⑩ 若夏国体、⑪バスで浦添方面<br>案内：外間　一先【班長・歴史担当】、宮城修【歴史担当】、崎原恭子【歴史担当】、菊川章【生物担当】、宇佐美賢【地学担当】、澤浦亮平【人類担当】、大湾ゆかり【民俗担当】　合計７名 | 17 名 |
| 【7 月 23 日（土）】<br>復帰 50 年特別展関連催事　　親子バスツアー②(博物館学芸員教室)<br>「米軍基地と復帰に伴う開発と沖縄の自然・歴史・文化」<br>復帰 50 年の沖縄について親子で学ぼう。<br>場所：恩納村博物館周辺コース<br>①　車窓各所解説、②仲泊遺跡、③比屋根坂石畳 ④恩納村文化情報センター、⑤嘉手納道駅 、<br>⑥車窓各所解説<br>案内：外間一先【班長・歴史担当】　宮城修　【歴史担当】、菊川章　【生物担当】、 山崎真治【人類担当】山本正昭【考古担当】　 合計５名 | 18 名 |

※定　員： 各分野 10 名程度（事前申込制）

## ９　博物館ボランティア活動

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入しており、主に館内催事・学校連携事業全般における来館者サービスをサポートする人員として、また当施設のふれあい体験室での来館者サービスをサポートする人員として活動している。現在の総勢 54 名（休止を除く継続活動申請者）の博物館ボランティアが登録している。また、資料整理ボランティアは 27 名が登録している。

令和 4 年度、新型コロナウイルス感染拡大のために募集を中止していた第 9 期の新規ボランティアを 3 年ぶりに募集し、養成講座をおこない 5 名の博物館ボランティアの登録ができた。

（大城）

## １０　ふれあい体験室

### （1）ふれあい体験室の位置づけと目的

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている“おきなわ”との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せ持っている。さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

**（2）体験キットの位置づけ**

展示物（体験キット）は、沖縄の「自然のしくみ」と「先人の知恵」を触れる・見る・聞くなどの五感で体感できる操作や組立てなどの遊びを通じて、展示資料を深く学ぶことができる。体験キットは、教育普及資料して位置づけられるもので、沖縄の自然、考古、歴史、美術工芸及び民俗などの内容に基づき、すべてが触れることのできるものとする。

体験キットは、来館者が資料に触れあうことで目的が達成するものとして準備されている。来館者が自主的に触れることができるようにするために、職員や親子、一般の方々といった様々な人が参加する雰囲気作りを心がけていく。ふれあい体験室では、能動的に“沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」”を発見・再発見することができる展示を行う。

**（3）ふれあい体験室・体験キットの対象者**

基本的に小学校中学年（3年生以上）を対象とする。しかし、テーマに沿った展示手法の工夫により、幼児から就学年齢の子ども、または大人にとっても楽しめる空間創りを目指す。

**（4）体験キットの分類**

ふれあい体験室は、自由に体験キットを利用することを基本としている。しかし、体験キットによっては安全性や耐久性の面で使用時の注意や制限がかかるものもある。ふれあい体験室では、体験キットを分類し、配置されているゾーンによって、使用制限のランクを分けている。

**（5）利用者状況**

ふれあい体験室は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて約２年４カ月運営停止が続いていが、今年度秋頃から新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、国によるコロナ対策も緩和されたため、2022年11月９日よりようやく再開となった。

再開にあたり、県と指定管理との協議の上「ふれあい体験室の運営に関する感染症予防ガイドライン」を制定。これまでの運営方法から、開室時間、利用人数、利用時間などを変更し、一部制限を設けて開室した。また、利用者には感染予防対策としてマスク着用・手指の消毒を促し、安全に利用してもらえるよう心掛けた。11月９日から令和４年３月末までの約５ヶ月間で9,995人が来場した。

（新垣）

## １１　常設展に関する取り組み

**（1）博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用**

博物館常設展の見学の手助けとして、2011年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を継続して常設展入口のラックに設置した。2022年度は、約16,000枚を配布した。

**（2）博物館常設展示室ワークシート**

常設展示室内で学芸員が見てほしい資料を紹介するために2019年度から設置しているワークシートは、次のとおりで、2022年度も継続して常設展示室やイベント等で配布し多くの来館者が参加した。

「12匹のアタク（オキナワキノボリトカゲ）をさがせ！」（生物１）、「日本で唯一 飛べない鳥ヤンバルクイナのひみつ」（生物２）、「港川人を解析せよ」（人類１）、「よく見てサークルホールの化石」（地学１）、「石と友達になろう」（地学２）、「沖縄の魔除けをさがせ！」（民俗１）、「道具を探せ」（考古１）、「三線のひみつ」（美術工芸１）

実施期間：2022年４月１日（金）～ 2023年３月31日（金）

場　　所：博物館常設展示室

配 布 数：16,000枚（各2,000枚）　（大濱）

**（3）博物館・美術館連携事業「博物館・美術館で平和を考えるイベント」**

慰霊の日関連催事（博美連携催事）

2017年より、博物館・美術館連携事業として実施している慰霊の日関連催事。今年度は、博物館のパネル展示とエントランスにTVモニターを設置し、平和関連の絵本の読み聞かせ映像の上映、沖縄県立図書館協力のもと、戦争関連の書籍紹介も行った。また、６月18日（土）には、山川喜美子氏を読み手に迎え、絵本の読み聞かせを行った。

展示期間：５月31日（火）～ ６月26日（日）

読み聞かせ：６月18日（土）

読み手：山川喜美子氏（沖縄地域児童文庫連絡協議会 事務局長）　（保久村）

## １２　教育普及資料の活用

2022 年度教育普及資料の活用について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部使用方法の制限を設け貸出を行った。また、教育普及資料である体験キット・けんぱくキットにおいて、貸出可能なリーフレットを各学校へ配布した。貸出団体は８件であった。

### （1）教育普及資料貸出一覧

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一部使用方法の制限を設け貸出を実施。

| | 利用者 | 資料名 | 利用目的 | 貸出期間 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 沖縄県立美咲特別支援学校 | けんぱくキット「むかしむん」<br>けんぱくキット「骨スーツ」 | 平和月間 | 6/8～6/14 |
| 2 | 沖縄県立森川特別支援学校 | けんぱくキット「むかしむん」 | 平和月間 | 6/16～6/22 |
| 3 | 那覇市立真地小学校 | けんぱくキット「むかしむん」 | 社会科授業 | 10/15～10/21 |
| 4 | 那覇市立真嘉比小学校 | 民具 | 社会科授業 | 1/6~1/13 |
| 5 | 那覇市立高良小学校 | 民具 | 社会科授業 | 1/20～1/27 |
| 6 | 那覇市立城西小学校 | 民具 | 社会科授業 | 2/6～2/13 |
| 7 | 那覇市立大道小学校 | 民具 | 社会科授業 | 2/6～2/13 |
| 8 | ガジマル保育園 | けんぱくキット「豆腐作りキット」 | ゆし豆腐作り | 2/13～2/17 |

## １３　ボランティアによる展示ガイド

博物館ボランティアの活動の一つに展示解説ガイドがある。これは、来館者へのサービス向上の一環として、博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」でボランティアがわかりやすく解説することを目指している。民俗部門展示では、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）の子どもたちを対象に解説ガイドを実施している。今年度は、ガイドボランティアの活動が休止していたこともあり、新たにCコースを創設し、指定管理者のスタッフによる「沖縄の歴史を知る10分ガイド」を13団体682名に実施した。総合展示部門のガイドの活動が再開した暁には、ボランティアが実施できるよう整える予定である。

### （1）民俗部門解説ガイド（少人数離島校対応）実施状況

| | 利用区分 | 地域 | 日付 | 団体名 | 対象 | 人数 | ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 修学旅行 | 沖縄県 | 6 月 14 日(火) | オキナワインターナショナルスクール | 学生 | 20 | 5 |
| 2 | 修学旅行 | 沖縄県 | 10 月 7 日(金) | 与那国町立与那国小学校 | 学生 | 13 | 6 |
| 3 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11 月 2 日(水) | 石垣市立宮良小学校 | 学生 | 19 | 6 |
| 4 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11 月 17 日(木) | 南城市立久高小学校 | 学生 | 4 | 4 |
| 5 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11 月 18 日(金) | 南大東村立南大東小学校 | 学生 | 18 | 6 |
| 6 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11 月 18 日(金) | 座間味村立阿嘉小学校 | 学生 | 4 | 2 |
| 7 | 修学旅行 | 沖縄県 | 11 月 25 日(金) | 沖縄市立中の町小学校 | 学生 | 58 | 9 |
| 8 | 修学旅行 | 沖縄県 | 12 月 7 日(水) | 南城市立百名小学校 | 学生 | 23 | 6 |
| 9 | 修学旅行 | 沖縄県 | 12 月 9 日(金) | 渡嘉敷村立阿波連小学校 | 学生 | 5 | 4 |
| 合計 | | | | | | 164 | 48 |

### （2）総合展示部門解説ガイド

| | 利用区分 | 地域 | 日付 | 団体名 | 対象 | 人数 | ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 研　　修 | 沖縄県 | 7 月 12 日(火) | 真和志第二民生委員<br>児童委員協議会 | 一般 | 15 | 1 |
| 2 | 研　　修 | 沖縄県 | 7 月 14 日(木) | 沖縄高等特別支援学校 | 学生 | 50 | 1 |
| 3 | 研　　修 | 沖縄県 | 7 月 22 日(金) | 嘉手納町立外語塾 | 学生 | 21 | 1 |
| 4 | 修学旅行 | 京都府 | 8 月 31 日(水) | 立命館宇治高等学校 | 学生 | 58 | 1 |
| 5 | 研　　修 | 東京都 | 10 月 16 日(日) | ジューテック一番会 | 一般 | 29 | 1 |
| 6 | 研　　修 | 福岡県 | 12 月 1 日（木) | 日本テクノ株式会社 | 一般 | 21 | 2 |
| 7 | 修学旅行 | 埼玉県 | 12 月 4 日（日) | 埼玉県立越ヶ谷高等学校 | 学生 | 324 | 3 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 修学旅行 | 大分県 | 12 月 13 日（火） | 大分県立上野丘高等学校 | 学生 | 60 | 2 |
| 9 | 研　修 | 沖縄県 | 12 月 23 日（金） | サイ・テク・カレッジ那覇 | 学生 | 18 | 1 |
| 10 | 研　修 | タイ | ２月７日（火） | レキオウィングスタイの研修生 | 研修生 | 12 | 1 |
| 11 | 研　修 | 沖縄県 | ２月 21 日（火） | 長田区なかよし会 | 一般 | 35 | 1 |
| 12 | 研　修 | 東京都 | ３月９日（木） | 日本テクノ株式会社 | 一般 | 19 | 2 |
| 13 | 研　修 | 沖縄県 | ３月 31 日（金） | 沖縄市越来自治会 | 一般 | 20 | 1 |
| 合計 | | | | | | 682 | 18 |

（大城）

# Ⅳ 資料の収集・保存管理

## 1 収蔵資料現在高

| 分類 | | 購入 | 寄贈 | 収集 | 移管 | 分担管理 | 小計 | 総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自然史 | 地学 | 683 | 27,936 | 3,086 | 1 | 0 | 31,706 | 57,330 |
| | 動物 | 1,542 | 18,811 | 523 | 141 | 0 | 21,017 | |
| | 植物 | 41 | 4,563 | 0 | 0 | 0 | 4,604 | |
| | 菌類 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 人類資料 | | 93 | 30 | 6 | 0 | 2 | 131 | 131 |
| 美術工芸 | 絵画 | 104 | 589 | 2 | 4 | 0 | 699 | 11,024 |
| | 書跡 | 180 | 499 | 49 | 6 | 0 | 734 | |
| | 彫刻 | 13 | 115 | 136 | 7 | 0 | 271 | |
| | 陶磁器 | 639 | 3,536 | 466 | 538 | 0 | 5,179 | |
| | 漆器 | 240 | 370 | 195 | 19 | 0 | 824 | |
| | 染織 | 1,304 | 1,827 | 51 | 27 | 0 | 3,209 | |
| | その他 | 15 | 93 | 0 | 0 | 0 | 108 | |
| 歴史資料 | | 2,934 | 10,584 | 693 | 470 | 0 | 14,681 | 14,681 |
| 考古資料 | | 299 | 6,651 | 2,820 | 1 | 0 | 9,771 | 9,771 |
| 民俗資料 | | 598 | 6,103 | 1,072 | 178 | 0 | 7,951 | 7,951 |
| 総計 | | 8,688 | 81,707 | 9,099 | 1,392 | 2 | 100,888 | 100,888 |

## 2 2022年度（令和４）新収蔵資料高

| 分類 | | 購入 | 寄贈 | 収集 | 移管 | 小計 | 総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自然史 | 地学 | 3 | 10 | 10 | 0 | 23 | 30 |
| | 動物 | 6 | 0 | 0 | 0 | 6 | |
| | 植物 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 菌類 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 人類資料 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 美術工芸 | 絵画 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 20 |
| | 書跡 | 0 | 9 | 0 | 0 | 9 | |
| | 彫刻 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 陶磁器 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | 漆器 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | 染織 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 | |
| | その他 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| 歴史資料 | | 2 | 151 | 0 | 0 | 153 | 153 |
| 考古資料 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 民俗資料 | | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| 総計 | | 15 | 184 | 10 | 0 | 209 | 209 |

## 3　2022年度（令和４）新収蔵資料目録

【購　入】

| 分　類 | | 資　料　名 | 数量 | 提供者・所在地 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 自然史 | 地学 | ディッキンソニア（化石） | 1 | ふぉっしる | 埼玉県 |
| | | 始祖鳥化石レプリカ（頭骨） | 1 | ふぉっしる | 埼玉県 |
| | | ディプロカウルス化石レプリカ（頭骨） | 1 | ふぉっしる | 埼玉県 |
| | 生物 | キノボリトカゲレプリカ | 1 | 株式会社 西尾製作所 | 京都府 |
| | | ハロウェルアマガエル | 1 | カエル工房 | 鳥取県 |
| | | ツミ本剥製 | 1 | 浜口標本 | 大阪府 |
| | | シロハラ本剥製 | 1 | 浜口標本 | 大阪府 |
| | | ズグロミゾゴイ仮剥製 | 1 | 浜口標本 | 大阪府 |
| | | オキナワギク封入標本 | 1 | 国陽工芸株式会社<br>素材提供：沖縄美ら島財団 | 東京都 |
| | | サキシマハブ封入標本 | 1 | 国陽工芸株式会社 | 東京都 |
| 美術工芸 | 漆器 | 朱漆牡丹唐草繋沈金御供飯 | 1 | 株式会社 小西大閑堂 | 東京都 |
| | | 朱漆獅子牡丹沈金食籠 | 1 | 古美術 観宝堂 | 那覇市 |
| 歴　史 | | 琉球中山王来朝 | 1 | （有）榕樹書林 | 宜野湾市 |
| | | 弓張月振分双六 | 1 | （有）榕樹書林 | 宜野湾市 |
| 考　古 | | 首里城跡正殿地区発掘調査ジオラマ模型 | 1 | 株式会社 パスコ沖縄 | 那覇市 |

【寄　贈】

| 分　類 | | 資　料　名 | 数量 | 提供者・所在地 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 自然史 | 地学 | 方解石（伊良部島元牧山鉱山産） | 1 | 安谷屋 昭 | 宮古島市 |
| | | 火山豆石凝灰岩（沖縄島南部産） | 2 | 我謝 昌一 | 那覇市 |
| | | 石灰岩と安山岩の境界部（名護市安和産） | 2 | 株式会社 山城砕石鉱業<br>代表取締役　山城 正訓 | 名護市 |
| | | 珪長質火山岩（渡名喜砥石、渡名喜島産） | 2 | 上原 行雄・比嘉 功 | 渡名喜村 |
| | | 石灰岩（国頭村宜名真産） | 1 | 株式会社 南都 大石林山<br>沖縄石の文化博物館<br>館長　大城 宗直 | 国頭村 |
| | | 凝灰角礫岩（野底層産）（石垣市桃里大野産） | 2 | 児玉 正和 | 東京都 |
| 美術工芸 | 絵画 | 肥後芸谷筆　中山楽童子図 | 1 | 池宮 正治 | 西原町 |
| | | 山田真山筆　厳頭観音図 | 1 | 池宮 正治 | 西原町 |
| | 書跡 | 扁額「几舄堂」 | 1 | 針生　歩 | 北海道 |
| | | 石扇（島袋光裕）筆　色紙「梅花」 | 1 | 安里 直子 | 八重瀬町 |
| | | 石扇（島袋光裕）筆　色紙「紫風」 | 1 | 安里 直子 | 八重瀬町 |
| | | 石扇（島袋光裕）筆　色紙「伊野波節」 | 1 | 安里 直子 | 八重瀬町 |
| | | 鄭嘉訓（古波蔵爾方）筆　行楷書五言絶句軸 | 1 | 池宮 正治 | 西原町 |
| | | 向邦棟（真壁里之子朝賀）筆　行書五言二句軸 | 1 | 池宮 正治 | 西原町 |
| | | 八田知紀筆　和歌松画軸 | 1 | 池宮 正治 | 西原町 |
| | | 石扇（島袋光裕）筆　琉歌並びに楷書五言絶句軸 | 1 | 池宮 正治 | 西原町 |
| | | 性空（秋爽法師）筆　行書七言絶句軸「楓橋夜泊」 | 1 | 池宮 正治 | 西原町 |
| | 陶磁器 | 貼付芭蕉蘇鉄文徳利 | 1 | 上村 悦子 | 埼玉県 |
| | 染織 | 茶地龍瑞雲立波文様繻珍帯 | 1 | 伊久見 由紀子 | 東京都 |
| | | 芭蕉縦縞着物 | 1 | 比嘉 政子 | 浦添市 |
| | | 芭蕉縦縞着物 | 1 | 比嘉 政子 | 浦添市 |
| | | 紺地牡丹模様紅型風呂敷 | 1 | 真境名 由苗 | 米国ﾊﾜｲ |
| | | 紺地松竹梅模様紅型風呂敷 | 1 | 真境名 由苗 | 米国ﾊﾜｲ |
| | その他 | 三線　直富主の真壁型　附胴<br>胴銘「道乙酉　渡慶次作」 | 1 | 島岡 稔 | 神奈川県 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 歴　史 | 元姓家譜（知念家） | 1 | 金城　清子 | 那覇市 |
| | 戸籍謄本（知念家） | 1 | 金城　清子 | 那覇市 |
| | 『校訂おもろさうし』 | 3 | 池宮　正治 | 西原町 |
| | 首里城雲形飾瓦 | 1 | 池宮　正治 | 西原町 |
| | 日本円とドルの引換証 | 1 | 早瀬　絹枝 | 那覇市 |
| | 琉球切手の使用最終日に出された手紙・封筒 | 2 | 早瀬　絹枝 | 那覇市 |
| | 琉球切手に付属するパンフレット | 6 | 早瀬　絹枝 | 那覇市 |
| | スカーフ（PEACE 和平 WORLD CONGRES S<br>FOR DIAARMAMENT AND PEACE<br>MOSCOW 1962） | 1 | 中澤　とも子 | 糸満市 |
| | 法被（原水爆禁止大牟田市協議会/第七回原水爆禁止国民大行進） | 1 | 中澤　とも子 | 糸満市 |
| | クバ笠（沖縄返還国民大行進） | 1 | 中澤　とも子 | 糸満市 |
| | 若夏国体開会式衣裳 | 1 | 桑江　弘子 | 那覇市 |
| | 沖縄武徳殿開殿式関係資料 | 14 | まるふじ文庫<br>代表　佐藤 茂 | 北海道 |
| | 織物（首里高校からの返礼品） | 1 | 多治川　玲子 | 大阪府 |
| | WEEKLY OKINAWA TIMES 新聞集 | 1 | 豊里　哲充 | 宜野湾市 |
| | 「沖縄1935」画像 | 102 | 株式会社 朝日新聞社<br>西部本社 | 福岡県 |
| | 『近事評論』 | 2 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 『第一回 奉使琉球始末』 | 1 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 『琉球処分』 | 1 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 『琉球処分提綱』 | 1 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 堺県文書 | 1 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 『日本地誌略』 | 4 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 『巻五 南海 西海 琉球 南海道全図』 | 1 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 琉球諸島全図 | 1 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 沖縄県公有林野官行造林予定位置図 | 1 | 上原　実 | 糸満市 |
| | 『稿本 沖縄実況』 | 1 | 上原　実 | 糸満市 |
| 民　俗 | 位牌 | 1 | 具志　知道 | 那覇市 |
| | 石獅子 | 1 | 門上　浩慈 | 東京都 |
| | サバニの模型 | 1 | 青山　武次 | 東京都 |
| | キジ車（バッタの木製玩具 | 1 | レイ　ペイン | 北中城村 |
| | 西表島祖納の祭祀　動画と写真DVD | 1 | 当山　昌直 | 那覇市 |

【収　集】

| 分　類 | | 資　料　名 | 数量 | 提供者・所在地 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 自然史 | 地学 | 結晶質石灰岩（大理石） | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | ざくろ石（スカルン） | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | 磁鉄鉱（スカルン） | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | 閃緑岩 | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | 閃緑岩 | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | アプライト | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | 凝灰角礫岩 | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | 珪長質火山岩 | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | 石灰岩 | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |
| | | 珪長質火山岩 | 1 | 宇佐美 賢・谷 健一郎 | 渡名喜村 |

## 4　所蔵指定文化財

**【国指定文化財（重要文化財）】**　　2023年３月31日　現在

| 種　別 | 名　　称 | | 員 数 | 指定年月日 | 所有者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 工芸品 | 銅鐘（旧首里城正殿鐘） | | １口 | 昭53. ６.15 | 沖縄県 |
| | 梵鐘（旧円覚寺殿前鐘・旧円覚寺殿中鐘・旧円覚寺楼鐘） | | ３口 | 〃 | 〃 |
| 典　籍 | おもろさうし | | 22冊 | 昭48. ６. ６ | 〃 |
| | 混効験集 | | ２冊 | 〃 | 〃 |
| | 中山世鑑 | | ６冊 | 令２. ９. 30 | 〃 |
| | 蔡鐸本　中山世譜 | | ７冊 | 令２. ９. 30 | 〃 |
| | 蔡温本　中山世譜 | | 12冊 | 令２. ９. 30 | 〃 |
| 古文書 | 琉球国時代石碑 | 安国山樹華木之記 | 22基 | 令元. ７. 23 | 〃 |
| | | 官松嶺記 | | | |
| | | 円覚禅寺記 | | | |
| | | 国王頌徳碑 | | | |
| | | 真珠湊碑文 | | | |
| | | 崇元寺下馬碑　西 | | | |
| | | 一翁寧公之碑 | | | |
| | | ようとれのひのもん・極楽山碑文 | | | |
| | | 壷川松尾墓碑 | | | |
| | | 板敷橋記 | | | |
| | | 勢理客橋碑 | | | |
| | | 新濬那覇港碑文 | | | |
| | | 琉球新建儒学碑記 | | | |
| | | 琉球国創建天尊廟天后宮竜王殿関帝祠総記 | | | |
| | | 板良敷村墓碑 | | | |
| | | 龍潭浚渫碑 | | | |
| | | 重修天女橋碑記 | | | |
| | | 改造池城橋碑文 | | | |
| | | 梵字碑 | | | |
| | | 首里新建聖廟碑文 | | | |
| | | 竜樋石額（飛泉漱玉） | | | |
| | | 竜樋之碑（霊脈流芬） | | | |
| 歴史資料 | 明孝宗勅諭　琉球国中山王尚真宛 | | １巻 | 平11. ６. ７ | 〃 |
| | 間切図 | 島尻南（兼城間切・高嶺間切・真壁間切・喜屋武間切・摩文仁間切・具志頭間切・東風平間切） | ７枚 | 平28. ８. 17 | 〃 |
| | | 島尻東（玉城間切・知念間切・佐敷間切・大里間切） | | | |
| | | 町方・島尻西（首里・泊・久米・那覇・南風原間切・真和志間切・小禄間切・豊見城間切） | | | |
| | | 中頭南（西原間切・浦添間切・宜野湾間切・中城間切） | | | |
| | | 中頭中（北谷間切・越来間切） | | | |
| | | 国頭（国頭間切　西） | | | |
| | | 離れ（伊平屋島） | | | |

**【県指定文化財（有形文化財）】**　　2023年３月31日　現在

| 種　別 | 名　　称 | 員　数 | 指定年月日 | 所有者 |
|---|---|---|---|---|
| 絵　画 | 絹本着色花鳥図殷元良筆 | １幅 | 昭54．４．９ | 沖縄県 |
| | 紙本着色雪中雉子の図殷元良筆 | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 紙本墨画竹の図殷元良筆 | 〃 | 昭57．３．４ | 〃 |
| | 紙本着色奉使琉球図 | １巻 | 昭57．３．４ | 〃 |
| | 紙本着色冊封使行列図 | １巻 | 平15．７．11 | 〃 |
| 彫　刻 | 木彫円覚寺白象並びに趣意書木札 | １躯１枚 | 昭31．12．14 | 〃 |
| | 世持橋勾欄羽目 | １括 | 〃 | 〃 |
| | 旧円覚寺関係木彫資料 | 35点 | 平15．７．11 | 〃 |
| 工芸品 | 黒塗螺鈿遊雁絵大文庫 | １合 | 昭31．12．14 | 〃 |
| | 黒塗堆錦山水絵大文庫 | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀 | ３口 | 〃 | 〃 |
| | 聞得大君御殿雲龍黄金簪 | １本 | 〃 | 〃 |
| | 三線江戸与那 | １丁 | 〃 | 〃 |
| | 枝梅竹文赤絵碗 | １口 | 昭54．９．３ | 〃 |
| | 線彫染付魚文皿 | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 色象嵌粟絵菊花皿 | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 象嵌色差面取抱瓶 | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 梵鐘（旧霊応寺鐘） | 〃 | 昭60．６．18 | 〃 |
| | 梵鐘（旧普門禅寺鐘） | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 梵鐘（旧天竜精舎鐘） | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 銅鐘（旧天尊殿鐘） | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 銅鐘（旧天妃宮鐘） | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 銅鐘（旧一品権現鐘） | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 梵鐘　旧大安禅寺鐘（一名　護国寺の鐘） | 〃 | 昭63．１．12 | 〃 |
| | 梵鐘（旧永福寺鐘） | １口 | 平２．２．６ | 〃 |
| | 黒漆山水楼閣人物螺鈿机 | １基 | 〃 | 〃 |
| | 白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆 | １枚 | 〃 | 〃 |
| | 朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆 | １合 | 〃 | 〃 |
| | 黒漆薔薇堆錦軸盆 | １枚 | 〃 | 〃 |
| | 朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯 | １合 | 〃 | 〃 |
| 工芸品 | 三線盛嶋開鐘附胴 | １丁 | 平６．３．15 | 〃 |
| | 三線真壁型銘西平 | １丁 | 平６．３．15 | 〃 |
| | 三線与那城型銘玉城與那 | １丁 | 平６．３．15 | 〃 |
| 書　跡 | 程順則の書 | １巻 | 昭42．４．11 | 〃 |
| | 扁額徳高　鄭元偉書 | １面 | 平元．９．29 | 〃 |
| | 扁額凌雲　林麟焻書 | １面 | 〃 | 〃 |
| 古文書 | 宮古島下地の首里大屋子への辞令書 | １幅 | 昭31．12．14 | 〃 |
| | 伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書 | １通 | 昭53．４．１ | 〃 |
| | 羽地間切の屋我のろへの辞令書 | １幅 | 昭56．３．30 | 〃 |
| 歴史資料 | 銅鐘残欠（旧波上宮朝鮮鐘） | １点 | 昭60．６．18 | 〃 |

## ５ 修理事業

### （１）収蔵品修理事業

琉球王国時代の美術資料のなかには類例がない資料が多くある。資料は適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存しているが、経年による変化で修復が必要な状態になっているものが多くある。当館では、限られた予算の範囲で沖縄の歴史・文化史上重要な資料の修理事を実施している。令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い予算減額されたが、展示公開の頻度や展示効果の高さを考慮して優先順位をつけて資料を選定・修理を実施した。

【予算執行額】1，037，362円

【事業内容】

修理件数：3件12点

① 美術工芸（漆器） 黒漆山水楼閣人物螺鈿印籠（1件1点） 修理担当：琉球漆工藝舎

② 美術工芸（漆器） 朱漆山水楼閣人物沈金丸皿（1件10点） 修理担当：琉球漆工藝舎

③ 美術工芸（拓本） 玉陵碑（模造復元品）拓本（1件1点） 修理担当：石川堂

【修理内容】

① 塗膜や螺鈿の剥離・剥落等が確認されたため塗膜押さえや貝の接着などの処置を行った。

② 木地構造に沿った亀裂や経年の汚れが確認されたため木地・塗膜の安定化処置とクリーニングを行った。

③ 採拓後まくりの状態にあったため、表具を新調し展示活用できる状態にした。

黒漆山水楼閣人物螺鈿印籠

朱漆山水楼閣人物沈金丸皿

（伊禮）

### ⑵重要文化財保存管理（修理修復）事業

事業概要：当館が所蔵する重要文化財の内、令和２年に国の重要文化財に指定された「中山世鑑 蔡鐸本中山世譜 蔡温本中山世譜」（３種類合計25冊）を文化庁の補助事業を活用して修理し、適切な保存管理を図るとともに、将来的な保存及び公開活用等によって県の文化振興に寄与することを目的とする。

修理対象資料：本年度は、中山世鑑５冊、蔡鐸本中山世譜１冊の合計６冊の修理を実施した。

修理事業者：石川堂（代表 當間巧）

修理前の状態：

沖縄戦時中に米国に持ち出され、1953年に返還、1973～74年に実施された修理だけでは十分とは言えず、本紙の虫損は比較的少ないものの部分的な大きな破れやシミ汚れ、見返しの亀裂・しわ等が発生していた。本書が令和２年に重要文化財に指定されたことをきっかけに、文化庁より修理の補助を受けながら再修理を実施。

修理内容：

- 本紙のシミや汚れを除去するため、ろ過水や吸水紙を使用したウエットクリーニングを行った。
- 繊維組成試験の結果をもとに、本紙は青檀繊維の「宣紙」、見返しと外題は青檀繊維主体の三椏繊維の混合紙をそれぞれ選定した。また、見返しと外題の補修紙は、天然染料（矢車）で違和感の無い程度に染色したものを用いた。
- 装丁の表紙や裏表紙、見返し、外題は補修を施して元の素材を使用した。表紙と裏表紙の裂地は、旧裏打ち紙の除去後、欠損カ所を補修し、新たに裏打ちを施した。また、見返しや外題も旧補修紙や部分的な裏打ち紙を除去し、亀裂・折れ・破損カ所の補修後、修理後の表紙裂の厚みや強度、長期的な展示と保存を考慮し、新たに裏打ちを施した。

（崎原）

## ６ 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作（生物資料）

資料収集･保存は、博物館の大きな役割のひとつである。本事業は、県立の博物館施設として、沖縄県に現存する貴重な動植物を剥製やレプリカにして保存することで、その役割の一部を、継続的かつ半永久的に果たしてゆくことを目的としている。本館所蔵のレプリカ・剥製の数、種類は未だ十分とは言えず、今後も展示や研究を

視野に入れながら、少しずつ増やしてゆくことが望まれる。

剥製製作予定の標本は、多くが交通事故死等により滅失したものを、拾得者が本館へ寄贈してくれたものである。遺体は剥製にするまで冷凍室で保存している。現在、冷凍室には数百の標本が保管されているため、状態の良い物や保存価値のあるもの（希少性の高いもの）から順に、剥製（またはレプリカ）として再生してゆく。

令和４年度は、以下の動植物についてレプリカ及び封入標本を委託製作した。

| 名　　称 | 提　　供 | 委託製作 |
|---|---|---|
| ツミ本剥製 | | 浜口標本 |
| シロハラ本剥製 | | 浜口標本 |
| ズグロミゾゴイ仮剥製 | | 浜口標本 |
| サキシマハブ封入標本 | | 国陽工芸株式会社 |
| オキナワギク封入標本 | 沖縄美ら島財団総合研究センター | 国陽工芸株式会社 |
| かたつむりリアルフィギュア１６点 | | 立体造形　八月社 |

（菊川）

## ７ 資料収集事業

### （1）資料収集

資料収集事業は文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示等において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。

令和４年度は、「琉球中山王来朝」「弓張月振分双六」の２件を（有）榕樹書林より購入した。

「琉球中山王来朝」は、第二尚氏王統 18 代目の琉球国王である尚育の即位のため、1832（天保３）年に江戸の徳川将軍へ派遣された琉球使節団を示した行列図の瓦版である。彼らは 1832（天保３）年９月１日に鹿児島を出発した使節団で、先頭付近で路次楽を奏でながら、正使や副使の乗物、騎乗の三（賛）儀官や楽童子達６人らが続いている。下段には琉球使節団に付き添う薩摩藩の御家老ら藩士の名前が連ねられ、版元は薩摩鹿児嶋下町の青雲堂と記されている。1832（天保３）年は、琉球ブームともいわれるように多くの印刷物が刊行されたが、薩摩で刊行された琉球使節団の瓦版はあまり例がない。鹿児島を出立し、これから江戸へ向かう使節団の様子を示すとともに、瓦版となった行列図の種類を示すものある。

「弓張月振分双六」は、江戸時代後期の戯作者である曲亭（滝沢）馬琴が執筆した『椿説弓張月』(1807～1811年刊行）を題材とした双六である。『椿説弓張月』は源為朝を主人公として九州平定・伊豆の統治から琉球渡りを描いた武勇伝であり、馬琴の代表作である。本双六には物語に出てくる様々な場面が登場し、中には琉球の登場人物（尚寧王、中婦君、利勇、王女）が描かれた場面も含まれている。絵は浮世絵師の梅蝶楼国貞（のちの四代目歌川豊国）が手がけている。琉球が舞台の一つとなった当時の作品が双六にアレンジされるほど人気を集めたことを示すものある。

これらの資料は、いずれも当館で所蔵していなかったため、今後の調査研究や展示活動等で活用したい。

琉球中山王来朝

弓張月振分双六

（崎原）

### （2）博物館資料購入基金

【事業概要】

当館の収蔵品は、沖縄の歴史・文化を後世に伝える貴重な資料である。特に先の大戦で戦火を免れた琉球王国

時代の資料は現存数が少ないことに加え、文化的・歴史的に非常に価値が高い。当館ではこのような資料を収集し、常設展や企画展において展示公開の機会を設けることにより、沖縄県の文化振興に寄与するとともに県民の学びの場を提供し、豊かな沖縄の創造をめざしている。

資料収集活動の一つである沖縄県美術品等取得基金（以下「基金」という）は、貴重な資料を購入し、琉球・沖縄ゆかりの資料を県外または国外に流失させないことを目的の一つとしている。当館では、調査研究や展示の充実を図るために、沖縄の歴史・文化の豊かさを表す資料を基金により継続的に収集している。なお収集にあたって外部の有識者で構成する収集委員会を設置し、意見を求めて購入の可否を判断している。

本年度は、琉球王国時代に製作された漆器を収集する方針で、令和５年２月９日に収集委員会を開催した。審査の結果、古琉球時代に作られた「朱漆牡丹唐草沈金御供飯」と、類例がない珍しい器形である「朱漆獅子牡丹沈金食籠」の購入が決まり、漆器２件を基金によって購入した。

朱漆牡丹唐草沈金御供飯

朱漆獅子牡丹沈金食籠

（篠原）

## ８ 資料貸出

〇事業名：久米島博物館常設展示の一部リニューアル
　主　催：久米島博物館
　会　場：久米島博物館常設展示室
　貸出期間：2022年４月１日～２023年３月31日
　貸出資料：体験キット・貝匙２点

〇事 業 名：復帰50年記念特別展「琉球」
　会　　場：東京国立博物館・九州国立博物館
　貸出期間：2022年3月17日(木)～2022年10月5日(水)
　貸出資料：旧首里城正殿鐘、聞得大君御殿雲龍黄金簪ほか96件

〇事 業 名：那覇市にかかわる貴重資料寄贈に対する感謝状の贈呈
　主　　催：那覇市経済観光部観光課
　会　　場：金沢市役所会議室
　貸出期間：2022年５月25日～６月10日
　貸出資料：今英男氏に関する展示パネル 計２件

〇事 業 名：国立民族学企画展「海のくらしアート展ーモノからみる東南アジアとオセアニア」
　主　　催：国立民族学企画展示場
　貸出期間：2022年６月６日(月)～12月23日(金)
　貸出資料：蝶型骨器１点、ヤコウガイ製の貝匙レプリカ１点

〇事 業 名：小中一貫教育　授業研究会（公開授業）
　貸 出 先：那覇市立松島中学校
　貸出期間：2022年６月７日～６月10日
　貸出資料：ホントウアカヒゲ（レプリカ）、ノグチゲラ（レプリカ）、ヤンバルクイナ成鳥（剥製）、ヤンバルクイナひな（剥製）、オキナワトゲネズミ（剥製）、ケナガネズミ（剥製）、リュウキュウヤマガメ（剥製）、ホルストガエル（レプリカ）、ナミエガエル（レプリカ）、シリケンイモリ（レプリカ）、ヤンバルテナガコガネ（乾燥標本）

〇事 業 名：復帰50周年記念事業令和４年度国立沖縄自然史博物館誘致企画展
　主　　催：沖縄県環境部自然保護課
　貸出期間：2022年７月８日～2023年１月10日
　貸出資料：カワセミ（剥製・飛翔型）、カワセミ（剥製・静止型）、トラフズク（剥製）、モルフォチョウ（乾燥標本）、タイワンサザナミスズメ（乾燥標本）、シュリマイマイ（リアルフィギュア）、ハチの巣（乾燥標本）、擬態昆虫ジオラマ（３セット）、コンプソグナトゥス（化石レプリカ）、ヤンバルクイナ（骨格標本）、トビウオ（剥製）、カグラコウモリ（剥製）、アマツバメ（剥製）

○事 業 名：黎明館企画特別展「茶の湯と薩摩」
主　　催：令和４年度黎明館企画特別展実行委員会
会　　場：鹿児島県歴史・美術センター黎明館　第２特別展示室
貸出期間：2022年８月30日～11月18日
貸出資料：蔡温本中山世譜、首里那覇鳥瞰図、琉球中山王使者登城行列図、琉球人舞楽絵巻物　他
計17件
○事 業 名：文化審議会第一専門調査会、新指定展
主　　催：文化庁文化財第一課
会　　場：東京国立博物館文化庁分室、平成館
貸出期間：2022年９月８日～2023年３月８日
貸出資料：宮古島下地の首里大屋子への辞令書、伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書　他　計５件
○事 業 名：令和４年度第２期常設展「沖縄本土復帰50周年 世替わり琉球漆器」
会　　場：浦添市美術館
貸出期間：2022年10月5日(火)～2023年1月25日(水)
貸出資料：朱漆巴紋牡丹唐草沈金御供飯（模造復元品）、朱漆巴紋牡丹唐草沈金御供飯模造復元工程パネル
○事 業 名：令和４年度企画展「近代沖縄の染織～貢納布から特産品へ～」
会　　場：那覇市歴史博物館
貸出期間：2022年10月６日～12月28日
貸出資料：水色地紅型着物、緑色地絹絣着物ほか５件
○事 業 名：「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島　世界自然遺産展」
主　　催：（一財）沖縄美ら島財団、世界自然遺産推進共同企業体
場　　所：沖縄県立博物館・美術館　県民ギャラリー１、２、３
貸出期間：2023年２月27日～3月20日
貸出資料：カモシカ（剥製）、エゾシカ（剥製）、アマミノクロウサギ（剥製）、アマミヤマシギ（剥製）、ケナガネズミ（剥製）、オキナワトゲネズミ（剥製）、オキナワイシカワガエル（レプリカ）、ケラマトカゲモドキ（レプリカ）、ヤンバルテナガコガネ（乾燥標本）、イボイモリ（レプリカ）、ヤンバルクイナ（剥製）、ノグチゲラ（剥製）、イリオモテヤマネコ（剥製）、イワサキセダカヘビ（レプリカ）、リュウキュウヤマガメとセマルハコガメの交雑個体（剥製）、リュウキュウヤマガメ（剥製）、セマルハコガメ（剥製）
○ネオパークオキナワの常設展示
期　　間：2022年4月1日（金）～貸出継続中
場　　所：ネオパークオキナワ
貸出資料：アンモナイト化石（土橋寄託資料）一式
○国立科学博物館の調査研究
貸出期間：2019年7月8日（月）～2023年3月31日（金）貸出継続中
場　　所：国立科学博物館
貸出資料：粟国層群筆ん崎層中の植物化石標本１点

## ９ 写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活用の一環として、資料の写真画像等の貸出も行っている。毎年、多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2022年度（令和４）は博物館班に315件の申請があった。【利用区分】は、「１．写真原板（デジタルデータ）」、「２．撮影」、「３．掲載」に分けられる。内訳は、１．写真原板（デジタルデータ）は、140件、２．撮影21件、３．掲載は152件となっている（※件数は撮影と掲載等は重複する）。【目的・事項】は、「出版物」が139件、「テレビ」が55件、「DVD」が２件、「CD」は４件、「その他」が75件で、「その他」の利用に関しては、調査研究のための資料収集、展示会パネル、インターネット、講演会への使用などがあげられる。ほか「複製の製作」が２件となっている。

申請依頼先は、出版社関係が多く、次いでテレビ番組や映像製作会社、博物館・資料館などの各機関、広告関連会社となっている。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の影響で、休館期間中は撮影の対応が制限された。開館後も撮影受け入れに関しては、少人数で、短時間という制限をもうけて対応した。

画像の貸出では、美術工芸の絵画や歴史分野の資料が多くをしめているが、ここ数年、人類分野が行っているサキタリ洞遺跡の発掘調査の成果を記者発表にて県民に向けて行っており、それら発掘に関する画像貸し出しが増えている。また、本年度は復帰50年目の節目にあたり、東京国立博物館でも「琉球展」の開催や「美ら島おきなわ文化祭2022」が開催され、沖縄の話題が多くあったことから画像利用希望が増え、琉球・沖縄関係資料の画像需要が増加した。

（勝連）

# 美 術 館

Ⅰ　調査研究等の活動
Ⅱ　展示活動
Ⅲ　教育普及活動
Ⅳ　資料収集・保存管理

## Ⅰ 調査研究等の活動

### 1 調査研究の概要

調査研究事業（以下、本事業とする）については、美術館活動の根幹と捉えて開館準備時から継続して、収集作品調査及び企画展開催に伴う調査研究に重点を置き、積極的に取り組んでいる。

令和４年度の研究紀要は３名の学芸員及び１名の研究協力者による論文やインタビューを掲載し、刊行した。紀要は、県内外の美術館及び図書館、大学などを中心に研究機関へ送付している。

前年度に引き続き、各学芸員の調査研究については、コレクション展・企画展の展覧会および収集計画に基づいて、数年にかかる中長期的な調査研究のビジョンを共有し、研究の深度を改善できるよう努めた。

（亀海）

#### （1） 調査研究の事業内容

① 美術品の収集に関すること
② 美術品の保存科学に関すること
③ 美術品の修復に関すること
④ 展示技術に関すること
⑤ 教育普及に関すること
⑥ 美術情報提供システムの活用に関すること
⑦ ボランティア育成支援に関すること
⑧ 美術館の振興に関すること

#### （2） 学芸員研究

研究テーマを設定し、一年ないしは数年をかけて調査研究に取り組み研究紀要にまとめる。

| No. | 氏　名 | 研 究 テ ー マ |
|---|---|---|
| 1 | 豊見山　愛<br>共同研究者：<br>与那覇　大智 | 占領と芸術 - 日本のスーベニア絵画と沖縄「日本復帰」前の一作品について |
| 2 | 大城　さゆり | アーティストインタビュー　石垣克子/喜屋武千恵/仁添まりな<br>復帰50年と沖縄美術史に関すること（展覧会記録集にまとめる） |
| 3 | 梶原　正史 | 大城皓也作の油彩画作品修復について～修復作業報告～ |
| 4 | 亀海　史明 | 平良孝七の足跡をたどって　（展覧会カタログへ掲載） |

#### （3） 調査研究体制

調査研究活動は学芸員及び美術品調査員で実施した。画像を含む調査によって得られたデータは共有フォルダに保存しており、展覧会事業、収集事業といった内部資料はもとより、個人情報保護の範疇にないものに限り、外部のレファレンスにも対応するよう心掛けている。その場合は熟覧申請等、正式な申請をふまえている。

#### （4） 外部からのレファレンス対応

① 寄託作家（沖縄関連）の展示事例照会対応（６月２日）
② 石川真生展に関するレファレンス対応（11月８日）

（亀海）

### 2 調査・研究・講演・著作論文等

**玉城　早苗（主任学芸員／教育普及担当）**

〇調査・研究

・教育普及に関する他美術館の資料収集・調査（京都府・大阪府）（2023年2月15日～17日）

〇著作・論文等

・『沖縄県立博物館・美術館　美術館教育普及報告書　2022年度』　沖縄県立博物館・美術館　2023年3月

**豊見山　愛（主任学芸員）**

〇調査・研究

・具志堅聖児展に関する調査（2022年4月～2022年12月）

・ベルベット・ペインティングに関する調査（2022年11月～2023年１月）

〇講演・発表等

・3月19日　オンライン研究会発表「米軍統治下のスーベニア絵画」講師　基盤研究（B）2021年度～2024年度「水墨画」と「彩色画」―1945年以降の東アジアにおける絵画表現に関する調査研究

〇著作・論文等

・「米軍占領地下のたばこデザイン - 1950年代を中心に」『たばこ史研究No.155』40-47頁、JTクリエイティブサービス編集、公益財団法人たばこ総合研究センター（TASC）発行、2022年6月25日

・（与那覇大智と共著）「占領と芸術ー日本のスーベニア絵画と沖縄『日本復帰』前の一作品について」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第11号』沖縄県立博物館・美術館、2023年、pp.8-18

〇研修

・財務研修　2022年11月8日

**梶原　正史（主任／保存修復担当）**

〇調査・研究

・高嶺剛作品調査(糸満市)（2022年４月６日）
・平良孝七作品調査(名護市)（2022年４月８日、９月15日）
・展覧会調査・那覇市民ギャラリー（那覇市）（2022年４月12日、11月23日）
・岸本一夫作品調査(企画展関連)（2022年４月28日、５月11日、５月13日）
・石川竜一作品調査(宜野湾市)（2022年５月６日）
・文化財保存修復学会出席・収集委員会出品作品の状態調査(熊本・京都)（2022年６月17日～21日）
・企画展図録用座談会収録（名護市）（2022年６月29日）
・石川真生作品状態調査(豊見城市)（2022年７月15日、９月10日、12月20日）
・平良孝七作品状態調査・作品集荷(名護市)（2022年７月23日）
・大嶺政寛作品調査(糸満市)（2022年９月17日、10月７日）
・収集委員会出品作品の集荷(横須賀市)（2022年９月18日～20日）
・ユンタンザミュージアムにて作品貸し出し対応(読谷村)（2022年10月３日）
・ユンタンザミュージアムにて作品返却対応(読谷村)（2022年11月15日）
・デジタルアーカイブ学会出席(西原町)（2022年11月25日）
・久場とよ作油彩画他、収蔵作品状態調査、収蔵展示環境調査(糸満市平和祈念堂美術館)（2022年12月25日、2023年１月11日、２月４日、３月２日）
・文化財保存修復学会・分科会出席(大阪市)（2023年１月21日、22日）
・下地寛清作品状態調査(那覇市)（2023年２月１日）
・竹川宣彰作品の修復についての調査(東京都)（2023年３月18日～20日）
・共同研究のための研究者打ち合わせ(台湾、台中市)（2023年３月26日～28日）

〇講演・発表等

・名　　称：ミュージアムツアー「学芸員講座　保存修復の現場から」
　日　　時：2022年５月11日
　場　　所：美術館バックヤード
・名　　称：ラジオ沖縄
　日　　時：2022年５月18日
　場　　所：美術館バックヤード

〇著作・論文等

・「大城皓也作の油彩画作品修復について～修復作業報告～」『沖縄県立博物館・美術館美術館紀要第11号』沖縄県立博物館・美術館、2023年３月
・琉球新報小中学生新聞「りゅうPON！」縁の下さん、琉球新報、2022年12月18日

〇その他

・2023年2月～INCCA AP( International Network For the Conservation Of Contemporary Art ASIA PACIFIC)Working　group members

**亀海　史明（学芸員）**

〇調査・研究

・平良孝七に関する聞き取り調査（沖縄県）（2022年４月７日、19日、22日、26日、28日、５月14日、23日、６月７日、９日、15日、29日）
・平良孝七に関する文献調査（沖縄県）（2022年４月８日、５月25日、６月７日、８日、９日）
・石川真生に関する聞き取り調査（沖縄県）（2022年５月27日～29日、11月９日）
・平良孝七に関する作品調査（名護市）（2022年６月２日）

・展覧会調査（東京特別区）（2022年６月16日～17日）
・平良孝七に関する文献調査（東京特別区）（2022年６月16日～19日）
・平良孝七に関する現地調査（沖縄県）（2022年７月１日～10日）
・デジタルアーカイブ学会沖縄大会参加（沖縄県）（2022年11月25日～26日）

○講演・発表等

・名　　称：「おきみゅーシネマラボ」
　日　　時：2022年５月15日
　場　　所：講堂
・名　　称：「復帰50年　平良孝七展」ギャラリートーク
　日　　時：2022年12月11日
　場　　所：企画展示室
・名　　称：学芸員講座「美術館とデータベース」
　日　　時：2023年２月26日
　場　　所：美術館講座室
・名　　称：「おきみゅーシネマラボ」
　日　　時：2023年３月31日
　場　　所：講堂

○著作・論文等

・「平良孝七の足跡をたどって」『復帰50年　平良孝七展』（図録）、2023年１月12日

○研修

・著作権セミナー（文化庁、オンライン参加）　2023年２月24日
・ミュージアムPR研修（文化庁、オンライン参加）　2023年２月28日～３月３日

**大城　さゆり（学芸員）**

○調査・研究

・復帰展：岸本一夫作品調査/聞き取り調査（北中城村）（2022 年４月 28、29 日、５月 11、18 日、６月 21 日）
・復帰展：大嶺實清聞き取り調査（読谷村）（2022 年５月２日）
・復帰展：金城宏次作品調査（沖縄市）（2022 年５月 19 日）
・収蔵作家：稲嶺成祚展覧会調査（那覇市）（2022 年５月 31 日）
・復帰展：那覇市歴史博物館徳村光子資料カード原画調査（那覇市）（2022 年６月３日）
・復帰展借用：那覇市歴史博物館（那覇市）（2022 年７月８日／返却 12 月 21 日）
・復帰展借用：新垣安雄作品、岸本一夫作品（沖縄県）（2022 年７月 13 日／返却 2023 年１月 24 日）
・復帰展：阪田清子作品調査（那覇市）（2022 年７月 13 日、９月 21 日）
・収集：照屋勇賢作品調査（読谷村）（2022 年８月４日）
・復帰展借用：阪田清子作品、金城宏次作品（沖縄県）（2022 年９月 22 日／返却 2023 年１月 24 日）
・企画展：なはーと展覧会事例聞き取り調査（那覇市）（2022 年 11 月 16 日）
・収蔵作家：阪田清子、照屋勇賢、石垣克子展覧会調査（石川県、東京都）（2023 年３月 18、19 日）
・企画展その他：金沢 21 世紀美術館展覧会、データベース事例聞き取り調査（石川県）（2023 年３月 18 日）

○講演・発表等

・名　　称：「FUKKI QUALIA」（前期）キュレータートーク
　日　　時：2022 年９月 25 日
　場　　所：沖縄県立博物館・美術館講座室、コレクションギャラリー
・名　　称：「FUKKI QUALIA」（後期）キュレータートーク
　日　　時：2022 年 11 月 12 日
　場　　所：沖縄県立博物館・美術館講座室、コレクションギャラリー
・名　　称：絵画特論Ⅱ「アメリカ世と沖縄美術」／ギャラリーツアー
　日　　時：2022 年 12 月 18、19 日
　場　　所：オンライン講座／沖縄県立博物館・美術館コレクションギャラリー
　依頼機関：沖縄県立芸術大学

○著作・論文等

・「展評 玉座」沖縄タイムス 2022 年６月１日

・「展評 美術の先生がつくった作品展 Vol.9 物質感より鮮烈に」琉球新報 2022 年８月 11 日
・「美術月評　11 月」沖縄タイムス 2022 年 12 月９日
・「アーティストインタビュー　石垣克子/喜屋武千恵/仁添まりな」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第 11 号』沖縄県立博物館・美術館、2023 年、pp. 19-38
・「展覧会概要 FUKKI QUALIA―『復帰』にまつわる感覚を探る」『記録集　復帰 50 年コレクション展 FUKKI QUALIA―「復帰」と沖縄美術』沖縄県立博物館・美術館、2023 年、pp. 130-133

## Ⅱ 展示活動

### １ 展示活動概要

美術館のコレクション展は、テーマ展示もしくは個展の形式で収蔵作品及び寄託作品を公開している。沖縄の本土復帰（以下「復帰」）から 50 年の節目にあたる 2022 年度は、コレクション展、企画展いずれも「復帰」にまつわる展覧会を開催している。

2022 年度のコレクション展は２期に分け、前期（７～１月）はコレクションギャラリー全体を使用して「復帰」に関連した展覧会を開催し、借用作品も一部含んだ展示となった。後期（１～６月）は、コレクションギャラリー１、３で「沖縄美術の流れ」、ギャラリー２では日本画家・具志堅聖児の特集展示および関連する日本画作品を紹介した。

企画展は「復帰」50 年企画として写真家の平良孝七を紹介する展覧会を開催した。

当館主催の展覧会は学芸員の調査研究を基に、郷土の芸術家や、沖縄ゆかりの国内外の優れた芸術家、あるいは現在活躍する現代美術作家に関する自主企画展を行うほか、他館との連携なども行いながら展示公開している。

（大城）

### ２ コレクション展（常設展）※復帰 50 年コレクション展は次項に掲載

#### （１） コレクションギャラリー１

①タイトル：「REFLECTIONS ―時代を見る眼―」【絵画・版画・写真】　※コレクションギャラリー２と共通
　会　　期：※新型コロナウイルス対策による休館措置のため、以下の通り会期を変更した
　　　　2022 年１月 29 日(土) ～ 2022 年６月 26 日(日)
　担　　当：大城さゆり
　内　　容：生きるうえで、社会や時代と無関係でいられる人はいない。作家もまた、自らが生きる時代をとらえ、時に批評し、問いかけるような作品を生み出している。本展覧会では、「沖縄戦」「ベトナム戦争」「国家」そして「越境」のテーマに分け、当館がコレクションする沖縄、日本（本土）、アジアの現代美術作品から、それぞれの置かれた時代を見つめた作品を紹介した。
　［ギャラリー１出品作家（順不同）］
　　知花均/大嶺政寛/新垣安雄/山元恵一/小橋川秀男/儀間比呂志/安谷屋正義/城間喜宏/大城皓也/稲嶺成祚/ファム・ヴァン・ドン

②タイトル：2022 年度「沖縄美術の流れ」【絵画・彫刻・写真・現代美術】　※コレクションギャラリー３と共通
　会　　期：2023 年１月 21 日（土）～6 月 25 日（日）
　担　　当：玉城早苗・梶原正史
　内　　容：ギャラリー1 では、以下のインタビュー映像を上映
　　　　《スタンレー・スタインバーグ　インタビュー映像》
　　　　聞き手：ジェーン・デュレイ、梶原正史／収録日：2018 年３月 29 日

#### （２） コレクションギャラリー２

①タイトル：「REFLECTIONS ―時代を見る眼―」【絵画・版画・写真】　※コレクションギャラリー１と共通
　会　　期：※新型コロナウイルス対策による休館措置のため、以下の通り会期を変更した
　　　　2022 年１月 29 日(土) ～ 2022 年６月 26 日(日)
　担　　当：大城さゆり
　［ギャラリー2 出品作家（順不同）］
　　宮城和邦/ フェン・メンボー（馮夢波）ユエ・ミンジュン（岳敏君） / 柳幸典/与儀達治/イメルダ・カヒーペ=エンダーヤ/照屋勇賢/ワン・グァンイー（王廣義）/アマンダ・ヘン

②タイトル：「具志堅聖児　日本画展」【絵画】
会　　期：2023年1月21日（土）～6月25日（日）
担　　当：豊見山愛
内　　容：具志堅聖児（本名・古嘉）は1908年、真和志村字繁多川に父・古献、母マンツの四男として生まれ 1927年に上京、1929年に日本画家で彫刻家の山田真山へと私淑し、雅号を「古雅」とした。1940年に日本画家の伊東深水に師事し、1963年に雅号を「聖児」と改める。本展では、当館が所蔵する具志堅聖児の日本画から14点の作品を紹介した。併せて小杉放菴（未醒）ほか、県外画家の沖縄主題の作品と、沖縄の日本画家の作品を参考作品として展示した。

［出品作家（順不同）］
具志堅聖児/石川寅治/小杉放菴（未醒）/金城南海/山田真山/大野麦風/金城安太郎/池原清子/糸数晴甫/親泊英繁

（3）　コレクションギャラリー3

①タイトル：2021年度「沖縄美術の流れ」【絵画・彫刻・写真・映像・現代美術】
会　　期　2022年1月29日(土) ～ 2022年6月26日(日)
担　　当：玉城早苗・梶原正史
内　　容：沖縄にはその風土や歴史から生まれてきた独特な文化があり、美術も時代や置かれた状況に大きく影響されながら培われてきた。コレクションギャラリー3では、「沖縄美術の流れ」として、戦前、戦後復興、本土復帰後、移民、そして現代美術に章を分け、沖縄の近現代美術を時系列に紹介した。

②タイトル：2022年度「沖縄美術の流れ」【絵画・彫刻・写真・現代美術】※コレクションギャラリー1と共通
会　　期：2023年1月21日（土）～6月25日（日）
担　　当：玉城早苗・梶原正史
内　　容：沖縄には、本土とは異なる歴史や風土の中から生まれた独特な文化があり、沖縄の美術は、その中で育まれてきた。いつの時代も、そのおかれた立場や状況から多大な影響を受けてきた沖縄。沖縄戦から戦後復興期を経て、さらに、復帰から現代に至るまでの様々な時代の変容は、沖縄の美術家とその作品にどのような影響を与えてきたのか。今回の「沖縄美術の流れ」は、戦前・戦後復興期・復帰後・現代と時代の変遷をたどり、さらに、沖縄系移民、沖縄の彫刻家にスポットを当てて紹介した。

## 3 復帰50年コレクション展「FUKKI QUALIA ―『復帰』と沖縄美術」

会　　期：［前期］2022年7月20日（水）～10月16日（日）
［後期］10月22日（土）～2023年1月15日（日）
会　　場：美術館コレクションギャラリー1、2、3、ホワイエ
観 覧 料：一般400円（320円）高校・大学生220円（180円）県外小・中学生100円（80円）
※県内小・中学生、未就学児、70歳以上、障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方1名は無料
※（ ）内は前売・団体料金。
観覧者数：23,843名

【開催形式】
沖縄県立博物館・美術館主催

【開催趣旨】
「祖国復帰」「本土復帰」「日本復帰」「沖縄返還」…様々な表記があるが、1972年の日本への沖縄施政権返還を多くの人は「復帰」と呼ぶ。どこへ帰るかあいまいに響く「フッキ」には、沖縄が歩んだ歴史への複雑な心情がにじむようだ。
ラテン語であるクオリアとは、赤いリンゴを見て「赤いと感じる」などの、主観的な経験に基づく感覚だといわれる。「復帰」から50年が経つ現在、沖縄に住む人々の6割は「復帰」を直接には経験していない。
本展は、米国統治下、「復帰」、さらに「復帰後」の社会を見つめた作品や作家たちの動きを紹介した。
復帰を知る人も知らない人も、作品からフッキクオリアを感じることがあるかもしれない。

【展示構成】
会期を前・後期に分けて構成し、沖縄戦の終戦から現在に至る美術家たちの活動と作品を紹介した。なお、前期は「復帰」前、後期は「復帰」後の美術作品を紹介。ホワイエに展示した真喜志勉 《大日本帝国復帰記念》（1972）のみ前・後期共通展示。
〇出品点数：前期106点、後期61点

○［前期］復帰（1972 年）から終戦（1945 年）まで遡る形で構成。

・第１章　前衛と現状　1970’s ― 1960’s

1960年代から「復帰」前後にかけて発表された前衛美術を紹介

・第２章　表現探求とグループの結成　1960’s ― 1950’s

1950～60年代にかけて描かれた作品と美術グループの活動を紹介

・第３章　戦後復興と美術家たち　1950’s ― 1945 年

終戦直後から1950年代の戦後復興期の作品や、米国統治と関連する美術活動等を紹介

○［後期］復帰（1972 年）から現在（2022 年）まで、作品のテーマ別に章を構成。

・第１章　熱気の後で

「復帰」後の日本化の流れや開発等、生活が変化する中で描かれた風景に焦点をあてる

1-1　変わりゆく風景　…観光地化や開発など、刻々と変わる沖縄の情景や心象風景を描いた作品を紹介

1-2　原風景に触れる　…沖縄の生活の根底にある風習や祭祀、自然などの原風景を描いた作品を紹介

・第２章　ふりかえり、前を見る

米国文化の影響や、琉球・沖縄の歴史文化を振り返り、未来を見据えるような作品に焦点をあてる

2-1　ルーツを掘り起こす　…ルーツや歴史・文化を確認し、アイデンティティを問う作品を紹介

2-2　かつての出来事から　…沖縄戦や「復帰」など、かつての出来事と今をつなぐような作品を紹介

【関連催事】

（１）おきみゅーシネマラボ＋復帰50年コレクション展「FUKKI QUALIA」プレイベント　髙嶺剛監督作品フィルム上映会

日　時：2022年５月15日（日）12：00～18：00
会　場：３階講堂
参加者：114名
講　師：髙嶺剛（映画監督）、小浜司（島唄解説人）、新城郁夫（琉球大学教授）、平良進（劇団綾船座長）
進　行：亀海史明（シネマラボ担当学芸員）

（２）キュレータートーク［前期展示解説］

日　時：2022年９月25日（日）14：00～15：30
会　場：美術館コレクションギャラリー１・２・３
参加者：24名
講　師：大城さゆり(担当学芸員)

（３）ギャラリートーク（映像収録→Web公開）

日　時：2022年10月3日（月）14：00～ 収録
会　場：美術館コレクションギャラリー３
参加者：当館webサイトおよび1階エントランスモニタでの公開
講　師：新垣安雄（アーティスト）

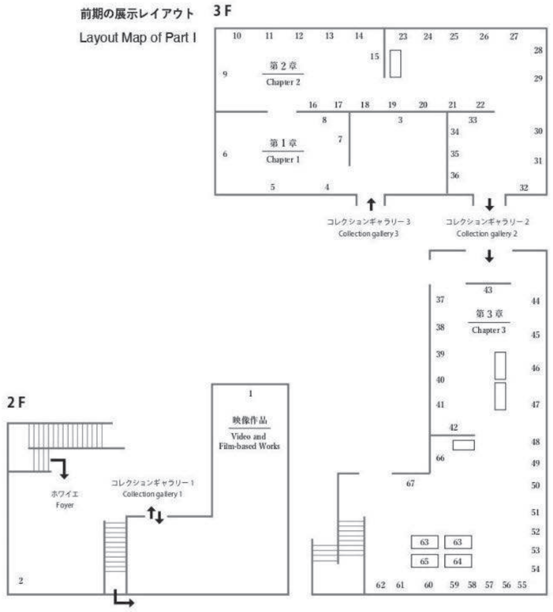
（４）キュレータートーク［後期展示解説］

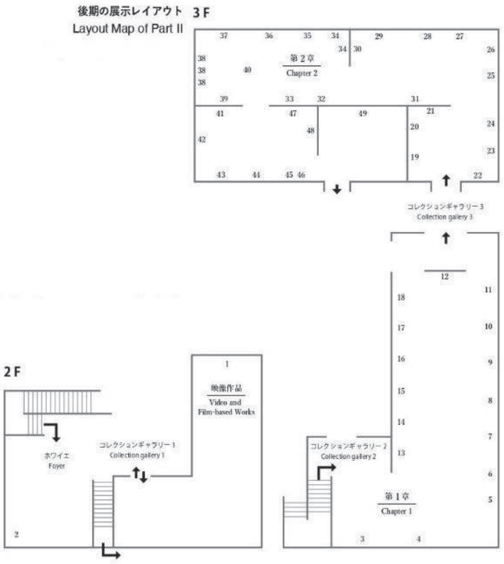
日　時：2022年11月12日（土）16：00～17：30
会　場：美術館コレクションギャラリー１・２・３
参加者：20名
講　師：大城さゆり(担当学芸員)

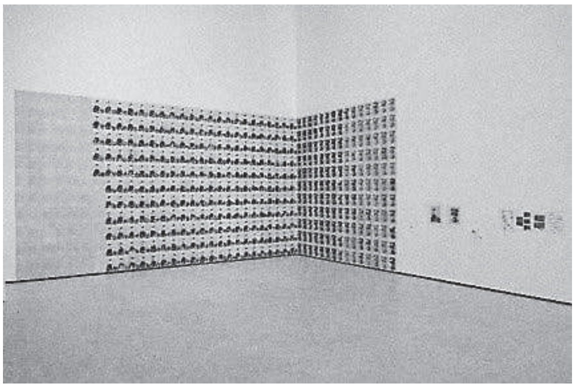
（５）アーティストクロストーク

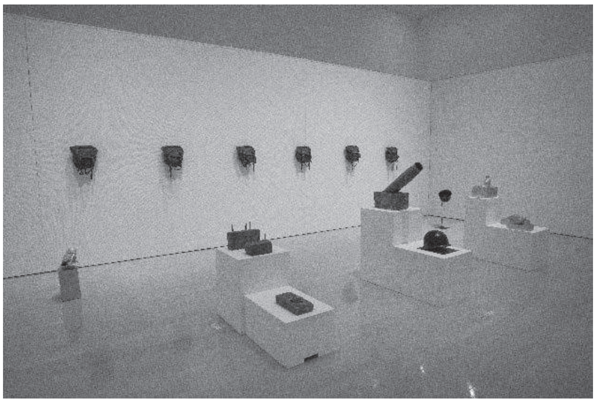
日　時：2023年１月８日（日）14:00 ～15:30
会　場：美術館コレクションギャラリー・ホワイエ
参加者：21名
講　師：金城宏次（紅型作家）、山城知佳子（アーティスト、東京藝術大学美術学部准教授）
進　行：宮城潤（那覇市若狭公民館館長）

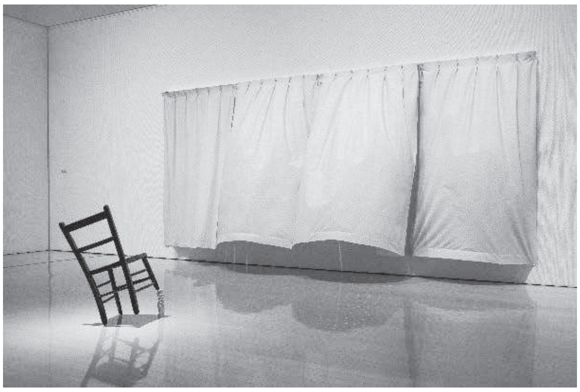
【展示平面図】
【会場風景】　（左画像：前期、右画像：後期）







（大城）

### ４ 企画展　「復帰50年　平良孝七展」

会　　期：2022年11月３日（木・祝）～2023年１月15日（日）
会　　場：美術館企画ギャラリー１、２
観 覧 料：一般1,200円（960円）高校・大学生500円（400円）小・中学生300円（240円）未就学児無料
※（ ）内は前売・団体料金。※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方１名は半額。
観覧者数：6,916名

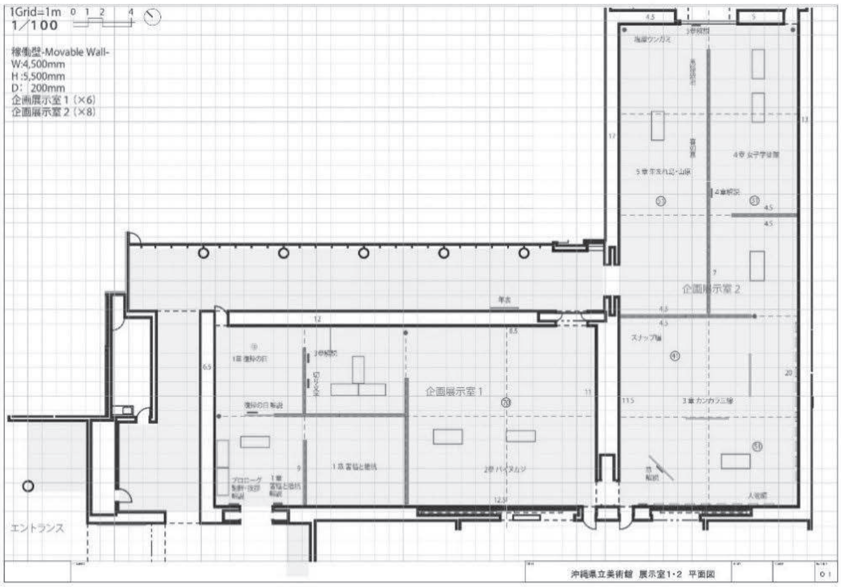
【開催形式】
主催：沖縄県立博物館・美術館
特別協力：名護博物館
後援：沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、名護市教育委員会、大宜味村教育委員会、沖縄県文化協会、那覇市文化協会、一般社団法人沖縄県美術家連盟、NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄タイムス社、琉球新報社、ＮＨＫ沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、エフエム那覇（順不同）

【開催趣旨】
平良孝七の詩やアルバム等の資料を紹介するプロローグと、写真集やシリーズ等を基に区分した５章で構成した。「復帰」前後の写真から山原を撮影したシリーズまで、250点余の写真を展示し、写真家・平良孝七の足跡を紹介する内容とした。

〇章構成
**・プロローグ**
**・１章　沖縄：百万県民の苦悩と抵抗 ｜ 復帰の日**
**・２章　パイヌカジ**
**・３章　沖縄カンカラ三線**
**・４章　女子学徒隊**
**・５章　生まれじま山原**

【関連催事】
（１）ギャラリートーク
日　時：2022年12月11日（日）14:00～15:30
会　場：美術館企画ギャラリー１
参加者：28名
講　師：島袋正敏（元名護博物館長）、倉石信乃（明治大学教授）、亀海史明（担当学芸員）

（２）ギャラリーツアー（学生対象）
日　時：2023年１月７日（土）14:00～15:00
会　場：美術館企画ギャラリー１、２
参加者：14名
講　師：亀海史明（担当学芸員）




【展示平面図】

【会場風景】

（亀海）

# Ⅲ 教育普及活動

## 1 美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、主に「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」で展開している。鑑賞活動のプログラムでは、これまで、学校との連携を図る「学校支援プログラム」の中で、子どもたちによるセルフツアーや、ガイドボランティアによる「対話による鑑賞」を展開するなど、作品の解説だけではなく、初めて美術館に来る子どもたちのために、鑑賞活動の中で作品の楽しみ方を伝えてきた。しかし、2020年から2021年まで、新型コロナウイルス感染拡大の影響で休館期間が長期に及ぶなど、様々な活動が自粛や縮小を余儀なくされる状況が続いた。

そのような中、本年度の教育普及事業は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつも、安全面に配慮しながら、各事業を当初の目的や計画通り概ね達成することができた。前年度、鑑賞支援プログラムを実施した学校は5校のみだったが、本年度は10校（12回）の実施となり倍増することができた。次年度は出前授業を含め、さらに申し込みが増えることが予想されるため、学校の先生方と協議し、連携を重ねながら取り組みを進めていきたい。

その他、コレクション展や企画展に伴う学芸員によるキュレータートークや、作家やその関係者によるアーティストトーク、ギャラリートークを開催し、新たに学生向けのミュージアムツアーを実施するなど、関連催事を通して作品理解を深めるための情報を提供することができた。

実技体験のプログラムでは、「夏休み！子どもフェスタ」において、多彩なプログラムに多くの幼児・児童・生徒が参加した。子どもから大人まで参加できる「OKINAWAアートワークショップ2022」も、伝統工芸に特化せず、広く「ものづくり」に焦点を当てた内容を提供し、参加者の皆様から好評を得ることができた。

また、6回目の開催となる児童・生徒を対象とした「アートコンクール」では、「平和」というテーマのもと886点もの応募があり、復帰50年の節目の年に子どもたちが「平和」についてじっくりと考え、表現する良い機会となった。

2020年度、2021年度と延期となっていた「移動展in渡嘉敷島」も、今年度は無事予定通り開催し、渡嘉敷島の島民の皆様に喜んで頂くことができた。

## 2 鑑賞活動支援

作品の鑑賞をより深めるために各展示会担当によるキュレータートークや学芸員講座、作品の制作を行った作家や関係者を招き、アーティストトーク、ギャラリートークを行った。

### （1）キュレータートーク・学芸員講座

展覧会を企画した担当学芸員が、作家や作品、展示に関する意図、また、開催するにあたり進めてきた調査・研究の内容を語る場である。

観覧者にとって、学芸員の話を聞くことにより「美術作品」への関心を高め、より作品理解を深めることができる。また学芸員にとっては、観覧者に展示会がどう伝わったかを知る重要な機会となり、今後の展覧会への向けての情報収集となる。

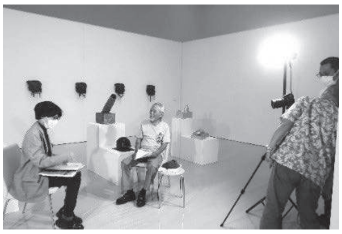
梶原正史学芸員

### （2）アーティスト（ギャラリー）トーク

アーティストトーク、ギャラリートークは、作家自身や作家とゆかりがある、あるいは研究している方から話を聞く機会である。作家自身から作品、制作に関することや思いを直接伺い、ゆかりがある方から作家の人柄や思想、歩んできた人生、客観的な事実や制作スタイル、モチーフの変遷などについて聞くことで、作品や作家に対して、新たな気付きや理解がより深まることに繋がっていく。

照屋勇賢氏

土江真樹子氏×大山健治氏



新垣安雄氏×大城さゆり学芸員

島袋正敏氏×倉石信乃氏×
亀海史明学芸員

金城宏次氏×山城知佳子氏×
宮城 潤氏

オンライン特別講座（荒井 経氏）

| 回 | 月 日 | 曜日 | 展覧会名 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 6月11日 | 土 | 「REFLECTIONS-時代を見る眼」関連催事 照屋勇賢ギャラリートーク<br>講師：照屋勇賢（アーティスト） | 24 |
| 2 | 6月23日 | 木 | 慰霊の日特別企画「REFLECTIONS-時代を見る眼」関連催事<br>「CROSSING-交差するまなざし」特別展示<br>講師：土江真樹子（ジャーナリスト）、大山健治(美術家)<br>進行：大城さゆり（展覧会担当学芸員） | 25 |
| 3 | 10月３日 | 月 | FUKKI QUALIA「復帰」と沖縄美術関連催事ギャラリートーク（映像撮影）<br>講師：新垣安雄（アーティスト）<br>進行：大城さゆり（展覧会担当学芸員）<br>※展覧会会期中、当館webサイトとエントランスで公開 | — |
| 4 | 12月11日 | 日 | 復帰50年 平良孝七展関連催事「平良孝七展」ギャラリートーク<br>講師：島袋正敏（元名護博物館館長）、倉石信乃（明治大学教授）<br>進行：亀海史明（展覧会担当学芸員） | 28 |
| 5 | １月８日 | 日 | FUKKI QUALIA「復帰」と沖縄美術関連催事アーティストクロストーク<br>FUKKI TOLK ― 金城宏次×山城知佳子×宮城 潤<br>講師：金城宏次（紅型作家）<br>山城知佳子（アーティスト・東京藝術大学美術学部 准教授）、<br>進行：宮城　潤（那覇市若狭公民館館長） | 21 |
| 6 | ２月４日<br>（撮影）<br>２月12日<br>（配信） | 日 | 具志堅聖児 日本画展　関連催事<br>荒井 経 特別講座「具志堅聖児と沖縄の日本画」<br>講師：荒井　経（東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室 教授）<br>※YouTubeで配信（当日は美術館講座室でも放映） | 当日会場　2<br>当日配信　32 |

**（３）学校団体対応（学校支援プログラム）**

学校団体に対して展示作品の鑑賞を支援するプログラムを行った。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で休館期間が長期化し、ボランティアによる解説を行うことができなかった為、団体見学希望の学校には、主に美術館の役割についての講話や、バックヤード見学、自由鑑賞という内容での対応となった。

| 回 | 月 日 | 曜日 | 学校名 | 内　容 | 見学者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ９月９日 | 金 | 沖縄県立石川高等学校 | 美術館コレクション展、博物館常設展 | 9 |
| 2 | ９月27日 | 火 | 沖縄県立真和志高等学校 | 美術館コレクション展・美術館バックヤード | 32 |
| 3 | 10月12日 | 水 | うるま市立具志川小学校 | 美術館コレクション展、博物館常設展 | 55 |
| 4 | 10月14日 | 金 | 沖縄県立那覇みらい支援学校 | 美術館コレクション展、博物館常設展 | 19 |
| 5 | 10月26日 | 水 | 読谷村立古堅南小学校 | 美術館コレクション展・博物館常設展 | 107 |
| 6 | 11月１日 | 火 | 沖縄県立真和志高等学校 | 美術館コレクション展 | 34 |
| 7 | 11月24日 | 木 | うるま市立南原小学校 | 美術館コレクション展・博物館常設展 | 48 |
| 8 | 11月24日 | 木 | 恩納村立恩納小学校 | 美術館コレクション展・博物館常設展 | 36 |
| 9 | 12月７日 | 水 | 南城市立百名小学校（3年） | 美術館コレクション展 | 34 |
| 10 | 12月７日 | 水 | 南城市立百名小学校（5年） | 美術館コレクション展・博物館常設展 | 27 |
| 11 | 12月14日 | 水 | 南城市立玉城小学校 | 美術館コレクション展・博物館常設展 | 80 |
| 12 | 12月16日 | 金 | 沖縄県立浦添工業高等学校<br>（デザイン科） | 美術館コレクション展、博物館常設展<br>美術館バックヤード | 79 |

美術館について講話

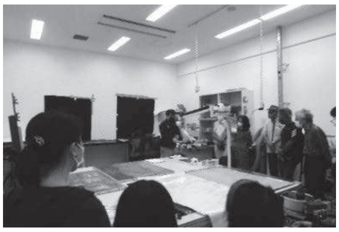
バックヤード見学

セルフツアー

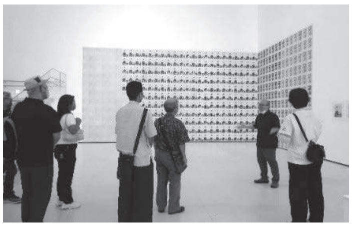
ボランティア鑑賞ツアー

## 3 ミュージアムツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。内容は、トラックヤード、一時保管庫、収蔵庫、工作室、修復室と巡り、最後にコレクションギュラリーの鑑賞も行っている。



梶原正史学芸員(保存修復・守る)



大川剛副館長(展示公開・見せる)

玉城早苗学芸員（教育普及・伝える）

| 回 | 月　日 | 曜日 | 内　容 | 担　当 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5月21日 | 土 | まもる（保存・修復） | 梶原正史 | 12 |
| 2 | 7月23日 | 土 | 調べる（調査研究） | 豊見山　愛 | 8 |
| 3 | 10月1日 | 土 | みせる（展示公開） | 大川　剛 | 12 |
| 4 | 12月3日 | 土 | 集める（資料収集） | 亀海史明 | 6 |
| 5 | 2月4日 | 土 | 伝える（教育普及） | 玉城早苗 | 9 |

## 4 コレクション・企画展関連催事

### （1）美術館コレクション展「REFLECTIONS―時代を見る眼」

会期：令和４年１月29日（土）～令和４年６月26日（日）

①ギャラリートーク

【日　時】　令和４年６月11日（土）14：00～15：00
【会　場】　美術館　コレクションギャラリー２
【講　師】　照屋勇賢氏（アーティスト）
【参加者】　24人
【内　容】　現在、海外に拠点を置き活躍している作家本人から2004年に制作した作品を前に、当時の様子や作品について解説して頂いた。

照屋勇賢氏ギャラリートークの様子

②慰霊の日特別企画「CROSSING―交差するまなざし」

【日　時】 令和４年６月23日（木）18：15～20：00
【会　場】 美術館コレクションギャラリー・ホワイエ
【講　師】 土江真樹子氏（ジャーナリスト）
　　　　　 大山健治氏（美術家）
【進　行】 大城さゆり（展覧会担当学芸員）
【参加者】 25人

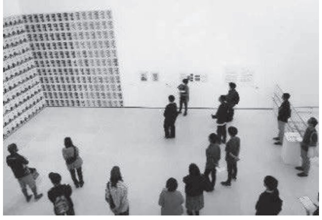
【内　容】 アートユニットとして粟国久直氏、土江真樹子、大山健治が制作した《CROSSING―交差するまなざし》(2011) を特別上映。粟国氏の作品《Cube-Sugar＆Strawberry》(2007) と映像作品とのコラボレーションを実施した。

（２）復帰50年コレクション展「FUKKI QUALIA「復帰」と沖縄美術」

会期：令和４年７月20日（水）～令和５年１月15日（日）
（前期：令和４年７月20日（水）～10月16日（日））
（後期：令和4年10月22日（土）～令和5年1月15日（日））

① キュレータートーク
【日　時】令和４年９月25日（日）14：00～15：30
【会　場】コレクションギャラリー１・２・３
【講　師】大城さゆり(展覧会担当学芸員)
【参加者】24人
【内　容】「復帰」頃から終戦まで、時間をさかのぼって「アメリカ世」の美術を振り返った。(前期展示解説)

② キュレータートーク
【日　時】令和４年11月12日（土）16：00～17：30
【会　場】コレクションギャラリー１・２・３
【講　師】大城さゆり(展覧会担当学芸員)
【参加者】２０人
【内　容】「復帰」後の美術作品を紹介。社会が変化し、開発や観光地化が進み、風景も変わりゆく中で、美術家達はどのように沖縄をみつめ、表現していったのか。(後期展示解説)



●キュレータートークの様子

③ ギャラリートーク（映像撮影→映像公開）
【日　時】令和４年10月３日（月）
14：00～撮影
【会　場】美術館コレクションギャラリー３
【講　師】新垣安雄（アーティスト）
【内　容】当館webサイトでの公開と、1階エントランスでの映像公開を目的に展覧会場でインタビュー映像を撮影。

インタビュー映像撮影の様子

1Ｆエントランスにて公開

④ アーティストクロストーク
【日　時】令和５年１月８日（日）14:00 ～15:30
【会　場】美術館コレクションギャラリー・ホワイエ
【講　師】金城宏次（紅型作家）
山城知佳子（アーティスト、東京藝術大学美術学部准教授）
【進　行】宮城潤（那覇市若狭公民館館長）
【参加者】２１人
【内　容】「復帰」前後に生まれた出品作家２名と、復帰っ子の宮城潤氏を進行役に迎え、「復帰」と作品についてクロストークを行った。

アーティストクロストークの様子

（3）具志堅聖児日本画展

会期：令和5年1月21日（土）〜令和5年6月25日（日）

① 学芸員講座+キュレータートーク

【日　時】令和5年1月28日（土） 14:00〜15:30

【会　場】美術館講座室・コレクションギャラリー2

【参加者】12人

【講　師】豊見山 愛（展覧会担当学芸員）

【内　容】担当学芸員の調査研究成果に基づき、具志堅聖児作品の魅力について紹介した。

キュレータートークの様子

② オンライン特別講座

【日　時】令和5年2月12日（日）10:30〜12:00
※会期中はHPで閲覧可能

【会　場】ハイブリッド型講座（ウェブ配信＋会場放映）
美術館講座室

【参加者】YouTube配信視聴32人/会場2人（2/12現在）

【講　師】荒井 経（東京藝術大学大学院教授）

【内　容】「具志堅聖児と沖縄の日本画」は、明治維新以降の「日本画」の概念と色材の特徴、具志堅聖児の絵画分析と沖縄県芸出身の日本画家にいたるまで、専門的な話ながらも理解しやすい講座であった。

オンライン特別講座・収録の様子

（4）美術館コレクション展「沖縄美術の流れ」（令和3年度・後期/令和4年度・後期）

会期：令和4年1月２９日（土）〜令和4年6月26日（日）

会期：令和5年1月21日（土）〜令和5年6月25日（日）

①令和3年度・後期

【展示内容】

第1章　戦前の沖縄美術　-1945

第2章　戦後復興期の美術　1945-1972

第3章　復帰以降の沖縄美術　1972-

第4章　沖縄系移民や県外・海外で活躍する沖縄のアーティスト／県外出身アーティスト

②令和4年度・後期

【展示内容】

第1章　戦前の沖縄美術　-1945

第2章　戦後復興期の沖縄美術　1945-1972

第3章　復帰後の沖縄美術　1972 - 1980年代

第4章　沖縄系移民のアーティスト

第5章　1990年代から現代の沖縄美術

第6章　沖縄の彫刻家たち

（5）復帰50年 平良孝七展

会期：令和4年11月3日（木）〜令和5年1月15日（日）

① ギャラリートーク

【日　時】令和４年12月11日（日）　14:00～15:30
【会　場】美術館 企画ギャラリー１
【講　師】島袋正敏（元名護博物館館長）
　　　　　倉石信乃（明治大学教授）
【進　行】亀海史明（展覧会担当学芸員）
【参加者】28人
【内　容】講師のお二人に、平良孝七の作品の魅力について語って頂きながら、多くの構想を持っていた写真家の実像を様々な側面から掘り下げる内容となった。

② ギャラリーツアー(学生対象)

【日　時】令和５年１月７日（土）　14:00～15：30
【会　場】美術館講座室・美術館企画ギャラリー１・2
【講　師】亀海史明（展覧会担当学芸員）
【参加者】14人
【内　容】激動の時代を生き、世変わりを経てもなお写真表現を模索し続けた平良孝七について解説を交えながら展示会場を回るギャラリーツアーを学生対象に行った。

ギャラリーツアー（学生対象）

## ５　おきみゅーシネマラボ＋復帰50年コレクション展「FUKKI QUALIA」プレイベント 髙嶺 剛監督作品フィルム上映会

所蔵作品や所蔵作家など、当館ゆかりの映像資料を館内で上映し、その上映中にトークを行う美術館ならではの映像鑑賞体験を共有する企画。館内映像資料の活用とともに、まだ当館に訪れたことのない新たな来館者を呼び込む機会とすることを目的として今年度で５回目である。また、沖縄における映像文化のオーラルヒストリーを記録・継承する機会とし、今年度は、髙嶺剛監督作品《ウンタマギルー》、《パラダイスビュー》の35mmフィルム上映を実施した。

【日　時】令和４年５月15日（日）12：00～18：00
【会　場】3階講堂
【講　師】髙嶺 剛（映画監督）・小浜 司（島唄解説人）
　　　　　新城郁夫（琉球大学教授）・平良 進（劇団綾船座長）
【進　行】亀海史明（担当学芸員）
【参加者】114人
【内　容】今年は沖縄の日本への「復帰」から50年が経ち、「復帰」に関連するコレクション展「FUKKI QUALIA」のプレイベントを兼ね、この機に「復帰」に関連する作品の上映を行なうことで、「復帰」とは何だったのかを問い直す機会とした。

新城郁夫氏・小浜司氏

髙嶺剛氏

平良進氏・亀海史明学芸員

## ６ ワークショップ

### （１）OKINAWAアートワークショップ2022

沖縄県立博物館・美術館のアトリエには、充実した造形活動ができるスペースがあり、様々な創造活動を体験することができる。2017 年度より、「知っているようで知らない《おきなわ》を触って作って再発見！」をテーマに沖縄の地域素材を生かした、子どもも大人も楽しめるワークショップを実施している。

今年度は、『あの手・この手・さわっ手・つくっ手・身近に感じる「ものづくり」』をテーマに、これまで通り沖縄の地域素材を生かした内容に加え、県内で活躍する若手作家をお招きし、ものづくりの楽しさを感じることのできるワークショップを開催することができた。

①　不思議な金属「錫」で豆皿づくり

【日　時】2022年４月16日(土) 10：00～12：00
【内　容】琉球王国時代に沖縄で重宝していた錫を使い
　　　　　豆皿づくりに挑戦。
【講　師】上原俊展（金細工まつ）
【対　象】一般
【会　場】こどもアトリエ、県民アトリエ
【参加者】12人

②　彫金とアートでつくる耳飾り

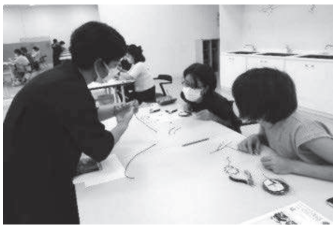
【日　時】2022年5月28日（土）10:00～12:00
【内　容】叩いて丸みをもたせた真鍮に、好きな色をのせて
　　　　　オリジナルの耳飾りづくりを体験。
【講　師】ナオミ（qulias）
【対　象】一般
【会　場】こどもアトリエ、県民アトリエ
【参加者】15名

③　マクラメプラントハンガー

【日　時】2022年7月9日（土）10：00～12：00
【内　容】オーガニックコットンのロープを使い、
　　　　　結び方の違いで模様をつくるマクラメ編みを体験。
【講　師】ヒトミ・ミサキ（DREAM BEACH）
【対　象】一般
【会　場】こどもアトリエ、県民アトリエ
【参加者】15名

④　ワイヤーアート

【日　時】2022年9月17日（土）9：30～12：30
【内　容】ワイヤーの特徴や扱い方を学び、
　　　　　立体や吊り下げて楽しめる作品づくりを体験。
【講　師】doodle craft
【対　象】一般
【会　場】こどもアトリエ、県民アトリエ
【参加者】15名



⑤　漆喰シーサーに挑戦！

【日　時】2022年10月15日(土）、16日（日）10：00～15：00
【内　容】首里城の破損瓦を使い、職人の手ほどきを受けながら
　　　　　本格的な漆喰シーサーを制作
【講　師】山城富函（現代の名工）、大城幸祐（現代の名工）
　　　　　城間盛行、田端 忠、神里善則（沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合）
【対　象】小学校５年から一般
【会　場】博物館実習室
【参加者】15名

⑥　干支紅型でお正月支度

【日　時】2022年12月17日（土）10：00～12：00
【内　容】紅型の歴史や技法を学びながら、2023年の干支「兎」
　　　　　の紅型づくりを楽しむ
【講　師】吉濱 愛、山城信吾
　　　　（城紅型染工房 ぐすくびんがたそめこうぼう）
【対　象】5才から一般
【会　場】こどもアトリエ、県民アトリエ
【参加者】15名

### （2）夏休み！こどもフェスタ

毎年恒例となっている夏休みこどもフェスタは、未就学児から中学生まで幅広い層の参加があり、各種実技指導を通して、子どもたちに造形的な技能及び表現力を身につけさせ、子どもたちと美術館との関わりを深めることを目的としている。前年度は、新型コロナウイルスの影響で延期となり「こどもフェスタ秋」として開催したが、今年度は、「表現」の分野だけではなく「鑑賞」にも焦点を当て、小中学生向けのバックヤードツアーと展示解説も実施した。館外での「ニシムイフィールドワーク」も計画していたが、残念ながら実施することができなかった為、開催時期やターゲットを再度検討し、次年度以降の実施に向け調整を行っていく。

①琉球絵画にも描かれた生き物を描いてみよう！

【日　時】2022年8月6日（土）９:30～12:00
【内　容】琉球絵画の特徴を学び、墨と岩絵具を使って
　　　　琉球絵画に登場する生き物を描写
【講　師】仁添まりな（画家）
【対　象】小1～小6
【会　場】博物館実習室
【参加者】10人

②ミュージアムツアー01（小学生対象）

【日　時】2022年8月6日（土）14:00～15:30
【内　容】小学生と保護者を対象に、バックヤードツアーと
　　　　展示解説で美術館の役割を学ぶ
【講　師】玉城早苗（教育普及担当）、保久村智恵（教育普及担当）
【対　象】小学生（保護者同伴）
【会　場】美術館バックヤード・コレクションギャラリー３
【参加者】12人

③ぬぬ遊び×き～る～染め

【日　時】2022年8月7日（日）９:30～11:00
【内　容】未就学児童が楽しめる布遊びなども取り入れ、
　　　　ハンカチや手拭いを植物染料で染める
【講　師】屋宜久美子・大中原千陽（confetti project）
【対　象】未就学児と保護者
【会　場】博物館実習室
【参加者】13人

④　ミュージアムツアーュージアムツアー02（中学生対象）

【日　時】2022年8月7日（日）14:00～15:30
【内　容】中学生を対象に、保存修復担当学芸員がバックヤード
　　　　ツアーを「FUKKI QUALIA」担当学芸員が展覧会を案内
　　　　する。
【講　師】梶原正史（保存修復担当）
　　　　大城さゆり（展示公開担当）
【対　象】中学生
【会　場】美術館バックヤード・コレクションギャラリー１・２
【参加者】6人

## 7 アートコンクール

2017年より、県内の児童・生徒にアートコンクールへの参加の機会を提供し、親しめる美術館づくりを目指している。今年度は、テーマを「平和」として募集したところ、886点の素晴らしい作品が集まった。作品の中から特に色彩豊かで独創性に優れた作品が入賞し、11月3日に表彰式を挙行した。当日は、入賞者のご家族にもご列席いただき、晴れやかな表彰式となった。

展示の様子

表彰式の様子

## ８ 慰霊の日関連催事

沖縄戦の体験者も高齢となり、私たちの身近にも悲惨な地上戦について語ってくれる人が少なくなってきた。学校現場でも年々、沖縄戦を主とした「平和教育」を実践することが難しくなっているのではないだろうか。当館では2017年より、博物館・美術館連携事業として慰霊の日関連催事を行っている。戦争の愚かさと命の大切さを絵本の読み聞かせを通して伝え、あらためて平和について考える機会とすることを目的としている。

【日　時】 展示期間　　　令和４年５月31日（火）～6月26日（日）
※読み聞かせ催事　令和４年６月18日（土）14：00～15：00
【会　場】 沖縄県立博物館・美術館　１階　エントランス
【講　師】 山川喜美子（沖縄地域児童文庫連絡協議会 事務局長）
【参加者】 14人
【内　容】 博物館・美術館教育普及連携催事で、館内１Ｆエントランスに TV モニターを設置し、平和関連の絵本の読み聞かせ映像の上映と、沖縄県立図書館協力のもと本の紹介も行った。
また、６月18日（土）には、山川喜美子氏に実際に読み聞かせを行って頂いた。
（１）平和に関する絵本の読み聞かせ映像の放映（美術館）
宮城アケミ（元沖縄大学教授・沖縄県立博物館・美術館　美術館鑑賞ボランティア）
（２）本の紹介資料（沖縄県立図書館）
（３）読み聞かせ催事(山川喜美子氏 読み聞かせ)
【作　品】①へいわってすてきだね（詩：安里有生 / 長谷川義史）
②マブニのアンマー−おきなわの母−（文：赤座憲久 / 絵：北島新平）

展示の様子

読み聞かせの様子

## ９　ボランティア活動

当館の美術館ボランティアスタッフは、学校団体に向けた鑑賞ツアーをサポートするガイドボランティアと、美術館関連書籍・新聞などを整理する資料整理ボランティアの２つのグループに分かれ、それぞれの特技を生かし活動している。今年度は、ほとんどの活動が再開し、ガイドボランティアは、小学校、特別支援学校合わせて４校215名の児童・生徒と鑑賞ツアーを行うことができた。また、研修会では初となる「ものづくりのワークショップ」も実施した。作る楽しさを実感するとともに、作家がどのような気持ちで作品と向き合っているか、改めて考えるきっかけにもなり、有意義な研修会となった。

（１）ボランティア研修会

| 回 | 月 日 | 曜日 | プログラム | 内　容 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ４月27日 | 水 | 活動説明会＋研修会 | 職員紹介・活動計画と事務手続き等説明会、鑑賞ツアー |
| 2 | ６月15日 | 水 | ワークショップ | 箸の制作ワークショップ<br>講師：鈴木仁・鈴木美智子（工房うるはし） |
| 3 | ８月１日 | 水 | 研修会 | 学校団体の来館を想定した対話型鑑賞の研修会 |
| 4 | ９月28日 | 水 | 研修会 | 学校団体の来館を想定した対話型鑑賞の研修会 |
| 5 | 11月９日 | 水 | 研修会 | 展示解説会 |
| 6 | 11月30日 | 水 | 研修会 | 学校団体の来館を想定した対話型鑑賞の研修会 |
| 7 | ３月８日 | 水 | 研修会 | 鑑賞会と今年度の振り返り |

（２）ガイドボランティア

| 月　日 | 曜日 | 学校名 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 10月12日 | 水 | うるま市立具志川小学校 | 55 |
| 10月14日 | 金 | 沖縄県立那覇みらい支援学校 | 19 |
| 12月7日 | 水 | 南城市立百名小学校（3年） | 34 |
| 12月7日 | 水 | 南城市立百名小学校（5年） | 27 |
| 12月14日 | 水 | 南城市立玉城小学校 | 80 |

対話による鑑賞の様子

## １０　移動展 in 渡嘉敷島

沖縄県立博物館・美術館は過去から長い年月をかけて収集した多数の資料を収蔵している。移動展は、ふだん沖縄県立博物館・美術館に足を運ぶことが難しい離島の方々にも、県民の財産である当館の博物館資料や美術品を移動展の展示として見てもらう良い機会である。沖縄県の自然、歴史、文化の広域普及を図ると共に、美術作品を鑑賞したり、ワークショップで作品を制作したり、小中学校で出前授業を行う等、美術に親しむ場を提供することを目的としている。令和２年・３年度と新型コロナ感染症の影響で実施できなかった渡嘉敷島での移動展であったが、今年度は無事予定通り開催し渡嘉敷島の島民の皆さんに喜んで頂くことができた。

【実施地域】　渡嘉敷村
【会期／開場時間】令和５年１月 13 日（金）～1 月 15 日（日）／午前９時～午後５時
※1 月 13 日（金）開会式 13:00～13:30
【会　場】　渡嘉敷村中央公民館
【展示内容等】　①「展覧会展示パネル」展覧会概要パネルの展示
②「教育普及ワークショップ（身近な植物で筆を作って文字や絵を描いてみよう！）」
③「出前授業」（11 日（水）渡嘉敷小中学校・13 日（金）阿波連小学校）

出前授業の様子
（渡嘉敷小中学校）

出前授業の様子
（阿波連小学校）

ワークショップの様子

展覧会場の様子

## １１　教職員講座

これまで、県内の中学校美術教愉、並びに小学校・幼稚園教諭を対象に、沖縄県造形教育連盟と共催で、図工・美術における授業の指導力向上や美術館を利用した鑑賞授業の方法などを紹介し、学校現場での美術教育に役立ててもらうことを目的とした研修を行ってきた。

前年度は、コロナ禍のため中止となったが、今年度は、小学校及び中学校の部会において、美術館の役割や利用方法などの説明を行った。次年度は、先生方を対象にしたバックヤードツアー等を計画している。

●第 59 回沖縄県造形教育研究大会（ワークショップ・授業改善研修会）

【日　時】　令和４年８月５日（金）10：00～17：00
【会　場】　沖縄県立博物館・美術館　（美術館講座室、博物館実習室）
【参加者】　小学校・中学校教諭及び造形教育関係者
【共　催】　沖縄県立博物館・美術館
【後　援】　沖縄県教育委員会
【協　賛】　ぺんてる株式会社
【内　容】　①ワークショップ　②実践研究発表

研修の様子

## １２　教職員等、研修の受け入れ

教育委員会や研究所、学校等からの要請を受け、「校内研修」や「中堅教諭等資質向上研修」等の受け入れも行っている。今年度は、那覇市立松島中学校の「職員研修」と、那覇市内の小学校教論4人と県立那覇高等学校教論3人の「中堅教諭等資質向上研修」を実施した。

（1）那覇市立松島中学校 職員研修

①日程：令和４年７月 27 日（水）14：00～16：35

②研修受入者　35 人

（2）令和４年度 中堅教諭等資質向上研修「社会体験研修」

①期間：令和４年８月４日（木）～８月５日（金）　２日間

※美術館班は８月４日（木）バックヤード＋コレクション展解説

②研修受入者　那覇市内小学校教諭　４人

（3）令和４年度 県立高等学校 中堅教諭資質向上研修

①期間：令和４年８月 17 日（水）～８月 19 日（金）３日間

※美術館班は 18 日（木）実施

②研修受入者：沖縄県立那覇高等学校教諭　３人

（4）令和４年度 第１回 県民カレッジ

「沖縄県立博物館・美術館バックヤードツアー」

①　日程：令和４年８月９日（火）13：30～16：00

②　受入者　23 人

美術館の役割について

「アートと社会」について

（玉城）

# Ⅳ 資料収集・保存管理

## 1 収蔵作品現在高

2023年3月31日　現在

| 分　類 | 購　入 | 寄　贈 | 移　管 | その他 | 小　計 | 寄　託 | 総　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平　面 | 379 | 1,475 | 64 | 2 | 1,920 | 203 | 2,123 |
| 立　体 | 34 | 241 | 0 | 8 | 283 | 17 | 300 |
| 写真・映像 | 394<br>（映像:20） | 2,204<br>（映像:６） | 0 | 0 | 2,598<br>（映像:26） | 767<br>（映像:０） | 3,365<br>（映像:26） |
| その他 | 13 | 12 | 1 | 3 | 29 | 41 | 70 |
| 総　計 | 820 | 3,932 | 65 | 13 | 4,830 | 1,028 | 5,858 |

※「写真・映像」の収蔵数に含まれる、映像作品数をカッコ内に記した。

## 2 2022（令和４）年度　新収蔵作品高

| 分　類 | 購　入 | 寄　贈 | 移　管 | 小　計 | 寄　託 | 総　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平　面 | 7 | 9 | 0 | 16 | 1 | 17 |
| 立　体 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 写真・映像 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総　計 | 7 | 9 | 0 | 16 | 3 | 19 |

## 3 2022（令和４）年度　新収蔵作品目録

【購　入】

| 分類 | | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・素材 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平面 | 絵画 | 喜屋武　千恵 | 白澤 | 2002 年 | 蜜蠟、彩、金箔、金泥、パネル | 1 |
| | | 石垣　克子 | それははじまりを告げる | 2016 年 | 油彩、キャンバス | 1 |
| | | 石垣　克子 | 繰り返しふりかかり前を見る | 2014-2015 年 | 油彩、キャンバス | 1 |
| | | 石垣　克子 | めぐりめぐる虹 | 2014 年 | 油彩、キャンバス | 1 |
| | | 嘉数　能愛 | 琉球の女 | 1955 年 | 油彩、キャンバス | 1 |
| | | 鳥海　青児 | 花図 | 不明 | 油彩、キャンバス | 1 |
| | | 名渡山　愛順 | 風景 | 1959 年 | 油彩、キャンバス | 1 |

【寄　贈】

| 分類 | | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・素材 | 数量 | 寄贈者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平面 | 絵画 | 高島　彦志 | 南風の記憶 | 不明 | 漆喰、アクリル、キャンバス | 1 | 高島　美佐子 |
| | | 高島　彦志 | 南風の記憶 2001 | 2001 年 | 漆喰、アクリル、ボード | 1 | 高島　美佐子 |
| | | 高島　彦志 | 南風の記憶 2002 | 2002 年 | 漆喰、アクリル、ボード | 1 | 高島　美佐子 |
| | | 高島　彦志 | ROOM | 1991 年 | アクリル、キャンバス | 1 | 高島　美佐子 |
| | | 高島　彦志 | 南風の記憶 2006 | 2006 年 | 漆喰、アクリル、ボード | 1 | 高島　美佐子 |
| 平面 | 絵画 | 西村　立子 | 木立ち | 1995 年 | 日本画、岩絵具、紙、パネル | 1 | 西村　立子 |
| | | 西村　立子 | 黄昏 | 1995 年 | 岩絵具、絹本、パネル | 1 | 西村　立子 |
| | | 西村　立子 | 影 | 1997 年 | 岩絵具、絹本 | 1 | 西村　立子 |
| | | 嘉数　能愛 | 琉球の漁村 | 1957 年 | 油彩、キャンバス | 1 | 宮川　愛子 |

【寄託】

| 分類 | | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・素材 | 数量 | 所有者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 立体 | その他 | 照屋 勇賢 | 染分地山波葡萄菖蒲椿柴垣紋様衣装 | 2021 年 | コラージュ、紙 | 1 | 森根　聖美 |

| 分類 | | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・素材 | 数量 | 所有者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 立体 | その他 | 照屋 勇賢 | Louvre | 2019年 | モノポリーのお金、ピン、ウレタンフォーム | 1 | 森根　聖美 |
| 立体 | その他 | 照屋 勇賢 | 雲と花の間 | 2021年 | コサージュ、新聞 | 1 | 森根 聖美 |

## 4 作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の文化芸術の拠点となると同時に、芸術文化活動を通じて、アジア地域や沖縄の発展に貢献する国際化の拠点となることを目的としている。収

集事業は、本県独自で個性あるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

令和４年度は、１回の美術品等収集委員会を実施した。作品の収集にあたっては、それぞれの学芸員による専門分野の前調査をもとに、美術館学芸会議で審査を行い、県内の有識者で構成された収集委員会で審議した。その結果を参考に所定の手続きを経て、収集した。今回は購入、寄贈とともに、これまで収集を積極的には行っていなかった日本画を収集した。寄託は、次年度企画展への出品を想定して、国内外で活躍する現代美術家の近作を諮った

（豊見山）

## ５ 保存管理事業

### （1）保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理の徹底による虫菌害予防（ペストコントロールを含む）が、まず挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の消毒など、対策の強化を重点的に行っている。さらに収蔵作品においては効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう配慮している。

### （2）収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、その作業内容に沿った修復家への依頼、招聘を行い、当館保存修復室にて共同で修復作業を行うこととしている。本年度の外部委託の依頼はなかった。

企画及び常設展へ出品するための状態チェック、修復作業、額装及び吊り金具等整備作業、版画作品のマウント作業、借用作品の状態チェックなどを行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

### （3）収蔵品修復(館内処置)

| 作家名 | 作品名 | 技法・素材 | 処置の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 大城皓也 | 無題 | 油彩・<br>キャンバス | 絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。木枠とキャンバスを分離し、裏面の乾式洗浄。裏面の染み出し固化したニスの除去。裏面より破れ部分に和紙と合成樹脂によるパッチの接着。画面への合成樹脂の塗布。裏面に合成樹脂シートを使用したホットテーブルによる裏打ち。新しい木枠への張り込み。画面洗浄。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。ニス吹付。額装の改善。 | 美術館2次資料<br>美術館常設展 |
| 大城皓也 | 無題 | 油彩・<br>キャンバス | 画面洗浄。絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。ニス吹付。額装の改善。 | 当館収蔵作品 |
| 津山　彬 | 門 | 油彩・<br>キャンバス | 絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。額装の改善。 | 当館収蔵作品<br>FUKKI QUALIA |
| 金城克規 | 神遊び | 油彩・<br>キャンバス | 絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。額装の改善。 | 当館収蔵作品 |
| 新城　剛 | アカマタ | アクリル・<br>キャンバス | 絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。 | 当館収蔵作品 |
| 金城真常 | あざみ咲く | 油彩・<br>キャンバス | 絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。 | 当館収蔵作品<br>FUKKI QUALIA |
| 治谷文夫 | 黒い風景1 | 油彩・<br>キャンバス | 吊り金具交換・額装の改善。 | 当館収蔵作品<br>FUKKI QUALIA |

| 作家名 | 作品名 | 技法・素材 | 処置の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 岸本一夫 | 積み木のOKINAWA | 油彩・キャンバス | 吊り金具交換・額装の改善。 | 借用作品 |
| 岸本一夫 | 黒い蝶 | ポスターカラー・洋紙 | 吊り金具交換・額装の改善。 | 借用作品 |
| 本村恵清 | 魔よけ大いに怒る | 油彩、クレヨン・キャンバス | 吊り金具交換 | 当館収蔵作品 |
| 渡慶次真由 | 廃屋 | 油彩・キャンバス | 吊り金具交換・額装の改善。 | 当館収蔵作品 |
| 新垣安之輔 | 風景の神話(砂の記憶) | 鉛筆・紙 | 吊り金具交換・額装の改善。 | 当館収蔵作品 FUKKI QUALIA |
| 具志堅聖児 | 母子 | 紙本着色 | 吊り金具交換・額装の改善。 | 当館収蔵作品 |
| 具志堅聖児 | 南うるま | 紙本着色 | 吊り金具交換・額装の改善。 | 当館収蔵作品 |
| 具志堅聖児 | 静韻 | 紙本着色 | 吊り金具交換・額装の改善。 | 当館収蔵作品 |
| 石嶺傳郎 | 虚 | 油彩・キャンバス | 吊り金具交換、額装の改善 | 当館収蔵作品 |
| 平野長伴 | 造船所風景 | 油彩・キャンバス | 吊り金具交換、額装の改善。 | 当館収蔵作品 |
| 内間安瑆 | Felicitation 祝 | 多色木版・紙 | ブックマウント、作品固定方法の改善。額装の改善。 | 当館収蔵作品 |

※額縁の新調、展示方法の改善等は含まない。

注記

**・館内処置について**

作品における処置は全て当館保存修復学芸員　梶原正史が行った。

額装の改善とは主に入れ子へのフェルト貼りや、スペーサー装着、額縁裏面・泥足の補強、ぐらつき防止のネジ止め、割れの接着、汚損の除去など。

**・修復に使用した材料について**

作品に悪影響を及ぼすことがないこと、材質的に安定していて、将来的に除去が可能なことを前提に、様々な作品状態にあったものを使用している。

## 6 作品貸出

美術館では、借用先のファシリティーズレポートの提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で可否を決定している。また、輸送会社へ貸出作品の状態に合わせた梱包仕様の提案を行い、作品貸出及び返却作業には、美術館職員と借用先職員の両者が立ち合い、作品状態の点検を行っている。なお2022年度、美術館収蔵作品の作品貸出は以下3件であった。

①番組名：復帰50年特番「オキナワ強者列伝：具志堅用高SP」
放送日：2022年7月12日（火）19：00から一時間生放送
貸出期間：2022年6月8日～6月15日
貸出作品：1点（収蔵作品1点）
1　謝花　謙　ヤマングーヌティーダ　1978年　DVD

②展覧会名：企画展「宮城明展〈 表皮一体の探究 〉」
展覧会場：世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム　新館２階　企画展示室
貸出期間：2022年10月3日～11月中旬頃
貸出作品：2点（収蔵作品2点）
1　宮城明　変容　1998年　ジーンズ、アクリル、染料
2　宮城明　北北東の風　2000年　杉板、木、定規、スピーカー、CDほか

③催事名：「第7回ねりま沖縄映画祭2022」
ｑ上映会場：練馬役所地下多目的会議室
貸出期間：2022年11月5日～
貸出作品：1点（収蔵作品1点）
1　金城　哲夫　吉屋チルー物語　日本語字幕版　1962年 DVD

（梶原）

# 一般財団法人
# 沖縄美ら島財団
# （指定管理者）

Ⅰ　沖縄美ら島財団の概要
Ⅱ　運営方針
Ⅲ　組織
Ⅳ　展示活動
Ⅴ　教育・イベント活動
Ⅵ　広報事業に関する業務
Ⅶ　調査・研究・講演・著作論文等の活動
Ⅷ　その他

## Ⅰ 沖縄美ら島財団概要

【沿　革】
1976年（昭和51）７月、海洋博覧会記念公園管理財団発足。同年８月１日、国営沖縄海洋博覧会記念公園維持管理業務受託開始。1991年（平成３）首里城基金を設立。1992年（平成４）11月、首里城公園（国営沖縄記念公園首里城地区、県営公園の一部、城郭）の維持管理業務受託開始。同年営業契約により特定公園施設（正殿、南殿・番所、北殿、奉神門、御庭等）の管理運営を開始。2002年（平成14）11月、営業契約により特定公園施設（沖縄美ら海水族館）の管理運営を開始。2004年（平成16）12月、ISO14001認証取得。2008年（平成20）12月、総合研究センター発足。2012年（平成24）10月１日、一般財団法人沖縄美ら島財団に改称。

【業務内容】
1976年（昭和51）８月開園以来海洋博公園の維持管理業務、1992年（平成４）11月開園以来首里城公園国営公園部分と首里城城郭を含む県営公園部分の維持管理業務を受託している。首里城有料区域及び沖縄美ら海水族館については、独立行政法人都市再生機構との営業契約で運営していたが、2019年（平成31）２月から沖縄県が管理者となったことから、「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）」及び「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（海洋博覧会地区内施設）」の指定管理者として運営している。2006年度（平成18）からは指定管理者として県営首里城公園、2013年度（平成25）から県立名護青少年の家、2014年（平成26）からなごアグリパーク（名護市農産物６次産業支援拠点施設）の管理運営を行うほか、2015年（平成27）から名護市の小学校跡地に沖縄の自然に関する調査研究・普及啓発活動の拠点施設として「美ら島自然学校」を開校し運営している。また、2008年（平成20）に「総合研究センター」を設立し、海洋生物や亜熱帯植物、海洋文化、首里城等琉球王国文化の調査・研究普及啓発、社会貢献・地域連携活動を行い、2014年（平成26）には文部科学省により科学研究費補助金取扱規程に定める研究機関に指定された。2016年（平成28）４月から沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として管理・運営にあたっている。指定期間は１期目が2016年（平成28）４月～2021年（令和３）３月までの５年間、２期目が2021年（令和３）４月～2026年（令和８）３月までの５年間。

## Ⅱ 運営方針

### １ 管理運営の基本方針

#### （1） 基本的な考え方
沖縄県や地域社会、県民など多様な主体と連携・協働し、「沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例」及び「沖縄県立博物館・美術館中長期計画」が示す本館の使命と役割を果たします。
以下に示す管理運営方針のもとで効率的な業務運営に取り組み、当財団の調査研究部門との連携を強化し、沖縄の自然・歴史・文化の拠点である博物館・美術館の機能の発揮に努めます。
なお、新型コロナウイルスは収束の見通しが立たず、長期にわたり大幅な収入減少を余儀なくされると想定されます。沖縄県とのリスク分担表に基づく協議を行った結果、収支均衡を保てない恐れがあると判断した場合は、事業計画書の提案内容を変更し、事業縮小策を講じます。

### ２ 管理運営方針

方針１：沖縄の宝を守り育み、多くの方へ、そして未来へつなぎます。

**・総合研究センターの調査・研究・普及啓発活動を社会に還元**
総合研究センターの研究成果や人材、ネットワークを活かし、本館が行う資料の保管や展示、調査研究、教育普及事業をサポートし、沖縄県の文化芸術や教育学習の発展、調査研究の推進に寄与します。

**・豊富な学芸員人材により県の展覧会や教育普及活動をサポート**
博物館での業務経験豊富な学芸員有資格者を多数配置し、県の活動をサポートするとともに、自主事業等を積極的に展開し、沖縄県を代表する博物館・美術館に相応しい学びと鑑賞の機会を提供します。

**・沖縄固有の自然・歴史・文化の継承・発展を支援**
令和2年に世界遺産に登録された『奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島』、令和１年に日本遺産に認定された『琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」』や、漆器をはじめとした沖縄県の伝統工芸品を普及・継承・支援するための取り組みを行います。

方針２：おもてなしの心と親しみあふれる開かれた博物館・美術館を目指します。

**・お客様の立場に立ったサービス提供**
礼節を重んじる「守礼の心」を大切に、ホスピタリティ溢れる接客とサービスにより顧客満足度を高めま

す。また、お客様の声を業務に反映させる仕組みにより継続的にサービスの質を向上させます。

**・全ての方が快適に過ごせる利用環境の整備**

身体の不自由な方や外国人、社会的弱者の方を含め、全てのお客様が快適に利用できる施設を目指し、ソフトとハードの両面から取り組みを行います。

**・万人に開かれた存在になるためのブランディング活動**

令和１年度に策定した本館のブランドスローガン「あなたの沖縄に出会う」を軸に、一貫性のある情報発信とサービス提供を行います。また、本館が目指すアジアや世界に開かれたミュージアムの実現をサポートします。

**方針３：誰もが安全・安心・快適に過ごせる適切な運営を行います。**

**・豊富な経験とノウハウに基づく適切な施設維持管理**

当財団による総合管理のもと、開館以来本館の維持管理を担う専門会社が施設維持管理を行います。また予防保全の観点に立った施設の長寿命化と安全確保に努めます。

**・文化財保護施設に相応しい万全の危機管理体制を構築**

想定される緊急事態を洗い出し、独自の危機管理マニュアルに定める予防及び発生時の対策を用意するとともに、定期的な訓練により実践的な対応力を強化します。

**・新型コロナウイルス等の感染症拡大防止策を徹底**

県内及び国内の感染状況に応じて的確に対策を講じるとともに、入口での水際対策や消毒、３つの密（密閉、密集、密接）を避ける対策を徹底し、お客様が安心して利用できる環境を整えます。

**方針４：観光客の来館を増やし、沖縄観光の推進に寄与します。**

**・質・量ともに優れた誘客・広報活動**

当財団が持つ豊富な情報発信資源と、これまで蓄積してきたマーケティングノウハウを活かし、顧客のニーズを捉えた誘客広報活動を展開します。観光客の主要な情報収集手段となっているWEBサイトやSNS等を積極活用し、時代の変化に適応した情報発信を行います。

**・県内外ネットワークの活用と沖縄美ら海水族館や首里城公園との連携**

当財団が県内外の観光業界において持つネットワークを活用するほか、沖縄県の二大観光施設と連携するなど当財団ならではの広報資源を活用して誘客を行います。

**・沖縄固有の歴史文化を楽しく鑑賞・体験できる情報提供**

観光客のニーズに適応した情報発信を行い、本館が観光客にとって沖縄の自然・歴史・文化に触れ、沖縄観光を楽しむための出発点として、また知的好奇心を充足させる観光施設として定着するよう努めます。

**方針５：地域に愛され、人々が集う文化・芸術拠点を目指します。**

**・行催事で地域の皆様の発表・講師の場を提供**

年間を通じて地域の皆様に参加いただけるイベントを開催し、披露したい人と楽しみたい人、教えたい人と学びたい人をつなげる場を創出します。

**・音楽イベントの開催により来館と交流を促進**

本館の立地特性や空間の雰囲気を活かし、音楽鑑賞の機会を創出します。県内アーティストによるコンサートや県内大学生による芸能披露を開催します。

**・地域の多様な主体と連携**

那覇新都心通り会や近隣の小学校をはじめ、本館周辺の企業や団体と互いに協力し合える関係を築き、地域活動に参加することで、豊かな地域づくりに貢献します。

**方針６：本館の総合力を最大限に活用し、多様なニーズに応えます。**

**・本館の複合機能を活かした滞在体験の提供**

博物館、美術館、情報センター、貸施設、ショップ、カフェなど多様な機能を有する施設の強みを活かし、お客様が見て、触れて、学べる体験や快適な滞在サービスを提供します。

**・本館の特長を活かした自主事業を新たに実施**

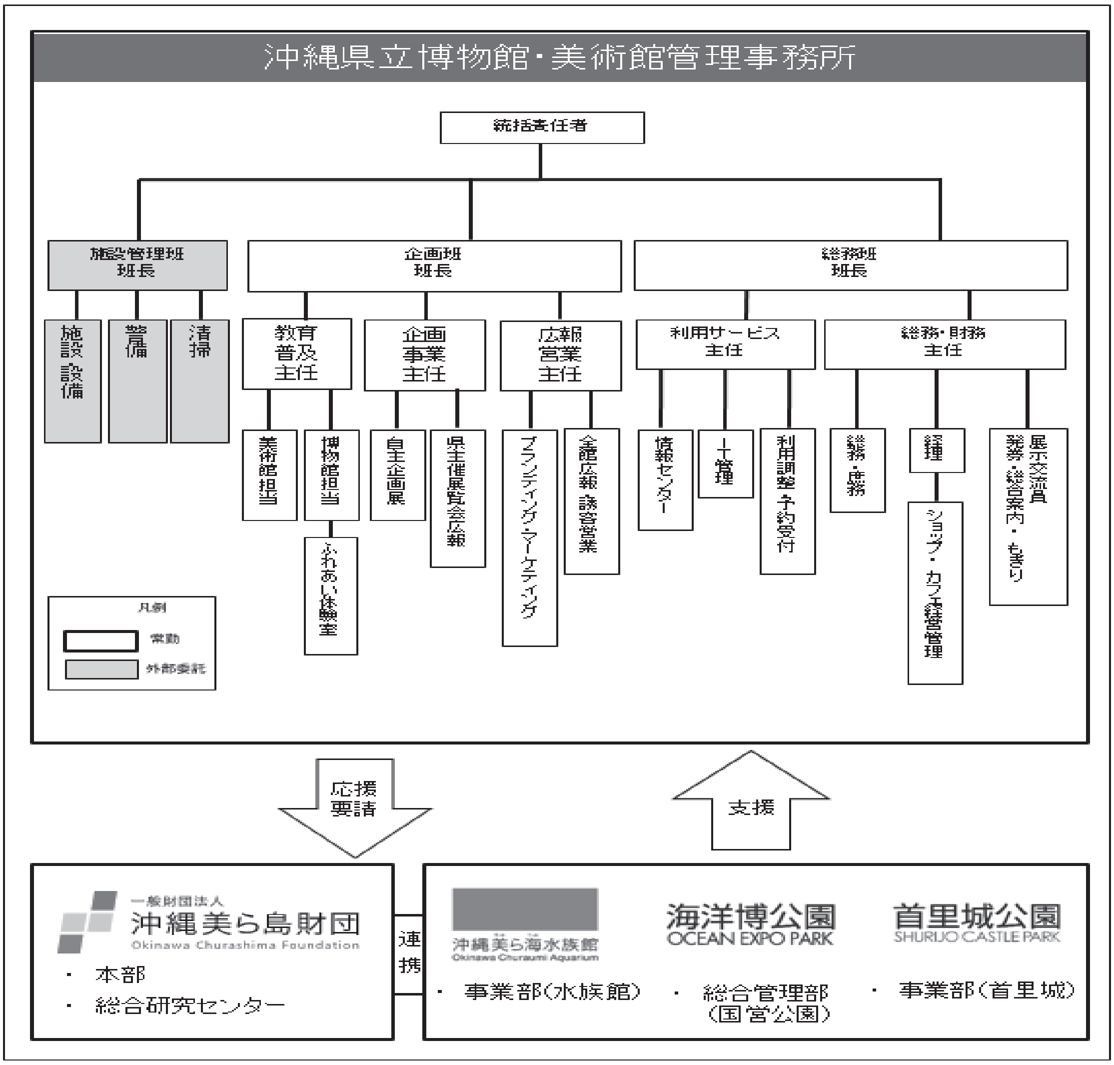
本館が有するスペース、知名度、集客力といった有形無形の資源に、当財団の人材、ノウハウ、発信力を掛け合わせることで新たな自主事業を展開します。

**・博物館常設展、美術館コレクション展の来館動機を高めるプロジェクト**

複合的な機能を有する本館の施設特性を活用し、博物館常設展の「目玉」を広める「万国津梁の鐘」プロジェクト、アート鑑賞の素晴らしさを伝える「アートを身近に！」プロジェクトを推進します。

# Ⅲ 組織

## 1 管理組織図




## 2 職員構成

【職員構成】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2023年３月31日　現在

| | | 氏　名 | 担 当 業 務 |
|---|---|---|---|
| 統　括 | | 木下　龍太 | 指定管理業務の統括に関すること |
| 総務班 | 総務・経理 | 金城　早苗 | 総務全般、予算、申請事務、人事管理に関すること<br>ショップ、カフェの管理に関すること |
| | | 藤田　早苗 | 報告書作成、契約事務やその他総務全般に関すること |
| | 利用サービス | 具志堅　春樹 | 施設貸出に関すること、施設維持管理、危機管理に関すること |
| | | 宮里　弥杉 | 情報システムに関すること |
| | | 宮里　宗彦 | 施設貸出に関すること |
| | | 仲宗根　めぐみ | 情報センターの管理・運営に関すること |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 企画班 | 学芸業務 | 金城　美奈子 | 企画展、自主事業、広報業務に関すること |
| | | 國吉　貴奈 | 企画展、自主事業、広報業務に関すること |
| | | 渡久地　雅代 | 企画展、自主事業、広報業務に関すること |
| | | 川島　祥子 | 企画展、自主事業、広報業務に関すること |
| | 教育普及 | 大濵　萌子 | 教育普及（博物館・美術館業務）に関すること |
| | | 保久村　智恵 | 教育普及（美物館業務）に関すること |
| | | 藤井　雅弘 | 教育普及（博物館）に関すること |
| | | 新垣　麻乃 | ふれあい体験室、教育普及に関すること |
| | 広報 | 金城　正仁 | 営業、広報業務に関すること |
| | | 上地　彩夏 | 営業、広報業務に関すること |

【人事異動】　2023年３月31日　現在

| | 氏　　名 | 適　　　用 |
|---|---|---|
| 転　　出 | 仲里　沙也加 | 2022年12月31日　退職 |
| | 渡邊　孝仁 | 2022年12月31日　退職 |
| | 野口　真弓 | 2023年１月31日　退職 |
| | 藤井　雅弘 | 2023年３月31日　退職 |

# Ⅳ 展示活動

## 1 展示活動概要

### （1）自主企画「悠久のシルクロード展ー古代エジプトからアジア、日本へと繋がる歴史と文化の道」

会　　期：2022年４月５日（火）～５月８日（日）（開催日数30日）
展示場所：博物館企画展示室、特別展示室1、2
観 覧 料：一般1,300円（1,100円）、高大生900円（720円）、小中生500円（400円）、未就学児無料
※（ ）は前売料金
※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額
入場者数：12,370名（１日平均412名）
担当学芸員：國吉貴奈

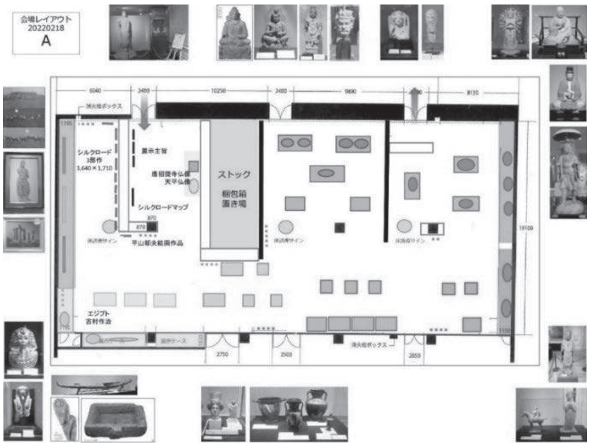
【開催形式】
主　　催：沖縄美ら島財団、琉球新報社、宣伝
総 監 修：吉村作治（東日本国際大学総長・早稲田大学名誉教授）
監　　修：平山東子（公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館館長）
企画協力：株式会社アケト、公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館
協　　力：東日本国際大学エジプト考古学研究所、唐招提寺、株式会社松久宗琳佛所、和美企画
企　　画：株式会社宣伝、株式会社G-STYLE
題　　字：柏木白光

【開催趣旨】
紀元前から現代まで時代を超えて継承される、シルクロードに関連する優れた美術作品や歴史遺物116点を展示した。平山郁夫作品からスタートし、エジプト、ギリシャ、西アジア、中央アジア、東アジアそして日本へと地域を分けて展示内容を構成した。

【展示内容】
１）平山郁夫「大シルクロードシリーズ」　絵画13点
２）エジプト　約20点
３）地中海　16点
４）西アジア　20点
５）中央アジア、ガンダーラ、インド　19点
６）東アジア　19点
７）日本　仏師・松久宗琳の仏像６点

展示風景

【関連催事】
①オープニングセレモニー
日　　時：2022年４月５日（水）９:15～９:30
場　　所：博物館企画展示室、特別展示室１、２前
②入場者数5,000人達成セレモニー
日　　時：2022年４月27日（水）13:30
場　　所：博物館企画展示室、特別展示室１、２前
③入場者数10,000人達成セレモニー
日　　時：2022年５月６日（金）11:00
場　　所：博物館企画展示室、特別展示室１、２前
④吉村作治氏　講演会
日　　時：a)2022年４月９日（土）13：00～14:00
b)2022年４月10日（日）10：00～11:00
c)2022年５月７日（土）18：00～19:00
場　　所：講堂
講　　師：吉村作治氏（東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授）
参加者数：a)158名、b)161名、c)160名　（各日定員200名）
参 加 費：無料（要企画展チケットまたは半券提示）



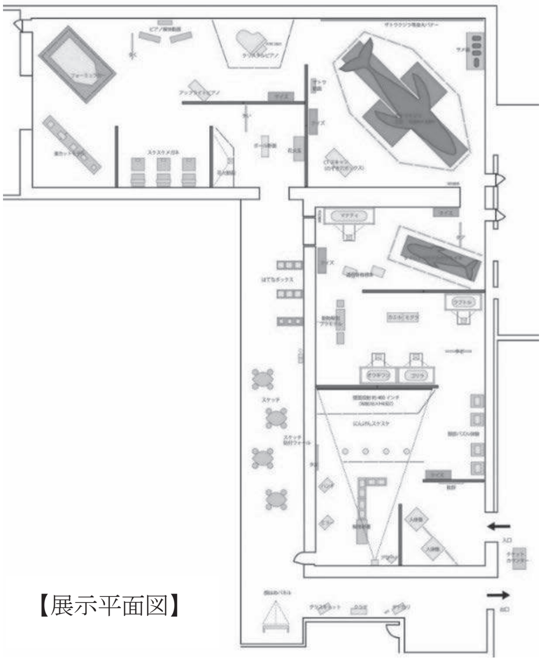

【展示平面図】

（國吉）

**（２）　自主企画「スケスケ展―スケると見える仕組みの世界―」**

会　　期：2022年７月12日（火）～９月４日（日）（開催日数48日）
展示場所：美術館企画ギャラリー１、２
観 覧 料：一般1,200円（1,000円）、高大生1,000円（800円）、小中生600円（480円）、未就学児無料
※（ ）は前売及び20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は当日料金の半額
入場者数：51,132名（１日平均1,065名）
担当学芸員：川島祥子

【開催形式】
主　　催：沖縄美ら島財団、琉球新報社
企画制作：KOO-KI
企画協力：西日本新聞社、RKB毎日放送、
協　　力：福岡市科学館、青島文化教材社、河合楽器製作所、久留米工業大学
協　　賛：琉球銀行



【展示平面図】

【開催趣旨】
デジタル技術を用いたスケる体験や、骨格模型・標本等を通じて、外側と内側の機能や仕組みを楽しみながら知ることができる展覧会。また、沖縄美ら島財団

総合研究センター所蔵のザトウクジラの全身骨格標本などを、沖縄会場オリジナルコンテンツとして展示した。

【展示内容】

1）にんげんスケスケ

スクリーンに近づくと、自分の体がスケて骨や血管、筋肉が映し出される。スケスケ展の導入として、自分自身のスケスケを体験することができる。

2）どうぶつスケスケ

様々な動物の骨から外側を推測し、そこから見えてくる内側と外側の関係性を考える。

3）アクアスケスケ

透明標本を観察できるコーナーや、体がスケている魚、ガラス製のシェルを背負ったヤドカリの生体を展示。

4）くらしスケスケ

透明のピアノや中の見える車などを設置し、身近な製品の中身を、触ったりして感じることができる。

5）いろいろスケスケ

メガネをかけると中身が見える不思議なモニターや、中身を想像して描くスケッチコーナーを設置し、いろいろなスケスケを感じることができる。

6）オキナワスケスケ

沖縄美ら島財団総合研究センター 動物研究室と協力し、オリジナルコンテンツとしてタイヘイヨウアカボウモドキやザトウクジラ、サメの歯の骨格標本、海の生き物のCTスキャン画像等を展示。

オキナワスケスケコーナー

【関連催事】

①プレイベント「セイタ先生のスケスケ教室」
（Webでのライブ配信）

日　　時：2022年６月29日（水）10:20～11:20
講　　師：嶺井聖太（アポロサイエンス）
視聴回数：459回（９月４日時点）

②内覧会

日　　時：2022年７月11日（月）14:00～16:00
場　　所：美術館企画ギャラリー１、２
参加者数：約80名（招待した平安学園の児童含む）

③開会式

日　　時：2022年７月12日（火）９:15～９:30
場　　所：美術館企画ギャラリー１、２
参加者数：22名

④講演会「動物のホネをくらべよう」

日　　時：2022年７月23日（土） a）10:30～11:30、b）14:00～15:00
場　　所：博物館講座室
講　　師：木下あや（沖縄こどもの国 教育普及員）
参 加 費：無料　※展覧会チケットまたは半券の提示が必要
参加者数：a）47名、b）23名（各回定員100名）

⑤講演会「セイタ先生のスケスケの謎を知ろう」

日　　時：2022年８月６日（土） a）11:00～12:00、b）14:00～15:00
場　　所：博物館講座室
講　　師：嶺井聖太（アポロサイエンス）
参 加 費：無料　※展覧会チケットまたは半券の提示が必要
参加者数：a）58名、b）63名（各回定員100名）

⑥講演会「オキナワスケスケを詳しく知ろう」

日　　時：2022年８月19日（金）14:00～15:30
場　　所：博物館講座室
講　　師：小林希実（沖縄美ら島財団 総合研究センター 動物研究室 主任研究員）
参 加 費：無料　※展覧会チケットまたは半券の提示が必要
参加者数：25名（定員100名）

講演会「法医学での骨の視かた」

⑦講演会「法医学での骨の視かた―見えるものから、見えないことを考える―」

日　　時：2022年８月27日（土）14:00～15:30
場　　所：講堂
講　　師：二宮賢司（琉球大学大学院医学研究科法医学講座 教授）
参 加 費：無料　※展覧会チケットまたは半券の提示が必要
参加者数：100名（定員200名）

⑧ワークショップ「スケスケバッグをつくろう」
日　　時：2022年７月17日（日）14:00～16:00
場　　所：県民アトリエ、こどもアトリエ
講　　師：與那原愛乃、仲地華、金城桜、比嘉光里、麥谷薫
（学びアトリエわりたまご）
参 加 費：500円
参加者数：15名（定員20名）

⑨ワークショップ「サメの歯化石の封入標本づくり」
日　　時：2022年７月22日（金）
a）10:00～11:00、b）14:00～15:00
場　　所：博物館実習室
講　　師：新垣麻乃（沖縄美ら島財団 学芸員）
参 加 費：500円
参加者数：a）12名、b）11名（各回定員12名）

**ワークショップ**
**「サメの歯化石の封入標本づくり」**

⑩ワークショップ「窓ガラスにお絵かきしよう」
日　　時：2022年７月24日（日）　９:30～10:30
場　　所：県民ギャラリー中庭
講　　師：與那原愛乃、仲地華（学びアトリエわりたまご）
参 加 費：無料　※展覧会チケットまたは半券の提示が必要
参加者数：21名（定員20名）

⑪ワークショップ「動物をつくってみよう！描いてみよう！」
日　　時：2022年８月11日（木）　a）10:30～11:30、b）14:00～15:30
場　　所：博物館講座室
講　　師：陳佑而、金尾由恵（沖縄こどもの国 教育普及員）
参 加 費：500円
参加者数：a）23名、b）22名（各回定員30名）

⑫沖縄オリジナルコンテンツ展示解説会
日　　時：2022年８月７日（日）、８月20日（土）　a）11:00～12:00、b）14:00～15:00
講　　師：岡慎一郎（沖縄美ら島財団 総合研究センター 動物研究室室長兼上席研究員）
宮本 圭（沖縄美ら島財団 総合研究センター 動物研究室 主任研究員）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

⑬連動企画イベント　13才からのアート講座「見えないものを描くアートの世界」
日　　時：2022年７月18日（月）14:00～15:30
場　　所：博物館講座室
講　　師：金城美奈子、國吉貴奈（沖縄美ら島財団 学芸員）
参 加 費：500円
参加者数：34名（定員100名）

⑭連動企画イベント　ふれあい体験室ワークショップ（琉球銀行プレゼンツ）
「ふれたい博士のカラフル葉脈標本～スケスケ葉っぱに色をつけよう！」
日　　時：2022年７月16日（土）～９月３日（土）の毎週土曜日 a）10:00～11:00、b）11:00～12:00
※９月３日（土）は台風11号接近により、９月25日（日）に延期
場　　所：博物館ふれあい体験室前エントランスホール
講　　師：新垣麻乃（沖縄美ら島財団 学芸員）
参 加 費：琉球銀行協賛により参加費無料
参加者数：139名（定員各日16名）

（川島）

## Ⅴ 教育・イベント活動

子どもから大人まで幅広い世代の方が気軽に参加でき、楽しみながら学べるプログラムを企画立案し、実施した。ただし一部のイベントは天候の影響により中止・変更した。

## 1 ワークショップ・イベント等

### （1） ふれあい体験室ワークショップ

体験キットや展覧会の充実・発展を目的に、３ヶ月毎にテーマを変え年間４つのプログラムを提供している。未就学児から大人まで幅広い世代に参加してもらえるよう、難易度を低くし短時間で取り組める内容を選定した。今回「ふれたい博士の星座万華鏡づくり」の付帯催事として「おきみゅーde冬の星空観察会」を企画するなど、ワークショップの学びをより深める取り組みを行った。

場　　所：ふれあい体験室前エントランスホール
講　　師：新垣麻乃、保久村智恵、大濵萌子、藤井雅弘（沖縄美ら島財団 学芸員）
開催日数：45日（全116回）
参加者数：676名

①「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

体験キットNo. 19「いろいろな玩具」に関連して、沖縄の昔ながらの草編み玩具を画用紙やソフトテープを使って制作した。

日　　時：2022年４月～６月の毎週土曜日（全13回）
　　　　　a)10:00～10:45 、b)10:45～11:30、c)11:30～12:15
参 加 費：300円
参加者数：４月２日８名、９日４名、16日５名、23日14名、30日15名
　　　　　５月７日17名、14日17名、21日８名、28日16名
　　　　　６月４日18名、11日14名、18日17名、25日18名
　　　　　合計171名（定員各日18名）

②スケスケ展連動企画（琉球銀行プレゼンツ）「ふれたい博士のカラフル葉脈標本 ～スケスケ葉っぱに色をつけよう！」

スケスケ展に関連して、葉脈標本を制作。葉脈だけを取り出した葉を好きな色に染め上げ、ハーバリウムオイル入りの標本瓶に詰めて葉脈を観察した。

日　　時：2022年７月16日～９月３日の毎週土曜日（全８回）
　　　　　a)10:00～11:00、b)11:00～12:00　※一部、日曜開催
参 加 費：無料　※琉球銀行協賛
参加者数：７月16日16名、23日14名、30日17名
　　　　　８月６日16名、13日17名、20日15名、27日17名
　　　　　９月25日27名 ※９月３日は台風11号接近により、９月25日（日）に延期
　　　　　合計139名（定員各日16名）

③「ふれたい博士の星座万華鏡づくり」

体験キットNo. 9「見える星座、見えない星座」に関連して、沖縄の夜空で見られる星座について学びながら、星座の万華鏡を制作した。

日　　時：2022年10月～12月の毎週土曜日（全13回）
　　　　　※一部日曜開催
　　　　　a)10:00～10:45、b)10:45～11:30、c)11:30～12:15
参 加 費：300円
参加者数：10月１日19名、８日18名、15日18名、29日18名
　　　　　※22日中止
　　　　　11月５日18名、12日17名、19日18名、20日18名、26日18名、12月３日18名、10日16名、17日16名、24日12名
　　　　　合計224名（定員各日18名）

④「ふれたい博士の手織りコースターづくり」

体験キット№21「衣からわかること」に関連して、オリジナルのコースターを制作した。「平織り」の体験を通して、経糸と緯糸からできる織物の仕組みを伝えた。

日　　時：2023年１月～３月の毎週土曜日（全11回）
　　　　　a)10:00～11:00、b)11:00～12:00
参 加 費：400円
参加者数：１月７日17名、21日12名、28日９名　※14日お休み、２月４日６名、11日14名、18日13名、25日16名、３月４日10名、11日13名、18日14名、25日18名
　　　　　合計142名（定員各日18名）

⑤Ainiオンラインワークショップ

体験サイトAini（アイニ）を利用して、ふれあい体験室ワークショップなどのコンテンツをオンラインで提供した。

日　　時：2022年６月26日（日）14:00～15:00
　　　　　2022年９月24日（土）14:00～15:30
参 加 費：1,500円
参加者数：６月26日１名、９月24日２名、合計３名（定員各日５名）

⑥ふれたい博士の星座万華鏡づくり関連催事「おきみゅーde冬の星空観察会」

「ふれたい博士の星座万華鏡づくり」の付帯催事として、屋上にて星空観察を行う予定だったが、雨天のため日程・内容を変更して星の解説会を行った。

日　　時：2022年12月16日（金）17:30～19:00　※雨天のため３日から延期
場　　所：博物館実習室
講　　師：宇佐美 賢（沖縄県立博物館・美術館 地学担当学芸員）
　　　　　藤田早苗（沖縄美ら島財団）
参 加 費：500円
参加者数：15名（定員25名）

⑦第13回移動展in渡嘉敷島関連催事「かんたん化石のレプリカづくり」

第13回移動展 in 渡嘉敷島」の一環として、ふれあい体験室ワークショップの中でも人気のプログラムを渡嘉敷島の子供たちに提供した。アンモナイトや三葉虫、恐竜などの古代生物のレプリカを制作し、その生態について伝えた。

日　　時：2023年１月14日（土）a)15:00～16:00、b)16:00～17:00
　　　　　2023年１月15日（日）a)10:00～10:45、b)10:45～11:30
場　　所：渡嘉敷村中央公民館
講　　師：新垣麻乃（沖縄美ら島財団 学芸員）
参 加 費：300円
参加者数：35名（定員40名）

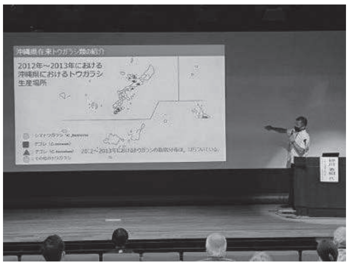
## （２） 沖縄美ら島財団 総合研究センター連携事業

①『沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか？』出版記念講演会

出版本にまつわるエピソードや水族館におけるこれまでのサメの生態解明に関する研究の成果、調査研究の重要性について解説した。

日　　時：2022年８月６日（土）14:00～16:00
場　　所：講堂
講　　師：佐藤圭一（沖縄美ら島財団 沖縄美ら海水族館 統括）
　　　　　冨田武照（沖縄美ら島財団 総合研究センター 動物研究室主任研究員）
参加者数：60名（定員140名）※サイン会参加者数21名　　（新垣）

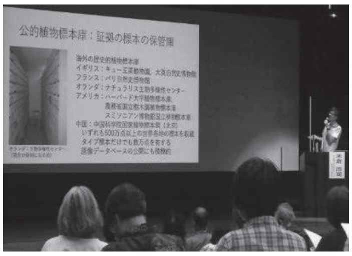
②大人のための植物講座１「知ってるつもり！？代表的な島野菜の多様性」



一般的によく知られている島野菜をとりあげ、その多様性と、経済栽培に関する研究や取り組みについて紹介した。

日　　時：2022年８月14日（日）14:00～15:30
場　　所：講堂
講　　師：砂川春樹（沖縄美ら島財団 総合研究センター 植物研究室研究員）
参 加 費：500円
参加者数：58名（定員140名）

③大人のための植物講座２「植物の名前はどう決められているのか？」




植物の名前が学問上どのように定められているのかについて最近の分子系統学との関連も含めて詳しく解説した。

日　　時：2022年10月９日（日）14:00～16:00
場　　所：講堂
講　　師：米倉浩司(沖縄美ら島財団 総合研究センター 植物研究室上席研究員)
参 加 費：500円
参加者数：51名（定員140名）　　（大濵）

④シリーズ植物散歩「ぐしちゃんで植物観察！～ホロホローの森を歩く～」

財団総合研究センター植物研究室と連携し、八重瀬町具志頭にて森や海に自生する植物を中心に観察会を

行った。

日　　時：2022 年 11 月 26 日（土）13:30〜15:30
場　　所：八重瀬町具志頭（ホロホローの森〜ぐしちゃん浜）
講　　師：天野正晴（沖縄美ら島財団 総合研究センター 植物研究室
　　　　　主任研究員）
参 加 費：500 円
参加者数：19 名（定員 20 名）

（新垣）

⑤琉球菓子と琉球古典音楽を楽しむ

琉球王国時代に育まれた食文化と芸能のうち「琉球菓子」と「琉球古典音楽」を、鑑賞し味わいながら解説を聞くことができるイベントを実施した。

日　　時：2022年11月20日（日）a)14：00〜14：40、b)16：00〜16：40
場　　所：博物館屋外展示場（民家）
講　　師：琉球古典音楽（歌三線）佐久本純（沖縄美ら島財団総合研究
　　　　　センター）、三浦聖矢（沖縄美ら島財団首里城公園）／
　　　　　琉球菓子（解説）久場まゆみ（沖縄美ら島財団総合研究センター）
参 加 費：1,500円
参加者数：a)17名、b)20名（定員各回20名）

（川島）

⑥美ら島サイエンスカフェ1「文化財復元と理化学調査 〜琉球楽器や三御飾道具を通して〜」

尾張徳川家に伝わる琉球楽器一式の模造復元事業やその他の文化財復元の際に行われた分析調査について、試作サンプル等を用いて解説した。

日　　時：2023 年 1 月 28 日（土）18:00〜19:30
場　　所：カメカメキッチン
講　　師：幸喜 淳（沖縄美ら島財団　総合研究センター　琉球文化財研
　　　　　究室室長）
参 加 費：1,000 円
参加者数：８名（定員 15 名）

⑦美ら島サイエンスカフェ２「世界自然遺産『西表島』の植物誌をつくる」

財団が琉球大学など各地の研究機関と共同で作っている、西表島の植物誌の調査方法や意義について紹介した。

日　　時：2023 年 2 月 18 日（土）18:00〜19:30
場　　所：カメカメキッチン
講　　師：米倉浩司(沖縄美ら島財団 総合研究センター 植物研究室
　　　　　上席研究員)
参 加 費：1,000 円
参加者数：12 名（定員 15 名）

（大濵）

### （3）万国津梁の鐘プロジェクト

国指定重要文化財である「万国津梁の鐘（旧首里城正殿鐘）」を目玉展示の一つとして位置づけ、鐘の魅力を発信し博物館常設展来場動機とするプロジェクトを実施。

①解体梵鐘 vol. 6「賀数仁然さんと首里さんぽ。」

歴史探究家、賀数仁然さんと首里城公園内の万国津梁の鐘ゆかりの場所のツアーガイドを実施した。首里杜館ビジターズロビーのジオラマで概要を説明後、首里城公園管理事務所の天界寺跡、守礼門、園比屋武御嶽石門、龍樋、漏刻門、日影台、万国津梁の鐘、首里森御嶽、大龍柱補修展示室、京の内を巡り、琉球王国と仏教の関係、万国津梁の鐘が鋳造された背景、鐘がどこに掛けられていたのか？鐘の来歴などを解説した。

日　　時：2022 年 4 月 29 日（金・祝）10:30-12:30
場　　所：首里城公園無料区域
講　　師：賀数仁然（琉球歴史文化研究所 クボウグランデ）
参 加 費：1,000 円

参加者数：21 名（定員 20 名）

②解体梵鐘 vol. 3「万国津梁の鐘の音をサイエンス！」
鐘本来の目的である「音を鳴らす」ことに着目し、音にまつわる科学実験を通して音の性質や骨伝導による金属音の響きを確認した。また首里観音堂の協力により、当館と観音堂とをＬＩＮＥビデオ通話で接続し、観音堂で撞いた鐘の音が実際におもろまちまで聞こえるかの検証を行った。最後に屋外展示場にある旧大聖禅寺鐘を県の崎原学芸員解説のもと鑑賞し、鐘撞き体験を行った。
日　　時：2022 年 8 月 28 日（日）10:00-12:00
場　　所：博物館常設展示室、博物館実習室
講　　師：金城靖信（北中城高等学校教頭）、上原俊展（金細工まつ）
参 加 費：1,000 円
参加者数：16 名（定員 20 名）

③解体梵鐘 vol. 7「万国津梁の時代にアプローチした研究者たち」

万国津梁＝世界の架け橋の実態を伝えるものとして「歴代宝案」を挙げ、この世界に類をみない外交文書が琉球王国時代の交易ネットワークの実態を明らかにする鍵になる資料であることを解説した。また現在沖縄県主導でおこなわれている「歴代宝案刊行事業」が 2022 年３月に校訂本と訳注本が完成したことが報告され、万国津梁の時代の東・東南アジア海域ネットワークを解明する上で非常に歴史的価値の高い「歴代宝案」を復元する意義と、それらを研究してきた研究者の足跡にスポットが当てられた。
日　　時：2022 年 10 月 10 日（月・祝）10:30～12:00
場　　所：講堂
講　　師：高良倉吉（琉球大学名誉教授）
参 加 費：入場無料
参加者数：55 名（定員 140 名）

④解体梵鐘 vol. 8「万国津梁の鐘、名工に倣う」
鐘の制作方法について模型を使ってわかりやすく解説し、ワークショップでは鐘の「陽鋳」技法を体験した。博物館常設展示室で実物の鐘を見ながら衣装をまねて、下絵の制作、砂型への彫り込み作業、錫の鋳型への流し込みを行った。
日　　時：2023 年 1 月 9 日（月・祝）13:30～16:00
場　　所：博物館常設展示室、博物館実習室
講　　師：上原俊展（金細工まつ）
参 加 費：5,000 円
参加者数：10 名（定員 20 名）　（渡久地）

**（4）「 アートを身近に！」プロジェクト**

アートをより身近に感じ、美術館に親しみをもってもらうことを目的に、ものづくりワークショップや講座、展示や音声ガイドの提供を通して、誰でもアートを楽しめる仕組みや機会を提供した。

①世界の名画に親しもう vol. 2「日本絵画と西洋絵画、見くらべ展」
誰もがアートを楽しめる施設になることを目指した「アートを身近にプロジェクト」の一環として去年度に引き続き実施。有名ミュージアムが所蔵する、パブリックドメインの絵画データ 20 点を実寸大に拡大して展示した。日本絵画と西洋絵画を５つのテーマ（物語、人物画、くらし、風景画、静物画）のもとに見比べる内容とし、鑑賞ポイントをわかりやすく記した解説文と、手に取って鑑賞できる絵巻の複製を展示するなど、作品を身近に感じ楽しめる工夫をした。
展 示 数：東京国立博物館 10 点、ルーブル美術館２点、アムステルダム国立美術館３点、ワシントンナショナルギャラリー２点、メトロポリタン美術館３点
会　　期：2022 年 9 月 15 日（木）～10 月 9 日（日）（開催日数 22 日）
場　　所：美術館企画ギャラリー１、２
観 覧 料：入場無料
観 覧 者：3,792 名（１日平均 172.4 名）　（國吉）

②美術館コレクション展音声ガイド
来場者の満足度を高め、美術館への再訪を促す事を目的として、沖縄の歴史や美術の知識が無くても作品を楽しむ事が出来る音声ガイドを製作した。また地域連携や若年層の利用促進も意識し、沖縄県立那覇国

際高等学校放送部にナレーションを依頼した。
期　　間：2022 年４月１日（金）〜2023 年３月 31 日（金）

③おきみゅーモノづくり部

創作体験を通じて、アートを楽しむきっかけを提供する目的で、ビギナーを対象としたワークショップを実施した。

場　　所：県民アトリエ、こどもアトリエ
講　　師：保久村智恵（沖縄美ら島財団 学芸員）
参 加 費：1,500 円

a)「小さな刺繍のピンクッションをつくろう」
日　　時：2022 年６月 25 日（土）10：00〜12：00
参加者数：15 名（定員 15 名）

b)「チラシや新聞で素敵なブローチづくり」
日　　時：2022 年９月 18 日（日）14:00〜16:00
参加者数：15 名（定員 15 名）

c)「鏡もち刺繍でお正月準備！」
日　　時：2022 年 12 月 18 日（日）10：00〜12：30
参加者数：11 名（定員 15 名）

鏡もち刺繍でお正月準備！

④13 才からのアート講座

アートをより楽しく身近に感じられる情報や知識を提供し、県民が美術作品や美術館に興味を持つきっかけをつくる目的で、当財団企画班の学芸員がそれぞれの得意分野を活かし、若年層やアートビギナーにも分かりやすい講座を実施した。

参 加 費：500 円

a)「見えないものを描くアートの世界」※スケスケ展連動企画
日　　時：2022 年７月 18 日（月）14:00〜15:30
場　　所：博物館講座室
講　　師：金城美奈子、國吉貴奈（沖縄美ら島財団 学芸員）
参加者数：34 名（定員 100 名）

90分だけグラフィックデザイナー

b)「90 分だけグラフィックデザイナー」
日　　時：2022 年８月 14 日（日）10:30〜12:00
場　　所：博物館講座室
講　　師：渡久地雅代（沖縄美ら島財団 学芸員）
参加者数：30 名（定員 30 名）

c)「戦後沖縄美術の出発点」
日　　時：a)2023 年２月５日（日）、b) ２月 26 日（日）14:00〜15:00
場　　所：美術館講座室
講　　師：川島祥子（沖縄美ら島財団 学芸員）
参加者数：a) ０名、b) ４名（定員 30 名）

d)「西洋絵画入門」
日　　時：2023 年２月 11 日（土）14:00〜15:00
場　　所：美術館講座室
講　　師：國吉貴奈（沖縄美ら島財団 学芸員）
参加者数：８名（定員 30 名）

e)「画題で愉しむ日本の絵画〜花鳥画のススメ〜」
日　　時：a)2023 年３月５日（日）、b) ３月 12 日（日）14:00〜15:00
場　　所：美術館講座室
講　　師：金城美奈子（沖縄美ら島財団 学芸員）
参加者数：a) ３名、b) ５名（定員 30 名）

⑤美術館でyoga

美術館の新しい楽しみ方を提供する目的で、ヨガイベントを実施。参加費にコレクション展のチケットを組み込み、さらに画家でヨガインストラクターの講師を迎えることで、ヨガによる癒やしのみに留まらず、アートへの興味関心を掻き立てる企画とした。

場　　所：美術館企画展示室２
講　　師：山城えりか（画家、ヨガインストラクター）
参 加 費：2,000 円 ※美術館コレクション展観覧券付

こどもと一緒にヨガ

a)「大人ヨガ」
日　　時：2022 年 10 月２日（土）14:00〜16:00
参加者数：13 名（定員 15 名）
b）「こどもと一緒にヨガ」
日　　時：2022 年 10 月８日（日）14:00〜16:00
参加者数：７組（定員 10 組）

⑥おきみゅーシネマラボ

沖縄県立博物館・美術館が収蔵している映画「吉屋チルー物語」の沖縄語字幕版の完成を記念して、11 月３日は誕生祭のイベントとして上映会を行い、３月 31 日は字幕制作や映画に係わりのあるゲストを迎えたトークセッションと上映会を行った。

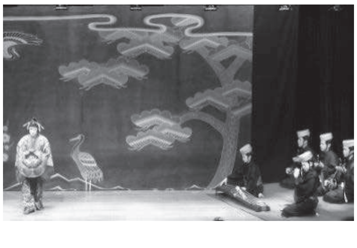
場　　所：講堂
a)「吉屋チルー物語上映会」
日　　時：2022年11月３日（木） 10:00〜11:45（上映のみ、日本語字幕版）
14:00〜15:45（上映のみ、うちなーぐち字幕版）
参 加 費：大人 1,000 円、高大生 500 円
参加者数：10 名（定員 140 名）
b)「吉屋チルー物語うちなーぐち字幕上映会+トークセッション」
日　　時：2023 年３月 31 日（金）17：30〜20：10（トークセッション+うちなーぐち字幕版上映）
講　　師：知念ウシ 氏（むぬかちゃー、大学非常勤講師）、上原美智子 氏（染織家）、真喜屋 力 氏（沖縄アーカイブ研究所）、亀海史明 氏（沖縄県立博物館・美術館 美術館学芸員）
参 加 費：18 才以上 1,000 円、(17 才以下無料)
参加者数：54 名（定員 200 名）　（保久村）

**（5） おきげい出前コンサート　琉球古典音楽演奏会**

県立芸術大学音楽部琉球芸能専攻の学生の発表の場として琉球古典音楽の演奏会を開催した。

日　　時：a)2022年11月１日（火）14:00〜14:30、15:00〜15:30
b)2022年11月２日（水）14:00〜14:30、15:00〜15:30
c)2022年11月27日（日）14:00〜14:30、15:00〜15:30
d)2022年12月11日（日）14:00〜14:30、15:00〜15:30
e)2023年１月22日（日）14:00〜14:30、15:00〜15:30
場　　所：博物館野外展示「民家」
出　　演：沖縄県立芸術大学 教員、学生
参 加 費：無料
参加者数：a)85 名、b)85 名、c)40 名、d)45 名、e)85 名（定員各回 10 席程度、立ち見は自由）

**（6）芸大生による琉球舞踊　古典女七踊の世界**



実行委員会が主催し、財団が共催事業として実施。県立芸術大学大学院のマネジメント演習の授業として、学生が企画・制作を行い、7 つの演目演じた。

日　　時：2022 年 12 月 25 日（日）14:00〜16:00
場　　所：講堂
出　　演：沖縄県立芸術大学　学生
参 加 費：無料
参加者数：103 名（定員なし）　（大濵）

**（7）「琉球の美ー首里城を感じるホンモノのモノ」**

一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室との共催事業として、琉球古典音楽１名と琉球古典舞踊１名によるパフォーマンスの鑑賞会を実施した。導入部で琉球王国時代に構築された日本遺産と琉球古典音楽の解説を行い、首里城を中心として形作られた琉球独自の文化について理解を深めた。本公演には、本館で開催中の「復帰 50 年展 琉球-美とその背景-」の鑑賞チケットを付帯し、琉球伝統芸能と琉球王国時代の美術工芸品などの美の世界を併せて楽しむ機会とした。

日　　時：2022 年 11 月４日（金）a)13：00〜15：30　※プレスデイ
2022 年 11 月５日（土）a)14：00〜15：30、b)16：00〜17：30
2022 年 11 月６日（日）a)14：00〜15：30、b)16：00〜17：30
場　　所：博物館実習室

出　　演：琉球伝統芸能デザイン研究室演者会員・準演者会員、上里隆史（日本遺産解説）、山内昌也
　　　　　（琉球伝統芸能解説）、渡邊孝仁（琉球展解説）
参 加 費：5,000 円（「復帰 50 年展 琉球−美とその背景−」の鑑賞チケット付）
参加者数：11 月４日(金)23 名　※マスコミ、関係者などの招待者
　　　　　11 月５日(土)a)28 名、b)25 名（団体貸切）
　　　　　11 月６日(日)a)17 名、b)22 名（定員：各回 25 名）

（金城美）

**（８）職場体験**

指定管理者が窓口となって中学校・高等学校などを対象に職場体験の受け入れを行っている。業務内容としては、団体鑑賞プログラムの対応、資料整理など学芸員のサポート業務や、展覧会会場の交流員やもぎり、ミュージアムショップでの接客など、来館者の対応にも挑戦する。また、当館が取り組んでいる IPM（総合的有害生物管理）について、文化財 IPM コーディネーターの資格を有した職員が講義を行い、文化財保護の重要性を学ぶ機会を提供している。今年度は、高等学校２校、８人の生徒を受け入れ、それぞれ３日間の職場体験を行った。（保久村）

## Ⅵ. 広報事業に関する業務

令和４年度は当館における感染症対策の取組みや密を避ける対策についてのお知らせを、当館ウェブサイトや正面入口のパネル設置、屋外掲示板で周知し、来館者が安心・安全に観覧できるように努めた。
全館広報では、博物館常設展の県民向け集客施策として『こども学芸員と動く展示物からの挑戦状！』を合計３回（４月・７月・10 月）発行した。本媒体は漫画（全４ページ）で構成することによって、博物館常設展で配布している「ワークシート」への関心を促すものとなっており、毎号那覇・浦添エリアの小学３年生以上の生徒（36 校 約 20,000 名）に配布した。結果、博物館常設展の小中学校の入場者数はコロナ前の 2019 年度（2,075 人）を上回る 3,274 人を記録した。

展覧会誘客広報では、復帰 50 年展覧会広報施策として特設 Web サイトを公開し、展覧会情報や復帰に関する館長及び両副館長のインタビューを掲載した。その他、おもろ花風橋・天空橋への横断幕の設置、YahooWeb 広告・Google ディスプレイ広告、タウンビジョン（浦添市城間・沖縄市山内）での告知動画放映、公共掲示板 120 箇所へのポスター掲出、『オキナワグラフ』での特集記事など県民に向け広く PR を行った。特に県主催「琉球ー美とその背景ー」では、テレビや新聞、雑誌などマスメディアで露出の他、SNS・YouTube 広告、道路沿線上での看板類の掲出、SNS 拡散キャンペーンなど多岐にわたる誘客施策が奏功し、入場者数 12,053 人（目標 12,000 人）を達成することができた。

指定管理者主催「スケスケ展」では、ターゲット層の県内小学生向けに告知を行うため、県内北部から南部の本島エリアの配布を希望した小学校（103 校、約 60,000 名）全学年の生徒に Instagram キャンペーン（期間：６/１～30）応募用チラシを配布した。同キャンペーンには 360 件の応募があった。その他、同展では共同主催の琉球新報社が保有する新聞広告やテレビ CM（沖縄テレビ）、ラジオ CM（ラジオ沖縄、FM 沖縄）枠を活用した情報露出の他、SNS・YouTube 広告など各媒体で広報を行った。１月以降は、沖縄観光回復の傾向を受け、那覇空港やレンタカー、那覇市内ホテルへの誘客パンフレット設置強化およびインバウンド対策として、Web サイトの英語訳の改定を行った。

**（１）年間行事案内**

年度初めに展覧会の会期や内容、講座や解説会の日時などの年間の行事案内を掲載した「2022 年度 展覧会の案内」（リーフレット 15,000 部）を作成し、県内外の文化・観光施設やホテル、レンタカー会社、那覇空港案内所、旅行会社などへ郵送した。

**（２）チラシ・ポスター**

県内の学校や県内文化施設や各自治体、教育機関、銀行、病院などに展覧会ごとのチラシやポスターなどを配布し告知を行った。また財団独自のネットワーク約 700 ヶ所にも毎月チラシやポスターを全島に発送した。県主催「沖縄、復帰後。展」「琉球ー美とその背景ー」「平良孝七展」「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展」、指定管理者主催「悠久のシルクロード展」「スケスケ展」では展覧会ポスターを、中南部の公共掲示板 120 箇所に掲示し、展覧会の周知を図った。

**（３）懸垂幕**

館外正面入口側に横２m×縦６m の懸垂幕を設置し、博物館企画展・特別展や美術館企画展の告知を行った。

**（４）館内外ターポリン**

館内では博物館企画展示室入口付近に横３m×縦 3.8m のターポリンを、美術館企画展示室入口付近に横 3.6m×縦 3.4m のターポリンを掲出した。館外には多目的広場付近に博物館（左側）、美術館（右側）２ヶ所に横 2.85m×縦 3.4m のターポリンを掲出した。

（５）沖縄美ら海水族館・首里城公園との連携（トートトリップキャンペーン）

沖縄美ら島財団が管理運営する二大観光施設である「沖縄美ら海水族館」「首里城公園」と連携し誘客促進に努めた。両施設のどちらかの半券提示でミュージアムショップゆいむいでガチャを回してノベルティグッズが当たるキャンペーンを実施。両施設からの誘客促進を図り年間 2,613 人（昨年度 728 人）の来館者増に繋がった。「首里城公園」では「首里杜館県内文化施設情報コーナー」を設置し、全館告知や展覧会告知を実施した。

（６）モノレール駅広告

沖縄都市モノレール（ゆいレール）では県庁前駅ドアステッカー広告（B2/２枠）で主に展覧会情報を告した。また、おもろまち駅改札外出口付近に館までの誘導サインとして港川人の立て看板とチラシラックを設置し、当館の情報を発信した。

（７）新聞紙面（無料）・新聞広告（有料）
掲載 626 回（前年度実績 428 回）

沖縄タイムス「インフォ」、副読紙「週刊ほーむぷらざ」、琉球新報「情報市場」、副読紙「週刊レキオ」の無料告知枠（パブリシティ）へ展覧会情報やイベント情報を提供し紙面での告知を図った。新聞広告（有料）では琉球新報社共催の「悠久のシルクロード展」で計 15 回、「スケスケ展」では計 28 回掲載した。

県庁駅前ドアステッカー

改札出口正面

（８）テレビ 放送 108 回（前年度実績 74 回）

展覧会や関連催事情報の NR を配信し、ニュース番組や情報番組等で紹介してもらえるよう努めた。「沖縄復帰後。展」「琉球－美とその背景－」は生中継で展覧会の様子が紹介された。「琉球－美とその背景－」のテレビ CM を琉球放送で放送した他、「悠久のシルクロード展」「スケスケ展」では共催の琉球新報社保有枠（沖縄テレビ）でテレビ CM を放映し、マスコミとの共催メリットが活かされた。

実績では NHK 沖縄放送局「お昼のニュース」「おきなわ HOTeye」「沖縄ちゅらテレビ」、沖縄テレビ「OTV Live News イット！」「ひーぷー☆ホップ」、琉球放送「RBC NEWS Link」「A ランチ」「琉球サウダーヂ」、琉球朝日放送「QAB NEWS Headline - キャッチー」などがある。

８月３日放送「沖縄、復帰後。展」

「琉球-美とその背景-」TVCM

（９）ラジオ　放送　9 回（前年度実績 7 回）

展覧会や関連催事情報の NR を配信し、ラジオ番組内で紹介された。

（10）雑誌、情報誌 掲載 74 回（前年度実績 60 回）

雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努めた。県民への PR を目的として県内イベント情報誌『オキナワグラフ』『箆柄暦』『話くわっちー』『モモト』などに展覧会の情報掲載。『オキナワグラフ』では「沖縄、復帰後。展（８月号）」　「琉球－美とその背景－（11 月号）」「平良孝七展（12 月号）」の見どころを紹介した特集記事が掲載された。また財団の広告枠を利用し在沖米軍向けの『Stripes Okinawa』　『SAMURAI GATE』で当館の告知を行った。

（11）WEB サイト 掲載 112 回（前年度実績 137 回）

様々なイベント情報サイトで広報展開した。館全体の　PR　を目的として「おきなわ物語」「じゃらん net」「るるぶ WEB」「インターネットミュージアム」「星野リゾート みちくさガイド（沖縄編）」などに当館情報を掲載。展覧会毎の告知を目的として「ミュージアムカフェ」「CALEND-OKINAWA」「箆柄暦」「Internet Museum」「Art　2 Agenda」「美術手帖 WEB」などに展覧会情報を掲載した。

（12）動画コンテンツ（合計 21 本）

展覧会の解説動画などを制作し「おきみゅーYouTube チャンネル」やエントランスのモニターで公開した。

おきみゅーYouTube チャンネルページ

「沖縄、復帰後。展」紹介動画

(13) 誘客パンフレット

誘客パンフレットは県内ホテルやレンタカー営業所、ゆいレールおもろまち駅などの約 200 ヶ所に設置。また２月～３月には全国旅行支援事業やプロ野球キャンプ、春休み需要の影響により入域観光客数が増加していくことを鑑み（参考：OCVB News ２月号）、初めての試みとして那覇空港内「旅行会社総合案内カウンター」（有料ラック）に誘客パンフレットを設置した。

日本語版誘客パンフレット

外国用誘客パンフレット【英・繁・簡・韓】

(14) プレイガイド

前売券の販売及びチラシ・ポスターの設置場所としてプレイガイド（ミュージアムショップゆいむい、リウボウサービスカウンター、コープあぷれ、ファミリーマート各店（イープラス）、ローソン各店、セブンイレブン各店、ジュンク堂書店那覇店など）で販売を行った。

(15) SNS

新型コロナウイルス感染拡大に伴う感染症対策や展覧会情報、イベント情報などを Facebook や Instagram、Twitter、LINE で発信した。Facebook の「いいね！」（ファン数）は今年度約 9,200 名（昨年度比／約 300 名増）、Instagram フォロワーは約 8,400 名（昨年度比／約 1,600 名増）、Twitter フォロワー2,400 名（昨年度比／約 500 人増）と LINE フォロワー2,800 名（昨年度比／約 50 名減）となった。財団主催「スケスケ展」では「#スケスケやってみた」と題した SNS キャンペーンを実施。本キャンペーンで配布したチラシは、参加者が自由に落書きをした写真と一緒に「#スケスケやってみた」を投稿する仕組みで 360 件の応募があった。その他、県主催「沖縄、復帰後。展」「FUKKI QUALIA」「琉球－美とその背景－」「平良孝七展」、財団主催「悠久のシルクロード展」では、作品の紹介記事を Facebook および Instagram で連載した。

(16) ココみて！ナイン９（参加人数：865 組）

屋外の展示（「旧大聖禅寺鐘」「シーシ」「民家」「涌田窯」「灯籠」「CONCRETE AND STEEL」「太陽と月のロマンス」）や館内のモチーフをめぐる周遊ラリーを４月から１月末まで実施した。※一部期間休止

(17) １DAY PASSPORT

開催中の全ての展覧会が観覧できるお得な一日利用券として「１DAY PASSPOOT」を販売。令和４年度販売数 19,913 枚(前年度比 328%)。

(18) おきみゅーの GW2022「知るを楽しもう」（2022 年４月 29 日～５月８日）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ワークシートなど配布物によって各々で楽しむものや、小人数で楽しめるワークショップの実施、消毒の徹底など、子ども連れの来館者が安心して参加できるイベントの仕組みづくりに努めた。また財団職員が講師になり、館内にある資材などを使ったモノづくりワークショップを行った。また、今回は約２年ぶりに美術館屋外展示場でバリ芸能の上演を実施し、268 名の鑑賞者を集めた。(総入館者数 12,952 名/イベント参加者数 820 名)

(19) おきみゅー誕生祭（2022 年 10 月 29 日～11 月５日）

新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインが緩和されたこともあり、数年ぶりに賑やかな誕生祭となった。来館者の多くが県内の家族連れで、さらに世界のウチナーンチュ大会の関係者も多く、県内外からの来館者で賑わっていた。初開催となったアート市では、入場者が途切れることなく訪れ、来館者がア

ート作品を選ぶ姿や作家とコミュニケーションを楽しむ様子が見受けられた。
（総入館者数8,873名/イベント参加者数1,810名）

**（20）旧正月はおきみゅーに行こう！2023（2023年1月20日・22日）**

新型コロナウイルス感染症の影響により２年ぶりの開催となった本催事では、感染対策を万全にした上でイベントは随時受付で実施した。小禄高等学校の書道パフォーマンスや重箱を詰める体験、沖縄の正月菓子を楽しむイベント、芸大生による古典音楽演奏会などを行った。（総入館者数 1,507 名/イベント参加者数500名）

**（21）プロムナードコンサート（８回開催 総観客数752名／平均94名）**

プロ・アマ問わず、音楽愛好家に広く上演の機会を提供するため、2023年２月より公募によるコンサートを実施。多様な音楽ジャンル、楽器による演奏が行われ、音楽も楽しめるミュージアム空間が実現した。沖縄県のコロナ対処方針に則り、観客数に定員を設けないなど、規制を緩和する形でのコンサート運営を行った。

日　　時：2022年４月５日（日）、６月12日（日）、６月19日（土）、
　　　　　12月25日（日）、2023年１月９日（月）、２月４日（土）、
　　　　　２月12日（日）、３月19日（日）

場　　所：エントランスホール

**（22）沖縄県立図書館 特設コーナー**

沖縄県立図書館における告知ブースで、県主催「沖縄復帰前展」「沖縄、復帰後。展」「REFLECTIONS」「平良孝七展」「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展」「具志堅聖児 日本画展」、財団主催「悠久のシルクロード展」「スケスケ展」のチラシやポスターを設置して、沖縄県立図書館を利用する県民に向けた告知を行った。関連図書の選定は、沖縄県立図書館の司書が行った。

ラックの下部には関連書籍を設置

**（23）復帰50年関連 オリジナル商品開発**

博物館常設展に展示している復帰前に関する展示資料を元に、オリジナル商品「パスポート（証明書）風 測量野帳」「ナンバープレート風マグネット」を制作し、ミュージアムショップゆいむいで販売した。測量野帳は、沖縄のおもしろいものを紹介するポータルサイト「DEEokinawa」で紹介され、初版が完売するほど好評を博した。（９月300部、10月250部増刷）。

（金城正）

ミュージアムショップ
ゆいむい特設コーナー

## Ⅶ　調査・研究・講演・著作論文等の活動

### １ 調査・研究等

**金城美奈子（企画班長／学芸員）**

○講演・発表等

・名　　称：アートを身近に！プロジェクト「13才からのアート講座」スケスケ展特別編
　　　　　「見えないものを描くアートの世界」
　日　　時：2022年７月18日（月）
　場　　所：博物館講座室

・ 名　　称：アートを身近に！プロジェクト「13才からのアート講座」第６、７回「画題で愉しむ日本の絵画〜花鳥画のススメ〜」
　日　　時：2023年３月５日（日）、12日（日）
　場　　所：美術館講座室

**國吉貴奈（学芸業務担当／学芸員）**

○講演・発表等

・名　　称：アートを身近に！プロジェクト「13才からのアート講座」スケスケ展特別編
　　　　　「見えないものを描くアートの世界」
　日　　時：2022年７月18日（月）
　場　　所：博物館講座室

・名　　称：アートを身近に！プロジェクト「13才からのアート講座」第４回「西洋絵画入門」
　日　　時：2023年２月11日（土）
　場　　所：美術館講座室

**渡久地雅代（学芸業務担当／学芸員）**

〇講演・発表等

・名　　称：アートを身近に！プロジェクト「13 歳からのアート講座」
　　　　　　第１回「90 分だけグラフィックデザイナー」

　日　　時：2022 年８月 14 日（日）

　場　　所：博物館講座室

**川島祥子（学芸業務担当／学芸員）**

〇講演・発表等

・名　　称：アートを身近に！プロジェクト「13才からのアート講座」第５回「戦後沖縄美術の出発点」

　日　　時：2023年２月26日（日）

　場　　所：美術館講座室

## ２ 職員研修

**金城美奈子（企画班長／学芸員）**

〇研修会

・沖縄県博物館協会主催「令和４年度沖縄県博物館協会研修会」（オンライン／2022年12月22日）

**國吉貴奈（学芸業務担当／学芸員）**

〇研修会

・公益財団法人文化財虫菌害研究所主催「第11回文化財IPMコーディネータ資格取得のための講習会」（オンライン／2022年12月12日～2023年１月12日）

**川島祥子（学芸業務担当／学芸員）**

〇研修会

・文化庁主催「令和４年度文化財（美術工芸品）保存修理講習会」（オンライン／2022年12月８日）

・沖縄県博物館協会主催「令和４年度沖縄県博物館協会研修会」（オンライン／2022年12月22日）

**大濵萌子（教育普及担当主任／学芸員）**

〇研修会

・「令和４年度　文化財（美術工芸品）保存修理講習会」（オンライン/2023年12月８日）

・「令和４年度　沖縄県博物館協会研修会」（オンライン/2023年12月22日）

・「琉球王国文化遺産集積・再興事業文化財活用センター事業概要説明会及び意見交換会」
（2023年年２月３日）

**保久村智恵（教育普及担当／学芸員）**

〇研修会

・「琉球王国文化遺産集積・再興事業文化財活用センター事業概要説明会及び意見交換会」
（2023年年２月３日）

**新垣麻乃（教育普及担当／学芸員）**

〇出張

・こどものためのジオ・カーニバル企画委員会主催「第22回 こどものためのジオ・カーニバル」
（大阪市立自然史博物館／2022年11月４日～11月７日）

# 全館共通事業

Ⅰ　学芸員実習
Ⅱ　国際博物館の日
Ⅲ　移動展
Ⅳ　燻蒸・消毒処理
Ⅴ　全体研修
Ⅵ　刊行物
Ⅶ　展覧会一覧

# Ⅰ　学芸員実習

## 1　博物館実習

当館では、1969年（昭和44）に最初の実習生を受け入れてから、2006～2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学毎に個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年２回（６月、８月）実施している。

しかし、2020年度、2021年度に続き2022年度も新型コロナウイルス感染症防止のため、学芸員実習の実施方法を大幅に縮小せざる得なくなった。例年通りの６月と８月の開催ができず、前期、後期ともに８月に実施した。また、１回あたりの実習期間を１週間（４日～５日間）に短縮し、実習生の数も例年15名程度よりも少ない９名に限定した。実習内容は、従来であれば２週間の実習期間中に実習生を数グループに分けてミニ展示会を開催しているが、2021年度に引き続き2022年度も実習生各自がテーマを決め、資料研究及び展示や教育普及活動等の実施案を作り、これを学芸員全員の前で発表してもらう方法で対応した。

2022年度の実習期間は、前期（８月１日～５日）、後期（８月22日～26日）で、実習生各自の課題研究のテーマは、以下のとおりである。

### （1）博物館学芸員実習カリキュラム

| | | 実習内容（午前） | 実習内容（午後） |
|---|---|---|---|
| 第１日 | 月 | 開講式 11:00～12:00（博物館班講座室） | オリエンテーション、ＩＰＭ、展示案内、教育普及実習 |
| 第２日 | 火 | 資料取扱実習①（歴史・人類） | 資料取扱実習②（考古・民俗） |
| 第３日 | 水 | 資料取扱実習③（生物・美工・地学） | 資料取扱実習（美工・地学）各自課題研究①（テーマ設定） |
| 第４日 | 木 | 各自課題研究② | 各自課題研究③ |
| 第５日 | 金 | 課題発表準備 | 課題発表、修了式（8/５講堂　8/26 講堂） |

### （2）実習生

**前期**

| | 氏名 | 大学名 | 課題研究テーマ | 指　導 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正野 涼司 | 琉球大学 | 土器を考えよう | 山　本 |
| 2 | 幸地　佑 | | 良い化石になるには | 宇佐美 |
| 3 | 松瀬　彩 | | 武芸洞遺跡出土人骨の古病理が語る貝塚時代の暮らしぶり | 澤　浦 |
| 4 | 斎藤　浩 | 八洲学園大学 | おきみゅー発全国巡回企画展　次世代型「カラフル・クールビズ」としてのかりゆし | 與那嶺 |
| 5 | 鈴木 瑛斗 | 沖縄県立芸術大学 | 沖縄来訪神の特集展示 | 大　湾 |
| 6 | 佐藤 妃菜 | | 企画展「五感で石を観察しよう」 | 宇佐美 |
| 7 | 江幡 侑奈 | | ワークショップ「オーシャンドラムを作ろう～砂の楽器で奏でる海の音～」 | 菊　川 |

**後期**

| | 氏名 | 大学名 | 課題研究テーマ | 指導 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 大城　萌 | 沖縄国際大学 | オリジナルのミニ掛け軸をつくってみよう！ | 伊　禮 |
| 2 | 川原 和子 | | ミニ企画　あなたの知らないモクズガニの世界　IN 沖縄 | 大　湾 |
| 3 | 金城 佳吾 | | 石と人 | 宇佐美 |
| 4 | 曽田 京佑 | | 琉球が含まれるアジア地域の古地図 | 崎　原 |
| 5 | 仲大底 和希 | | 三線の音色の違い | 篠　原 |
| 6 | 古堅　宗 | | 企画　写真パネル展　テーマ　今を生きる | 宮　城 |
| 7 | 大嶺 千智 | 琉球大学 | ワークショップ「作って飾る！植物の乾燥標本」 | 菊　川 |
| 8 | 仲宗根 和哉 | | 液浸標本を主とした展示「小さなヘビ展」 | 菊　川 |
| 9 | 玉城 佳奈 | | フィールドワーク：「絵はがきで首里城を歩いてみる」 | 宮　城 |

## 2　美術館実習

美術館では、開館３年目の2009年から学芸員実習の受け入れを行っている。例年受け入れにあたっては、学芸員資格養成課程を有する県内の大学を優先し、人員枠にゆとりがある場合、県外大学に在籍する県出身

の学生を優先的に受け入れ、定員は10名以内としている。時期は８月中旬から２週間で、美術館学芸員全員でそれぞれの専門分野の講義にあたっている。2021年度は、新型コロナウイルスの影響により実習時期をずらし、一部内容の変更と期間を短縮し実施した。しかし、2022年度は、沖縄県立芸術大学７名、多摩美術大学１名、福岡大学１名、合計９名の学生を受け入れ、体調不良による欠席者への配慮を行いながら、予定通り週間実施することができた。

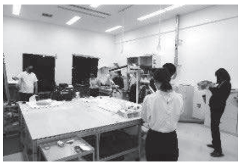
●実施期間：2022年８月15日（月）～８月26日（金）

（１）美術館学芸員実習カリキュラム

| | | 実習内容（午前） | 実習内容（午後） |
|---|---|---|---|
| 8 月 15 日 | 月 | 開講式、オリエンテーション、美術館業務の考え方と実際 | 教育普及事業Ⅰ、美術館施設案内等 |
| 16 日 | 火 | IPM 講習、資料保存・修復の実際 | 平面・立体資料の取り扱い、常設展示の実際 |
| 17 日 | 水 | 常設展示の構成（展示意図・構成について） | 展覧会開催までの流れ、展示企画について演習等 |
| 18 日 | 木 | 資料収集事業の概要・資料の分類・情報処理 | アートと社会、沖縄の美術について等 |
| 19 日 | 金 | 調査・研究の概要、作品調査の方法等 | ニシムイフィールドワーク（※中止） |
| 22 日 | 月 | 各自、調査・課題研究を行う | 各自、調査・課題研究を行う |
| 23 日 | 火 | 各自、調査・課題研究を行う | 各自、調査・課題研究を行う |
| 24 日 | 水 | 各自、調査・課題研究を行う | 各自、調査・課題研究を行う |
| 25 日 | 木 | 各自、調査・課題研究を行う | 各自、調査・課題研究を行う |
| 26 日 | 金 | 共通課題研究の発表、閉講式 | 実習のまとめ→実習記録簿等の提出 |

（２）課題研究テーマ（ニシムイ作家調査）

| | 大学名 | 課題研究テーマ |
|---|---|---|
| 1 | 沖縄県立芸術大学 | 安谷屋正義について |
| 2 | 沖縄県立芸術大学 | 安谷屋正義について |
| 3 | 沖縄県立芸術大学 | 安次嶺金正―光と緑への思考― |
| 4 | 沖縄県立芸術大学 | 金城安太郎の見た沖縄の美 |
| 5 | 沖縄県立芸術大学 | 玉那覇正吉 |
| 6 | 沖縄県立芸術大学 | 彫刻家でもあり画家でもある沖縄の作家　玉那覇正吉 |
| 7 | 沖縄県立芸術大学 | 山元恵一～東京での 10 年とシュルレアリスムの関係～ |
| 8 | 多摩美術大学 | 金城安太郎について |
| 9 | 福岡大学 | 具志堅以徳の歩み |



保存管理講座

展示公開講座

資料収集講座

課題研究発表の様子

## 3 職場体験

令和４年度は、高等学校２校８名を受け入れた。学生たちは、もぎりやミュージアムショップでの接客業務や情報センターでの資料整理他などを体験した。また、博物館・美術館職員による学芸業務の紹介やバックヤード見学なども実施。博物館・美術館に関わる様々な職種を体験することができた。

体験内容：もぎり(入場券の確認)、ふれあい体験室(ワークショップの準備)、ミュージアムショップ(接客、商品の管理)、情報センター(新聞の切り抜き作業・その他資料整理)、博物館・美術館班(バックヤードおよび学芸業務の見学)

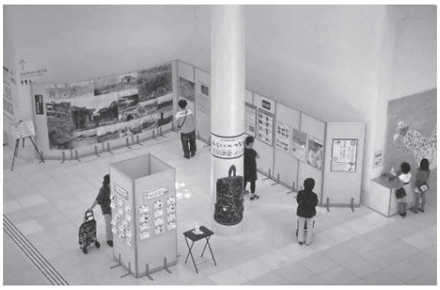
受入校：２校８人(高等学校２校)

沖縄県立沖縄水産高等学校２学年（４人）　　7 月 12 日（火）～14 日（金）（３日間）

沖縄県立沖縄工業高等学校２ 学年(４人)　　9 月 13 日（火）～16 日（木）（３ 日間）

（保久村）

## Ⅱ　国際博物館の日



名 称：「国際博物館の日 2022」
会 期：2022年５月10日（火）～29日（日）（19日間）
会 場：パネル展／エントランス・ホールおよびパネル掲載情報の当館HP上での公開

【開催趣旨】
毎年５月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（通称ＩＣＯＭ：アイコム）によって「国際博物館の日」と定められています。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館・美術館活動を広く周知し、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行うものです。

【実施内容】
博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるために、エントランス・ホールにてパネル展を開催するとともに関連イベントを実施した。また無料入館日を設定し、常設展示を広く一般に開放した。

○パネル展 2022年５月10日（火）～５月29日（日）
ICOM・「国際博物館の日」の説明、（一財）沖縄美ら島財団紹介、指定管理者自主企画催事の紹介、「戦争と博物館」パネル・戦災文化財の紹介横断幕・美術館の活動紹介

○無料入館日 2022年５月18日（木）
※博物館常設展示室・美術館コレクション展のみ無料、企画展・特別展は有料

（山崎）

## Ⅲ　移動展

### （１）移動展について（2022 年度）

①名称：第 13 回　沖縄県立博物館・美術館　移動展 in 渡嘉敷島
②会期：令和５年１月 13 日（金）～１月 15 日（日）
③開催時間:午前９時～午後５時（金曜日は 11 時から）
④開催地：渡嘉敷村中央公民館
⑤対象：一般
⑥観覧料：無料
⑦主催：沖縄県立博物館・美術館、（一財）沖縄美ら島財団、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会

### （２）趣旨

沖縄県立博物館・美術館では、県民が本県の自然・歴史・文化や芸術を正しく認識できるよう、これまで収集された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収蔵資料の展示をみていただくことによって、沖縄の自然・歴史・文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的として実施する。

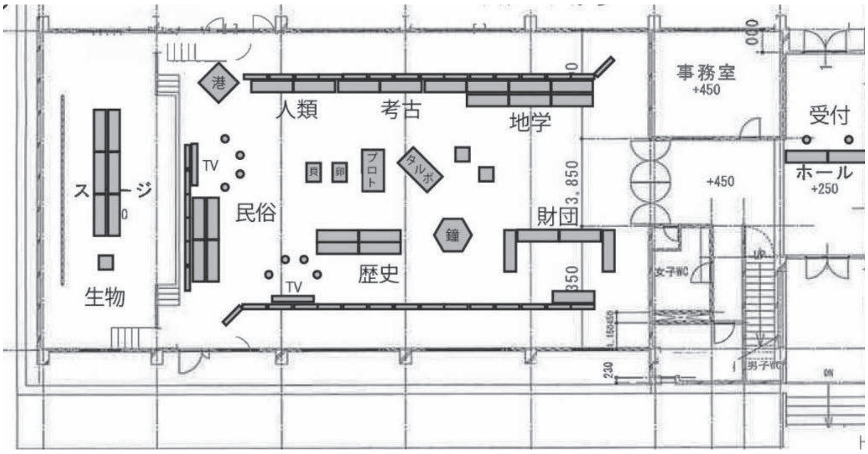
### （３）実施状況

①展示内容・参加人数・関連催事は次の表のとおり。

| 内容 | 期　　日 | 内　　訳 |
|---|---|---|
| 展示内容 | 博物館展示 | ■「世界の化石と輝く石」‥‥‥‥恐竜の骨格標本、岩石の展示<br>■「沖縄の自然、歴史、文化」<br>沖縄の地学・生物・人類・歴史・民俗・考古・美術工芸に関する総合展示<br>■渡嘉敷村関連映像（1998 年シネマ沖縄制作）上映<br>「阿嘉大橋－海に映えるアーチ橋－」<br>■デジタルミュージアム動画コンテンツ‥‥‥‥ウチナーの民話上映 |
| | 美術館展示 | □「展覧会展示パネル」‥‥‥‥‥これまでの展覧会概要パネルの展示 |

<table>
<tr><td rowspan="7">来場<br>人数</td><td></td><td>1月13日<br>（金）</td><td>1月14日（土）</td><td>1月15日（日）</td><td>計</td></tr>
<tr><td>70歳以上</td><td>5</td><td>1</td><td>0</td><td>6</td></tr>
<tr><td>一　　般</td><td>52</td><td>39</td><td>47</td><td>138</td></tr>
<tr><td>高　　大</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>小　　中</td><td>76</td><td>21</td><td>36</td><td>133</td></tr>
<tr><td>未就学児</td><td>33</td><td>12</td><td>9</td><td>54</td></tr>
<tr><td>計</td><td>166</td><td>73</td><td>92</td><td>331</td></tr>
<tr><td></td><td>13日(金)<br>～15日（金）</td><td colspan="4">■デジタルミュージアム動画コンテンツ上･･･････ウチナーの民話上映<br>(1)　1/13（金）　渡嘉敷村中央公民館<br>(2)　1/14（土）　渡嘉敷村中央公民館<br>(3)　1/15（日）　渡嘉敷村中央公民館</td></tr>
<tr><td rowspan="5">関連<br>催事</td><td rowspan="2">1月13日（金）</td><td colspan="4">■特別講演　「琉球王国時代の慶良間・渡嘉敷」<br>参加：19名（定員20名）<br>時間：19:00～20:30（18：30開場）<br>場所：渡嘉敷村中央公民館 2F研修室<br>講師：田名　真之（沖縄県立博物館・美術館 館長）</td></tr>
<tr><td colspan="4">■移動展解説会<br>参加者：38 名（定員なし）<br>時間：10:00～11:30<br>場 所：渡嘉敷村中央公民館<br>講 師：宇佐美 賢（地学担当）、山本 正昭（考古担当）<br>澤浦 亮平（人類担当）、宮城 修（歴史担当）<br>対 象：渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校生（小学生の部）<br>■移動展解説会<br>参加者：34 名（定員なし）<br>時間：13:00～14:00<br>場 所：渡嘉敷村中央公民館<br>講 師：宇佐美 賢（地学担当）、山本 正昭（考古担当）、澤浦 亮平（人類担当）、<br>宮城 修（歴史担当）<br>対 象：渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校生(中学生の部)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1月14日（土）</td><td colspan="4">■関連催事①　博物館学芸員講座①「渡嘉敷村の遺跡の味」（博物館）<br>参加：19名（定員 10組 20名程度）<br>日程：1/14(土)15:00～17:30 貝を採る<br>1/15(日) 11:30～13:30 だしを取る<br>場所：渡嘉敷村中央公民館並びに渡嘉敷村野外における活動<br>講師：澤浦亮平（人類担当）<br>内容：渡嘉敷島の海で採集した貝を調理して食する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">■関連催事②　「身近な植物で筆を作って文字や絵を描いてみよう！！」<br>参加：６人　(定員10名)<br>時間：10:00～12:00　　場所：渡嘉敷中央公民館　研修室<br>講師：玉城早苗（美術館教育普及担当）<br>内容：当館学芸員によるワークショップ</td></tr>
<tr><td>1月15日（日）</td><td colspan="4">■関連催事③　博物館学芸員講座②フィールドツアー<br>「石ころと地形、遺跡から紐解く島の成り立ちと人間生活」(博物館)<br>参加：15名　(定員13名)<br>時間：9:00～13:00（8:45 中央公民館集合）<br>集合場所：(8:45 中央公民館集合)<br>講師：宇佐美　賢（地学担当）、山本正昭（考古担当）<br>準備：送迎用バス、救護車両1台～、各車両ドライバー、そのほか必要品<br>参加費：300円（保険ほか）</td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| | | ■関連催事④　「かんたん化石のレプリカづくり」<br>参加:34 名(定員 40 名（各回 10 名）<br>時間：1/14（土）15:00～16:00／16:00～17:00<br>1/15（日）10:00～11:00／11:00～12:00<br>場所：伊江村農村環境改善センター1 階ロビー<br>講師：新垣　麻乃<br>参加費：各回 300 円<br>内容：ワークショップ |




会場展示

平面図

会場出入口の開会式

展示風景（入口側をのぞむ）

展示風景（出入口をのぞむ）

（大城）

## Ⅳ 燻蒸・消毒処理

2022 年度は、2007 年度から実施している総合的有害生物管理（IPM）の運用を継続して行い、収蔵資料の適正な保存管理に努めた。主な活動は、年１回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理、簡易燻蒸・消毒処理、IPM モニタリング等のほか、毎月１回の IPM 全体会議にて連絡・報告などを行った。

（１）2022 年度　全館燻蒸・消毒処理

第１回　全館燻蒸・消毒

期間：2022 年６月 29 日（月）～７月７日(火) ９日間

使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブンガノン）

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

（２）簡易燻蒸・消毒処理

各トラックヤードに自動噴霧装置設置（博物館３か所、美術館２か所、県民ギャラリー搬入口１か所）を設置、毎日深夜にて散布（スミスリン乳剤）を行い、開閉する場所の害虫駆除を実施している。又、必要に応じて作品等の燻蒸・消毒を「ふくろう君」（二酸化炭素）を実施している。

（宮里）

## Ⅴ　刊行物

（全　体）

| | 刊　行　物　名 | 種類 | 部数 | 規格（頁） | 内　容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 沖縄県立博物館・美術館　年報　（令和３年度実績報告）No.15 | 定 期 | 300 | Ａ４（185） | 前年度の博物館・美術館活動報告 |

（博物館班）

| | 刊　行　物　名 | 種類 | 部数 | 規格（頁） | 内　容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 復帰50年特別展<br>沖縄、復帰後。展―いちまでぃん　かなさ沖縄ー | 不定期 | 1,000部 | Ａ４（99） | 1972年-2022年の復帰後50年間の歴史的エポックとなる事象、人々の生活の変化など軌跡などを紹介 |
| 2 | 復帰50年企画展<br>琉球ー美とその背景ー | 〃 | 1，000部 | Ａ４（38） | 美術工芸、歴史、民俗、考古資料から琉球王国時代以降の人々の美意識やアイデンティティを再考する |
| 3 | 沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要第16号 | 定　期 | 500部 | Ａ４（202） | 博物館学芸員等の調査研究 |
| 4 | 令和４年度 沖縄県立博物館・美術館<br>博物館教育普及活動 | 〃 | 600部 | Ａ４（98） | 博物館教育活動の総括報告書 |

（美術館班）

| | 刊　行　物　名 | 種 類 | 部 数 | 規格（頁） | 内　容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 企画展<br>「復帰50年　平良孝七展」カタログ | 不定期 | 610 | A4変形（304） | 企画展図録 |
| 2 | 記録集「復帰50年コレクション展　FUKKI QUALIA―『復帰』と沖縄美術」 | 〃 | 500 | A4（160） | 復帰50年コレクション展記録集 |
| 3 | 沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要第11号 | 定　期 | 500 | A4（48） | 美術館学芸員の調査研究報告書 |
| 4 | 教育普及報告書 | 〃 | 300 | A4（42） | 美術館教育普及活動の報告書 |

（指定管理者）

| | 刊　行　物　名 | 種　類 | 部　数 | 規 格（頁） | 内　容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2022 年度展覧会年間スケジュールリーフレット | 年１回 | 10,000 | 蛇腹折（14 頁） | 展覧会スケジュール |
| 2 | 日本語誘客パンフレット | 不定期 | 15,000 | 観音折（８頁） | パンフレット |
| 3 | おきみゅーの GW2022 知るを楽しもう | 年１回 | 10,000 | Ａ４ | イベント告知チラシ |
| 4 | おきみゅー誕生祭 2022 | 年１回 | 23,000 | Ａ４ | イベント告知チラシ |
| 5 | おきみゅー誕生祭 2022 クイズラリー | 年１回 | 1,000 | Ａ５ | ワークシート |
| 6 | 旧正月はおきみゅーに行こう！2023 | 年１回 | 5,000 | Ａ４ | ペーパークラフト |
| 7 | 貸施設案内パンフレット | 不定期 | 6,000 | Ａ４ | パンフレット |
| 8 | 博物館常設展初心者向け展示ガイド付き MAP | 不定期 | 15,000 | Ａ３ | ガイド MAP |

| | 刊行物名 | 種類 | 部数 | 規格（頁） | 内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 博物館常設展誘客 子ども向けチラシ Part２ | 不定期 | 23,000 | Ａ３ | チラシ（マンガ） |
| 10 | 博物館常設展誘客 子ども向けチラシ Part３ | 不定期 | 23,000 | Ａ３ | チラシ（マンガ） |
| 11 | 博物館常設展ワークシート（考古） | 不定期 | 2,600 | Ａ４ | ワークシート |
| 12 | 博物館常設展ワークシート（民俗） | 不定期 | 2,600 | Ａ４ | ワークシート |
| 13 | 博物館常設展ワークシート（地学） | 不定期 | 400 | Ａ４ | ワークシート |
| 14 | 博物館常設展ワークシート（美術工芸） | 不定期 | 2,000 | Ａ４ | ワークシート |
| 15 | シルクロード展チラシ | 不定期 | 80,000 | Ａ４ | チラシ |
| 16 | シルクロード展ポスター | 不定期 | 1,000 | Ａ２ | ポスター |
| 17 | スケスケ展チラシ | 不定期 | 180,000 | Ａ４ | チラシ |
| 18 | スケスケ展ポスター | 不定期 | 1,000 | Ｂ２ | ポスター |
| 19 | 解体梵鐘 | 不定期 | 450 | Ｂ５ (27) | 万国津梁の鐘プロジェクト冊子 |

## Ⅵ　展覧会一覧（2022年度）

| No | 展覧会名 | 場所 | 主催 | 期間 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 博物館常設展　海と島に生きる<br>－豊かさ、美しさ、平和を求めて－ | 博物館常設展示室<br>総合展示室 | 沖縄県<br>（博物館班） | 通　年 |
| 2 | 第１期「継承される美－琉球から沖縄へ受け継がれる思い－」 | 博物館常設展示室<br>美術工芸部門展示室 | 〃 | ５/23～８/20 |
| 3 | 第２期「世界に広がる三線の魅力」 | 〃 | 〃 | ８/30～11/７ |
| 4 | 第３期「よみがえる王国の記録『歴代宝案』－ゆきかうヒト・モノ－」 | 博物館常設展示室<br>美術工芸部門、歴史部門展示室 | 〃 | 11/15 ～2023<br>2/12 |
| 5 | 第４期「松竹梅（歳寒三友）」 | 博物館常設展示室<br>美術工芸部門展示室 | 〃 | ２/21～５/14 |
| 6 | 那覇港～往来する人とモノ～ | 博物館常設展示室<br>歴史部門展示室 | 〃 | ２/17～５/24 |
| 7 | 特集展「復帰50年　沖縄復帰前展」 | 〃 | 〃 | 3/18～８/21 |
| 8 | 特集展「海を越えるウチナーの絆」 | 〃 | 〃 | ９/２～ 11/６ |
| 9 | 旧正月とムーチーの展示替え | 博物館常設展示室<br>民俗部門展示室 | 〃 | 年季適宜 |
| 10 | 愛鳥週間ミニ展示<br>『鳥たちの歌声を聞いてみよう～鳥の美声コンテスト』 | エントランスホール | 〃 | 4/26～５/22 |
| 11 | ミニ企画展「国立沖縄自然史博物館誘致企画展　in おきみゅー」 | 〃 | 〃 | 6/21～7/18 |
| 12 | 尚巴志王即位600年記念展示『英雄　尚巴志展－はじまりの統一王－』明和津波襲来250年 | 〃 | 〃 | 9/21～10/10 |
| 13 | 天ころりん | エントランスホール | 沖縄県（博物館班）、共催・沖縄石の文化博物館（株式会社南都） | 11/29～５/７ |
| 14 | サンゴ礁ウィーク関連ミニ展示<br>「北谷の海」 | 〃 | 沖縄県<br>（博物館班） | ２/28～３/12 |

| No | 展　示　会　名 | 場　所 | 主　催 | 期　間 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 15 | 令和５年度企画展<br>復帰 50 年　平良孝七展 | 美術館企画ギャラリー１、２ | 沖縄県<br>（美術館班） | 11/３～2023/１/15 |
| 16 | REFLECTIONS ―時代を見る眼― | 美術館コレクションギャラリー１、２ | 〃 | １/29～６/26 |
| 17 | 沖縄美術の流れ（R３年度後期） | 美術館コレクションギャラリー３ | 〃 | １/29～６/26 |
| 18 | 復帰 50 年コレクション展<br>FUKKI QUALIA―「復帰」と沖縄美術－ | 美術館コレクションギャラリー１、２、３、ホワイエ | 〃 | 前期：７/20～10/16<br>後期：10/22～2023/１/15 |
| 19 | 具志堅聖児　日本画展 | 美術館コレクションギャラリー２ | 沖縄県<br>（美術館班）〃 | 2023/１/21～６/25 |
| 20 | 沖縄美術の流れ（R4 年度） | 美術館コレクションギャラリー１、３ | 〃 | 2023/１/21～６/25 |
| 21 | 悠久のシルクロード展－古代エジプトからアジア、そして日本へと繋がる歴史と文化の道 | 博物館企画展示室、特別展示室１、２ | 沖縄美ら島財団、琉球新報社、株式会社宣伝 | ４/５～５/８ |
| 22 | スケスケ展－スケると見える仕組みの世界－ | 美術館企画ギャラリー１、２ | 沖縄美ら島財団、琉球新報社 | ７/12～９/４ |
| 23 | さがそう！自由研究のタネ～あなたの好奇心の花を咲かせます～ | 県民ギャラリー１、２、３ | 沖縄美ら島財団 | ７/20～７/24 |
| 24 | 戦前の首里城～森政三コレクション古写真展～ | エントランスホール | 〃 | 11/22～12/18 |
| 25 | ザトウクジラ展 | エントランスホール | 〃 | 12/13～2023/２/26 |
| 26 | 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島　世界自然遺産展 | 県民ギャラリー１、２、３ | 〃 | 2023/３/4～３/19 |

# その他の活動

Ⅰ　沖縄県博物館協会
Ⅱ　全国組織との関わり
Ⅲ　沖縄県立博物館友の会
Ⅳ　NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ

## Ⅰ　沖縄県博物館協会

【総会及び春の研修会】
期　日：2022年５月26日→新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止、書面開催
場　所：沖縄空手会館
内　容：議案第１号　令和３年度事業実施報告について
議案第２号　令和３年度収支決算報告について
議案第３号　令和４年度事業計画案について
議案第４号　令和４年度予算案について
議案第５号　役員の改選について
議案第６号　沖縄県博物館協会・春の研修会及び秋の研修会の割り当てについて
その他　　　新規加入について

【秋の研修会】
期　日：2022年12月22日～23日
場　所：久米島町複合型防災・地域交流センター「ほんのもり」※現地及びオンライン研修
参加者：田名真之（館長）、外間一先、宮城修、宇佐美賢
内　容：テーマ：「博物館ネットワークの構築」
2022年12月22日（木）～12月23日（金）
基調講演「博物館ネットワーク 博物館法改正から考える」
佐々木秀彦氏（アーツカウンシル東京（東京都歴史文化財団））
報告：久米島博物館　学芸員 砂川暁洸氏
「久米島沖に座礁した異国船の痕跡について―現地踏査から文献資料の把握まで―」
報告：県立博物館・美術館学芸員　宮城修「第７０回全国博物館大会（高知大会）参加報告」

12月23日　久米島町内巡検
久米島博物館集合・受付　久米島博物館 ⇒ 久米島町奥武島の畳石（天然記念物） ⇒ 天后宮
旧仲里間切蔵元跡石牆（重文） ⇒ 上江洲家住宅（重文） ⇒ 久米島博物館

## Ⅱ　全国の組織との関り

### 1　日本博物館協会
（１）令和４年度全国博物館長会議（第29回）
日　時：2022年７月６日（水）
場　所：オンライン会議
（２）第70回日本博物館協会全国博物館大会高知大会「地域から発信する博物館の未来」
日　　時：2022年11月16日（水）～11月18日（金）
場　　所：高知県高知市「高知県立県民文化ホールほか」
参 加 者：外間一先、宮城修

### 2　九州博物館協議会
（１）九州博物館協議会理事会・総会・現地研修
日　時：2022年５月19日（木）～20日（金）→新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止につき、書面開催
場　所：大分県
（２）第52回九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会
日　時：2022年10月24日（月）～25日（火）
場　所：長崎県　対馬市交流センター

### 3　全国歴史民俗系博物館協議会

（１）令和４年度総会
日　時：開催中止、書面開催

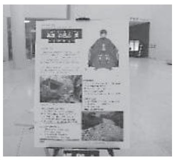
## Ⅲ 沖縄県立博物館友の会

沖縄県立博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として 1980 年（昭和 55 年）に発足した。

本年度の会員の内訳は、一般会員 301 名、家族会員 44 家族（91 名）、賛助会員 2 ヶ所。

博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文化講演会や会員を対象とした研修会を開催し、博物館常設展示室への展示交流員事業を実施した。

2022 年度（令和４年度）の事業内容は以下のとおり。

| | 事業名及び事業内容 | |
|---|---|---|
| ① | **【尚巴志王即位 600 年記念事業】「真の尚巴志像をさぐる」**<br>**（沖縄しまたて協会助成事業）**<br>★パネル展　『英雄　尚巴志-はじまりの統一王-』<br>・沖縄県立博物館・美術館　エントランス<br>開催日：2022 年 9 月 21 日（水）～10 月 9 日（日）<br>展示説明会：10 月 9 日（日）10 時・14 時の 2 回<br>講　師：山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）<br>・南城市役所 2 階共用スペース<br>開催日：2022 年 10 月 26 日（水）～11 月 27 日（日）<br>・うるま市　あまわりパーク歴史文化施設企画展示室<br>開催日：2022 年 11 月 29 日（火）～12 月 27 日（火） | <br> <br>展示説明会 |
| | ★講演会『真の尚巴志像をさぐる』<br>開催日：2022 年 10 月 7 日（金）<br>会　場：那覇市立首里公民館 3 階展示室<br>講　師：上里隆史（琉球歴史研究家）<br>参加者：54 名 | |
| | ★『尚巴志ゆかりの地をめぐる』<br>佐敷グスクと大里グスクのフィールドツアー<br>開催日：2022 年 11 月 12 日（土）<br>講　師：横山幸平（南城市教育委員会主任主事）<br>参加者：27 名 | |
| | ★新春講演会『尚巴志とその父思紹』<br>開催日：2023 年 1 月 18 日（水）<br>会　場：沖縄県立博物館・美術館 3 階講堂<br>講　師：田名真之（沖縄県立博物館・美術館館長）<br>参加者：147 名 | |
| | ★尚巴志の孫、尚徳王の琉球銭「世高通宝」を作ってみよう<br>開催日：2023 年 2 月 19 日（日）午前・午後の全 2 回開催<br>会　場：喜界町中央公民館新館（鹿児島県大島郡喜界町）<br>講　師：山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）<br>ｽﾀｯﾌ：4 名<br>参加者：35 名 | |
| ② | 【地域文化散策】<br>『那覇 100 年の物語』<br>開催日：2022 年 11 月 14 日（月）<br>講　師：外間政明（那覇市文化財課担当副参事）<br>内　容：那覇市歴史博物館にて歴史講話の後、<br>那覇港、東町一帯（旧市街地）、泉崎橋などを散策<br>参加者：19 名 | |

| | | |
|---|---|---|
| ③ | 【展示交流員研修】<br>『展示交流員研修・懇親会』<br>開催日：2023 年 1 月 30 日（月）・2 月 6 日（月）<br>内　容：首里杜館情報展示室にて首里城関連ビデオ視聴の後、レストラン首里杜で懇親会<br>参加者：54 名 | |
| ④ | 【地域文化散策】<br>『浦添市史跡巡りと中頭方西海道散策』<br>開催日：2023 年 3 月 6 日（月）<br>講　師：仲間孝藏（沖縄県立博物館友の会会長）<br>内　容：玉城朝薫の墓→経塚の碑→中頭方西海道（安波茶橋と石畳→当山の石畳）→浦添ようどれ→浦添城跡発掘現場前<br>参加者： 24 名 | |

【総会】
　2022 年度定期総会（年 1 回開催）（書面表決開催）
【会誌発行】
　年 1 回　博友
【会員への情報提供】
　①友の会通信「ちゃーびら」　年 9 回発行（1 〜 6 月、8 月、10 月、12 月）・送付
　②友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送
【サークル活動】
　家譜サークル（毎月 1 回勉強会実施・・・新型コロナウィルス感染症拡大のため開催なし）
　辺境＆市場サークル（海外研修の実施）
【博物館サポート】
　①博物館常設展示室展示交流員の配置業務
　②文化講演会および学芸員講座当日の受付支援
　③「ボランティア通信」印刷・発送支援
　④博物館・美術館移動展支援

## Ⅳ 特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ

happ は 2005 年（平成 17 年）に沖縄県立美術館の活躍をサポートする組織として誕生。スカンジナビア語の「happ（幸運）」が由来。h=happiness（しあわせ）・happening（できごと）、a=art（アート）p=people（人々）、　p=place（場所）。

【基本理念】沖縄県立美術館と連携し、優れた文化芸術に触れる活動や文化を創造する活動に参加できる機会を広く提供することにより、地域に根ざした魅力ある美術館づくりに寄与することを目指す。

【基本方針】

Ⅰ「沖縄県立美術館との連携」
1. 美術館側の学芸員や副館長との連携の強化を図る。
2. 展示企画を行う指定管理者との連携の強化を図る。
3. 美術館に多くの来客を呼び込み、楽しんで頂けるように互いの協力体制の強化を目指す。

Ⅱ「文化を創造する活動に参加出来る機会を広く提供する」
1. 日頃から交流員ならびに、財団および学芸員との協力体制を整える。
2. 来館者および会員、クリエーター（作家）に対し、文化を創造する活動へ参加する機会の創出を目指す。

Ⅲ「地域に根ざした魅力ある美術館づくりに寄与する」
1. 美術館の館内において、より魅力を感じ、楽しんで頂ける企画を立案する。
2. 多くの方々に美術館に通って頂き「私の美術館、僕の美術館」と言われるような美術館づくりに寄与することを目指す。

2022 年度　事業報告（総括表）　2022 年４月１日～2023 年３月 31 日

（１）自主事業

| 事業名 | 事業内容 | 日時 | 開催場所 |
|---|---|---|---|
| 情報発信事業 | 令和４年度 沖縄県観光事業者事業継続・経営改善サポート事業 | 11 月～３月 | happ ウェブサイト |
| Web サイト制作情報発信事業 | Web サイト制作情報発信事業 | ６月～３月 | happ ウェブサイト |
| ぺちゃくちゃないと那覇＃１ | 県民の大切な文化や宝物・芸術作品が集結する美術館で、沖縄のアートを支える人・創る人、6 名が登壇し、60 名以上のアートやクリエイティブなことに興味がある来場者とつながりを創出した | ２月 25 日 | カメカメキッチン |
| 物品販売事業 | 関連冊子の販売 | 通年 | ショップゆいむい |

(2) 共催・協力事業

| | | | |
|---|---|---|---|
| 情報発信事業 | 令和４年度 沖縄県観光事業者事業継続・経営改善サポート事業 | 11 月～３月 | happ ウェブサイト |
| Web サイト制作情報発信事業 | Web サイト制作情報発信事業 | ６月～３月 | happ ウェブサイト |
| ぺちゃくちゃないと那覇＃１ | 県民の大切な文化や宝物・芸術作品が集結する美術館で、沖縄のアートを支える人・創る人、6 名が登壇し、60 名以上のアートやクリエイティブなことに興味がある来場者とつながりを創出した | ２月 25 日 | カメカメキッチン |
| 物品販売事業 | 関連冊子の販売 | 通年 | ショップゆいむい |

(3) 受託事業

| | | | |
|---|---|---|---|
| 【委託】監視ボランティア事業 | 展示交流員、展示監視業務 | 通年 | 美術館コレクションギャラリー |
| 【委託】県民ギャラリー受付事業 | 沖縄しまたて協会主催 写真コンクール受付・展示監視業務 | 12 月 6 日～10 日 | 美術館　県民スタジオ |

（４）各諸会議

| | | | |
|---|---|---|---|
| 総会 | 通常総会 | 令和４年６月 25 日 | 県民スタジオ |
| 理事会 | 事業計画、運営のための会議等 | 令和４年４月～令和５年３月 | 特別会議室/オンライン |

# 関係法規抄録

○博物館法
○博物館法施行令
○博物館法施行規則
○博物館の登録等に関する規則
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である
　職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則
○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するため
　の組織に関する規則
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
○沖縄県立博物館・美術館管理規則
○沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領
○沖縄県立博物館･美術館共催及び後援等に関する取扱要領
○沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱

# 関係法規抄録

○博物館法（抄）　　昭和26年12月１日　法律第285号
〔最終改正〕令和４年４月15日　法律第 24号

（目的）

第一条　この法律は、社会教育法（昭和24 二十四年法律第二百七号）及び文化芸術基本法（平成十三年法律第百四十八号）の精神に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条　この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法（昭和二十五年法律第百十八号）による図書館を除く。）のうち、次章の規定による登録を受けたものをいう。

２　この法律において「公立博物館」とは、地方公共団体又は地方独立行政法人（地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第二条第一項に規定する地方独立行政法人をいう。以下同じ。）の設置する博物館をいう。

３　この法律において「私立博物館」とは、博物館のうち、公立博物館以外のものをいう。

４　この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。次条第一項第三号において同じ。）を含む。）をいう。

（博物館の事業）

第三条　博物館は、前条第一項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

一　実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。

二　分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。

三　博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること。

四　一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。

五　博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。

六　博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。

七　博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。

八　博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。

九　当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。

十　社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

十一　学芸員その他の博物館の事業に従事する人材の養成及び研修を行うこと。

十二　学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。

２　博物館は、前項各号に掲げる事業の充実を図るため、他の博物館、第三十一条第二項に規定する指定施設その他これらに類する施設との間において、資料の相互貸借、職員の交流、刊行物及び情報の交換その他の活動を通じ、相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。

３　博物館は、第一項各号に掲げる事業の成果を活用するとともに、地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力し、当該博物館が所在する地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光（有形又は無形の文化的所産その他の文化に関する資源（以下この項において「文化資源」という。）の観覧、文化資源に関する体験活動その他の活動を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光をいう。）その他の活動の推進を図り、もつて地域の活力の向上に寄与するよう努めるものとする。

（館長、学芸員その他の職員）

第四条　博物館に、館長を置く。

２　館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。

３　博物館に、専門的職員として学芸員を置く。

４　学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

５　博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。

６　学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

（学芸員の資格）

第五条　次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。

一　学士の学位（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第百四条第二項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものに限る。）を含む。）を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの

二　次条各号のいずれかに該当する者で、三年以上学芸員補の職にあつたもの

三　文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めた者

２　前項第二号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含

む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。

**（学芸員補の資格）**

第六条　次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員補となる資格を有する。

一　短期大学士の学位（学校教育法第百四条第二項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものを除く。）及び同条第六項に規定する文部科学大臣の定める学位を含む。）を有する者で、前条第一項第一号の文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの

二　前号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者として文部科学省令で定める者

**（館長、学芸員及び学芸員補等の研修）**

第七条　文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、館長、学芸員及び学芸員補その他の職員に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

**（設置及び運営上望ましい基準）**

第八条　文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

**（運営の状況に関する評価等）**

第九条　博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

**（運営の状況に関する情報の提供）**

第十条　博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

## 第二章　登録

**（登録）**

第十一条　博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会（当該博物館（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市をいう。以下同じ。）の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会。第三十一条第一項第二号を除き、以下同じ。）の登録を受けるものとする。

**（登録の申請）**

第十二条　前条の登録（以下「登録」という。）を受けようとする者は、都道府県の教育委員会の定めるところにより、次に掲げる事項を記載した登録申請書を都道府県の教育委員会に提出しなければならない。

一　登録を受けようとする博物館の設置者の名称及び住所

二　登録を受けようとする博物館の名称及び所在地

三　その他都道府県の教育委員会の定める事項

２　前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

一　館則（博物館の規則のうち、目的、開館日、運営組織その他の博物館の運営上必要な事項を定めたものをいう。）の写し

二　次条第一項各号に掲げる基準に適合していることを証する書類

三　その他都道府県の教育委員会の定める書類

**（登録の審査）**

第十三条　都道府県の教育委員会は、登録の申請に係る博物館が次の各号のいずれにも該当すると認めるときは、当該博物館の登録をしなければならない。

一　当該申請に係る博物館の設置者が次のイ又はロに掲げる法人のいずれかに該当すること。

イ　地方公共団体又は地方独立行政法人

ロ　次に掲げる要件のいずれにも該当する法人（イに掲げる法人並びに国及び独立行政法人（独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三号）第二条第一項に規定する独立行政法人をいう。第三十一条第一項及び第六項において同じ。）を除く。）

（１）　博物館を運営するために必要な経済的基礎を有すること。

（２）　当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が博物館を運営するために必要な知識又は経験を有すること。

（３）　当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が社会的信望を有すること。

二　当該申請に係る博物館の設置者が、第十九条第一項の規定により登録を取り消され、その取消しの日から二年を経過しない者でないこと。

三　博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。

四　学芸員その他の職員の配置が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。

五　施設及び設備が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県の教育委員会の定める基準に適合するものであること。

六　一年を通じて百五十日以上開館すること。

２　都道府県の教育委員会が前項第三号から第五号までの基準を定めるに当たつては、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

３　都道府県の教育委員会は、登録を行うときは、あらかじめ、博物館に関し学識経験を有する者の意見を聴かなければならない。

（登録の実施等）

第十四条　登録は、都道府県の教育委員会が、次に掲げる事項を博物館登録原簿に記載してするものとする。

一　第十二条第一項第一号及び第二号に掲げる事項

二　登録の年月日

２　都道府県の教育委員会は、登録をしたときは、遅滞なく、その旨を当該登録の申請をした者に通知するとともに、前項各号に掲げる事項をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

（変更の届出）

第十五条　博物館の設置者は、第十二条第一項第一号又は第二号に掲げる事項を変更するときは、あらかじめ、その旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

２　都道府県の教育委員会は、前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る登録事項の変更登録をするとともに、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

（都道府県の教育委員会への定期報告）

第十六条　博物館の設置者は、当該博物館の運営の状況について、都道府県の教育委員会の定めるところにより、定期的に、都道府県の教育委員会に報告しなければならない。

（報告又は資料の提出）

第十七条　都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館の適正な運営を確保するため必要があると認めるときは、当該博物館の設置者に対し、その運営の状況に関し報告又は資料の提出を求めることができる。

（勧告及び命令）

第十八条　都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館が第十三条第一項各号のいずれかに該当しなくなつたと認めるときは、当該博物館の設置者に対し、必要な措置をとるべきことを勧告することができる。

２　都道府県の教育委員会は、前項の規定による勧告を受けた博物館の設置者が、正当な理由がなくてその勧告に係る措置をとらなかつたときは、当該博物館の設置者に対し、期限を定めて、その勧告に係る措置をとるべきことを命ずることができる。

３　第十三条第三項の規定は、第一項の規定による勧告及び前項の規定による命令について準用する。

（登録の取消し）

第十九条　都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館の設置者が次の各号のいずれかに該当するときは、当該博物館の登録を取り消すことができる。

一　偽りその他不正の手段により登録を受けたとき。

二　第十五条第一項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をしたとき。

三　第十六条の規定に違反したとき。

四　第十七条の報告若しくは資料の提出をせず、又は虚偽の報告若しくは資料の提出をしたとき。

五　前条第二項の規定による命令に違反したとき。

２　第十三条第三項の規定は、前項の規定による登録の取消しについて準用する。

３　都道府県の教育委員会は、第一項の規定により登録の取消しをしたときは、速やかにその旨を、当該登録に係る博物館の設置者に対し通知するとともに、インターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

（博物館の廃止）

第二十条　博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、速やかにその旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

２　都道府県の教育委員会は、前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る博物館の登録を抹消するとともに、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

（都道府県又は指定都市の設置する博物館に関する特例）

第二十一条　第十五条第一項、第十六条から第十八条まで及び前条第一項の規定は、都道府県又は指定都市の設置する博物館については、適用しない。

２　都道府県又は指定都市の設置する博物館についての第十五条第二項、第十九条第一項及び第三項並びに前条第二項の規定の適用については、第十五条第二項中「前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る登録事項」とあるのは「その設置する博物館について第十二条第一項第一号又は第二号に掲げる事項に変更があるときは、当該事項」と、第十九条第一項中「登録に係る博物館の設置者が次の各号のいずれかに該当する」とあるのは「設置する博物館が第十三条第一項第三号から第六号までのいずれかに該当しなくなつたと認める」と、同条第三項中「その旨を、当該登録に係る博物館の設置者に対し通知するとともに、」とあるのは「その旨を」と、前条第二項中「前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る」とあるのは「その設置する博物館を廃止したときは、当該」とする。

（規則への委任）

第二十二条　この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県の教育委員会の規則で定める。

## 第三章　公立博物館

（博物館協議会）

第二十三条　公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

２　博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十四条　博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあつては、当該地方公共団体の長）が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。
第二十五条　博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。
（入館料等）
第二十六条　公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。ただし、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。
（博物館の補助）
第二十七条　国は、博物館を設置する地方公共団体又は地方独立行政法人に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。
２　前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。
（補助金の交付中止及び補助金の返還）
第二十八条　国は、博物館を設置する地方公共団体又は地方独立行政法人に対し前条の規定による補助金の交付をした場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第一号の場合の取消しが第十九条第一項第一号に該当することによるものである場合には、既に交付した補助金を、第三号又は第四号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。
一　当該博物館について、第十九条第一項の規定による登録の取消しがあつたとき。
二　地方公共団体又は地方独立行政法人が当該博物館を廃止したとき。
三　地方公共団体又は地方独立行政法人が補助金の交付の条件に違反したとき。
四　地方公共団体又は地方独立行政法人が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

## 第四章　私立博物館

（都道府県の教育委員会との関係）
第二十九条　都道府県の教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。
２　都道府県の教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。
（国及び地方公共団体との関係）
第三十条　国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

## 第五章　博物館に相当する施設

第三十一条　次の各号に掲げる者は、文部科学省令で定めるところにより、博物館の事業に類する事業を行う施設であつて当該各号に定めるものを、博物館に相当する施設として指定することができる。
一　文部科学大臣　国又は独立行政法人が設置するもの
二　都道府県の教育委員会　国及び独立行政法人以外の者が設置するもののうち、当該都道府県の区域内に所在するもの（指定都市の区域内に所在するもの（都道府県が設置するものを除く。）を除く。）
三　指定都市の教育委員会　国、独立行政法人及び都道府県以外の者が設置するもののうち、当該指定都市の区域内に所在するもの
２　前項の規定による指定をした者は、当該指定をした施設（以下この条において「指定施設」という。）が博物館の事業に類する事業を行う施設に該当しなくなつたと認めるときその他の文部科学省令で定める事由に該当するときは、文部科学省令で定めるところにより、当該指定施設についての前項の規定による指定を取り消すことができる。
３　第一項の規定による指定をした者は、当該指定をしたとき又は前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。
４　第一項の規定による指定をした者は、指定施設の設置者に対し、その求めに応じて、当該指定施設の運営に関して、専門的、技術的な指導又は助言を与えることができる。
５　指定施設は、その事業を行うに当たつては、第三条第二項及び第三項の規定の趣旨を踏まえ、博物館、他の指定施設、地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。
６　国又は独立行政法人が設置する指定施設は、博物館及び他の指定施設における公開の用に供するための資料の貸出し、職員の研修の実施その他の博物館及び他の指定施設の事業の充実のために必要な協力を行うよう努めるものとする。

## 附　則

この法律は、公布の日から起算して三箇月を経過した日から施行する。

附　則　（昭和二七年八月一四日法律第三〇五号）　抄

附　則　（令和四年四月一五日法律第二四号）　抄
（施行期日）
第一条　この法律は、令和五年四月一日から施行する。ただし、附則第三条の規定は、公布の日から施行する。
（経過措置）
第二条　この法律の施行の際現に学芸員となる資格を有する者は、この法律による改正後の博物館法（以下この条において「新博物館法」という。）第五条に規定する学芸員となる資格を有する者とみなす。
２　この法律の施行の際現に博物館において学芸員補の職にある者は、新博物館法第六条の規定にかかわらず、この法律の施行の日（次項及び第四項において「施行日」という。）以後も引き続き当該博物館において、学芸員補となる資格を有する者としてその職にあることができる。
３　施行日前にされたこの法律による改正前の博物館法（次項及び第六項において「旧博物館法」という。）第十一条の登録の申請であって、この法律の施行の際、まだその登録をするかどうかの処分がされていないものについての登録の処分については、なお従前の例による。
４　この法律の施行の際現に旧博物館法第十条の登録を受けている又は施行日以後に前項の規定によりなお従前の例によることとされる同条の登録を受ける博物館は、施行日から起算して五年を経過する日までの間は、新博物館法第十一条の登録を受けたものとみなす。当該博物館の設置者がその期間内に同条の登録の申請をした場合において、その期間を経過したときは、その申請について登録をするかどうかの処分がある日までの間も、同様とする。
５　前項の規定により新博物館法第十一条の登録を受けたものとみなされる博物館が同条の登録を受けるまでの間における当該博物館についての新博物館法第十八条第一項及び第二十一条第二項の規定の適用については、新博物館法第十八条第一項中「第十三条第一項各号」とあり、及び新博物館法第二十一条第二項中「第十三条第一項第三号から第六号まで」とあるのは、「博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号）による改正前の第十二条各号」とする。
６　この法律の施行の際現に旧博物館法第二十九条の指定を受けている施設は、新博物館法第三十一条第一項の指定を受けたものとみなす。
（政令への委任）
第三条　前条に定めるもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置は、政令で定める。

## ○博物館法施行令

昭和27年３月20日　政令第 47号
〔最終改正〕令和５年２月10日　政令第 35号

内閣は、博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十五条第二項の規定に基き、及び同条の規定を実施するため、この政令を制定する。

博物館法第二十七条第一項に規定する博物館の施設及び設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。
一　施設費　施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費
二　設備費　博物館に備え付ける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費

附　則
この政令は、公布の日から施行する。

附　則　（昭和三〇年八月二四日政令第一九二号）　抄
１　この政令は、公布の日から施行し、昭和三十年七月二十二日から適用する。

附　則　（昭和三一年六月三〇日政令第二二二号）　抄
（施行期日）
１　この政令は、昭和三十一年十月一日から施行する。

附　則　（昭和三四年四月三〇日政令第一五七号）　抄
（施行期日）
１　この政令は、公布の日から施行する。

附　則　（令和五年二月一〇日政令第三五号）
この政令は、令和五年四月一日から施行する。

## ○博物館法施行規則

昭和30年10月４日　文部省令第24号
〔最終改正〕令和５年４月１日　文部科学省令第２号

博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第五条及び第二十九条の規定に基き、博物館法施行規則（昭和二十七年文部省令第十一号）の全部を改正する省令を次のように定める。

目次
第一章　博物館に関する科目の単位（第一条・第二条）
第二章　学芸員及び学芸員補の資格（第三条―第十八条）
第三章　博物館の登録に係る基準を定めるに当たつて参酌すべき基準（第十九条―第二十一条）
第四章　博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準（第二十二条）
第五章　博物館に相当する施設の指定（第二十三条―第二十七条）
附則

第一章　博物館に関する科目の単位

（博物館に関する科目の単位）

第一条　博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号。以下「法」という。）第五条第一項第一号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

| 科目 | 単位数 |
|---|---|
| 生涯学習概論 | 2 |
| 博物館概論 | 2 |
| 博物館経営論 | 2 |
| 博物館資料論 | 2 |
| 博物館資料保存論 | 2 |
| 博物館展示論 | 2 |
| 博物館教育論 | 2 |
| 博物館情報・メディア論 | 2 |
| 博物館実習 | 3 |

２　博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第六条第三項に規定する試験科目について合格点を得ている科目は、これをもつて、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

（博物館実習）

第二条　前条に掲げる博物館実習は、博物館（法第二条第一項に規定する博物館をいう。以下同じ。）又は法第三十一条第一項の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県若しくは指定都市（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市をいう。以下同じ。）の教育委員会が博物館に相当する施設として指定した施設（大学においてこれに準ずると認めた施設を含む。）における実習により修得するものとする。

２　博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

第二章　学芸員及び学芸員補の資格

（学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者）

第三条　法第五条第一項第三号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

一　学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）第百五十五条第一項各号のいずれかに該当する者であつて、大学において博物館に関する科目の単位を修得したもの

二　この章に定める試験認定又は審査認定（以下「資格認定」という。）の合格者

（資格認定の施行期日等）

第四条　資格認定は、少なくとも二年に一回、文部科学大臣が行う。

２　資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、インターネットの利用その他の適切な方法により公示する。

（試験認定の受験資格）

第五条　次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。

一　学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第百二条第一項本文の規定により大学院に入学することができる者

二　大学に二年以上在学して六十二単位以上を修得した者（学校教育法施行規則第百五十五条第二項各号のいずれかに該当する者を含む。第九条第三号ロにおいて同じ。）であつて、二年以上博物館における博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業に関する実務（法第五条第二項に規定する職の実務を含む。以下「博物館資料関係実務」という。）を行つた経験を有するもの

三　学校教育法第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者であつて、四年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの

四　教育職員免許法（昭和二十四年法律第百四十七号）第二条第一項に規定する教育職員の普通免許状を有し、二年以上教育職員の職にあつた者

五　その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

（試験認定の方法及び試験科目）

第六条　試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。

２　試験認定は、二回以上にわたり、それぞれ一以上の試験科目について受けることができる。

３　試験科目は、次表に定めるとおりとする。

| 試験科目 | 試験認定の必要科目 | |
|---|---|---|
| 必須科目 | 生涯学習概論 | 上記科目の全科目 |
| | 博物館概論 | |
| | 博物館経営論 | |
| | 博物館資料論 | |
| | 博物館資料保存論 | |
| | 博物館展示論 | |
| | 博物館教育論 | |
| | 博物館情報・メディア論 | |

| | | |
|---|---|---|
| 選択科目 | 文化史 | 上記科目のうちから受験者の選択する２科目 |
| | 美術史 | |
| | 考古学 | |
| | 民俗学 | |
| | 自然科学史 | |
| | 物理 | |
| | 化学 | |
| | 生物学 | |
| | 地学 | |

（試験科目の免除）

**第七条**　大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願い出により、当該科目についての試験を免除する。

**第八条**　削除

（審査認定の受験資格）

**第九条**　次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。

一　次のいずれかに該当する者であつて、二年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの

イ　学位規則（昭和二十八年文部省令第九号）による修士の学位又は専門職学位を有する者（学校教育法施行規則第百五十六条各号のいずれかに該当する者を含む。）

ロ　学位規則による博士の学位を有する者（旧学位令（大正九年勅令第二百号）による博士の称号を有する者及び外国において博士の学位に相当する学位を授与された者を含む。）

二　大学において博物館に関する科目（生涯学習概論を除く。）に関し二年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあつた者であつて、二年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの

三　次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦するもの

イ　学校教育法第百二条第一項本文の規定により大学院に入学することができる者であつて、四年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの

ロ　大学に二年以上在学し、六十二単位以上を修得した者であつて、六年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの

ハ　学校教育法第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者であつて、八年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの

四　その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

（審査認定の方法）

**第十条**　審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

（受験の手続）

**第十一条**　資格認定を受けようとする者は、受験願書（別記第一号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法（昭和四十二年法律第八十一号）第三十条の九の規定により機構保存本人確認情報（同法第七条第八号の二に規定する個人番号を除く。）の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第三号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。

一　受験資格を証明する書類

二　履歴書（別記第二号様式により作成したもの）

三　戸籍抄本又は住民票の写し（いずれも出願前六月以内に交付を受けたもの）

四　写真（出願前六月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの）

２　前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認めた場合においては、他の証明書をもつて代えることができる。

３　第七条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願い出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。

４　審査認定を願い出る者については、第一項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。

一　第九条第一号又は同条第二号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等

二　第九条第三号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する書類

三　第九条第四号により出願する者にあつては、前二号に準ずる資料又は書類

（筆記試験及び試験認定合格者）

**第十二条**　試験科目（試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。）の全部について合格点を得た者（試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下「筆記試験合格者」という。）であつて、一年間博物館資料関係実務を行つた後に文部科学大臣が認定したものを試験認定合格者とする。

２　筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書（別記第三号様式によるもの）を文部科学大臣に提出しなければならない。

（審査認定合格者）

第十三条　第十条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

（合格証書の授与等）

第十四条　試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書（別記第四号様式によるもの）を授与する。

２　筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書（別記第五号様式によるもの）を授与する。

３　合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願い出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

（合格証明書の交付等）

第十五条　試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願い出たときは、合格証明書（別記第六号様式によるもの）を交付する。

２　筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書（別記第七号様式によるもの）を交付する。

３　一以上の試験科目について合格点を得た者（筆記試験合格者を除く。次条及び第十七条において「筆記試験科目合格者」という。）がその科目合格の証明を願い出たときは、筆記試験科目合格証明書（別記第八号様式によるもの）を交付する。

（手数料）

第十六条　次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

| 上欄 | 下欄 |
|---|---|
| 一　試験認定を願い出る者 | 一科目につき1,300円 |
| 二　審査認定を願い出る者 | 3,800円 |
| 三　試験認定の試験科目の全部について免除を願い出る者 | 800円 |
| 四　合格証書の書換え又は再交付を願い出る者 | 700円 |
| 五　合格証明書の交付を願い出る者 | 700円 |
| 六　筆記試験合格証明書の交付を願い出る者 | 700円 |
| 七　筆記試験科目合格証明書を願い出る者 | 700円 |

２　前項の規定によつて納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書に貼るものとする。ただし、情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律（平成十四年法律第百五十一号）第六条第一項の規定に基づき申請等を行った場合は、当該申請等により得られた納付情報により手数料を納付しなければならない。

３　納付した手数料は、これを返還しない。

（不正の行為を行つた者等に対する処分）

第十七条　虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行つた者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

２　試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになつたときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

（学芸員補となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者）

第十八条　法第六条第二号に規定する学芸員補となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者として文部科学省令で定める者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

一　大学に二年以上在学し、博物館に関する科目の単位を含めて六十二単位以上を修得した者

二　学校教育法施行規則第百五十五条第二項各号のいずれかに該当する者であつて、大学において博物館に関する科目の単位を修得したもの

## 第三章　博物館の登録に係る基準を定めるに当たつて参酌すべき基準

（博物館の体制に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準）

第十九条　法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第三号に規定する博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

一　博物館資料の収集、保管及び展示（インターネットの利用その他の方法により博物館資料に係る電磁的記録を公開することを含む。第四号、第二十一条第一号及び第二十四条第一項第二号において同じ。）並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針を策定し当該方針を公表するとともに、当該方針に基づき、相当の公益性をもつて博物館を運営する体制を整備していること。

二　前号の基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。

三　前号に規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切に管理し、及び活用する体制を整備していること。

四　一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。

五　単独で又は他の博物館若しくは法第三条第一項第十二号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。

六　博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。

七　法第七条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。

**（博物館の職員に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準）**

**第二十条**　法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第四号に規定する学芸員その他の職員の配置に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

一　前条第一号の基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。

二　学芸員が置かれていること。

三　同条第一号の基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。

**（博物館の施設及び設備に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準）**

**第二十一条**　法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第五号に規定する施設及び設備に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

一　博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。

二　防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。

三　博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。

四　高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。

**第四章　博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準**

**第二十二条**　法第二十五条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

**第五章　博物館に相当する施設の指定**

**（申請の手続）**

**第二十三条**　法第三十一条第一項の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の指定を受けようとする場合は、次に掲げる事項を記載した指定申請書（別記第九号様式により作成したもの）を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人（独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三号）第二条第一項に規定する独立行政法人をいう。第二十五条において同じ。）が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県又は指定都市が設置する施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、地方独立行政法人（地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第二条第一項に規定する地方独立行政法人をいう。第二十五条において同じ。）が設置する施設にあつては当該地方独立行政法人の長が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会（当該施設（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会。第二十五条において同じ。）に、それぞれ提出しなければならない。

一　指定を受けようとする施設の設置者の氏名及び住所（法人にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

二　指定を受けようとする施設の名称及び所在地

三　その他指定を行う者が定める事項

２　前項の指定申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

一　当該施設の運営に関する規則のうち、目的、開館日、運営組織その他の施設の運営上必要な事項を定めたもの

二　次条第一項各号に掲げる基準に適合していることを証する書類

三　その他指定を行う者が定める書類

**（指定の審査）**

**第二十四条**　文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、前条第一項の指定申請書の提出があつたときは、申請に係る施設が、次の各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。

一　当該施設の設置者が、その設置する博物館について法第十九条第一項の規定により登録を取り消され、その取消しの日から二年を経過しない者でなく、かつ、その設置する施設について法第三十一条第二項の規定により指定を取り消され、その取消しの日から二年を経過しない者でないこと。

二　当該施設における資料の収集、保管及び展示並びに資料に関する調査研究を行う体制が、当該施設が博物館の事業に類する事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

三　当該施設における職員の配置が、当該施設が博物館の事業に類する事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

四　当該施設の施設及び設備が、当該施設が博物館の事業に類する事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

五　一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。

六　一年を通じて百日以上開館すること。

２　文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、前項第二号から第四号までに規定する基準を定めるに当たつては、第十九条から第二十一条までの規定を参酌して定めるものとする。この場合において、第十九条（第七号を除く。）中「博物館資料」とあるのは「資料」と、同条第一号中「博物館を運営する」とあるのは「法第三十一条第一項の規定による指定を受けた施設（次条及び第二十一条において「指定施設」という。）を運営する」と、第二十条第一号及び第三号中「博物館」とあるのは「指定施設」と、同条第二号中「学芸員」

とあるのは「学芸員に相当する職員」と、第二十一条第一号中「博物館資料」とあるのは「資料」と、同条第三号及び四号中「博物館」とあるのは「指定施設」とする。
3　前項に規定する指定の審査に当つては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。
（報告）
第二十五条　法第三十一条第一項の規定に基づき文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会が博物館に相当する施設として指定した施設（以下「指定施設」という。）が前条第一項に規定する要件を備えなくなつたときは、直ちにその旨を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県又は指定都市が設置する施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、地方独立行政法人が設置する施設にあつては当該地方独立行政法人の長が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。
第二十六条　文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、自ら法第三十一条第一項の規定により指定した指定施設に対し、第二十四条第一項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。
（指定の取消し）
第二十七条　法第三十一条第二項に規定する指定施設の指定を取り消すことができる事由は、次のとおりとする。
一　博物館の事業に類する事業を行う施設に該当しなくなつたと法第三十一条第一項の規定による指定をした者が認めるとき。
二　偽りその他不正の手段により法第三十一条第一項の規定による指定を受けたとき。
三　第二十五条の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。
四　前条の規定による文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の求めに対して報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。
附　則
1　この省令は、公布の日から施行する。
2　試験認定を受ける者のうち、博物館法の一部を改正する法律（昭和三十年法律第八十一号）附則第三項の規定により学芸員となる資格を有する者にあつては、第六条第二項の規定にかかわらず、選択科目の試験を免除する。
　博物館法（昭和26年法律第285号）第５条及び第29条の規定に基き、博物館法施行規則（昭和27年文部省令第11号）の全部を改正する省令を次のように定める。

附　則　（令和五年二月一〇日文部科学省令第二号）　抄
（施行期日）
第一条　この省令は、令和五年四月一日から施行する。
（経過措置）
第二条　博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号。以下この項において「改正法」という。）附則第二条第六項の規定により、改正法による改正前の博物館法第二十九条の指定を受けている施設で、改正法による改正後の博物館法第三十一条第一項の指定を受けているものとみなされるもの（文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会が、この省令による改正後の博物館法施行規則（以下この条において「新規則」という。）第二十四条第一項の要件を備えていると認めるものを除く。以下この条において「みなし指定施設」という。）についての新規則第二十五条の規定の適用については、同条中「前条第一項」とあるのは、「前条第一項（令和十年三月三十一日までの間は、博物館法施行規則の一部を改正する省令（令和五年文部科学省令第二号）による改正前の博物館法施行規則（次条において「旧規則」という。）第二十条）」とする。
2　みなし指定施設についての新規則第二十六条の規定の適用については、同条中「法第三十一条第一項」とあるのは「博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号）による改正前の法（次条において「旧法」という。）第二十九条」と、「第二十四条第一項」とあるのは「第二十四条第一項（令和十年三月三十一日までの間は、旧規則第二十条）」とする。
3　みなし指定施設についての新規則第二十七条の規定の適用については、同条第一号中「法第三十一条第一項」とあるのは、「旧法第二十九条」とする。
4　みなし指定施設は、令和十年三月三十一日までに、新規則第二十四条第一項の要件を備えている旨の文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の確認を受けるよう努めなければならない。

**〇博物館の登録等に関する規則（抄）**

昭和50年５月８日　教育委員会規則第５号
〔最終改正〕　令和５年３月31日　教育委員会規則第３号

　博物館の登録に関する規則をここに公布する。
第１章　総則
（趣旨）
第１条　この規則は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）に基づく博物館の登録及び博物館に相当する施設の指定に関し、博物館法施行規則（昭和 30 年文部省令第 24 号。以下「施行規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

第２章　博物館の登録
（登録の申請）
第２条　法第 12 条第１項の規定による登録申請書の提出は、博物館登録申請書（第１号様式）により行うものとする。
２　前項の博物館登録申請書には、法第 12 条第２項第１号及び第２号に掲げる書類のほか、次に掲げる書類を添

付するものとする。
⑴　博物館資料目録（第２号様式）
⑵　職員名簿（第３号様式）
⑶　学芸員の資格を証する書類
（登録の審査）
第３条　沖縄県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、法第 13 条の規定による登録の審査に当たっては、必要に応じて登録の申請に係る博物館の実地について審査するものとする。
（博物館の体制に関する基準）
第４条　法第 13 条第１項第３号に規定する博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制に関する教育委員会の定める基準は、次のとおりとする。
⑴　博物館資料の収集、保管及び展示（インターネットの利用その他の方法により博物館資料に係る電磁的記録を公開することを含む。第４号及び第６条第１号において同じ。）並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するとともに、基本的運営方針に基づき、相当の公益性をもって博物館を運営する体制を整備していること。
⑵　基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。
⑶　前号に規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切に管理し、及び活用する体制を整備していること。
⑷　一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。
⑸　単独で又は他の博物館若しくは法第３条第１項第 12 号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。
⑹　博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。
⑺　法第７条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。
（博物館の職員に関する基準）
第５条　法第 13 条第１項第４号に規定する学芸員その他の職員の配置に関する教育委員会の定める基準は、次のとおりとする。
⑴　基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。
⑵　学芸員が置かれていること。
⑶　基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。
（博物館の施設及び設備に関する基準）
第６条　法第 13 条第１項第５号に規定する施設及び設備に関する教育委員会の定める基準は､次のとおりとする。
⑴　博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。
⑵　防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。
⑶　博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。
⑷　高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。
（博物館登録原簿の様式）
第７条　法第 14 条第１項の規定により教育委員会が記載する博物館登録原簿は、第４号様式とする。
（公表）
第８条　教育委員会は、法第 14 条第２項、法第 15 条第２項、法第 19 条第３項及び法第 20 条第２項の規定による公表をインターネットを利用する方法により行うものとする。
（登録事項の変更）
第９条　法第 15 条第１項の規定による変更の届出は、博物館登録事項変更届出書（第５号様式）により行うものとする。
（定期報告）
第 10 条　法第 16 条の規定による定期報告は、教育長が定めるところにより行うものとする。
（博物館の廃止）
第 11 条　法第 20 条第１項の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届（第６号様式）により行うものとする。
第３章　博物館に相当する施設の指定
（指定の申請の書類）
第 12 条　施行規則第 23 条第１項の規定により提出する指定申請書には、同条第２項第１号及び第２号に掲げる書類のほか、次に掲げる書類を添付するものとする。
⑴　資料目録（第７号様式）
⑵　職員名簿（第３号様式）
（博物館に相当する施設の体制等に関する基準）
第 13 条　施行規則第 24 条第１項第２号に規定する資料の収集、保管及び展示並びに資料に関する調査研究を行う体制に関する教育委員会の定める基準については第４条の規定を、同項第３号に規定する職員の配置に関する教育委員会の定める基準については第５条の規定を、同項第４号に規定する施設及び設備に関する教育委員会の定める基準については第６条の規定をそれぞれ準用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。

| 読み替える規定 | 読み替えられる字句 | 読み替える字句 |
| --- | --- | --- |
| 第４条各号（第７号を除く。）及び第６条第１号 | 博物館資料 | 資料 |
| 第４条第１号 | 博物館を運営する | 法第 31 条第１項の規定による指定を受けた施設（次条及び第６条において「指定施設」という。）を運営する |
| 第５条第１号及び第３号並びに第６条第３号及び第４号 | 博物館 | 指定施設 |
| 第５条第２号 | 学芸員 | 学芸員に相当する職員 |

（公表）
第 14 条　教育委員会は、法第 31 条第３項の規定による公表をインターネットを利用する方法により行うものとする。
第４章　雑則
第 15 条　この規則に定めるもののほか、博物館の登録及び博物館に相当する施設の指定に関し必要な事項は、教育長が別に定める。
附　則
この規則は、公布の日から施行し、昭和 50 年４月１日から適用する。
附　則（令和５年３月 31 日教育委員会規則第３号）
この規則は、令和５年４月１日から施行する。

## ○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則

平成23年３月31日　教育委員会規則第２号

沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則をここに公布する。
（趣　旨）
第１条　この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の７の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。
（委　任）
第２条　沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例（昭和47年沖縄県条例第32号）第２条第８号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長（以下「部長」という。）に委任する。ただし、沖縄県立博物館・美術館管理規則（平成19年沖縄県教育委員会規則第１号）第２条第３項ただし書の規定による認定に関する事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。
（１）　沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）及び沖縄県立博物館・美術館管理規則（以下「条例等」という。）の改正及び廃止に関すること。
（２）　博物館法（昭和26年法律第285号）第21条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第12条第1項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。
（合議等）
第３条　前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規定により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等（以下「合議等」という。）を要する定めのある事務については、合議等をしなければならない。
２　前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。
附　則
（施行期日）
１　この規則は、平成23年4月1日から施行する。
（経過措置）
２　この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。
（沖縄県教育庁組織規則の一部改正）
３　沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第１号）の一部を次のように改正する。
第11条第８号を次のように改める。
（８）　博物館・美術館に関すること（沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第２号）により委任される事務に関するものを除く。）。
（沖縄県立教育機関組織規則の一部改正）
４　沖縄県立教育機関組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第２号）の一部を次のように改正する。
第１条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）」を削る。
第４条を削り、第４条の２を第４条とする。
第６条を次のように改める。
（職制等）
第６条　総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家（以下「教育機関」という。）に、所長又は館長（以下「所長等」という。）を置く。
２　所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。
第７条及び第８条を削り、第９条を第７条とする。
第９条の２の表中「総合教育センター（総務班を除く。）　博物館・美術館」を「総合教育センター（総務班を

除く。)」に改め、同条を第８条とする。
第10条を第９条とし、第11条を第10条とし、第11条の２を第11条とする。
第12条第１項中「及び博物館・美術館」を削る。
第21条を第23条とし、第20条を第22条とし、第19条を第21条とする。
第18条中「第７条から第16条まで」を「第６条から第18条まで」に改め、同条の表中

| | |
|---|---|
| 学芸員 | 上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。 |

及び

| | |
|---|---|
| 学芸員補 | 上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。 |

を削り、同条を第20条とする。
第17条を第19条とする。
第16条中「第７条」を「第６条」に改め、同条を第18条とする。
第15条を第17条とし、第14条を第16条とし、第13条を削り、第12条の４を第15条とする。
第12条の３第１項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第14条とする。
第12条の２を第13条とする。

**（沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正）**
５　沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第22号）の一部を次のように改正する。
第４条第２項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

**○沖縄県博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則**

平成23年３月31日　規則第８号
〔一部改正〕令和２年３月31日　規則第29号

沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則をここに公布する。
（趣　旨）
第１条　この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第２号。以下「教育委員会事務委任規則」という。）第2条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館（沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成19年沖縄県条例第72号）で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。）の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。
（博物館・美術館の管理に関する事務の所掌）
第２条　博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により文化観光スポーツ部の長（以下「文化観光スポーツ部長」という。）に委任された事務は、沖縄県行政組織規則（昭和49年沖縄県規則第18号。以下「行政組織規則」という。）第76条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。
２　博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。
（内部組織）
第３条　博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。
（所掌事務）
第４条　総務班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　予算、決算その他会計事務に関すること。
（２）　公印の保管に関すること。
（３）　職員の服務及び福利厚生に関すること。
（４）　博物館・美術館協議会に関すること。
（５）　指定管理者との連絡調整に関すること。
（６）　他班の所掌に属さない事務に関すること。
２　博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　博物館・美術館の博物館施設に係る資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
（２）　博物館資料の利用に関すること。
（３）　博物館施設及びその他施設の利用に関すること。
（４）　博物館資料の調査研究に関すること。
（５）　博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
（６）　博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
（７）　他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。)。
（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。)。
３　美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　博物館・美術館の美術館施設に係る資料（以下「美術館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
（２）　美術館資料の利用に関すること。
（３）　美術館施設の利用に関すること。
（４）　美術館資料の調査研究に関すること。
（５）　美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
（６）　美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
（７）　他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。)。
（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。)。
（職の設置）
第５条　博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。

２　博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことができる。

（職の職務内容）
第６条　前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。
（１）　館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
（２）　副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
（３）　班長は、班の事務を処理する。
（４）　主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。
（５）　主事は、一般的な事務を処理する。
（６）　学芸員は、学芸業務に従事する。
（７）　主任学芸員は、学芸業務を処理する。
（８）　主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。
（９）　主任は、一般的な事務を分掌する。
（10）　専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。
（その他組織に関する事項）
第７条　第３条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則第５条に規定する公の施設を管理する機関とみなして、同規則の規定を適用する。
（委任された事務に係る決裁等）
第８条　教育委員会事務委任規則第２条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規定（昭和48年沖縄県訓令第89号）の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。
２　教育委員会事務委任規則第２条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則（昭和53年沖縄県規則第67号）の規定（第３条、第５条及び第13条を除く。）を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるものとする。
３　前２項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第２条の規定により委任された事務の執行に関し重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。
４　館長は、前２項の規定又は教育委員会事務委任規則第３条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経由して同条に規定する手続きを講ずるものとする。
（委任された事務以外の事務の委任及び決裁）
第９条　博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第２条第１項第１号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義を生じたときは、知事に協議しなければならない。
（委　任）
第10条　この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については館長がそれぞれ定める。
附　則
この規則は、平成23年４月１日から施行する。
附　則（令和２年３月31日規則第29号抄）
（施行期日）
１　この規則は、令和２年４月１日から施行する。（後略）

**○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例**　　**平成18年12月27日　条例第72号**
**〔最終改正〕平成31年３月29日　条例第５号**
沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例をここに公布する。
（設　置）
第１条　歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料（以下「博物館・美術館資料」という。）を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法（昭和26年法律第285号）第２条第１項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）を設置する。
（位置及び施設）
第２条　博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち３丁目１番１号とする。
２　博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。
（１）　博物館施設
（２）　美術館施設
（３）　その他施設
（事　業）
第３条　博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。
（１）　博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。
（２）　博物館・美術館資料の利用に関すること。
（３）　博物館・美術館の施設の利用に関すること。
（４）　博物館・美術館資料の調査研究に関すること。
（５）　博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
（６）　博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
（７）　他の博物館等との相互協力に関すること。
（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。
（９）　前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。
（博物館・美術館の管理）

第４条　博物館・美術館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の２第３項の規定により、法人その他の団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者の業務）

第５条　指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

（１）　博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務

（２）　第11条の規定による観覧料の収受に関する業務、第12条の規定による観覧料の減免に関する業務、第13条ただし書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務

（３）　第14条の規定による利用の許可に関する業務、第17条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第18条第２項の規定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務

（４）　第19条及び同条第３項において準用する第11条第５項から第７項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第19条第３項において準用する第12条の規定による利用料金の減免に関する業務、第19条第３項において準用する第13条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務

（５）　博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務

（６）　前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

（指定管理者の指定の申請）

第６条　第４条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

（指定管理者の指定）

第７条　教育委員会は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

（１）　事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。

（２）　事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。

（３）　事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。

（４）　前３号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

（指定管理者の指定等の告示）

第８条　教育委員会は、前条の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

２　前項の規定は、地方自治法第244条の２第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

（休館日）

第９条　博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

（１）　月曜日

（２）　12月29日から翌年の１月３日までの日

２　前項第１号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第２条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。

３　前２項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

（開館時間）

第10条　博物館・美術館の開館時間は、午前９時から午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）までとする。

２　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時に変更することができる。

（観覧料）

第11条　常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。

２　常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第１に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。

３　企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,150円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定めるものとする。

４　前２項の規定にかかわらず、１年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第２に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。

５　指定管理者は、第２項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。

６　教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。

７　観覧料は、指定管理者の収入とする。

（観覧料の減免）

第12条　指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

２　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除するものとする。

（観覧料の返還）

第13条　既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

（利用の許可）

第14条　別表第３に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
２　指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めたときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
３　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第１項の許可をしないことができる。
（１）　公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
（２）　公益を害するおそれがあると認められるとき。
（３）　施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
（４）　前３号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。
（利用期間）
第15条　施設等を引き続いて利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。
（権利の譲渡等の禁止）
第16条　利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。
（許可の取消し等）
第17条　指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第14条第１項の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。
（１）　この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
（２）　偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
（３）　許可に付した条件に違反したとき。
（４）　第14条第３項各号のいずれかに該当するに至ったとき。
（原状回復の義務）
第18条　利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。
２　指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。
（利用料金）
第19条　利用者は、施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。
２　利用料金は、別表第３に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
３　第11条第５項から第７項まで、第12条及び第13条の規定は、利用料金について準用する。
（事業報告書の提出）
第20条　指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。
（博物館・美術館協議会）
第21条　博物館・美術館に、博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
２　協議会の委員（以下「委員」という。）の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。
３　委員の定数は、15人以内とする。
４　委員の任期は、２年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
５　委員は、再任されることができる。
６　第２項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
（教育委員会規則への委任）
第22条　この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
附　則
（施行期日）
１　この条例は、公布の日から起算して１年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
（準備行為）
２　第７条の規定による指定管理者の指定、第11条第５項の規定による観覧料の承認及び第19条第３項において準用する第11条第５項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第６条から第８条まで、第11条第２項から第６項まで並びに第19条第２項並びに同条第３項において準用する第11条第５項及び第６項の規定の例により行うことができる。
（沖縄県立教育機関設置条例の一部改正）
３　沖縄県立教育機関設置条例（昭和47年沖縄県条例第24号）の一部を次のように改正する。
第１条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条」を削り、「必要な事項」を「、必要な事項」に改める。
第５条及び第６条を削り、第６条の２を第５条とし、第７条を第６条とし、第７条の２を第７条とする。
第８条中「、第５条及び第６条の２」を「及び第５条」に改める。
（沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正）
４　沖縄県立教育機関使用料徴収条例（昭和47年沖縄県条例第37号）の一部を次のように改正する。
第２条第１項中「別表第１又は別表第２」を「別表」に改め、同条第２項を削る。
別表第１を削り、別表第２を別表とする。
附　則（平成24年３月30日条例第46号）
この条例は、平成24年４月１日から施行する。
附　則（平成26年３月31日条例第11号抄）
（施行期日）
１　この条例は、平成26年４月１日から施行する。

附　則（平成31年３月29日条例第５号）

（施行期日）

１　この条例は、平成31年10月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例による改正後のそれぞれの条例規定は、この条例の施行の日以後に徴収し、又は納めるべき使用料、採取料、占用料、着陸料等及び駐車料について適用し、同日前に徴収し、又は納めるべき使用料、採取料、占用料、着陸料等及び駐車料については、なお従前の例による。

別表第１（第11条関係）

| 区分 | | 基準額（１人につき） | |
|---|---|---|---|
| | | 個人の場合 | 団体の場合 |
| 博物館施設 | 一般 | 420円 | 340円 |
| | 大学生及び高校生 | 270円 | 210円 |
| | 中学生及び小学生 | 150円（県外の中学生及び小学生に限る。） | 120円（県外の中学生及び小学生に限る。） |
| 美術館施設 | 一般 | 320円 | 260円 |
| | 大学生及び高校生 | 210円 | 170円 |
| | 中学生及び小学生 | 100円（県外の中学生及び小学生に限る。） | 80円（県外の中学生及び小学生に限る。） |

備考

１　「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。

２　「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

３　「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

４　「団体の場合」とは、20人以上の団体で観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

一部改正〔平成26年条例11号・31年５号〕

別表第２（第11条関係）

| 区分 | | 基準額（１人につき） | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 一般 | 大学生及び高校生 | 中学生及び小学生 |
| 博物館施設 | 常設展 | 1,250円 | 780円 | 470円（県外の中学生及び小学生に限る。） |
| | 常設展、企画展及び特別展 | 4,400円 | 2,720円 | 1,680円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,180円） |
| 美術館施設 | 常設展 | 950円 | 630円 | 320円（県外の中学生及び小学生に限る。） |
| | 常設展及び企画展 | 4,080円 | 2,720円 | 1,370円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,030円） |

備考

１　「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。

２　「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

３　「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

一部改正〔平成26年条例11号・31年５号〕

別表第３（第14条、第19条関係）

１　施設利用料金

（１）　博物館施設利用料金

| 区分 | | 基準額（１日につき） |
|---|---|---|
| 企画展示室 | 入場料を徴収しない場合 | 30,480円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 91,450円 |
| 特別展示室 | 入場料を徴収しない場合 | 29,920円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 119,750円 |
| 実習室 | 入場料を徴収しない場合 | 9,430円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 28,280円 |
| 講座室 | 入場料を徴収しない場合 | 16,650円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 49,970円 |

（２）　美術館施設利用料金

| 区分 | | 基準額（１日につき） |
|---|---|---|
| 県民ギャラリー１ | | 8,480円 |
| 県民ギャラリー２ | | 7,850円 |
| 県民ギャラリー３ | | 7,850円 |
| 県民ギャラリースタジオ | | 8,590円 |
| 県民アトリエ | 入場料を徴収しない場合 | 7,330円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 22,000円 |
| 子供アトリエ | 入場料を徴収しない場合 | 7,850円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 23,570円 |
| 企画展示室１ | 入場料を徴収しない場合 | 34,370円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 103,080円 |
| 企画展示室２ | 入場料を徴収しない場合 | 42,640円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 127,920円 |
| 講座室 | 入場料を徴収しない場合 | 9,530円 |

| | | |
|---|---|---|
| | 入場料を徴収する場合 | 28,600円 |

（３）　その他施設利用料金

| 区分 | | 基準額（１時間につき） |
|---|---|---|
| 講堂 | 入場料を徴収しない場合 | 3,570円 |
| | 入場料を徴収する場合 | 10,680円 |

２　附属設備利用料金

| 種別 | 単位 | 基準額 |
|---|---|---|
| 舞台器具 | １回１点又は一式につき | 10,000円以内で教育委員会規則で定める額 |
| 音響器具 | １回１点又は一式につき | 10,000円以内で教育委員会規則で定める額 |
| 照明器具 | １回１点又は一式につき | 10,000円以内で教育委員会規則で定める額 |
| 冷房設備 | １時間につき | 3,000円以内で教育委員会規則で定める額 |
| その他教育委員会規則で定める附属設備 | １回１点又は一式につき | 10,000円以内で教育委員会規則で定める額 |

備考

１　「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをいう。

２　利用料金の基準額が１時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。

（１）　午前９時から午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）までの間は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の２分の１の額に100分の120を乗じて得た額

（２）　午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）後は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の２分の１の額に100分の150を乗じて得た額

一部改正〔平成26年条例11号・31年５号〕

**○沖縄県立博物館・美術館管理規則**　　**平成19年３月16日　教育委員会規則第１号**

**〔最終改正〕令和３年３月26日　教育委員会規則第２号**

沖縄県立博物館・美術館管理規則をここに公布する。

（趣　旨）

第１条　この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。）の規定並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第１号及び博物館法（昭和26年法律第285号）第19条の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（寄贈及び寄託）

第２条　博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書（第１号様式）又は博物館・美術館資料寄託申請書（第２号様式）を提出しなければならない。

２　受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈受諾書（第３号様式）又は博物館・美術館資料受託承認書（第４号様式）を交付するものとする。

３　寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）が必要と認めた場合はこの限りでない。

４　第２項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。

５　第２項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

（寄贈資料及び寄託資料の管理等）

第３条　寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

２　寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠償の責任を負わないものとする。

（指定管理者の指定の申請）

第４条　条例第６条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第５号様式）によるものとする。

２　条例第６条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

（１）　法人である団体にあっては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

（２）　法人でない団体にあっては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）

（３）　申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

（４）　最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあっては、その設立時における財産目録）

（５）　役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

（６）　前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

（観覧券の交付）

第５条　指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

（観覧料の免除）

第６条　条例第12条第１項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書（第６号様式）を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

２　条例第12条第２項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

（１）　県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合

（２）　県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合

（３）　70歳以上の者が常設展を観覧する場合

（４）　身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第４項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

（５）　知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第１項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
（６）　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第２項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
（入館の禁止等）
第７条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。
（１）　館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者
（２）　その他指定管理者が適当でないと認める者
（施設利用の許可等）
第８条　条例別表第３に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書（第７号様式）を提出しなければならない。
（利用期間）
第９条　条例第15条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各号に定める日数とする。
（１）　博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室１及び企画展示室２並びにこれらの施設の冷房設備　６月
（２）　前号に掲げる施設等以外の施設　７日
２　条例第15条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願（第８号様式）を指定管理者に提出しなければならない。
（利用料金の免除）
第10条　条例第19条第３項において準用する第12条第２項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例第３条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。
２　条例第19条第３項において準用する第12条第２項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書（第９号様式）を指定管理者に提出しなければならない。
３　指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書（第10号様式）を利用者に交付するものとする。
（事業報告書の内容等）
第11条　条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。
（１）　博物館・美術館の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
（２）　業務に係る収支状況
（３）　博物館・美術館の利用状況
（４）　前３号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項
（博物館・美術館協議会の組織等）
第12条　博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。
２　協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
３　会長は協議会を代表し、会務を総理する。
４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
５　協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
６　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
７　協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
８　協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
９　協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。
10　その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。
（観覧料の割引）
第13条　条例別表第１備考４に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。
（附属設備の利用料金の基準額）
第14条　条例別表第３第２項の表に規定する教育委員会規則で定める額は、別表に掲げるとおりとする。
（補　則）
第15条　この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。
附　則
（施行期日）
１　この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月１日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
（準備行為として行う申請に必要な申請書等）
２　条例附則第２項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第４条の規定の例による。
（沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止）
３　次に掲げる規則は、廃止する。
（１）　沖縄県立博物館の管理に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号）
（２）　沖縄県立博物館協議会規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号）
（沖縄県教育庁組織規則の一部改正）
４　沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第１号）の一部を次のように改正する。
第31条第３号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。
第33条第４号中「沖縄県立博物協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。
附　則（平成24年２月21日教育委員会規則第１号）
この規則は、公布の日から施行する。
附　則（平成26年教育委員会規則第６号）（平成27年教育委員会規則第４号）（平成31年教育委員会規則第２号）抄
附　則（令和３年３月26日教育委員会規則第２号）
この規則は、令和３年４月１日から施行する。

別表（第14条関係）
１　附属設備（冷房設備を除く。）の利用料金

| 種別 | 品名 | 単位 | 基準額 |
|---|---|---|---|
| 舞台器具 | 演台 | １台 | 320円 |
| | 花台 | １台 | 100円 |
| | 司会台 | １台 | 150円 |
| 音響器具 | メインスピーカー | １式 | 1,050円 |
| | コンデンサーマイク | １本 | 320円 |
| | ワイヤレスマイク | １本 | 630円 |
| | ダイナミックマイク | １本 | 210円 |
| | ビデオテープレコーダー | １台 | 730円 |
| | ＤＶＤプレーヤー | １台 | 1,310円 |
| | ＣＤ、ＭＤプレーヤー | １台 | 420円 |
| | ＨＤ／ＤＶＤレコーダー | １台 | 1,310円 |
| 照明器具 | ボーダーライト | １列 | 320円 |
| | サスペンションライト | １列 | 520円 |
| | アッパーホリゾントライト | １列 | 730円 |
| | シーリングライト | １列 | 630円 |
| | センターピンスポットライト | １台 | 420円 |
| その他 | 書画カメラ | １台 | 840円 |
| | ビデオプロジェクター | １台 | 1,470円 |
| | 電動スクリーン | １式 | 1,150円 |
| | 35ミリフィルム映写機 | １式 | 5,240円 |

２　冷房設備の利用料金

| 区分 | | 単位 | 基準額 |
|---|---|---|---|
| 博物館施設 | 企画展示室 | １時間までごとに | 660円 |
| | 特別展示室 | １時間までごとに | 870円 |
| | 実習室 | １時間までごとに | 200円 |
| | 講座室 | １時間までごとに | 360円 |
| 美術館施設 | 県民ギャラリー１ | １時間までごとに | 180円 |
| | 県民ギャラリー２ | １時間までごとに | 170円 |
| | 県民ギャラリー３ | １時間までごとに | 170円 |
| | 県民ギャラリースタジオ | １時間までごとに | 190円 |
| | 県民アトリエ | １時間までごとに | 150円 |
| | 子供アトリエ | １時間までごとに | 170円 |
| | 企画展示室１ | １時間までごとに | 740円 |
| | 企画展示室２ | １時間までごとに | 930円 |
| | 講座室 | １時間までごとに | 210円 |
| その他施設 | 講堂 | １時間までごとに | 620円 |

備考　附属設備利用料金の基準額は、１ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、４時間ごとに１ステージとみなす。

第1号様式（第２条関係）

博物館・美術館資料寄贈申込書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

申込者
住　　所
氏　　名

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。

記

１　種　別
２　作者名
３　作品名
４　製作年月日
５　附属品
６　資料所在地
７　時価見積額
８　寄贈の理由

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第２号様式（第２条関係）

博物館・美術館資料寄託申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

申請者
住　　所
氏　　名

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。

記

１　種　別
２　作者名
３　作品名
４　製作年月日
５　附属品
６　資料所在地
７　寄託期間　　　年　　月　　日　から
　　　　　　　　　年　　月　　日　まで

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第３号様式（第２条関係）

博物館・美術館資料受贈受諾書

年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長
印

年　月　日付け申込のあった博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第２条第４項の規定により返却されません。

記

1　種別
2　作者名
3　作品名
4　製作年月日
5　附属品
6　資料所在地
7　時価見積額
8　寄贈の理由

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第４号様式（第２条関係）

博物館・美術館資料受託承認書

年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長
印

年　月　日付け申請のあった博物館・美術館資料の寄託については下記により受託します。

記

1　種別
2　作者名
3　作品名
4　製作年月日
5　附属品
6　受託期間　　年　月　日　から
　　　　　　　年　月　日　まで
7　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第５号様式（第４条関係）

年　　月　　日

沖縄県教育委員会　殿

申請者　所　在　地
団体の名称
代表者の氏名

指 定 管 理 者 指 定 申 請 書

沖縄県立博物館・美術館の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第６条の規定により申請します。

添付書類
1　事業計画書
2　法人である団体にあっては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
3　法人でない団体にあっては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る）
4　申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
5　最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日に属する事業年度
に設立された法人にあっては、その設立時における財産目録）
6　役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
7　前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第６号様式（第６条関係）

観 覧 料 免 除 申 請 書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　　殿

申請者住所
氏名
電話

下記の理由により博物館・美術館観覧料の免除を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館管理規則第６条第１項の規定に基づき申請します。

記

1　観覧者　団体名
　　　　　引率者名
2　観覧者数　　　人
3　観覧日時　　年　月　日（　曜日）　時～　時
4　申請理由

---

承　認　証

殿

年　月　日付け申請の博物館・美術館の観覧料免除の件、申請どおり承認します。

年　月　日　　沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　　印

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第７号様式（第８条関係）

博物館・美術館施設利用許可申請書

年　月　日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　　殿

申請者氏名
電　話

下記により貴館施設を利用したいので、申請します。

記

1　利用者　団体名
代表者名　　　印　　職業
（　　　）
住　所　　　電話
2　利用目的
3　利用する施設
4　利用する日時及び期間
自：　年　月　日　時　分
至：　年　月　日　時　分
（　）日間
5　予定参加人数　　　人

許　可　証

月　日付け申請の（　　）使用の件、申請どおり許可します。
年　月　日　　　沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　印

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第８号様式（第９条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願

年　月　日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　　殿

申　請　者
住　　所
団　体　名
代表者氏名
電　話　番　号

沖縄県立博物館・美術館管理規則第９条第２項の規定により次のとおり利用期間の変更を願い出ます。

記

1　催物の名称
2　利用する日時及び期間
自：　年　月　日　時　分
至：　年　月　日　時　分
（　）日間
3　利用期間の変更を願い出る理由
4　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする

第９号様式（第10条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書

年　月　日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　　殿

申　請　者
住　　所
団　体　名
代表者氏名
電話番号

次のとおり利用料金の免除を申請します。

記

1　催物の名称
2　利用目的
3　催物の内容
4　利用する日時及び期間
自：　年　月　日　時　分
至：　年　月　日　時　分
（　）日間
5　減額・免除を申請する理由
6　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第10号様式（第10条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書

年　月　日

殿

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　印

次のとおり利用料金の免除を承認します。

記

1　催物の名称
2　利用目的
3　催物の内容
4　利用する日時及び期間
自：　年　月　日　時　分
至：　年　月　日　時　分
（　）日間
5　利用料金免除額
6　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

**○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領**

平成14年３月14日　教育長決裁
平成28年12月28日改正

（目　的）
第１条　この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料（以下「資料」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。
（定　義）
第２条　この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。
（１）　展示会等における原資料等の借用。
（２）　同資料の撮影。
（３）　原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。
（４）　撮影等による複製品の製作。
（５）　原資料等の閲覧。

（6） 教育普及資料の借用。
（許可の基準）
第３条 博物館長（以下「館長」という。）は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項はこの限りでない。
（1） 資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。
（2） 好ましくない用途に供されると認められる場合。
（3） 館の事務処理に支障が生じると認められる場合。
（4） 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
（5） 過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。
（6） その他、許可することが適当でないと認められる場合。
（許可申請の手続き）
第４条 資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書（以下「申請書」という。）に事業の趣旨や主体者、事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。
（1） 原資料等の借用（第１号様式）
（2） 写真撮影、原板・印画の借用（第２号様式）
（3） 複製品の製作（第３号様式）
（4） 原資料等の閲覧（第４号様式）
（5） 教育普及資料の借用（第５号様式）
（審査及び決定）
第５条 前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。
（1） 事業の趣旨及び内容。
（2） 事業の主体者。
（3） 事業計画。
（4） その他必要な事項。
（許可書の交付）
第６条 資料利用を許可する決定を行つたときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおりの条件を付した資料利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認めた軽微なものについては、その限りでない。
（1） 原資料等の借用（第１－１号様式）
（2） 写真撮影、原板・印画の借用（第２－１号様式）
（3） 複製品の製作（第３－１号様式）
（4） 原資料等の閲覧（第４－１号様式）
（5） 教育普及資料の借用（第５－１号様式）
２ 館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。
附 則
この要領は、平成14年４月１日から実施する。
附 則
この要領は、平成19年11月１日から実施する。

別表（第６条関係）各申請の資料利用の許可条件

| 利用申請の内容<br>（各申請様式） | 資料利用の許可条件 | |
|---|---|---|
| | 共通条件 | 個別条件 |
| 原資料等の借用<br>（第１号様式） | ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。<br>②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。<br>③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。<br>④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。<br>⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。 | ①資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。<br>②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。<br>③貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。<br>④借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。 |
| 写真撮影、原板・印画の借用<br>（第２号様式） | | ①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。<br>②製作された写真デューブやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。<br>③写真原板の貸与期間は３週間以内とする。<br>④郵送費は申請者が負担すること。<br>⑤資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。 |
| 複製品の製作<br>（第３号様式） | | ①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。<br>②撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。<br>③製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。<br>④製作された写真デューブやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。<br>⑤写真原板の貸与期間は３週間以内とする。<br>⑥資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。 |
| 原資料等の閲覧<br>（第４号様式） | | ①展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。<br>②閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。<br>③閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。 |
| 教育普及資料の借用<br>（第５号様式） | | ①貸与期間は１週間以内とする。<br>②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。<br>③資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。<br>④万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。 |

第1号様式（第4条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（原資料等の借用）

令和　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　　殿

代表者名：　　　　　　　　　　印
申請者　　団 体 名：
（担当者氏名　　　　　　　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いします。

記

| | |
|---|---|
| 事　業　名 | |
| 借用希望期間 | 年　　月　　日　～　　月　　日 |
| 目　　的 | |
| 展 示 等 場 所 | |

| 資　料　名 | 員　数 | 備　考 |
|---|---|---|
| 1． | | |
| 2． | | |
| 3． | | |
| 4． | | |

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。
⑨借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第１－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（原資料等の借用）

博　美　第　　　号
令和　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料の館外利用については、下記により許可します。

記

| | |
|---|---|
| 事　業　名 | |
| 借　用　期　間 | 年　　月　　日　～　　月　　日 |
| 目　　的 | |
| 展 示 等 場 所 | |

| 資　料　名 | 員　数 | 備　考 |
|---|---|---|
| 1． | | |
| 2． | | |
| 3． | | |
| 4． | | |

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。
⑨借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第２号様式　（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（写真撮影、原板・印画の借用）

令和　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　　殿

代表者名：　　　　　　　　　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　　　　　　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により資料の写真撮影、原板・印画の利用を許可くださるようお願いします。

記

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利　用　区　分 | | 1　写真原板使用　　2　撮影　　3　掲載<br>※○で囲む | | | |
| 希望日時・期間 | | 年　月　日　～　月　日　　時　～　　時 | | | |
| 目<br>的 | 事　項 | 名　　称 | 部　数 | 制作予定日 | 備　　考 |
| | 出版物<br>映　画<br>テレビ<br>ＤＶＤ<br>Ｃ　Ｄ<br>その他 | | | | |

| 資　料　名 | 数　量 | 仕　様 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 1．<br>2．<br>3． | | | |

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑧写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑨郵送費は申請者が負担すること。
⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第２－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（写真撮影、原板・印画の借用）

博　美　第　　　号
令和　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長　　印

令和 年 月 日付けで申請のあつた資料の利用については、下記により許可します。

記

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利　用　区　分 | | 1　写真原板使用　2撮影　　3　掲載　※○で囲む | | | |
| 日 時・期 間 | | 年　月　日　～　月　日　　時　～　　時 | | | |
| 目<br>的 | 事　項 | 名　　称 | 部　数 | 制作予定日 | 備　　考 |
| | 出版物<br>映　画<br>テレビ<br>ＤＶＤ<br>Ｃ　Ｄ<br>その他 | | | | |

| 資　料　名 | 数　量 | 仕　様 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 1．<br>2．<br>3． | | | |

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑧写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑨郵送費は申請者が負担すること。
⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第３号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（複製品の製作）

令和　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　　殿

代表者名：　　　　　　　　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　　　　　　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

| 利用区分 | 1　写真原板使用　2　撮影　3　掲載　※○で囲む | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 希望日時・期間 | 年　月　日 ～　月　日　時 ～　時 | | | | |
| 目　　的 | | | | | |
| 製作仕様 | | | | | |
| 製作予定日 | 令和 年 月 日 | 製作点数 | 点 | 販売価格 | 円 |

| 資　料　名 | 数　量 | 仕様 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 1.<br>2.<br>3. | | | |

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
⑨製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑩写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑪資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第３－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（複製品の製作）

博　美　第　　　号
令和　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長　印

令和　年　月　日付けで申請のあつた特別利用については、下記により許可します。

記

| 利用区分 | 1　写真原板使用　2　撮影　3　掲載　※○で囲む | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 日時・期間 | 年　月　日 ～　月　日　時 ～　時 | | | | |
| 目　　的 | | | | | |
| 製作仕様 | | | | | |
| 製作予定日 | 令和　年　月　日 | 製作点数 | 点 | 販売価格 | 円 |

| 資　料　名 | 数　量 | 仕　様 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 1.<br>2.<br>3. | | | |

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
⑨製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑩写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑪資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第４号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（原資料等の閲覧）

令和　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　　殿

代表者名：　　　　　　　　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　　　　　　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いします。

記

| 目　　的 | | | |
|---|---|---|---|
| 閲覧希望日時 | 令和　年　月　日　時～　時 | 閲覧人員 | |

| 資料名 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|
| 1.<br>2.<br>3.<br>4.<br>5. | | |

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
⑦閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。
⑧閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第４－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（原資料等の閲覧）

博　美　第　　　号
令和　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和　年　月　日付けで申請のあつた資料の閲覧については、下記により許可します。

記

| 目　　的 | | | |
|---|---|---|---|
| 閲覧日時 | 令和　年　月　日　時～　時 | 閲覧人員 | |
| 担当学芸員 | | | |

| 資料名 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|
| 1.<br>2.<br>3.<br>4.<br>5. | | |

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
⑦閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。
⑧閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第５号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（教育普及資料の借用）

令和　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　　殿

代表者名：　　　　　　　　　　　印
申請者　　団 体 名：
（担当者氏名　　　　　　　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

| | | | |
|---|---|---|---|
| 利　用　区　分 | １学校（学年・学級）行事　２地域・団体行事　３その他 | | |
| 希望日時・期間 | 年　月　日（　　時）～　　年　月　日（　　時） | | |
| 行　　事　　名 | | 参加人員 | |
| 目　　　　　的 | | | |

| 資料名 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|
| １．<br>２．<br>３．<br>４． | | |

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥貸与期間は１週間以内とする。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第５－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（教育普及資料の借用）

博　美　第　　　号
令和　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長　　印

令和　年　月　日付けで申請のあつた資料利用については、下記により許可します。

記

| | | | |
|---|---|---|---|
| 利　用　区　分 | １学校（学年・学級）行事　２地域・団体行事　３その他 | | |
| 日　時　・　期　間 | 年　月　日（　　時）～　年　月　日（　　時） | | |
| 行　　事　　名 | | 参加人員 | |
| 目　　　　　的 | | | |

| 資料名 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|
| １．<br>２．<br>３．<br>４． | | |

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥貸与期間は１週間以内とする。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

## ○沖縄県立博物館･美術館共催及び後援等に関する取扱要領

平成23年５月23日　部長決裁

**(目的)**
第１条　この要領は、沖縄県立博物館･美術館が共催又は後援等を行う事業について必要な事項を定めるものとする。

**(用語の定義)**
第２条　この要領において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによる。
（１）　共催事業の企画、運営に参画し、また経費の一部を負担するなど、当該事業について責任の一部を負担することをいう。
（２）　後援等、後援、協力、協賛等で、当該事業の趣旨に賛同し、事業の実施について協力することをいう。

**(名義)**
第３条　この要領による共催又は後援等の名義は｢沖縄県立博物館･美術館｣とする。

**(承認基準)**
第４条　共催又は後援等の承認基準は別表１のとおりとする。
２　前項の規定にかかわらず、博物館活動の見地から館長が特に必要があると認めるものについては、共催又は後援等の承認をすることができるものとする。

**(申請手続き)**
第５条　共催又は後援等の承認を受けようとするものは、別記第１号様式又は次の事項を記載した書面を、原則として事業開催の14日前までに、沖縄県立博物館･美術館長に提出するものとする。
（１）　事業の名称、目的及び内容
（２）　主催者の職、氏名及び事務局等連絡先
（３）　開催日時(期間)及び開催場所
（４）　参加対象者及び参加見込者数
（５）　他の共催者及び後援者等(予定者を含む)
（６）　参加料金その他参考事項

**(決定)**
第６条　前条の規定による申請があった場合、沖縄県立博物館･美術館長はその内容を審査し、適当と認められるときは別記第２号様式の回答書により、承認できないときはその旨を、それぞれ当該申請者に通知するものとする。

**(事業計画の変更)**
第７条　共催又は後援を承認した事業であっても、申請時の事業計画を変更し、又は中止しようとするときは、申請者は速やかに当該変更又は中止に係る内容について届け出なければならない。

**(承認の取消)**
第８条　共催又は後援等を承認した事業であっても、その内容が第４条の承認基準に該当しなくなったときは、その承認を取り消すものとする。
２　前項の規定による承認の取消については、第６条の規定を準用する。

**(事業の完了報告)**
第９条　共催又は後援等を承認した事業のうち、必要があると認める場合は、別記第３号様式もしくはそれに変わる書面で報告を求めることができる。

**(雑則)**
第10条　共催又は後援の承認の手続きを経ずに、第３条に規定する名義を無断使用した場合（承認前に既に印刷し、公表した場合を含む。）は、警告書を出すとともに、以後の共催又は後援等の承認は認めないものとする。

**附　則**
この要領は、平成23年５月23日から施行する。

別表１（第４条関係）
共催又は後援等の承認基準

| | |
|---|---|
| 主催者についての承認基準 | 1　国、地方公共団体及びこれらの機関並びにその連合体<br>2　教育機関及び教育研究団体<br>3　新聞社、放送局等報道関係<br>4　公益法人その他教育、芸術、文化又はスポーツの向上普及に寄与する事業を行う団体（宗教団体又は政治団体を除く。） |
| 事業内容についての承認基準 | 1　県及び県教育委員会の運営方針に反しないものであり、教育施策上からの効果が期待できるものであること。<br>2　博物館･美術館の所掌業務と関連するもので、高い公益性を有すると認められるもの。<br>3　政治的、宗教的又は商業的活動に関する宣伝、勧誘等を意図するものでないこと。<br>4　特定の団体の利益を目的とするものでないこと。<br>5　事業の内容及び規模からみて、営利を目的とするものでないと客観的に判断されるものであること。 |

備考
１　主催者については、主催者についての承認基準の１から４までのいずれかに該当するものでなければならない。
２　事業内容については、事業内容についての承認基準のすべての項目に該当するものでなければならない。

第1号様式

第　　号
令和　年　月　日

沖縄県立博物館・美術館　館長　殿

申請者
代表者名　　　　　　印
団体名
所在地
（電話　　　　　　　）

行事の共催、後援等について（申請）

次のとおり行事を開催するについて、沖縄県立博物館･美術館の共催（後援）（協力）（協賛）の承認を得たいので、申請します。

記

| | |
|---|---|
| 1　事　業　名 | |
| ２事業の趣旨・内容（なるべく具体的に記入すること。） | |
| ３主催者、共催者及び後援者 | |
| 4　参加者及び参加方法 | |
| 5　参　加　者　数 | |
| 6　開催日時及び場所 | |
| 7　経費負担の区分 | |
| 8　その他の必要事項 | |

第2号様式

博　美　第　　号
令和　年　月　日

殿

沖縄県立博物館・美術館　館長　印

＿＿＿の＿＿について（回答）

令和 年 月 日付け第号で申請のあった標記のことについては、以下の条件を付して承認します。

記

1　事　業　名
2　名義使用の方法
3　名義使用の期間
4　経　　費
5　実施結果の報告の有無
6　その他

第３号様式

第　　号
令和 年 月日

沖縄県立博物館･美術館殿

申請者　代表者名　　　　印
団体名
所在地
(電話　　　　　　)

＿＿＿＿＿＿＿＿の結果について(報告)

令和年月日付博美第　　号により承認のあった標記の事業の結果について、次のとおり報告します。

記

Ⅰ事業報告

| | |
|---|---|
| 1 事　業　名 | |
| 2 事業の概要 | |
| 3 参　加　者 | |
| 4 日時及び場所 | |
| 5 所　　見（事業の効果等を　含む） | |
| 6 備　　考 | |

Ⅱ収支決算

| 1)収入の部 | | 2)支出の部 | |
|---|---|---|---|
| | 円 | | 円 |
| | 円 | | 円 |
| | 円 | | 円 |
| | 円 | | 円 |
| | 円 | | 円 |
| 合計 | 円 | | 円 |

**沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱**

平成20年２月19日　教育長決裁

**（設　置）**

第１条　沖縄県立博物館・美術館が収取しようとする美術品等（以下「美術品等」という。）に関し、必要な事項を検討するため、沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）を設置する

**（任　務）**

第２条　委員は次の事項について意見を述べる。

（１）　美術品等の評価に関すること。

（２）　その他美術品等の収集に関すること。

**（組　織）**

第３条　委員会は、委員７人以内で組織する。

２　委員は次の各号にそれぞれ該当する者のうちから、会議ごとに教育長が選任する。

（１）　美術品等について専門的な知識及び学識経験を有する者。

（２）　美術品等と利害関係が無く、公正な判断ができる者。

**（会長及び副会長）**

第４条　委員会に、会長及び副会長を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める。

３　会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある場合には、その職務を代理する。

**（会　議）**

第５条　委員会は教育長が招集する。

２　委員会は、委員の過半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

**（守秘義務）**

第６条　委員は、職務上知りえた秘密を他に漏らしてはならない。

**（庶　務）**

第７条　委員会の庶務は、沖縄県立博物館・美術館において処理する。

**（雑　則）**

第８条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、沖縄県立博物館・美術館長が別に定める。

**附　則**

この要領は、平成20年２月19日から実施する。

沖縄県立博物館・美術館年報　No.16（令和４年度実績）
2023年（令和５）９月29日

編集・発行：沖縄県立博物館・美術館
住　　　所：〒900-0006
　　　　　　沖縄県那覇市おもろまち３丁目１番１号
Ｔ　Ｅ　Ｌ：098-941-8200（代表）
Ｆ　Ａ　Ｘ：098-941-2392（代表）
ホームページ：https://okimu.jp
　　　　　（沖縄県立博物館・美術館ホームページ）
印　　　刷：合同会社　精印堂印刷
住　　　所：沖縄県那覇市字真地３９９番地３